

いちき串木野市  
男女共同参画に関する市民意識調査  
報 告 書

平成 29 年 9 月

いちき串木野市

# 目次

第1章 アンケート調査概要.....	1
1. 調査の目的 .....	2
2. 調査概要と回収状況.....	2
3. 報告書利用上の注意.....	2
4. アンケートの回答者について .....	3
第2章 調査結果の概要.....	7
1. 男女平等全般（少子化や学校教育を含む）について.....	8
2. 家庭生活（老後の生活を含む）について .....	8
3. 就業について.....	9
4. 人権について.....	9
5. 地域社会づくりについて .....	9
6. 男女共同参画社会について（用語の認知度を含む） .....	10
第3章 調査結果の分析.....	11
1. 男女平等について.....	12
2. 家庭生活について.....	28
3. 少子化について.....	43
4. 老後の生活について .....	51
5. 就業について.....	53
6. 学校教育について.....	73
7. 人権について.....	77
8. 地域社会づくりについて .....	98
9. 男女共同参画社会について .....	104
参考資料（調査票） .....	124

# 第1章 アンケート調査概要



## 1. 調査の目的

いちき串木野市における男女共同参画社会の形成へ向けて、市民の男女共同参画に関する実態や意識を把握することにより課題等を抽出し、平成 24 年度に策定した「いちき串木野市男女共同参画基本計画（平成 25 年度～平成 29 年度）」の事業評価の参考とするとともに、平成 29 年度に策定する「いちき串木野市男女共同参画基本計画（平成 30 年度～平成 34 年度）」の基礎資料、及び今後の施策の推進に資することを目的とする。

## 2. 調査概要と回収状況

- (1) 調査地域：いちき串木野市全域
- (2) 調査対象：いちき串木野市在住の 20 歳以上の男女 2,000 名
- (3) 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
- (4) 調査方法：郵送による配布・回収
- (5) 調査期間：平成 29 年 7 月 28 日（木）～8 月 25 日（金）
- (6) 回収状況：回収数 967（回収率：48.4%）

## 3. 報告書利用上の注意

- ・「SA」は回答を一つ選択する設問（単一回答）、「MA」は 2 つ以上の回答が可能である設問（複数回答）を示している。
- ・「SA」（単一回答）の場合、端数処理の関係上、構成比（%）の合計が 100%にならない場合がある。
- ・「MA」（複数回答）の場合、すべての構成比（%）の合計は、原則として 100%を超える。

## 4. アンケートの回答者について

### 【F1】性別 (SA)

アンケート回答者の性別については、「女性」が58.9%、「男性」が40.2%となっている。

	上段:回答数(人) 下段:構成比(%)	総計
女性	570 58.9%	
男性	389 40.2%	
無回答	8 0.8%	
合計	967 100.0%	

### 【F2】年齢 (SA)

アンケート回答者の年齢については、「60歳代」が29.2%と最も多く、次いで「70歳以上(23.0%)」、「50歳代(18.2%)」の順となっている。

	上段:回答数(人) 下段:構成比(%)	総計	女性	男性	無回答
20歳代	51 5.3%	31	20	0	
30歳代	85 8.8%	60	25	0	
40歳代	146 15.1%	90	56	0	
50歳代	176 18.2%	108	68	0	
60歳代	282 29.2%	151	131	0	
70歳以上	222 23.0%	130	89	3	
無回答	5 0.5%	0	0	5	62.5%
合計	967 100.0%	570	389	8	100.0%

### 【F3】就業状況 (SA)

アンケート回答者の就業状況については、「収入になる仕事をしている」が59.4%、「収入になる仕事をしていない」が37.2%となっている。

	上段:回答数(人) 下段:構成比(%)	総計	女性	男性	無回答
収入になる仕事をしている	574 59.4%	325	249	0	
収入になる仕事をしていない	360 37.2%	231	126	3	
無回答	33 3.4%	14	14	5	62.5%
合計	967 100.0%	570	389	8	100.0%

※F3で「1 収入になる仕事をしている」を選択された方のみ回答

【F4】職業 (SA)

アンケート回答者の職業については、「常勤の勤め」が45.8%と最も多く、次いで「非常勤の勤め(36.4%)」、「商業、工業、サービス業、その他自由業等の自営業(10.8%)」の順となっている。

上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)	総計	女性	男性	無回答
常勤の勤め(正社員、職員、会社員、会社役員、従業員、公務員等)	263 45.8%	106 32.6%	157 63.1%	0 0.0%
非常勤の勤め(臨時職員、パート、アルバイト、嘱託等)	209 36.4%	169 52.0%	40 16.1%	0 0.0%
農業、林業、漁業等の自営業	19 3.3%	7 2.2%	12 4.8%	0 0.0%
商業、工業、サービス業、その他自由業等の自営業	62 10.8%	30 9.2%	32 12.9%	0 0.0%
その他	13 2.3%	8 2.5%	5 2.0%	0 0.0%
無回答	8 1.4%	5 1.5%	3 1.2%	0 0.0%
合計	574 100.0%	325 100.0%	249 100.0%	0 0.0%

※F4で「1 常勤の勤め」、「3 自営業者」、「4 商業、工業、サービス業、その他自由業等の自営業」、「5 その他」を選択された方のみ回答

【F5】職業区分 (SA)

アンケート回答者の職業区分については、「被用者」が54.9%と最も多く、次いで「自営業者(16.5%)」、「管理職(14.6%)」の順となっている。

上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)	総計	女性	男性	無回答
管理職(官公庁、企業、工場、各種法人、組合等の経営者、役員、課長級以上の管理職等)	52 14.6%	13 8.6%	39 18.9%	0 0.0%
被用者(管理職以外の正社員、職員、従業員、公務員等)	196 54.9%	83 55.0%	113 54.9%	0 0.0%
自営業者	59 16.5%	15 9.9%	44 21.4%	0 0.0%
家族従業者(自家営業の手伝い等)	30 8.4%	26 17.2%	4 1.9%	0 0.0%
その他	14 3.9%	10 6.6%	4 1.9%	0 0.0%
無回答	6 1.7%	4 2.6%	2 1.0%	0 0.0%
合計	357 100.0%	151 100.0%	206 100.0%	0 0.0%

※F3で「2 収入になる仕事をしていない」を選択された方のみ回答

【F6】無職者の内訳 (SA)

アンケート回答者のうち、無職者の内訳については、「主婦・主夫」が70.6%と、約7割を占めている。

上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)	総計	女性	男性	無回答
主婦・主夫	254 70.6%	189 81.8%	65 51.6%	0 0.0%
学生	3 0.8%	2 0.9%	1 0.8%	0 0.0%
その他	90 25.0%	31 13.4%	57 45.2%	2 66.7%
無回答	13 3.6%	9 3.9%	3 2.4%	1 33.3%
合計	360 100.0%	231 100.0%	126 100.0%	3 100.0%

### 【F7】婚姻状況 (SA)

アンケート回答者の婚姻状況については、「結婚している(事実婚を含む)」が69.2%と最も多く、次いで「結婚していない(15.0%)」、「結婚していたが、死別した(7.8%)」の順となっている。

	上段:回答数(人) 下段:構成比(%)	総計	女性	男性	無回答
結婚している(事実婚を含む)	669 69.2%	374	294	1	12.5%
結婚していたが、離婚した	58 6.0%	42	16	0	0.0%
結婚していたが、死別した	75 7.8%	64	10	1	12.5%
結婚していない	145 15.0%	78	66	1	12.5%
無回答	20 2.1%	12	3	5	62.5%
合計	967 100.0%	570	389	8	100.0%

※F7で「1 結婚している」を選択された方のみ回答

### 【F8】夫婦の就業状況 (SA)

アンケート回答者の夫婦における就業状況については、「どちらとも仕事をしている(パート・内職を含む)」が47.2%と最も多く、次いで「どちらとも仕事をしていない(22.4%)」、「配偶者のみ仕事をしている(15.1%)」の順となっている。

	上段:回答数(人) 下段:構成比(%)	総計	女性	男性	無回答
どちらとも仕事をしている(パート・内職を含む)	316 47.2%	187	129	0	0.0%
自分のみ仕事をしている	99 14.8%	30	69	0	0.0%
配偶者のみ仕事をしている	101 15.1%	79	22	0	0.0%
どちらとも仕事をしていない	150 22.4%	75	74	1	100.0%
無回答	3 0.4%	3	0	0	0.0%
合計	669 100.0%	374	294	1	100.0%

### 【F9】家族構成 (SA)

アンケート回答者の家族構成については、「2世代世帯(親と子、夫婦と子など)」が43.0%と最も多く、次いで「1世代世帯(夫婦のみ)(34.5%)」、「単身世帯(11.6%)」の順となっている。

	上段:回答数(人) 下段:構成比(%)	総計	女性	男性	無回答
単身世帯(一人暮らし)	112 11.6%	73	38	1	12.5%
1世代世帯(夫婦のみ)	334 34.5%	187	146	1	12.5%
2世代世帯(親と子、夫婦と子など)	416 43.0%	246	170	0	0.0%
3世代世帯(親と子と孫など)	39 4.0%	22	17	0	0.0%
その他	48 5.0%	32	16	0	0.0%
無回答	18 1.9%	10	2	6	75.0%
合計	967 100.0%	570	389	8	100.0%

### 【F10】子どもの有無 (SA)

アンケート回答者の子どもの有無については、「2人」が34.9%と最も多く、次いで「3人(25.1%)」、「いない(20.9%)」の順となっている。

	上段:回答数(人) 下段:構成比(%)	総計	女性	男性	無回答
いない	202 20.9%	113	88	1	12.5%
1人	109 11.3%	71	36	2	25.0%
2人	337 34.9%	196	141	0	0.0%
3人	243 25.1%	148	95	0	0.0%
4人以上	53 5.5%	30	23	0	0.0%
無回答	23 2.4%	12	6	5	62.5%
合計	967 100.0%	570	389	8	100.0%

※F10で「2」～「5」(1人～4人以上)を選択された方のみ回答

### 【F11】子どもの成長段階 (SA)

アンケート回答者の子どもの成長段階については、「学校は卒業した(中退も含む)」が64.6%と最も多く、次いで「高校、専門学校、高専、短大、大学、大学院生(10.0%)」、「幼児(1歳以上)(6.7%)」の順となっている。

	上段:回答数(人) 下段:構成比(%)	総計	女性	男性	無回答
乳児(1歳未満)	19 2.6%	10	9	0	0.0%
幼児(1歳以上)	50 6.7%	38	12	0	0.0%
小学生	48 6.5%	27	21	0	0.0%
中学生	38 5.1%	24	14	0	0.0%
高校、専門学校、高専、短大、大学、大学院生	74 10.0%	43	31	0	0.0%
学校は卒業した(中退も含む)	479 64.6%	280	198	1	50.0%
無回答	34 4.6%	23	10	1	50.0%
合計	742 100.0%	445	295	2	100.0%

## 第2章 調査結果の概要



## 1. 男女平等全般（少子化や学校教育を含む）について

『男女の地位の平等感』について、「社会通念、慣習・しきたりなどで」や「家庭生活で」、「職場で」で、男女間の意識の差が大きく、女性の不平等感が強くみられる。

『性別役割分担意識』については、『男性は仕事、女性は家事・育児』と役割を分担する方がよい』や「夫の親を妻が介護・看護するのは当然だと思う」との項目では、否定的である回答が肯定的である回答を上回っており、特に女性では否定的な回答が多い。一方で「子どもが3歳くらいまでは母親のもとで育てる方がよい」との項目については、男女とも約7割が肯定的意見であった。

『子育てにおける住民同士の助け合い活動』としてニーズが高いものは、「子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動」が約半数を占め、「子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動」や「不意の外出の時などに子どもを預かる活動」も約4割を占めている。

また、『子育て支援策に関する考え方』では、「子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取組」や「保育所など地域における子育て支援サービスの充実」、「子育てに対する不安や悩みを気軽に相談できる支援体制の整備」が求められている。

『男女共同参画の実現のために学校教育の場で大切なこと』については、「互いのよさを理解し、異性を思いやる心を育てる教育を充実する」が約6割を占め、「性別に関わらず、生徒個人の希望や能力にもとづいて進路指導や職業教育を行う」や「心身の発育について正しく理解し、生命や性を尊重する教育を充実する」が約半数を占めている。

## 2. 家庭生活（老後の生活を含む）について

『日常生活の分担』の状況をみると、「家事（掃除、洗濯、炊事など）」や「育児（乳幼児の世話、子どもの教育など）」、「介護」、「PTA や子ども会」の分担では、妻が主に行っており、夫婦で行っているとの回答も一定はあるものの、夫の参加は5%未満に留まっている。

『結婚、家庭、離婚に対する考え方』については、「結婚は個人の自由であるから、結婚する、しないは個人の意思に任せればよい」との項目で約8割が肯定的意見を持っており、一方で、「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」や「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい」との項目では、否定的意見を持つ人が多いことがうかがえる。

『晩婚化や非婚化が進む理由』については、「独身生活のほうが自由である」や「仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上した」、「結婚しないことに対する世間のこだわりが少なくなった」との回答が多いが、若い世代では、「経済的に安定していない」との回答も比較的多くなっている。

老後の生活時に、『自分が介護してもらいたい相手』としては、男性では「配偶者」との回答が約4割を占めるが、女性では「病院や老人ホームなどの施設への入所」との回答が多い。

### 3. 就業について

『就業している理由』として、「生計を維持するため」との回答が約 7 割を占め、「家計の足しにするため」や「将来に備えて貯蓄するため」との回答も約 4 割を占めている。

『職場における性別による処遇の差の有無』の状況をみると、男女とも約 2 割が「差があると思う」と回答しており、『処遇の差の具体的な内容』については、「賃金に差がある」との回答が約 6 割を占め、「能力を正當に評価しない」や「昇進、昇格に差がある」との回答も比較的多くなっている。

『女性の就労に対する考え方』については、「子どもができて、育児制度等を利用しながら、ずっと仕事を続ける方がよい」との回答が約 3 割を占め、「子どもができたなら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」との回答も約 2 割を占めている。

『女性が仕事しやすい環境の整備に必要なこと』については、「家族や夫の理解・協力」や「保育所・放課後児童クラブ（学童保育）など子育て環境の整備充実」、「育児・介護休業制度の普及」が多く挙げられている。しかしながら、「家族や夫の理解・協力」については、男女間の意識の差異がみられ、女性に比べ、男性で大きく下回っている状況である。また、女性の 20 代、30 代では、特に「保育所・放課後児童クラブ（学童保育）など子育て環境の整備充実」との回答が多くなっている。

### 4. 人権について

『ドメスティック・バイオレンスの経験の有無』については、「身体的暴力」で約 2 割、「精神的暴力」や「性的暴力」では約 1 割が、ドメスティック・バイオレンスの経験がある（「1、2 度あった」及び「何度もあった」）との回答であった。特に「性的暴力」では、女性で被害を受けている人が多い状況である。

『ドメスティック・バイオレンスを受けた際の対処』については、「どこ（だれ）にも相談しなかった」が約半数を占めている。また、相談をしたとしても、「家族や親戚に相談した」や「友人・知人に相談した」との回答が大部分を占めており、専門機関や公的機関への相談はほとんどない状況である。

『(対処) 相談しなかった理由』については、「相談するほどのことではないと思ったから」との回答が約半数を占め、「自分にも悪いところがあると思ったから」、「相談しても無駄だと思ったから」、「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから」との回答が約 3 割を占めている。

### 5. 地域社会づくりについて

『地域活動等状況』については、「特にないもしていない」が約半数を占めているが、「公民館、地域女性団体、高齢者クラブ、青年団などの地域団体活動」との回答も約 4 割を占めている。

## 6. 男女共同参画社会について（用語の認知度を含む）

いちき串木野市において、『政策・方針決定過程に女性の参画が少ない理由』については、「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない」との回答が約4割を占めており、「女性側の関心や積極性が十分でない」、「男性になるほうがいい（なるものだ）」とと思っている人が多い」との回答も約3割を占めている。

『今後、男女が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参画するために必要なこと』については、「夫婦間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと」との意見が最も多く、次いで「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」、「労働時間を短縮したり、休暇制度を普及させたりすること」との意見も多くなっている。また、男女とも20代から40代で「労働時間を短縮したり、休暇制度を普及させたりすること」との回答が最も多い状況である。

『男女共同参画に関する用語の認知度』については、「セクシュアル・ハラスメント」や「ドメスティック・バイオレンス（DV）」で「言葉も内容もよく知っている」との回答が性別・年代別に問わず、広く認知されている一方、「リプロダクション・ヘルス／ライツ（性と生殖に関する健康／権利）」や「鹿児島県男女共同参画週間（7/25～31）」、「ジェンダー」では半数以上が「言葉も内容も知らない」と回答しており、認知度が低いことがうかがえる。

## 第3章 調査結果の分析



# 1. 男女平等について

【問 1】あなたは、次にあげる項目で男女の地位は平等になっていると思いますか。（SA）

## 【全体】

全体でみると、“非常にもしくはかなり平等になっている（「非常に平等になっている」＋「かなり平等になっている」）”との回答は、6項目中、「家庭生活で」が42.6%と最も多く、次いで「学校（学校教育の中）で（37.8%）」、「法律や制度の上で（32.2%）」の順となっている。

一方で、“あまりもしくは全く平等になっていない（「あまり平等になっていない」＋「全く平等になっていない」）”との回答は、6項目中、「社会通念、慣習・しきたりなどで」が39.2%と最も多く、次いで「集落、公民館などの地域社会で（25.7%）」、「職場で（23.0%）」の順となっている。

## 【性別】

性別でみると、“非常にもしくはかなり平等になっている”との回答は、6項目中すべての項目で、女性より男性が上回っている。

また、“非常にもしくはかなり平等になっている”との回答で、男女間の意識の差が最も大きい項目は、「法律や制度の上で」となっており、女性が24.6%、男性が43.4%と、18.9ポイントの差が出ている。次いで、「家庭生活で」では、女性が36.5%、男性が51.9%と、15.4ポイントの差が出ている。

一方で、“あまりもしくは全く平等になっていない”との回答で、男女間の意識の差が最も大きい項目は、「社会通念、慣習・しきたりなどで」となっており、女性が45.1%、男性が30.6%と、14.5ポイントの差が出ている。次いで、「家庭生活で」では、女性が27.9%、男性が13.6%と、14.3ポイントの差が出ている。

## 【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、“非常にもしくはかなり平等になっている”との回答は、「家庭生活で」が0.6ポイントの増加、「職場で」が1.8ポイントの増加となっている。一方で、「集落・公民館などの地域社会で」が1.8ポイントの減少となっている。

## 【A 家庭生活で】

全体及び男性で、「かなり平等になっている」との回答が最も多く、女性では「少し平等になっている」との回答が最も多い。

性別・年代別でみると、女性では、“非常にもしくはかなり平等になっている”との回答が40代で44.4%と最も多く、一方で、“あまりもしくは全く平等になっていない”との回答が20代で32.3%と最も多い。

男性では、“非常にもしくはかなり平等になっている”との回答が70歳以上で58.4%と最も多く、一方で、“あまりもしくは全く平等になっていない”との回答が20代で20.0%と最も多い。

## 【B 職場で】

全体及び女性で、「少し平等になっている」との回答が最も多く、男性では「かなり平等になっている」との回答が最も多い。

性別・年代別でみると、女性では、“非常にもしくはかなり平等になっている”との回答が40代で35.6%と最も多く、一方で、“あまりもしくは全く平等になっていない”との回答が30代で35.0%と最も多い。

男性では、“非常にもしくはかなり平等になっている”との回答が40代で55.4%と最も多く、一方で、“あまりもしくは全く平等になっていない”との回答が30代で44.0%と最も多い。

**【C 集落、公民館などの地域社会で】**

全体及び男女とも、「少し平等になっている」との回答が最も多い。

性別・年代別で見ると、女性では、“非常にもしくはかなり平等になっている”との回答が60代で27.2%と最も多く、一方で、“あまりもしくは全く平等になっていない”との回答が40代で41.1%と最も多い。

男性では、“非常にもしくはかなり平等になっている”との回答が70歳以上で47.2%と最も多く、一方で、“あまりもしくは全く平等になっていない”との回答が30代で32.0%と最も多い。

**【D 学校（学校教育の中）で】**

全体及び男性で、「かなり平等になっている」との回答が最も多く、女性では「少し平等になっている」との回答が最も多い。

性別・年代別で見ると、女性では、“非常にもしくはかなり平等になっている”との回答が40代で40.0%と最も多く、一方で、“あまりもしくは全く平等になっていない”との回答が20代で19.4%と最も多い。

男性では、“非常にもしくはかなり平等になっている”との回答が40代で58.9%と最も多く、一方で、“あまりもしくは全く平等になっていない”との回答が20代で20.0%と最も多い。

**【E 法律や制度の上で】**

全体及び男性で、「かなり平等になっている」との回答が最も多く、女性では「少し平等になっている」との回答が最も多い。

性別・年代別で見ると、女性では“非常にもしくはかなり平等になっている”との回答が、60代で31.8%と最も多く、一方で、“あまりもしくは全く平等になっていない”との回答が30代で30.0%と最も多い。

男性では、“非常にもしくはかなり平等になっている”との回答が50代で51.5%と最も多く、一方で、“あまりもしくは全く平等になっていない”との回答が30代で52.0%と最も多い。

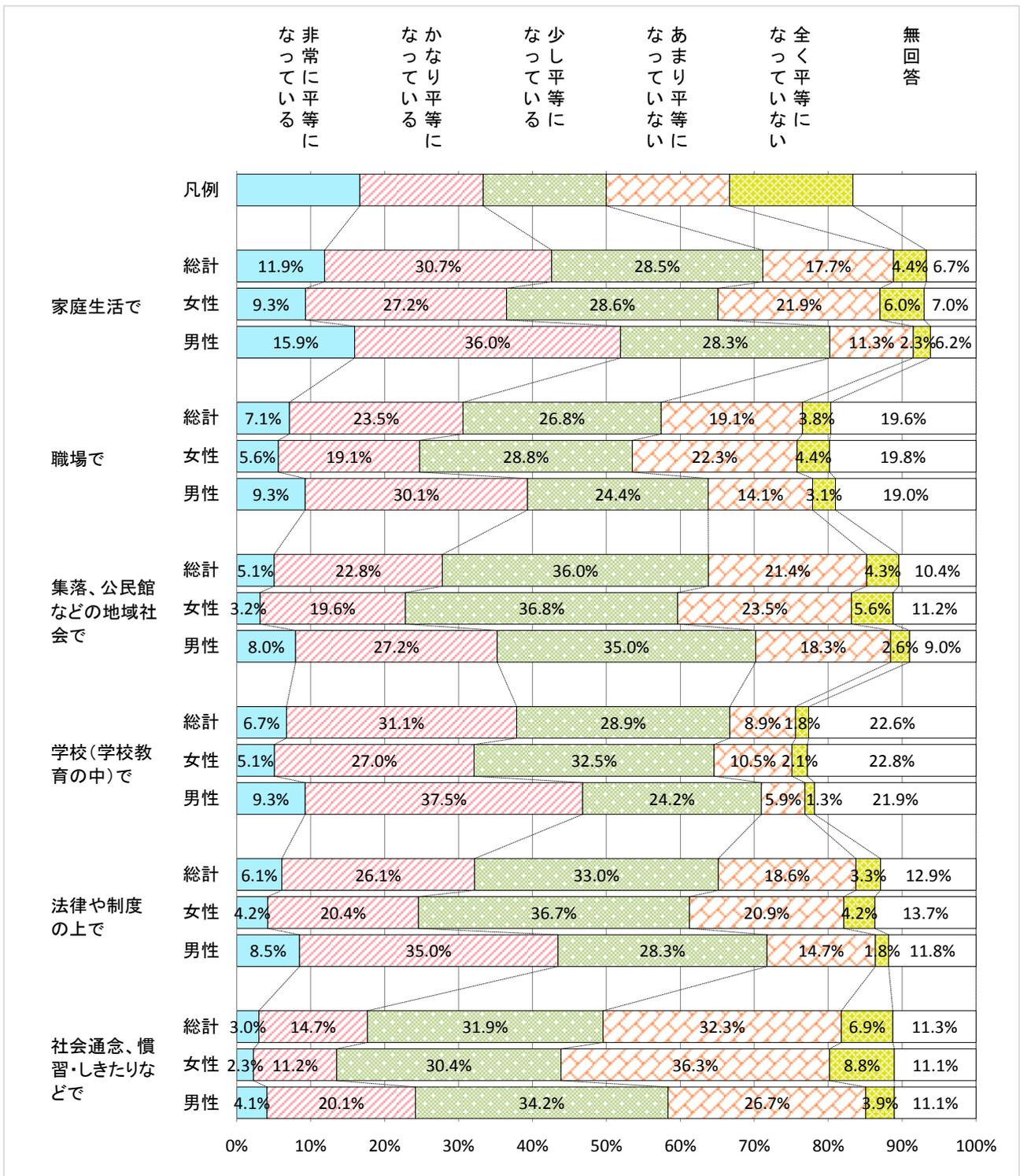
**【F 社会通念、慣習・しきたりなどで】**

全体及び女性で、「あまり平等になっていない」との回答が最も多く、男性では「少し平等になっている」との回答が最も多い。

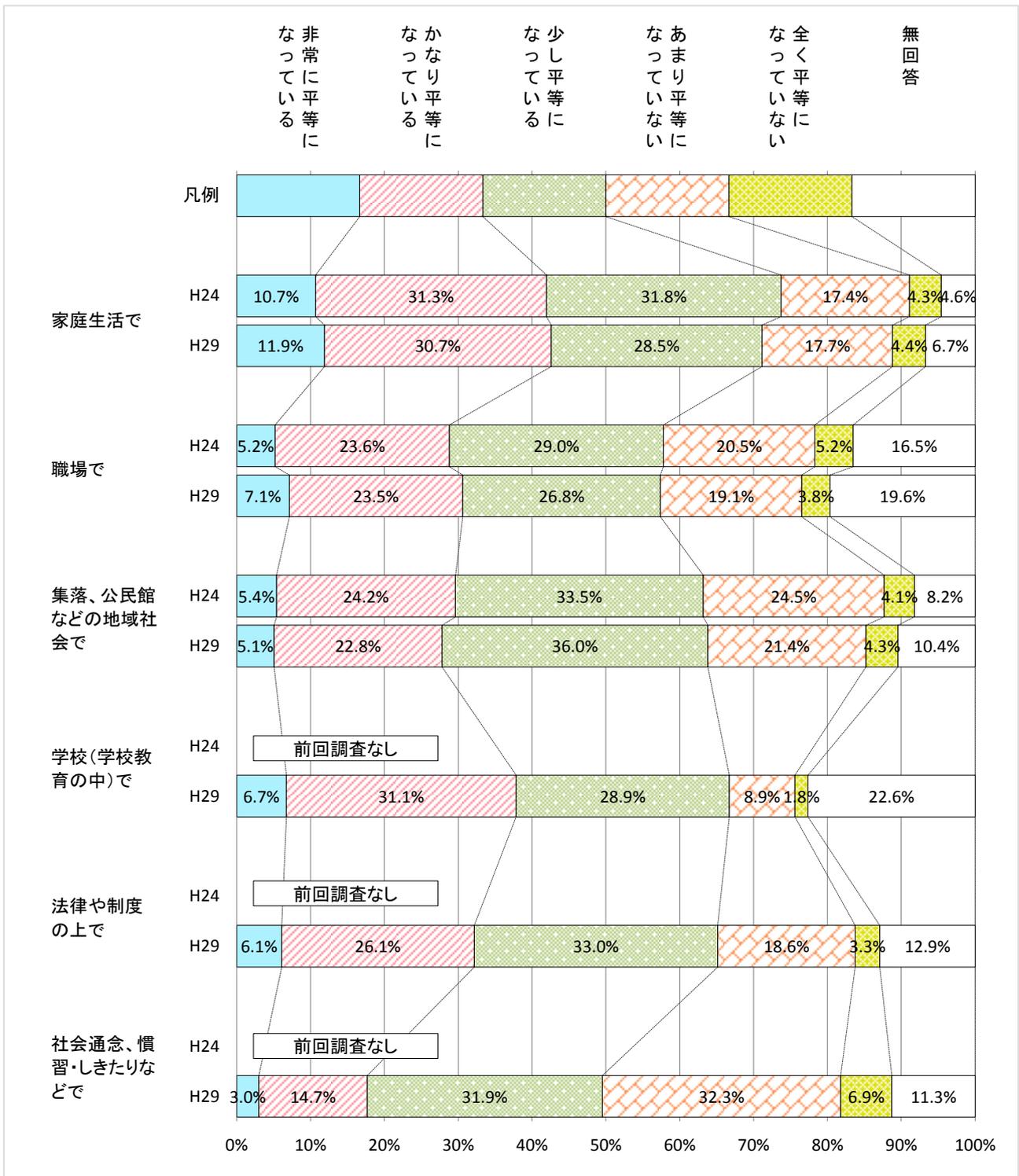
性別・年代別で見ると、女性では、“非常にもしくはかなり平等になっている”との回答が70歳以上で20.0%と最も多く、一方で、“あまりもしくは全く平等になっていない”との回答が30代で58.3%と最も多い。

男性では、“非常にもしくはかなり平等になっている”との回答が60代で29.0%と最も多く、一方で、“あまりもしくは全く平等になっていない”との回答が30代で68.0%と最も多く、約7割を占めている。

図表 1-1 各分野の男女の地位の平等感【全体及び性別】



図表 1-2 各分野の男女の地位の平等感【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 1-3 各分野の男女の地位の平等感【家庭生活で】

		回答者数	非常に平等になって	いかなり平等になって	少し平等になって	あまり平等になって	全く平等になって	無回答
		上段:回答数(人) 下段:構成比(%)						
総計		967	115	297	276	171	43	65
		100.0%	11.9%	30.7%	28.5%	17.7%	4.4%	6.7%
性・年代別	女性	570	53	155	163	125	34	40
		100.0%	9.3%	27.2%	28.6%	21.9%	6.0%	7.0%
	20代	31	2	6	13	7	3	0
		100.0%	6.5%	19.4%	41.9%	22.6%	9.7%	0.0%
	30代	60	9	17	18	11	4	1
		100.0%	15.0%	28.3%	30.0%	18.3%	6.7%	1.7%
	40代	90	11	29	19	23	3	5
		100.0%	12.2%	32.2%	21.1%	25.6%	3.3%	5.6%
	50代	108	9	30	34	25	4	6
		100.0%	8.3%	27.8%	31.5%	23.1%	3.7%	5.6%
	60代	151	14	39	49	33	11	5
		100.0%	9.3%	25.8%	32.5%	21.9%	7.3%	3.3%
	70歳以上	130	8	34	30	26	9	23
		100.0%	6.2%	26.2%	23.1%	20.0%	6.9%	17.7%
	男性	389	62	140	110	44	9	24
		100.0%	15.9%	36.0%	28.3%	11.3%	2.3%	6.2%
20代	20	4	7	5	4	0	0	
	100.0%	20.0%	35.0%	25.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
30代	25	4	6	13	1	0	1	
	100.0%	16.0%	24.0%	52.0%	4.0%	0.0%	4.0%	
40代	56	10	19	18	7	1	1	
	100.0%	17.9%	33.9%	32.1%	12.5%	1.8%	1.8%	
50代	68	16	20	22	7	0	3	
	100.0%	23.5%	29.4%	32.4%	10.3%	0.0%	4.4%	
60代	131	12	52	36	17	5	9	
	100.0%	9.2%	39.7%	27.5%	13.0%	3.8%	6.9%	
70歳以上	89	16	36	16	8	3	10	
	100.0%	18.0%	40.4%	18.0%	9.0%	3.4%	11.2%	

図表 1-4 各分野の男女の地位の平等感【職場で】

		回答者数	非常に平等になって	いかなり平等になって	少し平等になって	あまり平等になって	全く平等になって	無回答
		上段:回答数(人) 下段:構成比(%)						
総計		967	69	227	259	185	37	190
		100.0%	7.1%	23.5%	26.8%	19.1%	3.8%	19.6%
性・年代別	女性	570	32	109	164	127	25	113
		100.0%	5.6%	19.1%	28.8%	22.3%	4.4%	19.8%
	20代	31	2	5	13	7	1	3
		100.0%	6.5%	16.1%	41.9%	22.6%	3.2%	9.7%
	30代	60	5	13	18	17	4	3
		100.0%	8.3%	21.7%	30.0%	28.3%	6.7%	5.0%
	40代	90	4	28	28	21	5	4
		100.0%	4.4%	31.1%	31.1%	23.3%	5.6%	4.4%
	50代	108	9	25	39	25	4	6
		100.0%	8.3%	23.1%	36.1%	23.1%	3.7%	5.6%
	60代	151	6	25	43	42	8	27
		100.0%	4.0%	16.6%	28.5%	27.8%	5.3%	17.9%
	70歳以上	130	6	13	23	15	3	70
		100.0%	4.6%	10.0%	17.7%	11.5%	2.3%	53.8%
	男性	389	36	117	95	55	12	74
		100.0%	9.3%	30.1%	24.4%	14.1%	3.1%	19.0%
20代	20	3	7	6	3	1	0	
	100.0%	15.0%	35.0%	30.0%	15.0%	5.0%	0.0%	
30代	25	2	3	9	10	1	0	
	100.0%	8.0%	12.0%	36.0%	40.0%	4.0%	0.0%	
40代	56	5	26	17	6	1	1	
	100.0%	8.9%	46.4%	30.4%	10.7%	1.8%	1.8%	
50代	68	11	23	19	7	3	5	
	100.0%	16.2%	33.8%	27.9%	10.3%	4.4%	7.4%	
60代	131	10	44	26	20	5	26	
	100.0%	7.6%	33.6%	19.8%	15.3%	3.8%	19.8%	
70歳以上	89	5	14	18	9	1	42	
	100.0%	5.6%	15.7%	20.2%	10.1%	1.1%	47.2%	

図表 1-5 各分野の男女の地位の平等感【集落、公民館などの地域社会で】

		回答者数	非常に平等になって	かなり平等になって	少し平等になって	あまり平等になって	全く平等になって	無回答
		上段:回答数(人) 下段:構成比(%)						
総計		967	49	220	348	207	42	101
		100.0%	5.1%	22.8%	36.0%	21.4%	4.3%	10.4%
性・年代別	女性	570	18	112	210	134	32	64
		100.0%	3.2%	19.6%	36.8%	23.5%	5.6%	11.2%
	20代	31	1	5	12	9	1	3
		100.0%	3.2%	16.1%	38.7%	29.0%	3.2%	9.7%
	30代	60	2	14	19	14	8	3
		100.0%	3.3%	23.3%	31.7%	23.3%	13.3%	5.0%
	40代	90	2	15	32	29	8	4
		100.0%	2.2%	16.7%	35.6%	32.2%	8.9%	4.4%
	50代	108	4	16	53	29	1	5
		100.0%	3.7%	14.8%	49.1%	26.9%	0.9%	4.6%
	60代	151	5	36	55	35	5	15
		100.0%	3.3%	23.8%	36.4%	23.2%	3.3%	9.9%
	70歳以上	130	4	26	39	18	9	34
		100.0%	3.1%	20.0%	30.0%	13.8%	6.9%	26.2%
男性	389	31	106	136	71	10	35	
	100.0%	8.0%	27.2%	35.0%	18.3%	2.6%	9.0%	
20代	20	2	5	9	2	1	1	
	100.0%	10.0%	25.0%	45.0%	10.0%	5.0%	5.0%	
30代	25	1	7	8	7	1	1	
	100.0%	4.0%	28.0%	32.0%	28.0%	4.0%	4.0%	
40代	56	1	15	28	10	1	1	
	100.0%	1.8%	26.8%	50.0%	17.9%	1.8%	1.8%	
50代	68	9	11	28	12	1	7	
	100.0%	13.2%	16.2%	41.2%	17.6%	1.5%	10.3%	
60代	131	8	36	46	27	5	9	
	100.0%	6.1%	27.5%	35.1%	20.6%	3.8%	6.9%	
70歳以上	89	10	32	17	13	1	16	
	100.0%	11.2%	36.0%	19.1%	14.6%	1.1%	18.0%	

図表 1-6 各分野の男女の地位の平等感【学校（学校教育の中）で】

		回答者数	非常に平等になって	かなり平等になって	少し平等になって	あまり平等になって	全く平等になって	無回答
		上段:回答数(人) 下段:構成比(%)						
総計		967	65	301	279	86	17	219
		100.0%	6.7%	31.1%	28.9%	8.9%	1.8%	22.6%
性・年代別	女性	570	29	154	185	60	12	130
		100.0%	5.1%	27.0%	32.5%	10.5%	2.1%	22.8%
	20代	31	3	8	11	5	1	3
		100.0%	9.7%	25.8%	35.5%	16.1%	3.2%	9.7%
	30代	60	6	16	28	5	3	2
		100.0%	10.0%	26.7%	46.7%	8.3%	5.0%	3.3%
	40代	90	4	32	36	10	1	7
		100.0%	4.4%	35.6%	40.0%	11.1%	1.1%	7.8%
	50代	108	7	25	42	19	0	15
		100.0%	6.5%	23.1%	38.9%	17.6%	0.0%	13.9%
	60代	151	5	49	45	15	3	34
		100.0%	3.3%	32.5%	29.8%	9.9%	2.0%	22.5%
	70歳以上	130	4	24	23	6	4	69
		100.0%	3.1%	18.5%	17.7%	4.6%	3.1%	53.1%
男性	389	36	146	94	23	5	85	
	100.0%	9.3%	37.5%	24.2%	5.9%	1.3%	21.9%	
20代	20	4	7	4	2	2	1	
	100.0%	20.0%	35.0%	20.0%	10.0%	10.0%	5.0%	
30代	25	3	6	13	3	0	0	
	100.0%	12.0%	24.0%	52.0%	12.0%	0.0%	0.0%	
40代	56	3	30	15	6	0	2	
	100.0%	5.4%	53.6%	26.8%	10.7%	0.0%	3.6%	
50代	68	9	29	16	2	0	12	
	100.0%	13.2%	42.6%	23.5%	2.9%	0.0%	17.6%	
60代	131	10	46	36	5	3	31	
	100.0%	7.6%	35.1%	27.5%	3.8%	2.3%	23.7%	
70歳以上	89	7	28	10	5	0	39	
	100.0%	7.9%	31.5%	11.2%	5.6%	0.0%	43.8%	

図表 1-7 各分野の男女の地位の平等感【法律や制度の上で】

		回答者数	非常に平等になって	いかなり平等になって	少し平等になって	あまり平等になって	全く平等になって	無回答
		上段:回答数(人) 下段:構成比(%)						
総計		967	59	252	319	180	32	125
		100.0%	6.1%	26.1%	33.0%	18.6%	3.3%	12.9%
性・年代別	女性	570	24	116	209	119	24	78
		100.0%	4.2%	20.4%	36.7%	20.9%	4.2%	13.7%
	20代	31	1	4	15	7	1	3
		100.0%	3.2%	12.9%	48.4%	22.6%	3.2%	9.7%
	30代	60	2	11	29	11	7	0
		100.0%	3.3%	18.3%	48.3%	18.3%	11.7%	0.0%
	40代	90	5	20	36	20	5	4
		100.0%	5.6%	22.2%	40.0%	22.2%	5.6%	4.4%
	50代	108	5	16	50	30	1	6
		100.0%	4.6%	14.8%	46.3%	27.8%	0.9%	5.6%
	60代	151	5	43	47	34	4	18
		100.0%	3.3%	28.5%	31.1%	22.5%	2.6%	11.9%
	70歳以上	130	6	22	32	17	6	47
		100.0%	4.6%	16.9%	24.6%	13.1%	4.6%	36.2%
	男性	389	33	136	110	57	7	46
		100.0%	8.5%	35.0%	28.3%	14.7%	1.8%	11.8%
	20代	20	3	4	7	4	1	1
	100.0%	15.0%	20.0%	35.0%	20.0%	5.0%	5.0%	
30代	25	1	4	7	12	1	0	
	100.0%	4.0%	16.0%	28.0%	48.0%	4.0%	0.0%	
40代	56	2	24	24	5	0	1	
	100.0%	3.6%	42.9%	42.9%	8.9%	0.0%	1.8%	
50代	68	8	27	20	6	2	5	
	100.0%	11.8%	39.7%	29.4%	8.8%	2.9%	7.4%	
60代	131	12	52	34	18	3	12	
	100.0%	9.2%	39.7%	26.0%	13.7%	2.3%	9.2%	
70歳以上	89	7	25	18	12	0	27	
	100.0%	7.9%	28.1%	20.2%	13.5%	0.0%	30.3%	

図表 1-8 各分野の男女の地位の平等感【社会通念、慣習・しきたりなどで】

		回答者数	非常に平等になって	いかなり平等になって	少し平等になって	あまり平等になって	全く平等になって	無回答
		上段:回答数(人) 下段:構成比(%)						
総計		967	29	142	308	312	67	109
		100.0%	3.0%	14.7%	31.9%	32.3%	6.9%	11.3%
性・年代別	女性	570	13	64	173	207	50	63
		100.0%	2.3%	11.2%	30.4%	36.3%	8.8%	11.1%
	20代	31	1	1	12	12	3	2
		100.0%	3.2%	3.2%	38.7%	38.7%	9.7%	6.5%
	30代	60	2	4	19	24	11	0
		100.0%	3.3%	6.7%	31.7%	40.0%	18.3%	0.0%
	40代	90	1	9	28	39	9	4
		100.0%	1.1%	10.0%	31.1%	43.3%	10.0%	4.4%
	50代	108	0	7	37	53	6	5
		100.0%	0.0%	6.5%	34.3%	49.1%	5.6%	4.6%
	60代	151	3	23	50	47	12	16
		100.0%	2.0%	15.2%	33.1%	31.1%	7.9%	10.6%
	70歳以上	130	6	20	27	32	9	36
		100.0%	4.6%	15.4%	20.8%	24.6%	6.9%	27.7%
	男性	389	16	78	133	104	15	43
		100.0%	4.1%	20.1%	34.2%	26.7%	3.9%	11.1%
	20代	20	2	3	4	7	3	1
	100.0%	10.0%	15.0%	20.0%	35.0%	15.0%	5.0%	
30代	25	1	1	6	16	1	0	
	100.0%	4.0%	4.0%	24.0%	64.0%	4.0%	0.0%	
40代	56	1	6	32	15	1	1	
	100.0%	1.8%	10.7%	57.1%	26.8%	1.8%	1.8%	
50代	68	3	16	21	18	4	6	
	100.0%	4.4%	23.5%	30.9%	26.5%	5.9%	8.8%	
60代	131	5	33	44	33	4	12	
	100.0%	3.8%	25.2%	33.6%	25.2%	3.1%	9.2%	
70歳以上	89	4	19	26	15	2	23	
	100.0%	4.5%	21.3%	29.2%	16.9%	2.2%	25.8%	

【問2】 次のA～Jのそれぞれの項目について、右欄の1～5のうち、あてはまる番号を1つお選びください。(SA)

### 【全体】

全体でみると、性別役割分担意識について、“肯定的である（「そう思う」＋「どちらかと言えばそう思う」）」回答は、10項目中、「子どもが3歳くらいまでは母親のもとで育てる方がよい」が67.6%と最も多く、次いで「妻や子供を養うのは、男性の責任である（51.7%）」、「職場で、来客にお茶を出すのは女性がした方がよい（50.9%）」の順となっている。

一方で、“否定的である（「どちらかと言えばそう思わない」＋「そう思わない」）」回答は、10項目中、『男性は仕事、女性は家事・育児』と役割を分担する方がよい」が38.1%と最も多く、次いで「夫の親を妻が介護・看護するのは当然だと思う（28.3%）」、「男性の方が女性より、管理者としての資質がある（24.3%）」の順となっている。

また、“否定的である”回答が、“肯定的である”回答を上回る項目は2項目あり、『男性は仕事、女性は家事・育児』と役割を分担する方がよい』では15.6ポイント、「夫の親を妻が介護・看護するのは当然だと思う」は3.3ポイント上回っている。

### 【性別】

性別でみると、“肯定的である”回答は、10項目中すべての項目で、女性より男性が上回っている。

また、“肯定的である”回答で、男女間の意識の差が最も大きい項目は、「妻や子供を養うのは、男性の責任である」となっており、女性が41.9%、男性が66.6%と、24.7ポイントの差が出ている。次いで、「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい」では、女性が39.5%、男性が63.5%と、24.0ポイントの差が出ている。

一方で、“否定的である”との回答で、男女間の意識の差が最も大きい項目は、『男性は仕事、女性は家事・育児』と役割を分担する方がよい』となっており、女性が45.3%、男性が26.7%と、18.5ポイントの差が出ている。次いで、「夫の親を妻が介護・看護するのは当然だと思う」では、女性が33.7%、男性が20.3%と、13.4ポイントの差が出ている。

### 【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、“肯定的である”回答は、10項目中すべての項目で、前回調査より今回調査が下回っている。このことから、すべての項目において、性別役割分担の意識が薄まってきていることがうかがえる。

特に、「妻や子供を養うのは、男性の責任である」では12.0ポイントの減少、「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい」では10.5ポイントの減少と、1割を超えて、“肯定的である”回答が減少している。

### 【A 「男性は仕事、女性は家事・育児」と役割を分担する方がよい】

全体及び男女とも、「どちらとも言えないと思う」との回答が最も多い。

性別・年代別でみると、女性では、“肯定的である”回答が70歳以上で24.6%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が20代で64.5%と最も多い。

男性では、“肯定的である”回答が70歳以上で43.8%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が20代で55.0%と最も多い。

### 【B 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい】

全体及び男性で、「どちらかと言えばそう思う」との回答が最も多く、女性では「どちらとも言えないと思う」との回答が最も多い。

性別・年代別でみると、女性では、“肯定的である”回答が70歳以上で53.8%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が20代で48.4%と最も多い。

男性では、“肯定的である”回答が50代で69.1%と最も多く、約7割を占めており、一方で、“否定的である”回答が20代で45.0%と最も多い。

**【C 妻や子供を養うのは、男性の責任である】**

全体及び男性で、「どちらかと言えばそう思う」との回答が最も多く、女性では「どちらとも言えないと思う」との回答が最も多い。

性別・年代別で見ると、女性では、“肯定的である”回答が30代で46.7%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が20代で35.5%と最も多い。

男性では、“肯定的である”回答が50代で75.0%と最も多く、約8割を占めており、一方で、“否定的である”回答が20代で30.0%と最も多い。

**【D 結婚したら、妻が夫の姓を名乗るのは当然だと思う】**

全体及び女性で、「どちらとも言えないと思う」との回答が最も多く、男性では「どちらかと言えばそう思う」及び「どちらとも言えないと思う」との回答が最も多い。

性別・年代別で見ると、女性では、“肯定的である”回答が70歳以上で56.2%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が20代で29.0%と最も多い。

男性では、“肯定的である”回答が70歳以上で67.4%と最も多く、約7割を占めており、一方で、“否定的である”回答が30代で28.0%と最も多い。

**【E 職場で、来客にお茶を出すのは女性がした方がよい】**

全体及び男女とも、「どちらかと言えばそう思う」との回答が最も多い。

性別・年代別で見ると、女性では、“肯定的である”回答が50代で54.6%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が20代で45.2%と最も多い。

男性では、“肯定的である”回答が60代で62.6%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が20代で45.0%と最も多い。

**【F 男性は少しくらい強引に女性をリードする方がよい】**

全体及び男女とも、「どちらとも言えないと思う」との回答が最も多い。

性別・年代別で見ると、女性では、“肯定的である”回答が30代で55.0%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が20代で38.7%と最も多い。

男性では、“肯定的である”回答が70歳以上で53.9%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が20代で50.0%と最も多い。

**【G 夫の親を妻が介護・看護するのは当然だと思う】**

全体及び男女とも、「どちらとも言えないと思う」との回答が最も多い。

性別・年代別で見ると、女性では、“肯定的である”回答が70歳以上で40.0%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が20代で64.5%と最も多い。

男性では、“肯定的である”回答が70歳以上で39.3%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が20代で45.0%と最も多い。

**【H 男性の方が女性より、管理者としての資質がある】**

全体及び男女とも、「どちらとも言えないと思う」との回答が最も多い。

性別・年代別で見ると、女性では、“肯定的である”回答が30代で30.0%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が20代で35.5%と最も多い。

男性では、“肯定的である”回答が60代で34.4%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が20代で55.0%と最も多い。

**【I 育児・介護休業は、男性より女性がとった方がよい】**

全体及び女性で、「どちらとも言えないと思う」との回答が最も多く、男性では「どちらかと言えばそう思う」との回答が最も多い。

性別・年代別で見ると、女性では、“肯定的である”回答が70歳以上で59.2%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が20代で29.0%と最も多い。

男性では、“肯定的である”回答が70歳以上で62.9%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が20代で35.0%と最も多い。

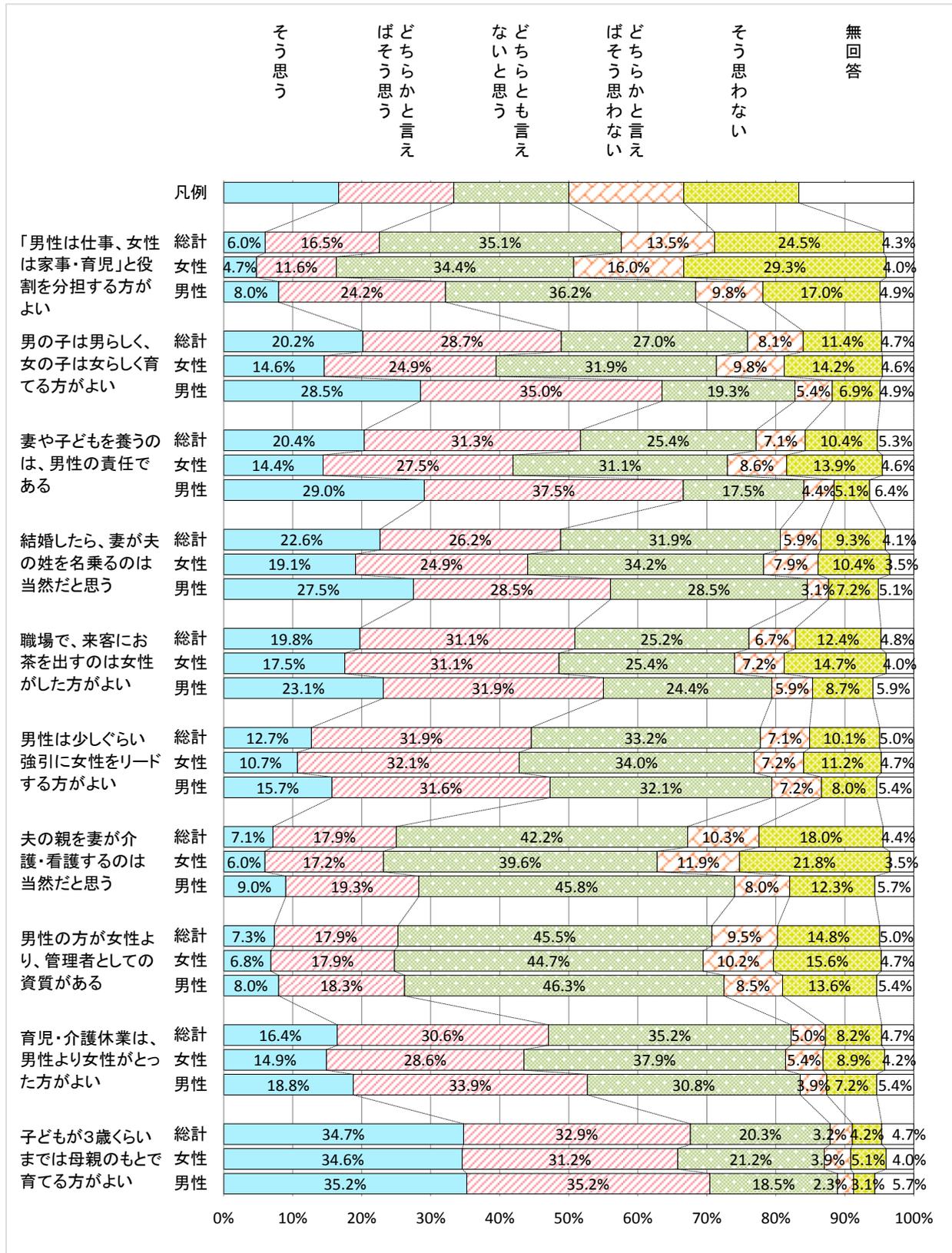
【J 子どもが3歳くらいまでは母親のもとで育てる方がよい】

全体及び女性で、「そう思う」との回答が最も多く、男性では「そう思う」及び「どちらかと言えばそう思う」との回答が最も多い。

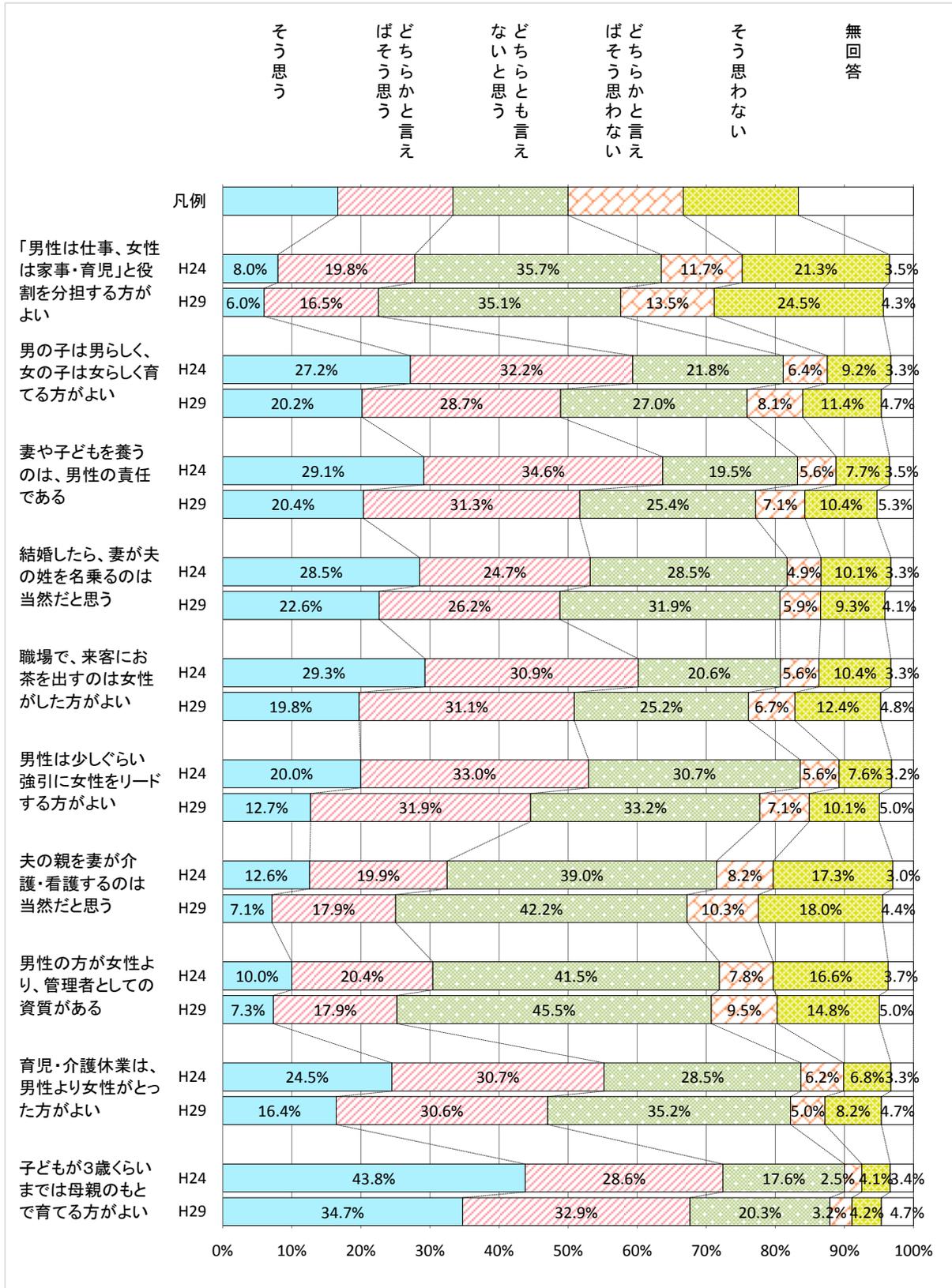
性別・年代別でみると、女性では、“肯定的である”回答が70歳以上で75.4%と最も多く、約8割を占めており、一方で、“否定的である”回答が20代で25.8%と最も多い。

男性では、“肯定的である”回答が70歳以上で74.2%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が20代で25.0%と最も多い。

図表 2-1 性別役割分担意識【全体及び性別】



図表 2-2 性別役割分担意識【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 2-3 項目別性別役割分担意識【「男性は仕事、女性は家事・育児」と役割を分担する方がよい】

		回答者数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答
		上段: 回答数(人)						
		下段: 構成比(%)						
総計		967	58	160	339	131	237	42
		100.0%	6.0%	16.5%	35.1%	13.5%	24.5%	4.3%
性・年代別	女性	570	27	66	196	91	167	23
		100.0%	4.7%	11.6%	34.4%	16.0%	29.3%	4.0%
	20代	31	0	3	8	5	15	0
		100.0%	0.0%	9.7%	25.8%	16.1%	48.4%	0.0%
	30代	60	7	6	19	12	16	0
		100.0%	11.7%	10.0%	31.7%	20.0%	26.7%	0.0%
	40代	90	1	8	31	19	29	2
		100.0%	1.1%	8.9%	34.4%	21.1%	32.2%	2.2%
	50代	108	0	14	33	22	36	3
		100.0%	0.0%	13.0%	30.6%	20.4%	33.3%	2.8%
	60代	151	4	18	55	19	51	4
		100.0%	2.6%	11.9%	36.4%	12.6%	33.8%	2.6%
	70歳以上	130	15	17	50	14	20	14
		100.0%	11.5%	13.1%	38.5%	10.8%	15.4%	10.8%
	男性	389	31	94	141	38	66	19
		100.0%	8.0%	24.2%	36.2%	9.8%	17.0%	4.9%
	20代	20	0	5	4	3	8	0
	100.0%	0.0%	25.0%	20.0%	15.0%	40.0%	0.0%	
30代	25	2	4	11	2	6	0	
	100.0%	8.0%	16.0%	44.0%	8.0%	24.0%	0.0%	
40代	56	1	11	27	6	10	1	
	100.0%	1.8%	19.6%	48.2%	10.7%	17.9%	1.8%	
50代	68	4	19	23	6	12	4	
	100.0%	5.9%	27.9%	33.8%	8.8%	17.6%	5.9%	
60代	131	12	28	50	14	23	4	
	100.0%	9.2%	21.4%	38.2%	10.7%	17.6%	3.1%	
70歳以上	89	12	27	26	7	7	10	
	100.0%	13.5%	30.3%	29.2%	7.9%	7.9%	11.2%	

図表 2-4 項目別性別役割分担意識【男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい】

		回答者数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答
		上段: 回答数(人)						
		下段: 構成比(%)						
総計		967	195	278	261	78	110	45
		100.0%	20.2%	28.7%	27.0%	8.1%	11.4%	4.7%
性・年代別	女性	570	83	142	182	56	81	26
		100.0%	14.6%	24.9%	31.9%	9.8%	14.2%	4.6%
	20代	31	0	7	9	4	11	0
		100.0%	0.0%	22.6%	29.0%	12.9%	35.5%	0.0%
	30代	60	6	19	20	2	13	0
		100.0%	10.0%	31.7%	33.3%	3.3%	21.7%	0.0%
	40代	90	10	23	32	9	14	2
		100.0%	11.1%	25.6%	35.6%	10.0%	15.6%	2.2%
	50代	108	13	27	45	9	10	4
		100.0%	12.0%	25.0%	41.7%	8.3%	9.3%	3.7%
	60代	151	15	35	53	22	20	6
		100.0%	9.9%	23.2%	35.1%	14.6%	13.2%	4.0%
	70歳以上	130	39	31	23	10	13	14
		100.0%	30.0%	23.8%	17.7%	7.7%	10.0%	10.8%
	男性	389	111	136	75	21	27	19
		100.0%	28.5%	35.0%	19.3%	5.4%	6.9%	4.9%
	20代	20	2	3	6	5	4	0
	100.0%	10.0%	15.0%	30.0%	25.0%	20.0%	0.0%	
30代	25	3	12	4	2	4	0	
	100.0%	12.0%	48.0%	16.0%	8.0%	16.0%	0.0%	
40代	56	14	20	18	1	2	1	
	100.0%	25.0%	35.7%	32.1%	1.8%	3.6%	1.8%	
50代	68	17	30	8	3	7	3	
	100.0%	25.0%	44.1%	11.8%	4.4%	10.3%	4.4%	
60代	131	36	49	27	5	7	7	
	100.0%	27.5%	37.4%	20.6%	3.8%	5.3%	5.3%	
70歳以上	89	39	22	12	5	3	8	
	100.0%	43.8%	24.7%	13.5%	5.6%	3.4%	9.0%	

図表 2-5 項目別性別役割分担意識【妻や子どもを養うのは、男性の責任である】

		回答者数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	どちらかとも言えない	そう思わない	無回答
		上段: 回答数(人)						
		下段: 構成比(%)						
総計		967	197	303	246	69	101	51
		100.0%	20.4%	31.3%	25.4%	7.1%	10.4%	5.3%
性・年代別	女性	570	82	157	177	49	79	26
		100.0%	14.4%	27.5%	31.1%	8.6%	13.9%	4.6%
	20代	31	3	5	12	2	9	0
		100.0%	9.7%	16.1%	38.7%	6.5%	29.0%	0.0%
	30代	60	9	19	20	6	5	1
		100.0%	15.0%	31.7%	33.3%	10.0%	8.3%	1.7%
	40代	90	11	28	27	9	13	2
		100.0%	12.2%	31.1%	30.0%	10.0%	14.4%	2.2%
	50代	108	9	35	39	9	13	3
		100.0%	8.3%	32.4%	36.1%	8.3%	12.0%	2.8%
	60代	151	16	47	44	15	23	6
		100.0%	10.6%	31.1%	29.1%	9.9%	15.2%	4.0%
	70歳以上	130	34	23	35	8	16	14
		100.0%	26.2%	17.7%	26.9%	6.2%	12.3%	10.8%
男性	389	113	146	68	17	20	25	
	100.0%	29.0%	37.5%	17.5%	4.4%	5.1%	6.4%	
20代	20	3	4	6	3	3	1	
	100.0%	15.0%	20.0%	30.0%	15.0%	15.0%	5.0%	
30代	25	5	10	5	1	4	0	
	100.0%	20.0%	40.0%	20.0%	4.0%	16.0%	0.0%	
40代	56	12	24	10	5	3	2	
	100.0%	21.4%	42.9%	17.9%	8.9%	5.4%	3.6%	
50代	68	26	25	8	2	3	4	
	100.0%	38.2%	36.8%	11.8%	2.9%	4.4%	5.9%	
60代	131	38	51	27	4	4	7	
	100.0%	29.0%	38.9%	20.6%	3.1%	3.1%	5.3%	
70歳以上	89	29	32	12	2	3	11	
	100.0%	32.6%	36.0%	13.5%	2.2%	3.4%	12.4%	

図表 2-6 項目別性別役割分担意識【結婚したら、妻が夫の性を名乗るのは当然だと思う】

		回答者数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	どちらかとも言えない	そう思わない	無回答
		上段: 回答数(人)						
		下段: 構成比(%)						
総計		967	219	253	308	57	90	40
		100.0%	22.6%	26.2%	31.9%	5.9%	9.3%	4.1%
性・年代別	女性	570	109	142	195	45	59	20
		100.0%	19.1%	24.9%	34.2%	7.9%	10.4%	3.5%
	20代	31	2	8	12	1	8	0
		100.0%	6.5%	25.8%	38.7%	3.2%	25.8%	0.0%
	30代	60	10	16	24	6	4	0
		100.0%	16.7%	26.7%	40.0%	10.0%	6.7%	0.0%
	40代	90	10	24	37	4	13	2
		100.0%	11.1%	26.7%	41.1%	4.4%	14.4%	2.2%
	50代	108	10	22	51	13	8	4
		100.0%	9.3%	20.4%	47.2%	12.0%	7.4%	3.7%
	60代	151	31	45	43	11	16	5
		100.0%	20.5%	29.8%	28.5%	7.3%	10.6%	3.3%
	70歳以上	130	46	27	28	10	10	9
		100.0%	35.4%	20.8%	21.5%	7.7%	7.7%	6.9%
男性	389	107	111	111	12	28	20	
	100.0%	27.5%	28.5%	28.5%	3.1%	7.2%	5.1%	
20代	20	2	2	11	2	3	0	
	100.0%	10.0%	10.0%	55.0%	10.0%	15.0%	0.0%	
30代	25	6	4	8	1	6	0	
	100.0%	24.0%	16.0%	32.0%	4.0%	24.0%	0.0%	
40代	56	8	17	25	0	5	1	
	100.0%	14.3%	30.4%	44.6%	0.0%	8.9%	1.8%	
50代	68	14	22	20	2	7	3	
	100.0%	20.6%	32.4%	29.4%	2.9%	10.3%	4.4%	
60代	131	44	39	32	4	5	7	
	100.0%	33.6%	29.8%	24.4%	3.1%	3.8%	5.3%	
70歳以上	89	33	27	15	3	2	9	
	100.0%	37.1%	30.3%	16.9%	3.4%	2.2%	10.1%	

図表 2-7 項目別性別役割分担意識【職場で、来客にお茶を出すのは女性がした方がよい】

		回答者数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答
上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)								
総計		967	191	301	244	65	120	46
		100.0%	19.8%	31.1%	25.2%	6.7%	12.4%	4.8%
性・年代別	女性	570	100	177	145	41	84	23
		100.0%	17.5%	31.1%	25.4%	7.2%	14.7%	4.0%
	20代	31	3	5	9	4	10	0
		100.0%	9.7%	16.1%	29.0%	12.9%	32.3%	0.0%
	30代	60	10	15	20	2	13	0
		100.0%	16.7%	25.0%	33.3%	3.3%	21.7%	0.0%
	40代	90	10	31	25	5	17	2
		100.0%	11.1%	34.4%	27.8%	5.6%	18.9%	2.2%
	50代	108	16	43	25	9	12	3
		100.0%	14.8%	39.8%	23.1%	8.3%	11.1%	2.8%
	60代	151	22	54	37	14	19	5
		100.0%	14.6%	35.8%	24.5%	9.3%	12.6%	3.3%
	70歳以上	130	39	29	29	7	13	13
		100.0%	30.0%	22.3%	22.3%	5.4%	10.0%	10.0%
	男性	389	90	124	95	23	34	23
		100.0%	23.1%	31.9%	24.4%	5.9%	8.7%	5.9%
	20代	20	0	5	6	2	7	0
	100.0%	0.0%	25.0%	30.0%	10.0%	35.0%	0.0%	
30代	25	5	9	7	0	4	0	
	100.0%	20.0%	36.0%	28.0%	0.0%	16.0%	0.0%	
40代	56	10	18	20	3	4	1	
	100.0%	17.9%	32.1%	35.7%	5.4%	7.1%	1.8%	
50代	68	20	17	17	3	8	3	
	100.0%	29.4%	25.0%	25.0%	4.4%	11.8%	4.4%	
60代	131	32	50	25	9	7	8	
	100.0%	24.4%	38.2%	19.1%	6.9%	5.3%	6.1%	
70歳以上	89	23	25	20	6	4	11	
	100.0%	25.8%	28.1%	22.5%	6.7%	4.5%	12.4%	

図表 2-8 項目別性別役割分担意識【男性は少しぐらい強引に女性をリードする方がよい】

		回答者数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答
上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)								
総計		967	123	308	321	69	98	48
		100.0%	12.7%	31.9%	33.2%	7.1%	10.1%	5.0%
性・年代別	女性	570	61	183	194	41	64	27
		100.0%	10.7%	32.1%	34.0%	7.2%	11.2%	4.7%
	20代	31	2	5	12	3	9	0
		100.0%	6.5%	16.1%	38.7%	9.7%	29.0%	0.0%
	30代	60	8	25	19	3	5	0
		100.0%	13.3%	41.7%	31.7%	5.0%	8.3%	0.0%
	40代	90	8	30	29	7	14	2
		100.0%	8.9%	33.3%	32.2%	7.8%	15.6%	2.2%
	50代	108	6	41	39	9	9	4
		100.0%	5.6%	38.0%	36.1%	8.3%	8.3%	3.7%
	60代	151	15	49	55	10	16	6
		100.0%	9.9%	32.5%	36.4%	6.6%	10.6%	4.0%
	70歳以上	130	22	33	40	9	11	15
		100.0%	16.9%	25.4%	30.8%	6.9%	8.5%	11.5%
	男性	389	61	123	125	28	31	21
		100.0%	15.7%	31.6%	32.1%	7.2%	8.0%	5.4%
	20代	20	0	1	9	4	6	0
	100.0%	0.0%	5.0%	45.0%	20.0%	30.0%	0.0%	
30代	25	2	9	7	3	4	0	
	100.0%	8.0%	36.0%	28.0%	12.0%	16.0%	0.0%	
40代	56	8	15	26	2	4	1	
	100.0%	14.3%	26.8%	46.4%	3.6%	7.1%	1.8%	
50代	68	12	23	19	3	8	3	
	100.0%	17.6%	33.8%	27.9%	4.4%	11.8%	4.4%	
60代	131	21	45	40	13	6	6	
	100.0%	16.0%	34.4%	30.5%	9.9%	4.6%	4.6%	
70歳以上	89	18	30	24	3	3	11	
	100.0%	20.2%	33.7%	27.0%	3.4%	3.4%	12.4%	

図表 2-9 項目別性別役割分担意識【夫の親を妻が介護・看病するのは当然だと思う】

	回答者数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えないと思う	どちらかとも言えない	そう思わない	無回答
総計	967	69	173	408	100	174	43
	100.0%	7.1%	17.9%	42.2%	10.3%	18.0%	4.4%
女性	570	34	98	226	68	124	20
	100.0%	6.0%	17.2%	39.6%	11.9%	21.8%	3.5%
20代	31	0	1	10	5	15	0
	100.0%	0.0%	3.2%	32.3%	16.1%	48.4%	0.0%
30代	60	1	8	28	5	18	0
	100.0%	1.7%	13.3%	46.7%	8.3%	30.0%	0.0%
40代	90	2	15	35	13	23	2
	100.0%	2.2%	16.7%	38.9%	14.4%	25.6%	2.2%
50代	108	4	15	47	17	23	2
	100.0%	3.7%	13.9%	43.5%	15.7%	21.3%	1.9%
60代	151	10	24	65	19	28	5
	100.0%	6.6%	15.9%	43.0%	12.6%	18.5%	3.3%
70歳以上	130	17	35	41	9	17	11
	100.0%	13.1%	26.9%	31.5%	6.9%	13.1%	8.5%
男性	389	35	75	178	31	48	22
	100.0%	9.0%	19.3%	45.8%	8.0%	12.3%	5.7%
20代	20	0	0	11	3	6	0
	100.0%	0.0%	0.0%	55.0%	15.0%	30.0%	0.0%
30代	25	0	1	13	3	8	0
	100.0%	0.0%	4.0%	52.0%	12.0%	32.0%	0.0%
40代	56	5	9	28	6	7	1
	100.0%	8.9%	16.1%	50.0%	10.7%	12.5%	1.8%
50代	68	3	15	27	7	12	4
	100.0%	4.4%	22.1%	39.7%	10.3%	17.6%	5.9%
60代	131	14	28	61	12	10	6
	100.0%	10.7%	21.4%	46.6%	9.2%	7.6%	4.6%
70歳以上	89	13	22	38	0	5	11
	100.0%	14.6%	24.7%	42.7%	0.0%	5.6%	12.4%

図表 2-10 項目別性別役割分担意識【男性の方が女性より、管理者としての資質がある】

	回答者数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えないと思う	どちらかとも言えない	そう思わない	無回答
総計	967	71	173	440	92	143	48
	100.0%	7.3%	17.9%	45.5%	9.5%	14.8%	5.0%
女性	570	39	102	255	58	89	27
	100.0%	6.8%	17.9%	44.7%	10.2%	15.6%	4.7%
20代	31	1	4	14	3	8	1
	100.0%	3.2%	12.9%	45.2%	9.7%	25.8%	3.2%
30代	60	5	13	28	3	11	0
	100.0%	8.3%	21.7%	46.7%	5.0%	18.3%	0.0%
40代	90	6	12	43	14	13	2
	100.0%	6.7%	13.3%	47.8%	15.6%	14.4%	2.2%
50代	108	5	18	47	15	20	3
	100.0%	4.6%	16.7%	43.5%	13.9%	18.5%	2.8%
60代	151	7	33	68	13	23	7
	100.0%	4.6%	21.9%	45.0%	8.6%	15.2%	4.6%
70歳以上	130	15	22	55	10	14	14
	100.0%	11.5%	16.9%	42.3%	7.7%	10.8%	10.8%
男性	389	31	71	180	33	53	21
	100.0%	8.0%	18.3%	46.3%	8.5%	13.6%	5.4%
20代	20	0	0	9	3	8	0
	100.0%	0.0%	0.0%	45.0%	15.0%	40.0%	0.0%
30代	25	0	4	10	3	8	0
	100.0%	0.0%	16.0%	40.0%	12.0%	32.0%	0.0%
40代	56	4	7	32	7	5	1
	100.0%	7.1%	12.5%	57.1%	12.5%	8.9%	1.8%
50代	68	4	13	31	4	13	3
	100.0%	5.9%	19.1%	45.6%	5.9%	19.1%	4.4%
60代	131	12	33	64	6	9	7
	100.0%	9.2%	25.2%	48.9%	4.6%	6.9%	5.3%
70歳以上	89	11	14	34	10	10	10
	100.0%	12.4%	15.7%	38.2%	11.2%	11.2%	11.2%

図表 2-11 項目別性別役割分担意識【育児・介護休業は、男性より女性がとった方がよい】

		回答者数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答
上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)								
総計		967	159	296	340	48	79	45
		100.0%	16.4%	30.6%	35.2%	5.0%	8.2%	4.7%
性・年代別	女性	570	85	163	216	31	51	24
		100.0%	14.9%	28.6%	37.9%	5.4%	8.9%	4.2%
	20代	31	1	8	13	3	6	0
		100.0%	3.2%	25.8%	41.9%	9.7%	19.4%	0.0%
	30代	60	8	12	30	4	6	0
		100.0%	13.3%	20.0%	50.0%	6.7%	10.0%	0.0%
	40代	90	8	29	37	6	8	2
		100.0%	8.9%	32.2%	41.1%	6.7%	8.9%	2.2%
	50代	108	12	21	55	6	11	3
		100.0%	11.1%	19.4%	50.9%	5.6%	10.2%	2.8%
	60代	151	20	52	47	10	17	5
		100.0%	13.2%	34.4%	31.1%	6.6%	11.3%	3.3%
	70歳以上	130	36	41	34	2	3	14
		100.0%	27.7%	31.5%	26.2%	1.5%	2.3%	10.8%
	男性	389	73	132	120	15	28	21
		100.0%	18.8%	33.9%	30.8%	3.9%	7.2%	5.4%
	20代	20	3	3	7	3	4	0
	100.0%	15.0%	15.0%	35.0%	15.0%	20.0%	0.0%	
30代	25	4	8	9	0	4	0	
	100.0%	16.0%	32.0%	36.0%	0.0%	16.0%	0.0%	
40代	56	5	17	28	2	3	1	
	100.0%	8.9%	30.4%	50.0%	3.6%	5.4%	1.8%	
50代	68	12	18	25	5	5	3	
	100.0%	17.6%	26.5%	36.8%	7.4%	7.4%	4.4%	
60代	131	28	51	36	1	8	7	
	100.0%	21.4%	38.9%	27.5%	0.8%	6.1%	5.3%	
70歳以上	89	21	35	15	4	4	10	
	100.0%	23.6%	39.3%	16.9%	4.5%	4.5%	11.2%	

図表 2-12 項目別性別役割分担意識【子どもが3歳くらいまでは母親のもとで育てる方がよい】

		回答者数	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えばそう思わない	そう思わない	無回答
上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)								
総計		967	336	318	196	31	41	45
		100.0%	34.7%	32.9%	20.3%	3.2%	4.2%	4.7%
性・年代別	女性	570	197	178	121	22	29	23
		65.4%		31.2%	21.2%	3.9%	5.1%	4.0%
	20代	31	1	9	13	2	6	0
		100.0%	3.2%	29.0%	41.9%	6.5%	19.4%	0.0%
	30代	60	17	21	15	2	5	0
		100.0%	28.3%	35.0%	25.0%	3.3%	8.3%	0.0%
	40代	90	27	25	25	4	7	2
		100.0%	30.0%	27.8%	27.8%	4.4%	7.8%	2.2%
	50代	108	30	42	24	7	2	3
		100.0%	27.8%	38.9%	22.2%	6.5%	1.9%	2.8%
	60代	151	54	51	26	7	7	6
		100.0%	35.8%	33.8%	17.2%	4.6%	4.6%	4.0%
	70歳以上	130	68	30	18	0	2	12
		100.0%	52.3%	23.1%	13.8%	0.0%	1.5%	9.2%
	男性	389	137	137	72	9	12	22
		100.0%	35.2%	35.2%	18.5%	2.3%	3.1%	5.7%
	20代	20	5	4	6	2	3	0
	100.0%	25.0%	20.0%	30.0%	10.0%	15.0%	0.0%	
30代	25	9	6	6	1	3	0	
	100.0%	36.0%	24.0%	24.0%	4.0%	12.0%	0.0%	
40代	56	18	23	13	1	0	1	
	100.0%	32.1%	41.1%	23.2%	1.8%	0.0%	1.8%	
50代	68	22	28	12	0	3	3	
	100.0%	32.4%	41.2%	17.6%	0.0%	4.4%	4.4%	
60代	131	43	50	26	3	2	7	
	100.0%	32.8%	38.2%	19.8%	2.3%	1.5%	5.3%	
70歳以上	89	40	26	9	2	1	11	
	100.0%	44.9%	29.2%	10.1%	2.2%	1.1%	12.4%	

## 2. 家庭生活について

※現在、結婚をされている方（事実婚を含む）のみ回答

【問3】あなたのご家族では、次にあげる家庭内の事からを主に誰が行っていますか。（SA）

### 【全体】

全体でみると、7項目中、「妻」との回答が最も多かったのは、「家事（掃除、洗濯、炊事など）（67.6%）」、「PTA や子ども会（43.5%）」、「育児（乳幼児の世話、子どもの教育など）（42.9%）」、「介護（23.0%）」の4項目であった。

一方で、この4項目で、「夫」との回答は、それぞれ5%にも満たない状況である。

また、「集落や公民館などの地域活動への参加」や「高額な商品や土地・家屋の購入の決定」については、それぞれ「夫婦」との回答が最も多かった。

### 【性別】

性別でみると、「集落や公民館などの地域活動への参加」や「高額な商品や土地・家屋の購入の決定」について、「夫」との回答に若干の差がみられるが、全体での回答と同様の傾向を示しており、特に大きな差異はみられない。

### 【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、特に大きな差異はみられない。

### 【A 家事（掃除、洗濯、炊事など）】

全体及び男女とも、「妻」との回答が最も多い。

性別・年代別でみると、男女ともすべての年代で、「妻」との回答が最も多い。

一方で、「夫」との回答は、全体で0.7%と非常に少なく、女性ではすべての年代で、男性では50代までは「夫」との回答がない状況である。

### 【B 育児（乳幼児の世話、子どもの教育など）】

全体及び男女とも、「妻」との回答が最も多い。

性別・年代別でみると、男女とも20代と40代を除くすべての年代で「妻」との回答が最も多く、20代と40代では「夫婦」との回答が最も多い。

一方で、「夫」との回答は、全体で0.1%と非常に少なく、女性ではすべての年代で、男性では60代までは「夫」との回答がない状況である。

### 【C 介護】

全体及び男女とも、「該当しない」との回答が最も多い。

性別・年代別でみると、女性の20代から50代、男性の20代から40代は「該当しない」との回答が最も多く、女性の60代及び70歳以上、男性の50代で「妻」との回答が最も多い。また、男性の60代と70歳以上では「夫婦」との回答が最も多い。

一方で、「夫」との回答は、全体で0.6%と非常に少なく、女性では40代まで、男性では60代までは「夫」との回答がない状況である。

### 【D PTA や子ども会】

全体及び男女とも、「妻」との回答が最も多い。

性別・年代別でみると、女性の20代、男性の20代と30代で「該当しない」との回答が最も多く、男性の50代で「夫婦」との回答が最も多くなっており、それ以外は「妻」との回答が最も多い。

一方で、「夫」との回答は、全体で1.9%と非常に少ない状況である。

【E 集落や公民館などの地域活動への参加】

全体及び男女とも、「夫婦」との回答が最も多い。

性別・年代別で見ると、男女とも20代で「該当しない」との回答が最も多い。他の年代では、比較的、女性は「妻」との回答が多く、男性は「夫婦」との回答が多い傾向にある。

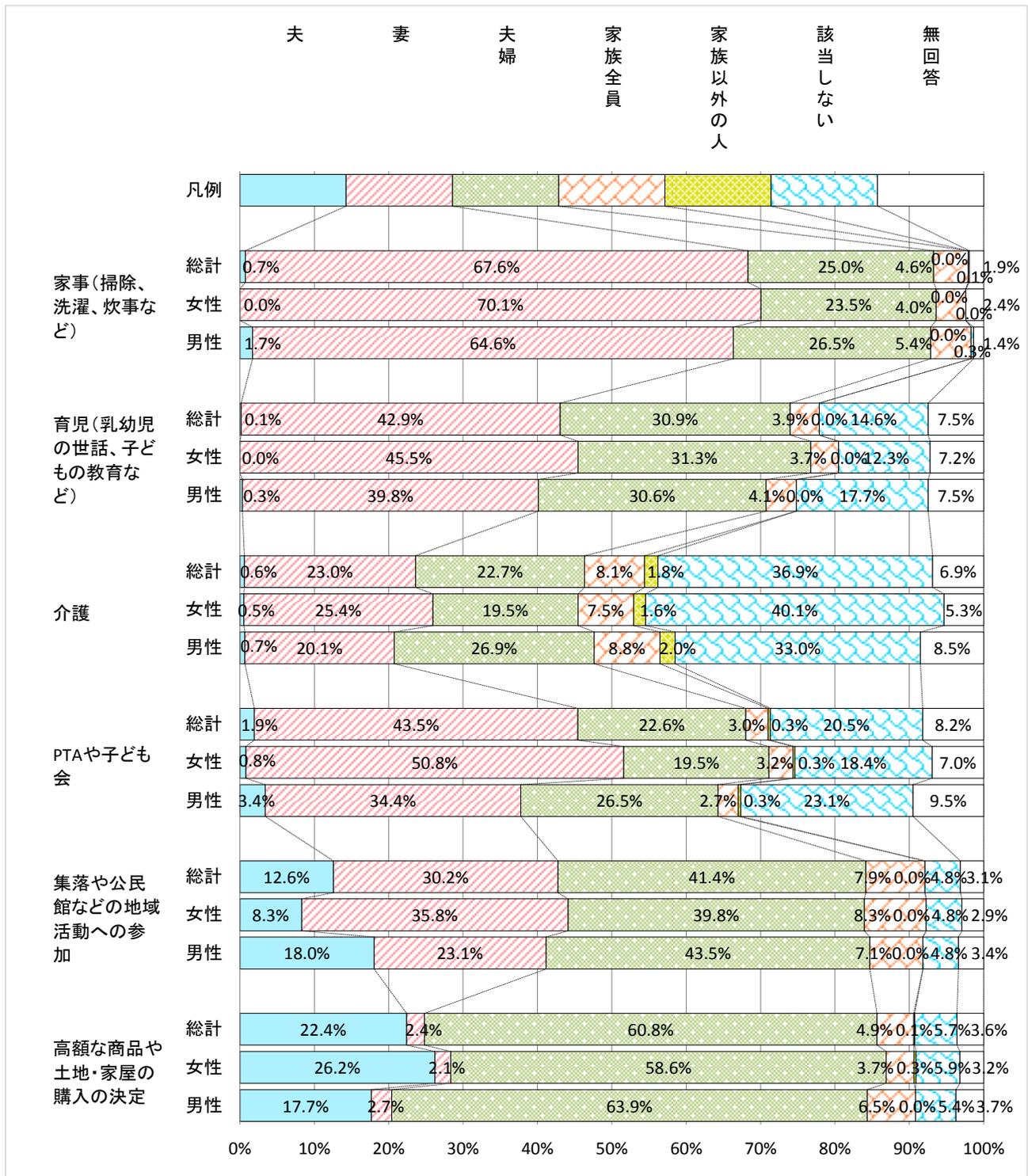
【F 高額な商品や土地・家屋の購入を決める】

全体及び男女とも、「夫婦」との回答が最も多い。

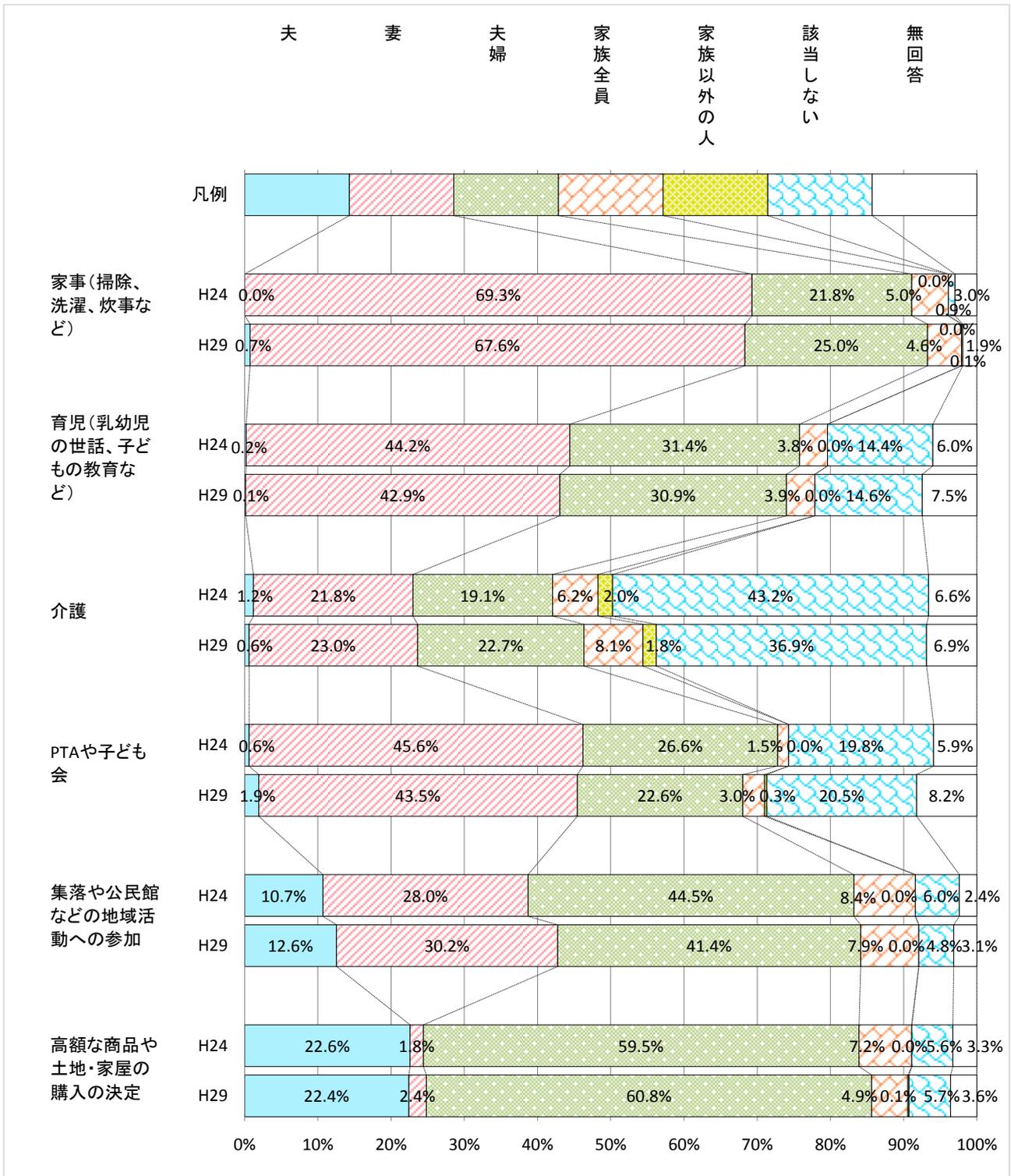
性別・年代別で見ると、男女ともすべての年代で、「夫婦」との回答が最も多い。

「夫」との回答は、全体で22.4%となっており、6項目中、この項目が「夫」との回答が最も多い状況である。

図表 3-1 日常生活の分担【全体及び性別】



図表 3-2 日常生活の分担【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 3-3 日常生活の分担【家事（掃除、洗濯、炊事など）】

		回答者数	夫	妻	夫婦	家族全員	家族以外の人	該当しない	無回答
上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)									
総計		669	5	452	167	31	0	1	13
		100.0%	0.7%	67.6%	25.0%	4.6%	0.0%	0.1%	1.9%
性・年代別	女性	374	0	262	88	15	0	0	9
		100.0%	0.0%	70.1%	23.5%	4.0%	0.0%	0.0%	2.4%
	20代	10	0	8	2	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30代	43	0	32	11	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	74.4%	25.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40代	57	0	41	12	3	0	0	1
		100.0%	0.0%	71.9%	21.1%	5.3%	0.0%	0.0%	1.8%
	50代	81	0	54	20	4	0	0	3
		100.0%	0.0%	66.7%	24.7%	4.9%	0.0%	0.0%	3.7%
	60代	113	0	78	28	3	0	0	4
		100.0%	0.0%	69.0%	24.8%	2.7%	0.0%	0.0%	3.5%
	70歳以上	70	0	49	15	5	0	0	1
		100.0%	0.0%	70.0%	21.4%	7.1%	0.0%	0.0%	1.4%
	男性	294	5	190	78	16	0	1	4
		100.0%	1.7%	64.6%	26.5%	5.4%	0.0%	0.3%	1.4%
	20代	5	0	3	1	1	0	0	0
	100.0%	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
30代	15	0	8	5	2	0	0	0	
	100.0%	0.0%	53.3%	33.3%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
40代	39	0	20	14	4	0	0	1	
	100.0%	0.0%	51.3%	35.9%	10.3%	0.0%	0.0%	2.6%	
50代	52	0	38	10	3	0	1	0	
	100.0%	0.0%	73.1%	19.2%	5.8%	0.0%	1.9%	0.0%	
60代	104	1	75	25	3	0	0	0	
	100.0%	1.0%	72.1%	24.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	
70歳以上	79	4	46	23	3	0	0	3	
	100.0%	5.1%	58.2%	29.1%	3.8%	0.0%	0.0%	3.8%	

図表 3-4 日常生活の分担【育児（乳幼児の世話、子どもの教育など）】

		回答者数	夫	妻	夫婦	家族全員	家族以外の人	該当しない	無回答
上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)									
総計		669	1	287	207	26	0	98	50
		100.0%	0.1%	42.9%	30.9%	3.9%	0.0%	14.6%	7.5%
性・年代別	女性	374	0	170	117	14	0	46	27
		100.0%	0.0%	45.5%	31.3%	3.7%	0.0%	12.3%	7.2%
	20代	10	0	4	5	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	40.0%	50.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30代	43	0	21	17	0	0	5	0
		100.0%	0.0%	48.8%	39.5%	0.0%	0.0%	11.6%	0.0%
	40代	57	0	22	27	3	0	4	1
		100.0%	0.0%	38.6%	47.4%	5.3%	0.0%	7.0%	1.8%
	50代	81	0	37	28	1	0	11	4
		100.0%	0.0%	45.7%	34.6%	1.2%	0.0%	13.6%	4.9%
	60代	113	0	55	23	5	0	14	16
		100.0%	0.0%	48.7%	20.4%	4.4%	0.0%	12.4%	14.2%
	70歳以上	70	0	31	17	4	0	12	6
		100.0%	0.0%	44.3%	24.3%	5.7%	0.0%	17.1%	8.6%
	男性	294	1	117	90	12	0	52	22
		100.0%	0.3%	39.8%	30.6%	4.1%	0.0%	17.7%	7.5%
	20代	5	0	0	1	1	0	3	0
	100.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%	
30代	15	0	7	5	0	0	3	0	
	100.0%	0.0%	46.7%	33.3%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	
40代	39	0	14	18	2	0	4	1	
	100.0%	0.0%	35.9%	46.2%	5.1%	0.0%	10.3%	2.6%	
50代	52	0	27	16	3	0	6	0	
	100.0%	0.0%	51.9%	30.8%	5.8%	0.0%	11.5%	0.0%	
60代	104	0	43	26	3	0	26	6	
	100.0%	0.0%	41.3%	25.0%	2.9%	0.0%	25.0%	5.8%	
70歳以上	79	1	26	24	3	0	10	15	
	100.0%	1.3%	32.9%	30.4%	3.8%	0.0%	12.7%	19.0%	

図表 3-5 日常生活の分担【介護】

		回答者数	夫	妻	夫婦	家族全員	家族以外の人	該当しない	無回答
上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)									
総計		669	4	154	152	54	12	247	46
		100.0%	0.6%	23.0%	22.7%	8.1%	1.8%	36.9%	6.9%
性・年代別	女性	374	2	95	73	28	6	150	20
		100.0%	0.5%	25.4%	19.5%	7.5%	1.6%	40.1%	5.3%
	20代	10	0	0	1	0	0	9	0
		100.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	90.0%	0.0%
	30代	43	0	1	0	1	0	39	2
		100.0%	0.0%	2.3%	0.0%	2.3%	0.0%	90.7%	4.7%
	40代	57	0	6	7	1	1	41	1
		100.0%	0.0%	10.5%	12.3%	1.8%	1.8%	71.9%	1.8%
	50代	81	1	25	21	4	0	28	2
		100.0%	1.2%	30.9%	25.9%	4.9%	0.0%	34.6%	2.5%
	60代	113	1	42	28	8	4	20	10
		100.0%	0.9%	37.2%	24.8%	7.1%	3.5%	17.7%	8.8%
	70歳以上	70	0	21	16	14	1	13	5
		100.0%	0.0%	30.0%	22.9%	20.0%	1.4%	18.6%	7.1%
	男性	294	2	59	79	26	6	97	25
		100.0%	0.7%	20.1%	26.9%	8.8%	2.0%	33.0%	8.5%
	20代	5	0	0	0	0	0	5	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
30代	15	0	1	2	0	0	12	0	
	100.0%	0.0%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	
40代	39	0	1	4	4	1	27	2	
	100.0%	0.0%	2.6%	10.3%	10.3%	2.6%	69.2%	5.1%	
50代	52	0	15	14	6	2	13	2	
	100.0%	0.0%	28.8%	26.9%	11.5%	3.8%	25.0%	3.8%	
60代	104	0	26	34	7	3	28	6	
	100.0%	0.0%	25.0%	32.7%	6.7%	2.9%	26.9%	5.8%	
70歳以上	79	2	16	25	9	0	12	15	
	100.0%	2.5%	20.3%	31.6%	11.4%	0.0%	15.2%	19.0%	

図表 3-6 日常生活の分担【PTA や子ども会】

		回答者数	夫	妻	夫婦	家族全員	家族以外の人	該当しない	無回答
上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)									
総計		669	13	291	151	20	2	137	55
		100.0%	1.9%	43.5%	22.6%	3.0%	0.3%	20.5%	8.2%
性・年代別	女性	374	3	190	73	12	1	69	26
		100.0%	0.8%	50.8%	19.5%	3.2%	0.3%	18.4%	7.0%
	20代	10	1	1	1	0	0	7	0
		100.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	70.0%	0.0%
	30代	43	0	24	5	2	0	11	1
		100.0%	0.0%	55.8%	11.6%	4.7%	0.0%	25.6%	2.3%
	40代	57	0	35	11	3	0	7	1
		100.0%	0.0%	61.4%	19.3%	5.3%	0.0%	12.3%	1.8%
	50代	81	0	39	23	1	0	14	4
		100.0%	0.0%	48.1%	28.4%	1.2%	0.0%	17.3%	4.9%
	60代	113	2	54	24	3	0	18	12
		100.0%	1.8%	47.8%	21.2%	2.7%	0.0%	15.9%	10.6%
	70歳以上	70	0	37	9	3	1	12	8
		100.0%	0.0%	52.9%	12.9%	4.3%	1.4%	17.1%	11.4%
	男性	294	10	101	78	8	1	68	28
		100.0%	3.4%	34.4%	26.5%	2.7%	0.3%	23.1%	9.5%
	20代	5	0	0	0	0	0	5	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
30代	15	0	2	4	1	0	8	0	
	100.0%	0.0%	13.3%	26.7%	6.7%	0.0%	53.3%	0.0%	
40代	39	1	19	10	1	1	6	1	
	100.0%	2.6%	48.7%	25.6%	2.6%	2.6%	15.4%	2.6%	
50代	52	3	18	19	4	0	7	1	
	100.0%	5.8%	34.6%	36.5%	7.7%	0.0%	13.5%	1.9%	
60代	104	4	34	28	0	0	31	7	
	100.0%	3.8%	32.7%	26.9%	0.0%	0.0%	29.8%	6.7%	
70歳以上	79	2	28	17	2	0	11	19	
	100.0%	2.5%	35.4%	21.5%	2.5%	0.0%	13.9%	24.1%	

図表 3-7 日常生活の負担【集落や公民館などの地域活動への参加】

		回答者数	夫	妻	夫婦	家族全員	家族以外の人	該当しない	無回答
上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)									
総計		669	84	202	277	53	0	32	21
		100.0%	12.6%	30.2%	41.4%	7.9%	0.0%	4.8%	3.1%
性・年代別	女性	374	31	134	149	31	0	18	11
		100.0%	8.3%	35.8%	39.8%	8.3%	0.0%	4.8%	2.9%
	20代	10	0	1	4	1	0	4	0
		100.0%	0.0%	10.0%	40.0%	10.0%	0.0%	40.0%	0.0%
	30代	43	4	15	12	2	0	9	1
		100.0%	9.3%	34.9%	27.9%	4.7%	0.0%	20.9%	2.3%
	40代	57	1	25	19	9	0	2	1
		100.0%	1.8%	43.9%	33.3%	15.8%	0.0%	3.5%	1.8%
	50代	81	3	36	35	4	0	0	3
		100.0%	3.7%	44.4%	43.2%	4.9%	0.0%	0.0%	3.7%
	60代	113	10	34	58	6	0	1	4
		100.0%	8.8%	30.1%	51.3%	5.3%	0.0%	0.9%	3.5%
	70歳以上	70	13	23	21	9	0	2	2
		100.0%	18.6%	32.9%	30.0%	12.9%	0.0%	2.9%	2.9%
	男性	294	53	68	128	21	0	14	10
		100.0%	18.0%	23.1%	43.5%	7.1%	0.0%	4.8%	3.4%
20代	5	1	0	0	1	0	3	0	
	100.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%	
30代	15	2	4	4	2	0	3	0	
	100.0%	13.3%	26.7%	26.7%	13.3%	0.0%	20.0%	0.0%	
40代	39	2	10	19	3	0	4	1	
	100.0%	5.1%	25.6%	48.7%	7.7%	0.0%	10.3%	2.6%	
50代	52	7	11	26	7	0	1	0	
	100.0%	13.5%	21.2%	50.0%	13.5%	0.0%	1.9%	0.0%	
60代	104	28	26	44	4	0	1	1	
	100.0%	26.9%	25.0%	42.3%	3.8%	0.0%	1.0%	1.0%	
70歳以上	79	13	17	35	4	0	2	8	
	100.0%	16.5%	21.5%	44.3%	5.1%	0.0%	2.5%	10.1%	

図表 3-8 日常生活の負担【高額な商品や土地・家屋の購入を決める】

		回答者数	夫	妻	夫婦	家族全員	家族以外の人	該当しない	無回答
上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)									
総計		669	150	16	407	33	1	38	24
		100.0%	22.4%	2.4%	60.8%	4.9%	0.1%	5.7%	3.6%
性・年代別	女性	374	98	8	219	14	1	22	12
		100.0%	26.2%	2.1%	58.6%	3.7%	0.3%	5.9%	3.2%
	20代	10	1	0	8	0	0	1	0
		100.0%	10.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	30代	43	11	0	22	1	1	8	0
		100.0%	25.6%	0.0%	51.2%	2.3%	2.3%	18.6%	0.0%
	40代	57	12	1	37	2	0	4	1
		100.0%	21.1%	1.8%	64.9%	3.5%	0.0%	7.0%	1.8%
	50代	81	22	1	52	1	0	2	3
		100.0%	27.2%	1.2%	64.2%	1.2%	0.0%	2.5%	3.7%
	60代	113	33	3	63	6	0	3	5
		100.0%	29.2%	2.7%	55.8%	5.3%	0.0%	2.7%	4.4%
	70歳以上	70	19	3	37	4	0	4	3
		100.0%	27.1%	4.3%	52.9%	5.7%	0.0%	5.7%	4.3%
	男性	294	52	8	188	19	0	16	11
		100.0%	17.7%	2.7%	63.9%	6.5%	0.0%	5.4%	3.7%
20代	5	1	0	3	0	0	1	0	
	100.0%	20.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	
30代	15	2	2	10	1	0	0	0	
	100.0%	13.3%	13.3%	66.7%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
40代	39	7	1	26	1	0	3	1	
	100.0%	17.9%	2.6%	66.7%	2.6%	0.0%	7.7%	2.6%	
50代	52	15	4	29	3	0	1	0	
	100.0%	28.8%	7.7%	55.8%	5.8%	0.0%	1.9%	0.0%	
60代	104	17	1	72	5	0	8	1	
	100.0%	16.3%	1.0%	69.2%	4.8%	0.0%	7.7%	1.0%	
70歳以上	79	10	0	48	9	0	3	9	
	100.0%	12.7%	0.0%	60.8%	11.4%	0.0%	3.8%	11.4%	

【問4】結婚、家庭、離婚についてのあなたの考えをおたずねします。（SA）

【全体】

全体でみると、結婚、家庭、離婚について、“肯定的である（「賛成」＋「どちらかと言えば賛成」）”回答は、5項目中、「結婚は個人の自由であるから、結婚する、しないは個人の意思に任せればよい」が81.0%と最も多く、約8割を占めており、次いで「女性は仕事をもつのはよいが、家事、育児もきちんとするべきである（58.2%）」、「女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきである（48.9%）」の順となっている。

一方で、“否定的である（「どちらかと言えば反対」＋「反対」）”回答は、5項目中、「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」が33.5%と最も多く、次いで「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい（33.2%）」、「女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきである（20.5%）」の順となっている。

また、“否定的である”回答が、“肯定的である”回答を上回る項目が1項目あり、「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい」で1.1ポイント上回っている。

【性別】

性別でみると、それぞれの項目とも、若干の差がみられるが、全体での回答と同様の傾向を示しており、特に大きな差異はみられない。

【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、“肯定的である”回答の割合が増えた項目については、「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい」が3.1ポイント、「結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない」が2.8ポイント増加している。

一方で、“肯定的である”回答の割合が減った項目については、「女性は仕事をもつのはよいが、家事、育児もきちんとするべきである」が9.0ポイント、「女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきである」が6.5ポイント、「結婚は個人の自由であるから、結婚する、しないは個人の意思に任せればよい」が2.3%減少している。

【A 結婚は個人の自由であるから、結婚する、しないは個人の意思に任せればよい】

全体及び男女とも、「賛成」との回答が最も多い。

性別・年代別でみると、女性では、“肯定的である”回答が30代で91.7%と最も多く、約9割を占めており、一方で、“否定的である”回答が70歳以上で10.0%と最も多い。

男性では、“肯定的である”回答が20代で95.0%と最も多く、9割以上を占めており、一方で、“否定的である”回答が40代で8.9%と最も多い。

【B 女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきである】

全体及び男女とも、「どちらかと言えば賛成」との回答が最も多い。

性別・年代別でみると、女性では、“肯定的である”回答が70歳以上で59.2%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が50代で30.6%と最も多い。

男性では、“肯定的である”回答が70歳以上で67.4%と最も多く、約7割を占めており、一方で、“否定的である”回答が20代で45.0%と最も多い。

【C 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない】

全体及び男性で、「どちらかと言えば反対」との回答が最も多く、女性では「どちらかと言えば賛成」との回答が最も多い。

性別・年代別でみると、女性では、“肯定的である”回答が20代で61.3%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が70歳以上で45.4%と最も多い。

男性では、“肯定的である”回答が30代で52.0%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が20代で40.0%と最も多い。

【D 女性は仕事をもつのはよいが、家事、育児もきちんとするべきである】

全体及び男女とも、「どちらかと言えば賛成」との回答が最も多い。

性別・年代別で見ると、女性では、“肯定的である”回答が70歳以上で61.5%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が20代で22.6%と最も多い。

男性では、“肯定的である”回答が70歳以上で68.5%と最も多く、約7割を占めており、一方で、“否定的である”回答が20代で35.0%と最も多い。

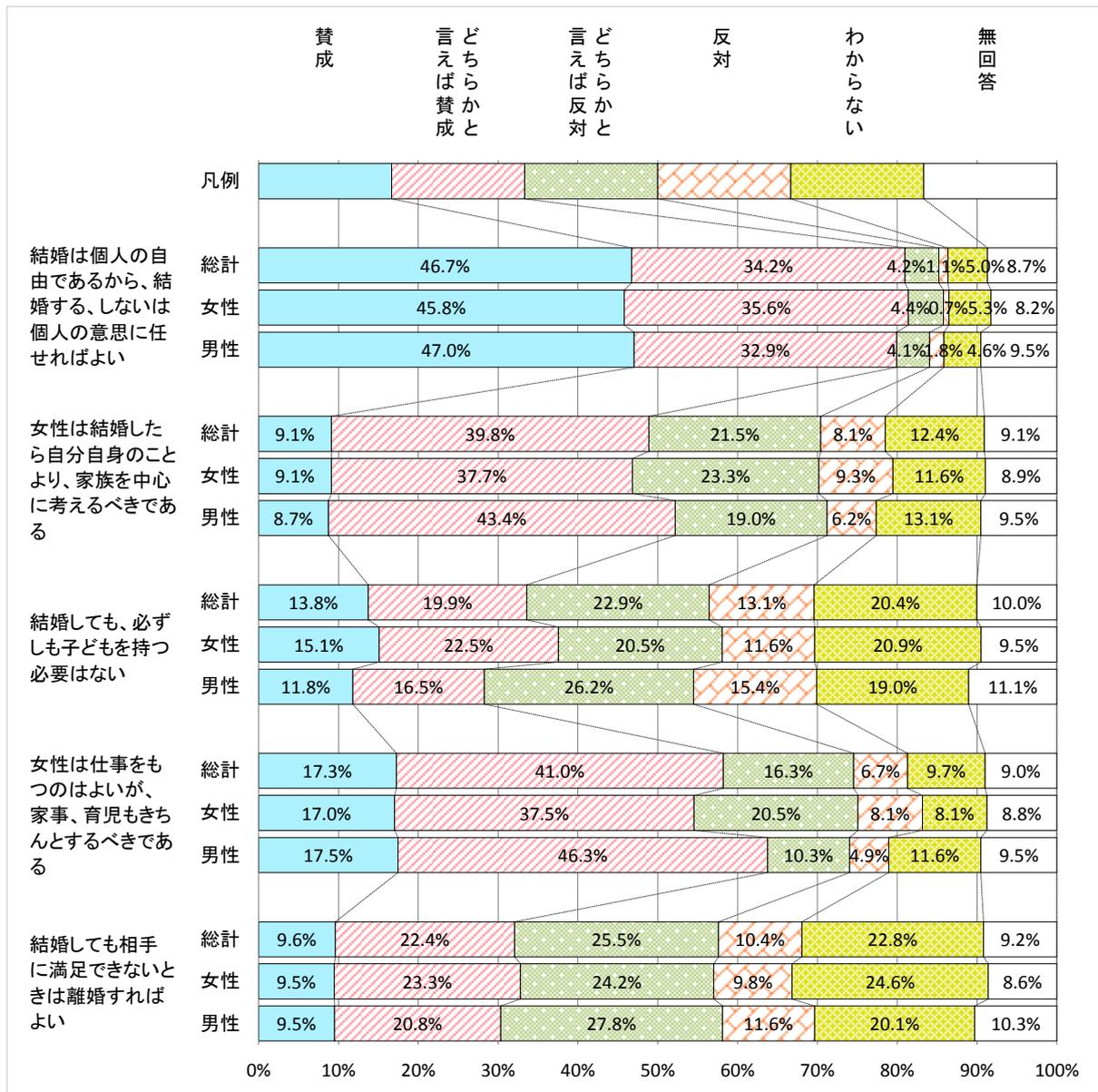
【E 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい】

全体及び男性で、「どちらかと言えば反対」との回答が最も多く、女性では「わからない」との回答が最も多い。

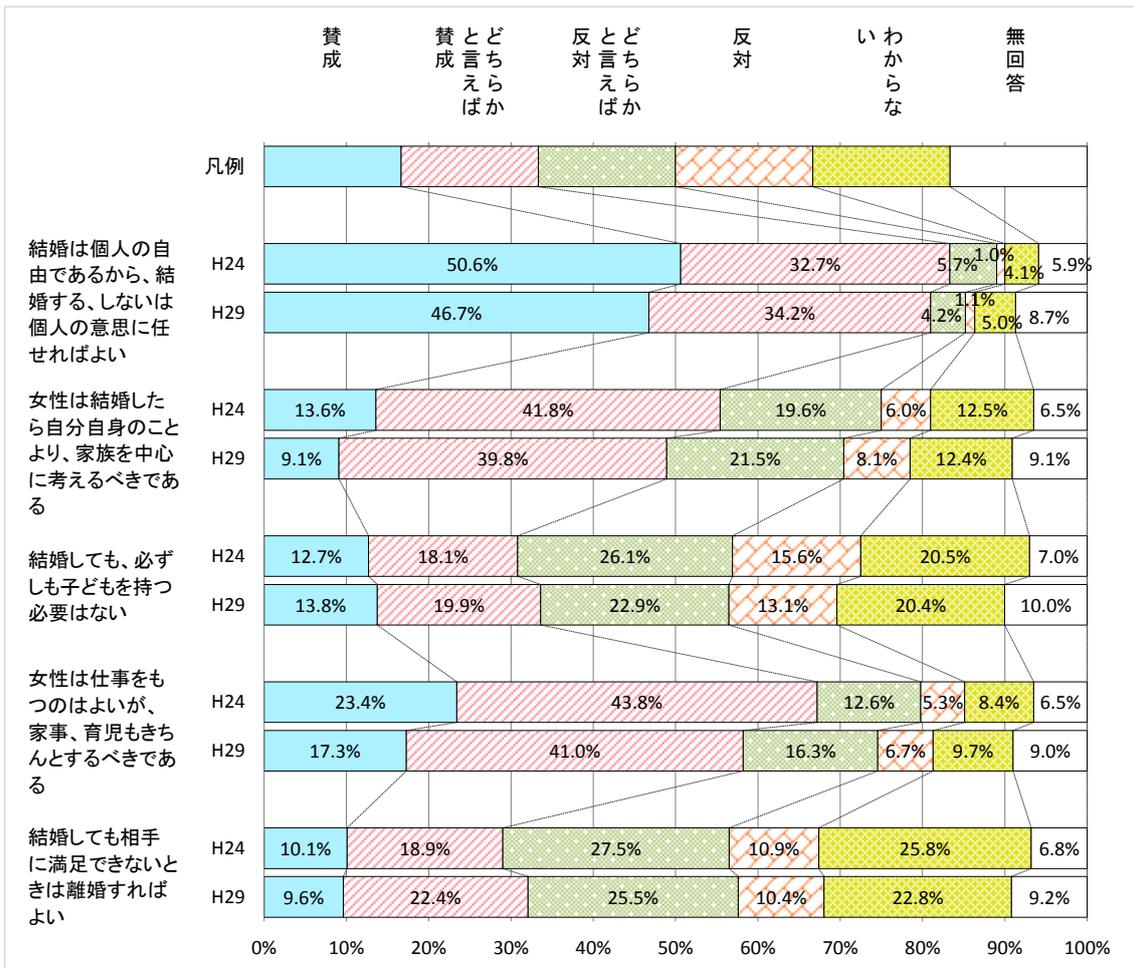
性別・年代別で見ると、女性では、“肯定的である”回答が30代で46.7%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が70歳以上で42.3%と最も多い。

男性では、“肯定的である”回答が30代で44.0%と最も多く、一方で、“否定的である”回答が20代で75.0%と最も多く、約8割を占めている。

図表 4-1 結婚、家庭、離婚に対する考え方【全体及び性別】



図表 4-2 結婚、家庭、離婚に対する考え方【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 4-3 結婚、家庭、離婚に対する考え方【結婚は個人の自由であるから、結婚する、しないは個人の意思に任せればよい】

	回答者数	賛成	成ど ち ら か と 言 え ば 賛	対ど ち ら か と 言 え ば 反	反 対	わ か ら な い	無 回 答	
								上段: 回答数(人)
総計	967	452	331	41	11	48	84	
	100.0%	46.7%	34.2%	4.2%	1.1%	5.0%	8.7%	
性・年代別	女性	570	261	203	25	4	30	47
		100.0%	45.8%	35.6%	4.4%	0.7%	5.3%	8.2%
	20代	31	15	10	1	0	3	2
		100.0%	48.4%	32.3%	3.2%	0.0%	9.7%	6.5%
	30代	60	34	21	1	1	1	2
		100.0%	56.7%	35.0%	1.7%	1.7%	1.7%	3.3%
	40代	90	47	35	1	1	2	4
		100.0%	52.2%	38.9%	1.1%	1.1%	2.2%	4.4%
	50代	108	48	42	6	0	4	8
		100.0%	44.4%	38.9%	5.6%	0.0%	3.7%	7.4%
	60代	151	62	60	5	0	9	15
		100.0%	41.1%	39.7%	3.3%	0.0%	6.0%	9.9%
	70歳以上	130	55	35	11	2	11	16
	100.0%	42.3%	26.9%	8.5%	1.5%	8.5%	12.3%	
男性	389	183	128	16	7	18	37	
	100.0%	47.0%	32.9%	4.1%	1.8%	4.6%	9.5%	
20代	20	14	5	0	0	1	0	
	100.0%	70.0%	25.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	
30代	25	11	12	0	1	0	1	
	100.0%	44.0%	48.0%	0.0%	4.0%	0.0%	4.0%	
40代	56	26	22	2	1	4	1	
	100.0%	46.4%	39.3%	3.6%	1.8%	7.1%	1.8%	
50代	68	37	20	2	0	3	6	
	100.0%	54.4%	29.4%	2.9%	0.0%	4.4%	8.8%	
60代	131	59	43	7	3	5	14	
	100.0%	45.0%	32.8%	5.3%	2.3%	3.8%	10.7%	
70歳以上	89	36	26	5	2	5	15	
	100.0%	40.4%	29.2%	5.6%	2.2%	5.6%	16.9%	

図表 4-4 結婚、家庭、離婚に対する考え方【女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきである】

	回答者数	賛成	成 ど ち ら か と 言 え ば 賛	対 ど ち ら か と 言 え ば 反	反 対	わ か ら な い	無 回 答	
								上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)
総 計	967 100.0%	88 9.1%	385 39.8%	208 21.5%	78 8.1%	120 12.4%	88 9.1%	
性・年代別	女 性	570 100.0%	52 9.1%	215 37.7%	133 23.3%	53 9.3%	66 11.6%	51 8.9%
	20代	31 100.0%	0 0.0%	9 29.0%	11 35.5%	4 12.9%	5 16.1%	2 6.5%
	30代	60 100.0%	6 10.0%	26 43.3%	16 26.7%	2 3.3%	8 13.3%	2 3.3%
	40代	90 100.0%	6 6.7%	26 28.9%	31 34.4%	9 10.0%	14 15.6%	4 4.4%
	50代	108 100.0%	8 7.4%	32 29.6%	28 25.9%	18 16.7%	15 13.9%	7 6.5%
	60代	151 100.0%	9 6.0%	68 45.0%	34 22.5%	14 9.3%	10 6.6%	16 10.6%
	70歳以上	130 100.0%	23 17.7%	54 41.5%	13 10.0%	6 4.6%	14 10.8%	20 15.4%
	男 性	389 100.0%	34 8.7%	169 43.4%	74 19.0%	24 6.2%	51 13.1%	37 9.5%
	20代	20 100.0%	0 0.0%	3 15.0%	8 40.0%	1 5.0%	8 40.0%	0 0.0%
	30代	25 100.0%	0 0.0%	10 40.0%	4 16.0%	3 12.0%	7 28.0%	1 4.0%
	40代	56 100.0%	3 5.4%	23 41.1%	15 26.8%	3 5.4%	11 19.6%	1 1.8%
	50代	68 100.0%	7 10.3%	31 45.6%	9 13.2%	7 10.3%	7 10.3%	7 10.3%
	60代	131 100.0%	9 6.9%	57 43.5%	29 22.1%	7 5.3%	15 11.5%	14 10.7%
	70歳以上	89 100.0%	15 16.9%	45 50.6%	9 10.1%	3 3.4%	3 3.4%	14 15.7%

図表 4-5 結婚、家庭、離婚に対する考え方【結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない】

	回答者数	賛成	成 ど ち ら か と 言 え ば 賛	対 ど ち ら か と 言 え ば 反	反 対	わ か ら な い	無 回 答	
								上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)
総 計	967 100.0%	133 13.8%	192 19.9%	221 22.9%	127 13.1%	197 20.4%	97 10.0%	
性・年代別	女 性	570 100.0%	86 15.1%	128 22.5%	117 20.5%	66 11.6%	119 20.9%	54 9.5%
	20代	31 100.0%	8 25.8%	11 35.5%	4 12.9%	1 3.2%	5 16.1%	2 6.5%
	30代	60 100.0%	17 28.3%	17 28.3%	8 13.3%	3 5.0%	13 21.7%	2 3.3%
	40代	90 100.0%	25 27.8%	29 32.2%	8 8.9%	3 3.3%	20 22.2%	5 5.6%
	50代	108 100.0%	17 15.7%	30 27.8%	26 24.1%	8 7.4%	18 16.7%	9 8.3%
	60代	151 100.0%	9 6.0%	28 18.5%	42 27.8%	24 15.9%	31 20.5%	17 11.3%
	70歳以上	130 100.0%	10 7.7%	13 10.0%	29 22.3%	27 20.8%	32 24.6%	19 14.6%
	男 性	389 100.0%	46 11.8%	64 16.5%	102 26.2%	60 15.4%	74 19.0%	43 11.1%
	20代	20 100.0%	4 20.0%	5 25.0%	3 15.0%	1 5.0%	7 35.0%	0 0.0%
	30代	25 100.0%	8 32.0%	5 20.0%	7 28.0%	1 4.0%	3 12.0%	1 4.0%
	40代	56 100.0%	8 14.3%	15 26.8%	15 26.8%	4 7.1%	13 23.2%	1 1.8%
	50代	68 100.0%	11 16.2%	14 20.6%	10 14.7%	12 17.6%	14 20.6%	7 10.3%
	60代	131 100.0%	10 7.6%	18 13.7%	41 31.3%	23 17.6%	24 18.3%	15 11.5%
	70歳以上	89 100.0%	5 5.6%	7 7.9%	26 29.2%	19 21.3%	13 14.6%	19 21.3%

図表 4-6 結婚、家庭、離婚に対する考え方【女性は仕事をもつのはよいが、家事、育児もきちんとするべきである】

	回答者数	賛成	成 ど ち ら か と 言 え ば 賛	対 ど ち ら か と 言 え ば 反	反 対	わ か ら な い	無 回 答	
								上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)
総計	967	167	396	158	65	94	87	
	100.0%	17.3%	41.0%	16.3%	6.7%	9.7%	9.0%	
性・年代別	女性	570	97	214	117	46	46	50
		100.0%	17.0%	37.5%	20.5%	8.1%	8.1%	8.8%
	20代	31	1	13	8	5	2	2
		100.0%	3.2%	41.9%	25.8%	16.1%	6.5%	6.5%
	30代	60	8	27	15	4	4	2
		100.0%	13.3%	45.0%	25.0%	6.7%	6.7%	3.3%
	40代	90	13	34	20	8	10	5
		100.0%	14.4%	37.8%	22.2%	8.9%	11.1%	5.6%
	50代	108	11	43	24	13	9	8
		100.0%	10.2%	39.8%	22.2%	12.0%	8.3%	7.4%
	60代	151	24	57	32	13	10	15
		100.0%	15.9%	37.7%	21.2%	8.6%	6.6%	9.9%
	70歳以上	130	40	40	18	3	11	18
		100.0%	30.8%	30.8%	13.8%	2.3%	8.5%	13.8%
男性	389	68	180	40	19	45	37	
	100.0%	17.5%	46.3%	10.3%	4.9%	11.6%	9.5%	
20代	20	2	6	5	3	4	0	
	100.0%	10.0%	30.0%	25.0%	15.0%	20.0%	0.0%	
30代	25	3	11	4	1	5	1	
	100.0%	12.0%	44.0%	16.0%	4.0%	20.0%	4.0%	
40代	56	9	23	9	2	12	1	
	100.0%	16.1%	41.1%	16.1%	3.6%	21.4%	1.8%	
50代	68	9	37	7	4	4	7	
	100.0%	13.2%	54.4%	10.3%	5.9%	5.9%	10.3%	
60代	131	22	65	11	6	13	14	
	100.0%	16.8%	49.6%	8.4%	4.6%	9.9%	10.7%	
70歳以上	89	23	38	4	3	7	14	
	100.0%	25.8%	42.7%	4.5%	3.4%	7.9%	15.7%	

図表 4-7 結婚、家庭、離婚に対する考え方【結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい】

	回答者数	賛成	成 ど ち ら か と 言 え ば 賛	対 ど ち ら か と 言 え ば 反	反 対	わ か ら な い	無 回 答	
								上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)
総計	967	93	217	247	101	220	89	
	100.0%	9.6%	22.4%	25.5%	10.4%	22.8%	9.2%	
性・年代別	女性	570	54	133	138	56	140	49
		100.0%	9.5%	23.3%	24.2%	9.8%	24.6%	8.6%
	20代	31	4	7	5	6	7	2
		100.0%	12.9%	22.6%	16.1%	19.4%	22.6%	6.5%
	30代	60	3	25	13	5	12	2
		100.0%	5.0%	41.7%	21.7%	8.3%	20.0%	3.3%
	40代	90	14	24	22	5	21	4
		100.0%	15.6%	26.7%	24.4%	5.6%	23.3%	4.4%
	50代	108	9	27	32	9	23	8
		100.0%	8.3%	25.0%	29.6%	8.3%	21.3%	7.4%
	60代	151	13	30	41	15	38	14
		100.0%	8.6%	19.9%	27.2%	9.9%	25.2%	9.3%
	70歳以上	130	11	20	25	16	39	19
		100.0%	8.5%	15.4%	19.2%	12.3%	30.0%	14.6%
男性	389	37	81	108	45	78	40	
	100.0%	9.5%	20.8%	27.8%	11.6%	20.1%	10.3%	
20代	20	1	1	3	8	7	0	
	100.0%	5.0%	5.0%	15.0%	40.0%	35.0%	0.0%	
30代	25	3	8	9	2	2	1	
	100.0%	12.0%	32.0%	36.0%	8.0%	8.0%	4.0%	
40代	56	7	12	18	5	13	1	
	100.0%	12.5%	21.4%	32.1%	8.9%	23.2%	1.8%	
50代	68	12	17	13	3	16	7	
	100.0%	17.6%	25.0%	19.1%	4.4%	23.5%	10.3%	
60代	131	6	30	34	20	27	14	
	100.0%	4.6%	22.9%	26.0%	15.3%	20.6%	10.7%	
70歳以上	89	8	13	31	7	13	17	
	100.0%	9.0%	14.6%	34.8%	7.9%	14.6%	19.1%	

【問5】近年、男女とも晩婚化や非婚化が進んでいると言われていますが、その理由についてあなたはどのようにお考えですか。（MA）

#### 【全体】

全体でみると、「独身生活のほうが自由である」が56.2%と最も多く、次いで「仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上した（52.4%）」、「結婚しないことに対する世間のこだわりが少なくなった（42.6%）」の順となっている。

#### 【性別・年代別】

性別でみると、男女とも全体での回答と同様の傾向を示している。

しかし、年代別も踏まえてみると、「経済的に安定していない」との回答が、男性の20代及び30代で第1位、女性の20代及び30代、男性の40代で第2位となっている。特に30代男性では、68.0%となっており、約7割を占めている。

一方で、男女とも60代及び70歳以上では、「仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上した」との回答が第1位となっている。

#### 【前回調査との比較】

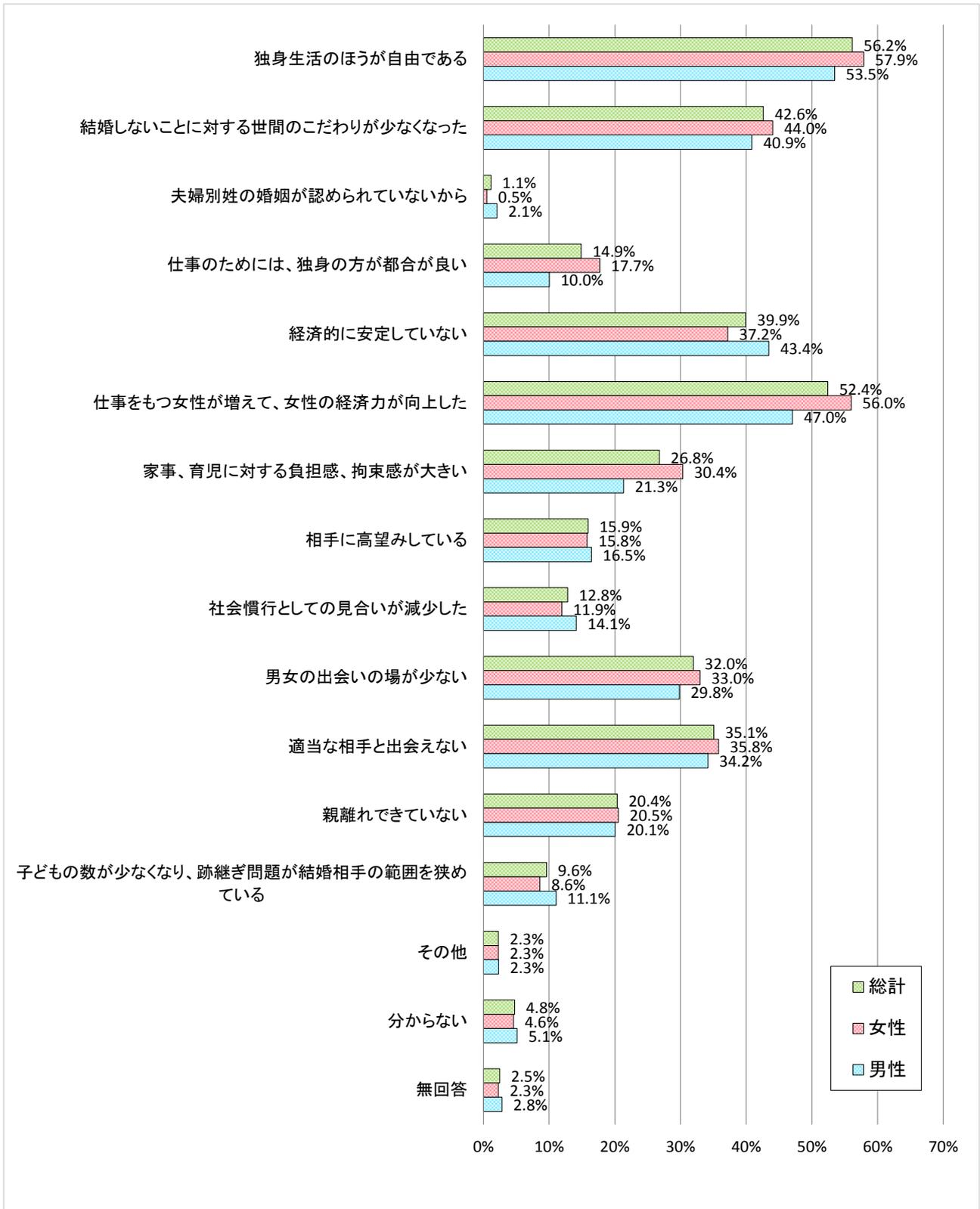
前回調査と比較すると、上位3位までについては、特に変化はなかった。

5ポイント以上の増減があったものは、「相手に高望みしている」が8.2ポイントの減少、「結婚しないことに対する世間のこだわりが少なくなった」が5.3ポイントの増加となっている。

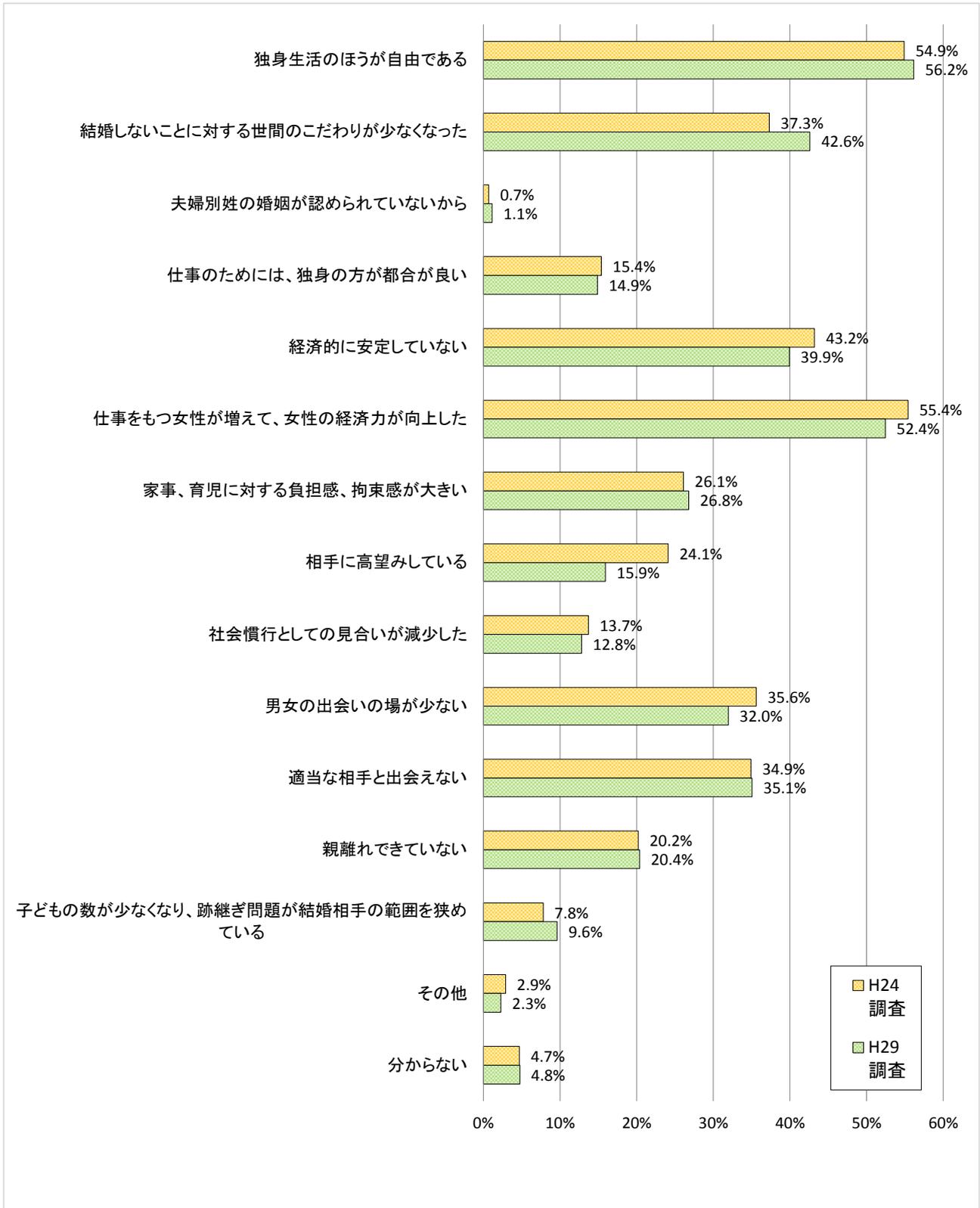
#### 「その他」の自由回答

- 縁談をまとめる人など、いい意味でおせっかいな人がいなくなった。（30代女性）
- 未だに家事・育児・介護は女性（妻）が主。夫は手伝いという意識がある。女性が自分の能力を発揮・評価され仕事しているとき、それを手放さず家族をつくる（結婚する）仕組みが、日本ではまだできていない。社会（特に高齢者）の意識改革もまだである。（50代女性）
- お互いを思いやりたり認め合ったりすることができない人が昔より多くなったから。（40代女性）
- 親の介護。（40代女性）
- 経済的に安定しているから。（60代男性）
- 結婚する意欲がない、希望をもたない、面倒がる。（70歳以上女性）
- 結婚による退社が減ることで新入社員の数が減り、職場での出会いが減った。女性が忙しくなった。（20代男性）
- 子離れできていない自覚のない高齢な親が増えたのではないかと。（30代女性）
- 女性がキャリアと家庭、両方を望める環境が日本にはまだ少ないため。（20代女性）
- 女性が正社員で働いても、子育てのため、仕事を辞めないといけなかったり、保育園がなかったり、仕事を続けることが難しい。保育料も高いと思う。（60代女性）
- 戦後の生活で母が苦勞したことを感じて、なんとなく結婚できなかった。（70歳以上男性）
- 他人とコミュニケーションをとるのが苦手な人が増えている。（40代男性）
- 男女とも身勝手になってきているような気がする。（60代男性）
- 男性が女性化している。精神的な弱さがある。（50代男性）
- 便利な世の中になり、若い人は煩わしい事や面倒な事を嫌がるような風潮を感じる。（70歳以上女性）
- 若い人には、時間がない。（20代男性）

図表 5-1 晩婚化や非婚化が進む理由【全体及び性別】



図表 5-2 晩婚化や非婚化が進む理由【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 5-3 晩婚化や非婚化が進む理由【性別・年代別】

	回答者数	自由	たわ	対結	か認	夫婦	良独	仕	い経	済増	仕事	が	家	る
		由身	たわ	対結	か認	夫婦	良独	仕	い経	済増	仕事	が	家	る
上段: 回答数(人)	下段: 構成比(%)	由身	たわ	対結	か認	夫婦	良独	仕	い経	済増	仕事	が	家	る
総計	967	543	412	11	144	386	507	259	154					
	-	56.2%	42.6%	1.1%	14.9%	39.9%	52.4%	26.8%	15.9%					
性・年代別	女性	570	330	251	3	101	212	319	173	90				
		-	57.9%	44.0%	0.5%	17.7%	37.2%	56.0%	30.4%	15.8%				
	20代	31	22	11	0	3	16	14	14	8				
		-	71.0%	35.5%	0.0%	9.7%	51.6%	45.2%	45.2%	25.8%				
	30代	60	41	19	0	13	28	24	21	13				
		-	68.3%	31.7%	0.0%	21.7%	46.7%	40.0%	35.0%	21.7%				
	40代	90	69	38	0	15	34	44	34	16				
		-	76.7%	42.2%	0.0%	16.7%	37.8%	48.9%	37.8%	17.8%				
	50代	108	75	56	0	26	42	67	39	17				
		-	69.4%	51.9%	0.0%	24.1%	38.9%	62.0%	36.1%	15.7%				
	60代	151	82	80	2	21	61	102	40	18				
		-	54.3%	53.0%	1.3%	13.9%	40.4%	67.5%	26.5%	11.9%				
	70歳以上	130	41	47	1	23	31	68	25	18				
		-	31.5%	36.2%	0.8%	17.7%	23.8%	52.3%	19.2%	13.8%				
	男性	389	208	159	8	39	169	183	83	64				
		-	53.5%	40.9%	2.1%	10.0%	43.4%	47.0%	21.3%	16.5%				
	20代	20	10	3	0	0	11	4	5	5				
	-	50.0%	15.0%	0.0%	0.0%	55.0%	20.0%	25.0%	25.0%					
30代	25	15	7	1	0	17	10	3	8					
	-	60.0%	28.0%	4.0%	0.0%	68.0%	40.0%	12.0%	32.0%					
40代	56	45	22	1	5	27	24	16	12					
	-	80.4%	39.3%	1.8%	8.9%	48.2%	42.9%	28.6%	21.4%					
50代	68	42	30	1	4	27	30	9	10					
	-	61.8%	44.1%	1.5%	5.9%	39.7%	44.1%	13.2%	14.7%					
60代	131	62	61	2	20	58	64	35	15					
	-	47.3%	46.6%	1.5%	15.3%	44.3%	48.9%	26.7%	11.5%					
70歳以上	89	34	36	3	10	29	51	15	14					
	-	38.2%	40.4%	3.4%	11.2%	32.6%	57.3%	16.9%	15.7%					

	見社会	が男	え適	い親	困題	く子	そ	分	無
上段: 回答数(人)	下段: 構成比(%)	合会	少女	な相	親離	題く	他	分	無
総計	124	309	339	197	93	22	46	24	
	12.8%	32.0%	35.1%	20.4%	9.6%	2.3%	4.8%	2.5%	
性・年代別	女性	68	188	204	117	49	13	26	13
		11.9%	33.0%	35.8%	20.5%	8.6%	2.3%	4.6%	2.3%
	20代	5	13	9	2	1	1	0	0
		16.1%	41.9%	29.0%	6.5%	3.2%	3.2%	0.0%	0.0%
	30代	5	17	21	13	2	3	0	1
		8.3%	28.3%	35.0%	21.7%	3.3%	5.0%	0.0%	1.7%
	40代	3	29	31	16	4	3	3	2
		3.3%	32.2%	34.4%	17.8%	4.4%	3.3%	3.3%	2.2%
	50代	9	39	39	26	10	1	1	1
		8.3%	36.1%	36.1%	24.1%	9.3%	0.9%	0.9%	0.9%
	60代	22	57	59	35	10	1	4	3
		14.6%	37.7%	39.1%	23.2%	6.6%	0.7%	2.6%	2.0%
	70歳以上	24	33	45	25	22	4	18	6
		18.5%	25.4%	34.6%	19.2%	16.9%	3.1%	13.8%	4.6%
	男性	55	116	133	78	43	9	20	11
		14.1%	29.8%	34.2%	20.1%	11.1%	2.3%	5.1%	2.8%
	20代	2	6	5	0	1	2	1	0
	10.0%	30.0%	25.0%	0.0%	5.0%	10.0%	5.0%	0.0%	
30代	2	9	12	7	0	0	0	0	
	8.0%	36.0%	48.0%	28.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40代	6	16	20	11	4	2	3	0	
	10.7%	28.6%	35.7%	19.6%	7.1%	3.6%	5.4%	0.0%	
50代	7	21	20	15	11	1	4	2	
	10.3%	30.9%	29.4%	22.1%	16.2%	1.5%	5.9%	2.9%	
60代	21	40	45	29	12	3	6	3	
	16.0%	30.5%	34.4%	22.1%	9.2%	2.3%	4.6%	2.3%	
70歳以上	17	24	31	16	15	1	6	6	
	19.1%	27.0%	34.8%	18.0%	16.9%	1.1%	6.7%	6.7%	

### 3. 少子化について

【問6】あなたは、子育てにおいて、地域社会における住民同士の助け合いとして、どのような活動があればいいと思いますか。（MA）

#### 【全体】

全体でみると、「子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動」が49.5%と最も多く、次いで「子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動（43.7%）」、「不意の外出の時などに子どもを預かる活動（42.0%）」の順となっている。

#### 【性別・年代別】

性別でみると、男性については、全体での回答と同様の傾向を示しているが、女性については、「子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動（49.5%）」、「不意の外出の時などに子どもを預かる活動（47.0%）」、「子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動（43.5%）」の順となっている。

しかし、年代別も踏まえてみると、女性の20代から40代で「不意の外出の時などに子どもを預かる活動」が第1位、男性の20代及び30代で「子どもにスポーツや勉強を教えてくれる活動」が第2位となっている。

#### 【前回調査との比較】

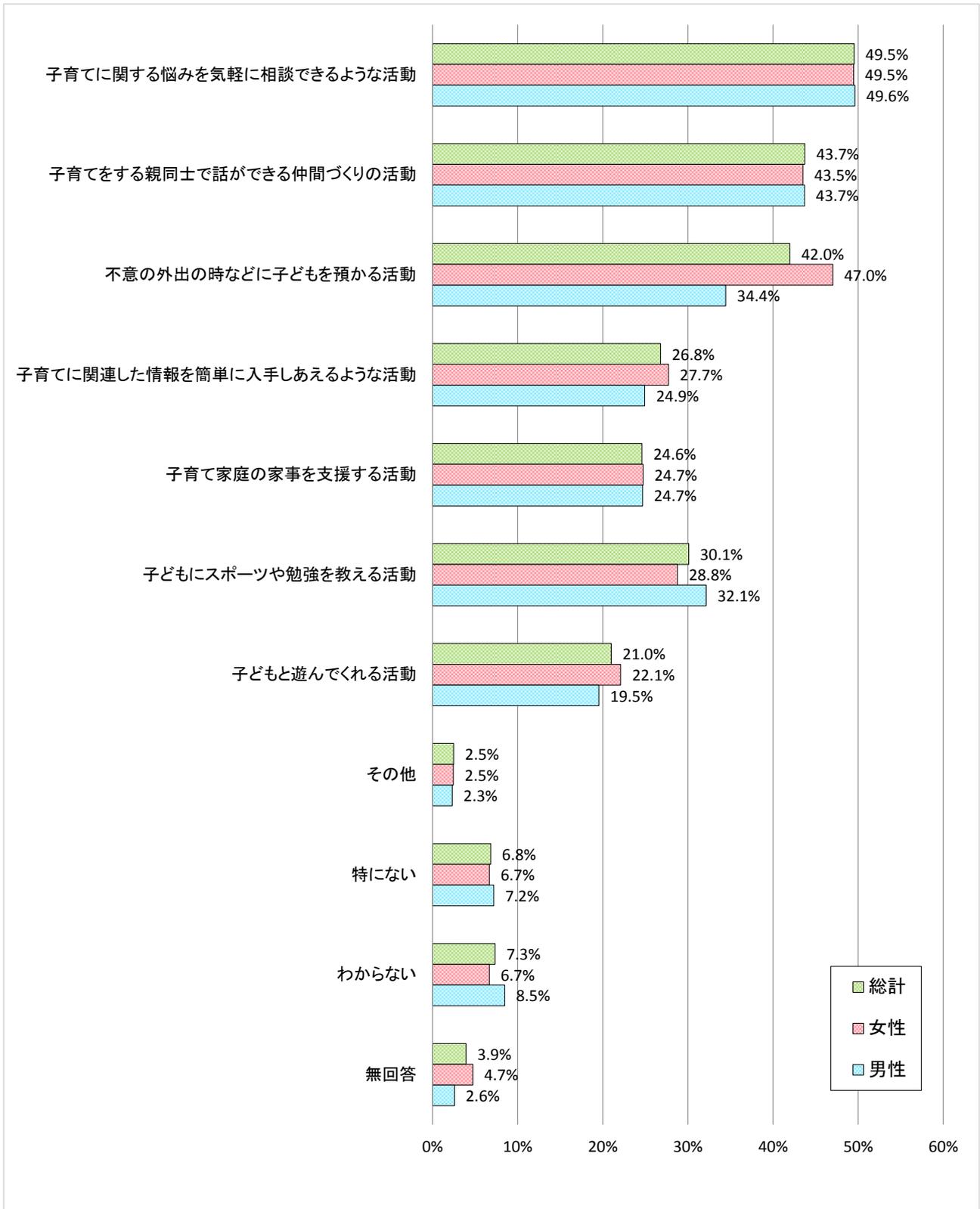
前回調査と比較すると、上位3位までについては、特に変化はなかった。

5ポイント以上の増減があったものは、「子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動」が5.3ポイントの減少、「子どもにスポーツや勉強を教える活動」が5.2ポイントの増加となっている。

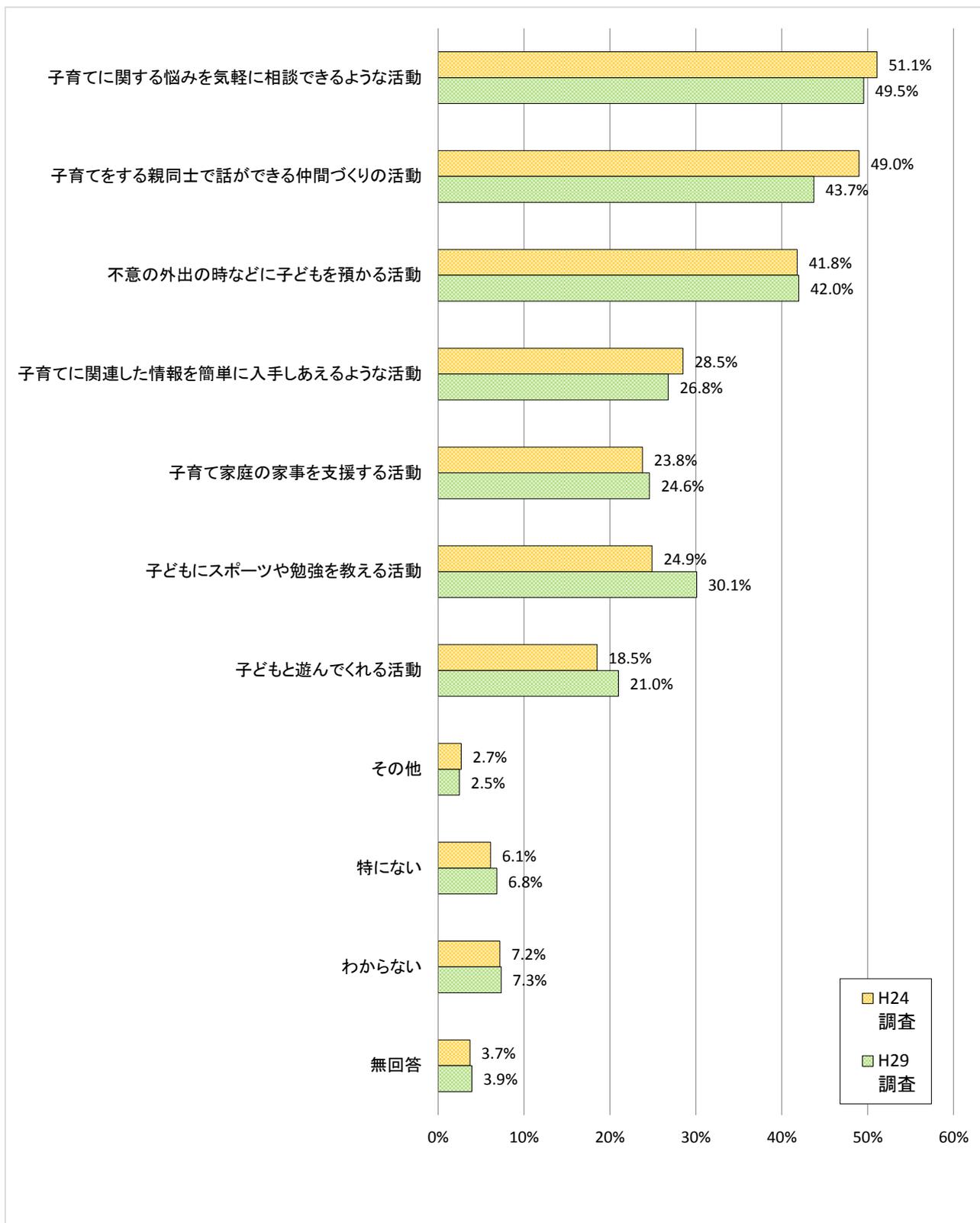
#### 「その他」の自由回答

- 他県にあるような子どもの「おもちゃの図書館」があるとよい。薩摩川内市にある寺山公園のような公園が、いちき串木野市にもあったらよいと思う。（30代女性）
- 集まれる場所を提供してほしい。（30代女性）
- 田舎も都会のように横のつながりが薄くなっている。（70歳以上男性）
- 親が役員等をしなくてもよい交流の場があればよい。（40代女性）
- 好意で子どもの世話をしているも、昨今、不測の事態が起きた時、個人では負担が大きすぎる。行政がきちんと整備をし、リスクに備えた上で地域社会の活動を支援すべき。行政が、地域に責任を押し付けたり、丸投げしたりする方向には進めてほしくない。（50代女性）
- 公園の遊具が豊富で、ペンキの塗り替えがきちんとされているところがいちき串木野市にない。滑り台の登るところが手すり付の階段になっている安全な遊具がほしい。（20代女性）
- 子育て世代の人を婦人部の係にさせてはいけないと思う。子育てが終わった方や60代で元気な方がしてほしい。（40代男性）
- 子育てにおける施設や広場、公園などがもっとあってよい。（60代男性）
- 子育ては親の義務、その家庭で考えればよい。（50代男性）
- 子どもが小さい時は子ども連れて地域の行事に参加するのも大変。地域の人たちの理解と協力が欲しい。（30代女性）
- 子どもたちが気軽に遊べる広場、公園等の設備を増やしてほしい。（60代男性）
- 子どもにスポーツや勉強を教える活動はあっても、送迎が大変なので、送迎をする活動があったらよい。（50代女性）
- 他人の子どもでも愛情を持って、登下校を見守ったり、悪い事をしたら注意をしたりすることができるような信頼関係づくりの活動。（40代女性）
- 他人の子どもでも自分の子どものように叱ることができる活動。（30代男性）
- 地域で子どもを育てる雰囲気づくり。（40代女性）
- 地域の公民館等、身近な方とのふれあいの場がほしい。（40代男性）
- 当該者の考えることで、他人が考える事ではない。（60代男性）

図表 6-1 子育てにおける住民同士の助け合い活動【全体及び性別】



図表 6-2 子育てにおける住民同士の助け合い活動【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 6-3 子育てにおける住民同士の助け合い活動【性別・年代別】

	回答者数	子育てに関する活動	その他								
		子育てに関する活動									
上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)											
総計	967	479	423	406	259	238	291	203	24		
	-	49.5%	43.7%	42.0%	26.8%	24.6%	30.1%	21.0%	2.5%		
性・年代別	女性	570	282	248	268	158	141	164	126	14	
		-	49.5%	43.5%	47.0%	27.7%	24.7%	28.8%	22.1%	2.5%	
	20代	31	14	15	20	14	11	16	12	1	
		-	45.2%	48.4%	64.5%	45.2%	35.5%	51.6%	38.7%	3.2%	
	30代	60	25	21	29	18	13	21	17	3	
		-	41.7%	35.0%	48.3%	30.0%	21.7%	35.0%	28.3%	5.0%	
	40代	90	42	37	49	25	25	31	23	3	
		-	46.7%	41.1%	54.4%	27.8%	27.8%	34.4%	25.6%	3.3%	
	50代	108	66	53	59	38	32	30	24	3	
		-	61.1%	49.1%	54.6%	35.2%	29.6%	27.8%	22.2%	2.8%	
	60代	151	83	73	66	42	35	38	27	1	
		-	55.0%	48.3%	43.7%	27.8%	23.2%	25.2%	17.9%	0.7%	
	70歳以上	130	52	49	45	21	25	28	23	3	
		-	40.0%	37.7%	34.6%	16.2%	19.2%	21.5%	17.7%	2.3%	
男性	389	193	170	134	97	96	125	76	9		
	-	49.6%	43.7%	34.4%	24.9%	24.7%	32.1%	19.5%	2.3%		
20代	20	6	6	7	5	4	9	5	0		
	-	30.0%	30.0%	35.0%	25.0%	20.0%	45.0%	25.0%	0.0%		
30代	25	10	16	9	7	7	16	7	1		
	-	40.0%	64.0%	36.0%	28.0%	28.0%	64.0%	28.0%	4.0%		
40代	56	28	23	22	14	17	14	10	2		
	-	50.0%	41.1%	39.3%	25.0%	30.4%	25.0%	17.9%	3.6%		
50代	68	35	29	27	16	14	24	13	2		
	-	51.5%	42.6%	39.7%	23.5%	20.6%	35.3%	19.1%	2.9%		
60代	131	65	55	41	34	29	41	27	3		
	-	49.6%	42.0%	31.3%	26.0%	22.1%	31.3%	20.6%	2.3%		
70歳以上	89	49	41	28	21	25	21	14	1		
	-	55.1%	46.1%	31.5%	23.6%	28.1%	23.6%	15.7%	1.1%		

	特にない	わからない	無回答	
	特にない	わからない	無回答	
上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)				
総計	66	71	38	
	6.8%	7.3%	3.9%	
性・年代別	女性	38	38	27
		6.7%	6.7%	4.7%
	20代	1	2	0
		3.2%	6.5%	0.0%
	30代	7	2	2
		11.7%	3.3%	3.3%
	40代	5	4	3
		5.6%	4.4%	3.3%
	50代	3	4	1
		2.8%	3.7%	0.9%
	60代	6	10	6
		4.0%	6.6%	4.0%
	70歳以上	16	16	15
		12.3%	12.3%	11.5%
男性	28	33	10	
	7.2%	8.5%	2.6%	
20代	1	2	0	
	5.0%	10.0%	0.0%	
30代	1	2	0	
	4.0%	8.0%	0.0%	
40代	3	7	0	
	5.4%	12.5%	0.0%	
50代	8	6	2	
	11.8%	8.8%	2.9%	
60代	9	8	5	
	6.9%	6.1%	3.8%	
70歳以上	6	8	3	
	6.7%	9.0%	3.4%	

【問7】あなたは、子育て支援に関し、どのような考えをお持ちですか。（MA）

【全体】

全体でみると、「子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取り組みを充実すべきである」が48.5%と最も多く、次いで「保育所など地域における子育て支援サービスを充実するべきである（48.1%）」、「子育てに対する不安や悩みを気軽に相談できる支援体制の整備を進めるべきである（44.2%）」の順となっている。

【性別・年代別】

性別でみると、男性については、全体での回答と同様の傾向を示しているが、女性については、「職場における仕事と子育ての両立のための取組を充実すべきである（47.9%）」、「保育所など地域における子育て支援サービスを充実するべきである（46.8%）」、「子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取り組みを充実すべきである（45.3%）」の順となっている。

しかし、年代別も踏まえてみると、男性の20代で「男性がもっと育児に参加できるよう長時間労働等の働き方の見直しを進めるべきである」が第1位、女性の30代及び40代、男性の20代及び30代で「安定した家庭を築くことができるよう就労の支援を進めるべきである」が第3位となっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、前回第2位であった「子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取り組みを充実すべきである」との回答が今回第1位となり、逆に、前回第1位であった「保育所など地域における子育て支援サービスを充実するべきである」との回答が今回第2位となった。

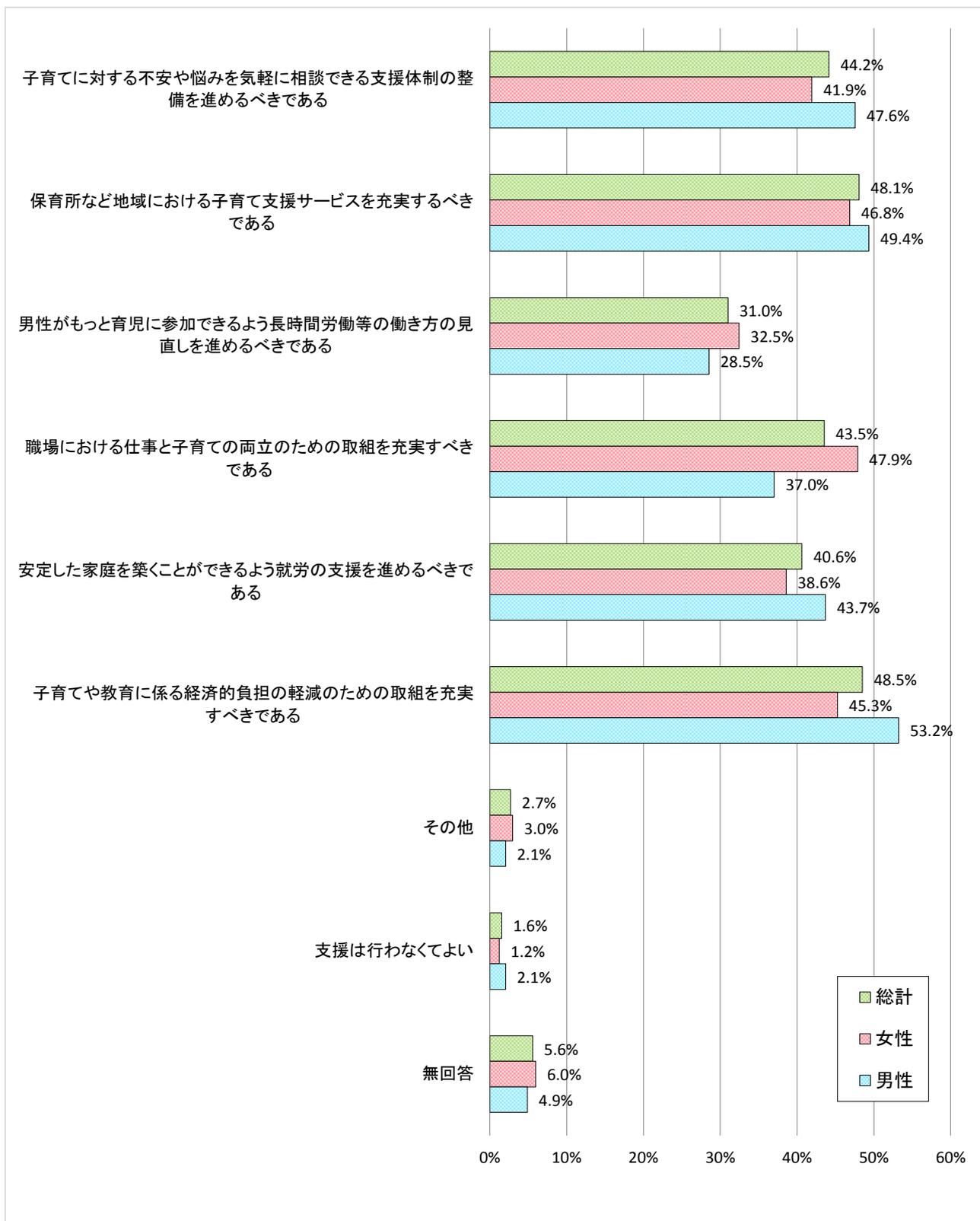
また、前回第3位であった「職場における仕事と子育ての両立のための取組を充実すべきである」との回答が後退し、今回第3位は「子育てに対する不安や悩みを気軽に相談できる支援体制の整備を進めるべきである」が上昇した。

しかし、5ポイント以上の増減がなく、意識の大きな変化は特にみられない。

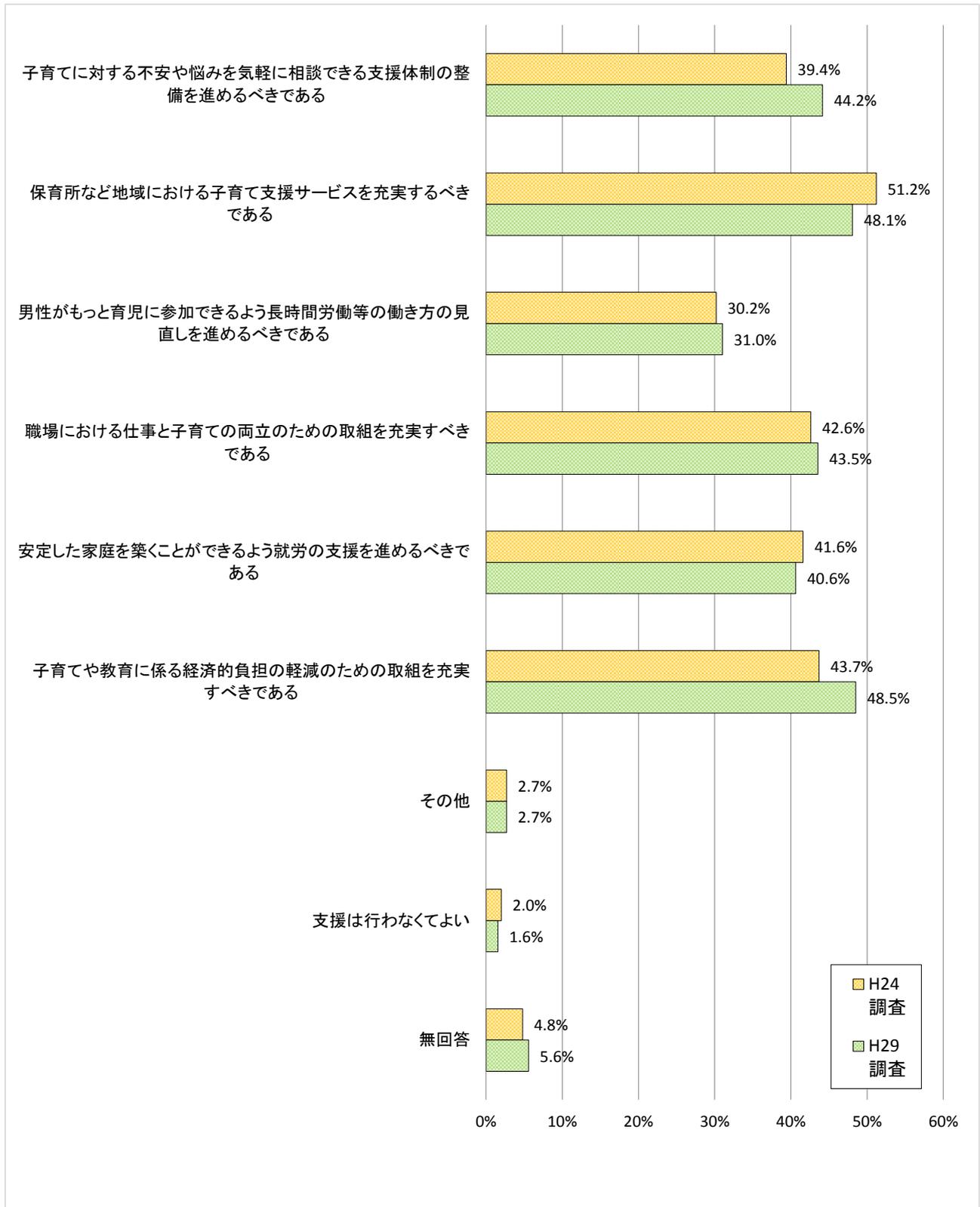
「その他」の自由回答

- あまり支援しすぎて、親の自立が欠けるのではないか。（70歳以上女性）
- 育児休業制度の義務化が必要。（20代女性）
- 子育て支援サークルを市内にもっと増やしてほしい。（20代女性）
- 児童数をまとめる形で学校の統合を進めるべき。（40代男性）
- 自分の子どもは自分の家で教育したほうがよい。（70歳以上男性）
- 育てられないならば子どもをつくるべきではない、無責任な親こそ問題。（70歳以上男性）
- 大学まで学費無料。（30代女性）
- 長時間労働を不法に行う業者への罰則や公表を進める。また、未婚で子どもを持った人への就労支援や子の預かりなど手助けを手厚くすべき。（50代女性）
- 放課後の子どもを預かる施設を増やす。（50代男性）
- 遊具が充実していない公園ばかりなので、子どもが思い切り遊べる公園などの施設が必要。（40代女性）
- 園に入っている子どもの母親も働きやすいように、夏休みの時期などに育児休暇を取れるとよい。（30代女性）

図表 7-1 子育て支援に関する考えについて【全体及び性別】



図表 7-2 子育て支援に関する考えについて【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 7-3 子育て支援に関する考えについて【性別・年代別】

回答者数		子育てに対する不安や 悩みを軽減する ための支援体制を整 備すべきである	子育てなど地域にお ける保育所等の充 実を促すべきであ る	男性がもつと育児に 加えられるべきであ る	職場における仕事の 負担を軽減するた めの取組をすすめる べきである	安定した家庭を築く ための支援を進め るべきである	子育てや教育に係る 負担を軽減するた めの取組を充実す べきである	その他	支援は行わなくてよ い	無 回 答	
上段:回答数(人)	下段:構成比(%)										
総計	967 -	427 44.2%	465 48.1%	300 31.0%	421 43.5%	393 40.6%	469 48.5%	26 2.7%	15 1.6%	54 5.6%	
性・年代別	女性	570 -	239 41.9%	267 46.8%	185 32.5%	273 47.9%	220 38.6%	258 45.3%	17 3.0%	7 1.2%	34 6.0%
	20代	31 -	12 38.7%	20 64.5%	15 48.4%	19 61.3%	13 41.9%	18 58.1%	2 6.5%	1 3.2%	0 0.0%
	30代	60 -	19 31.7%	22 36.7%	21 35.0%	31 51.7%	25 41.7%	36 60.0%	2 3.3%	1 1.7%	3 5.0%
	40代	90 -	33 36.7%	42 46.7%	26 28.9%	48 53.3%	40 44.4%	48 53.3%	3 3.3%	2 2.2%	3 3.3%
	50代	108 -	63 58.3%	50 46.3%	35 32.4%	60 55.6%	38 35.2%	47 43.5%	4 3.7%	0 0.0%	2 1.9%
	60代	151 -	71 47.0%	85 56.3%	55 36.4%	69 45.7%	65 43.0%	66 43.7%	0 0.0%	0 0.0%	7 4.6%
	70歳以上	130 -	41 31.5%	48 36.9%	33 25.4%	46 35.4%	39 30.0%	43 33.1%	6 4.6%	3 2.3%	19 14.6%
	男性	389 -	185 47.6%	192 49.4%	111 28.5%	144 37.0%	170 43.7%	207 53.2%	8 2.1%	8 2.1%	19 4.9%
	20代	20 -	7 35.0%	5 25.0%	10 50.0%	9 45.0%	8 40.0%	10 50.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	25 -	9 36.0%	12 48.0%	12 48.0%	15 60.0%	12 48.0%	19 76.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	56 -	27 48.2%	27 48.2%	18 32.1%	23 41.1%	19 33.9%	36 64.3%	1 1.8%	3 5.4%	1 1.8%
	50代	68 -	37 54.4%	34 50.0%	14 20.6%	29 42.6%	30 44.1%	31 45.6%	2 2.9%	3 4.4%	4 5.9%
	60代	131 -	60 45.8%	64 48.9%	36 27.5%	49 37.4%	56 42.7%	65 49.6%	0 0.0%	2 1.5%	9 6.9%
	70歳以上	89 -	45 50.6%	50 56.2%	21 23.6%	19 21.3%	45 50.6%	46 51.7%	4 4.5%	0 0.0%	5 5.6%

## 4. 老後の生活について

【問8】もし、あなたに介護が必要になったら、主に誰に介護をしてもらいたいですか。（SA）

### 【全体】

全体でみると、「病院や老人ホームなどの施設に入所する」が28.3%と最も多く、次いで「配偶者（26.6%）」、「ホームヘルパー派遣など公的な在宅介護制度を利用する（17.1%）」の順となっている。

### 【性別・年代別】

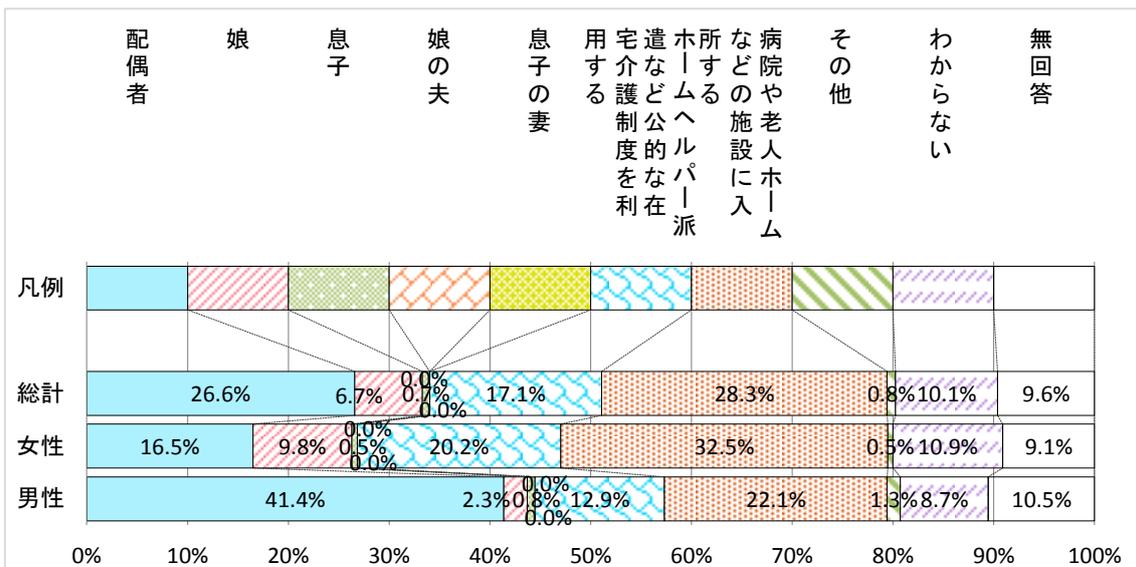
性別でみると、女性については、「病院や老人ホームなどの施設に入所する（32.5%）」、「ホームヘルパー派遣など公的な在宅介護制度を利用する（20.2%）」、「配偶者（16.5%）」の順となっている。

男性については、「配偶者（41.4%）」、「病院や老人ホームなどの施設に入所する（22.1%）」、「ホームヘルパー派遣など公的な在宅介護制度を利用する（12.9%）」の順となっている。

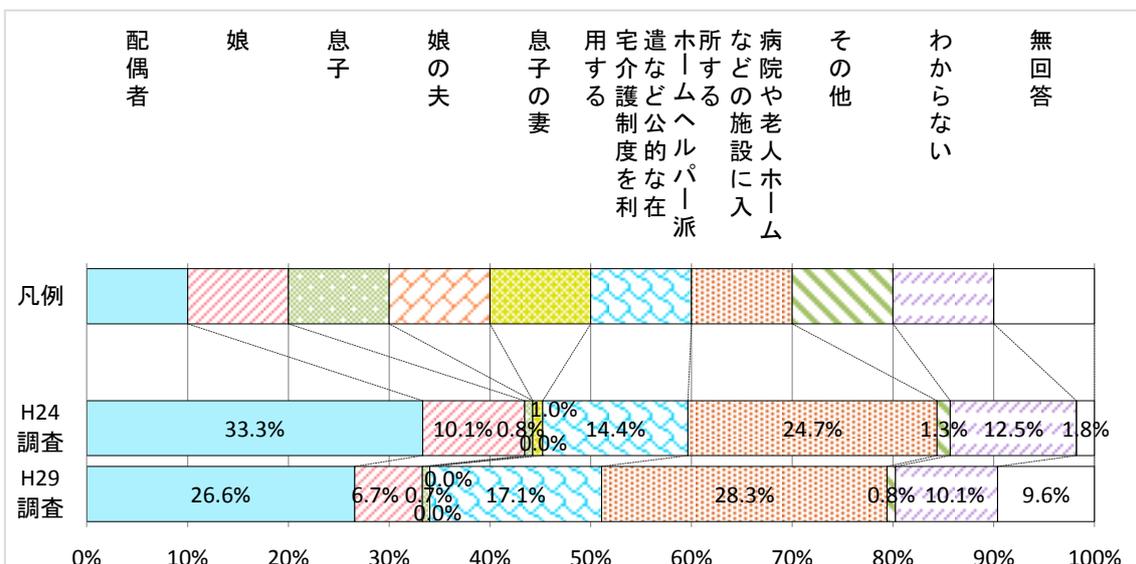
### 【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「配偶者」が6.7ポイントの減少など、「娘」も含めて、家族による介護の希望が減る一方、「病院や老人ホームなどの施設に入所する」が3.6ポイントの増加、「ホームヘルパー派遣など公的な在宅介護制度を利用する」が2.7ポイント増加するなど、施設入所や在宅介護制度利用の希望が増えている。

図表 8-1 自分が介護してもらいたい人【全体及び性別】



図表 8-2 自分が介護してもらいたい人【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 8-3 自分が介護してもらいたい人【【性別・年代別】】

		回答者数	配偶者	娘	息子	娘の夫	息子の妻	ホームヘルパー派遣など公的な在宅介護を利用する	病院や老人ホームなど施設に入所する	その他	わからない	無回答
上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)												
総計		967 100.0%	257 26.6%	65 6.7%	7 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	165 17.1%	274 28.3%	8 0.8%	98 10.1%	93 9.6%
性・年代別	女性	570 100.0%	94 16.5%	56 9.8%	3 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	115 20.2%	185 32.5%	3 0.5%	62 10.9%	52 9.1%
	20代	31 100.0%	7 22.6%	4 12.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 19.4%	4 12.9%	0 0.0%	6 19.4%	4 12.9%
	30代	60 100.0%	10 16.7%	5 8.3%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	9 15.0%	18 30.0%	0 0.0%	10 16.7%	7 11.7%
	40代	90 100.0%	11 12.2%	11 12.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 8.9%	45 50.0%	0 0.0%	10 11.1%	5 5.6%
	50代	108 100.0%	17 15.7%	6 5.6%	2 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	25 23.1%	35 32.4%	3 2.8%	11 10.2%	9 8.3%
	60代	151 100.0%	35 23.2%	19 12.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	33 21.9%	41 27.2%	0 0.0%	13 8.6%	10 6.6%
	70歳以上	130 100.0%	14 10.8%	11 8.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	34 26.2%	42 32.3%	0 0.0%	12 9.2%	17 13.1%
	男性	389 100.0%	161 41.4%	9 2.3%	3 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	50 12.9%	86 22.1%	5 1.3%	34 8.7%	41 10.5%
	20代	20 100.0%	4 20.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%	5 25.0%	0 0.0%	6 30.0%	1 5.0%
	30代	25 100.0%	10 40.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 24.0%	5 20.0%	0 0.0%	2 8.0%	2 8.0%
	40代	56 100.0%	23 41.1%	2 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 8.9%	13 23.2%	1 1.8%	6 10.7%	6 10.7%
	50代	68 100.0%	33 48.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	8 11.8%	11 16.2%	0 0.0%	10 14.7%	6 8.8%
	60代	131 100.0%	60 45.8%	0 0.0%	3 2.3%	0 0.0%	0 0.0%	18 13.7%	30 22.9%	3 2.3%	8 6.1%	9 6.9%
	70歳以上	89 100.0%	31 34.8%	5 5.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	11 12.4%	22 24.7%	1 1.1%	2 2.2%	17 19.1%

## 5. 就業について

※ふだん収入になる仕事（1年間に30日以上）をしている方のみ回答

【問9】あなたが現在、仕事をしているのは、どのような理由からですか。（MA）

### 【全体】

全体でみると、「生計を維持するため」が70.7%と最も多く、約7割を占めている。次いで「家計の足しにするため（41.8%）」、「将来に備えて貯蓄するため（37.5%）」の順となっている。

### 【性別・年代別】

性別でみると、男女とも「生計を維持するため」との回答が第1位（女性：62.2%、男性：81.9%）だが、第2位以降が女性では、「家計の足しにするため（48.9%）」、「自分で自由に使えるお金を得るため（38.2%）」の順となっており、男性では、「将来に備えて貯蓄するため（38.2%）」、「働くのが当然だから（34.9%）」の順となっている。

また、年代別も踏まえてみると、男女とも20代で「自分で自由に使えるお金を得るため」との回答が他の年代と比較して多くなっており、男女とも70歳以上で「生きがいを得るため」や「仕事をするのが好きだから」との回答が他の世代と比較して多くなっている。

### 【前回調査との比較】

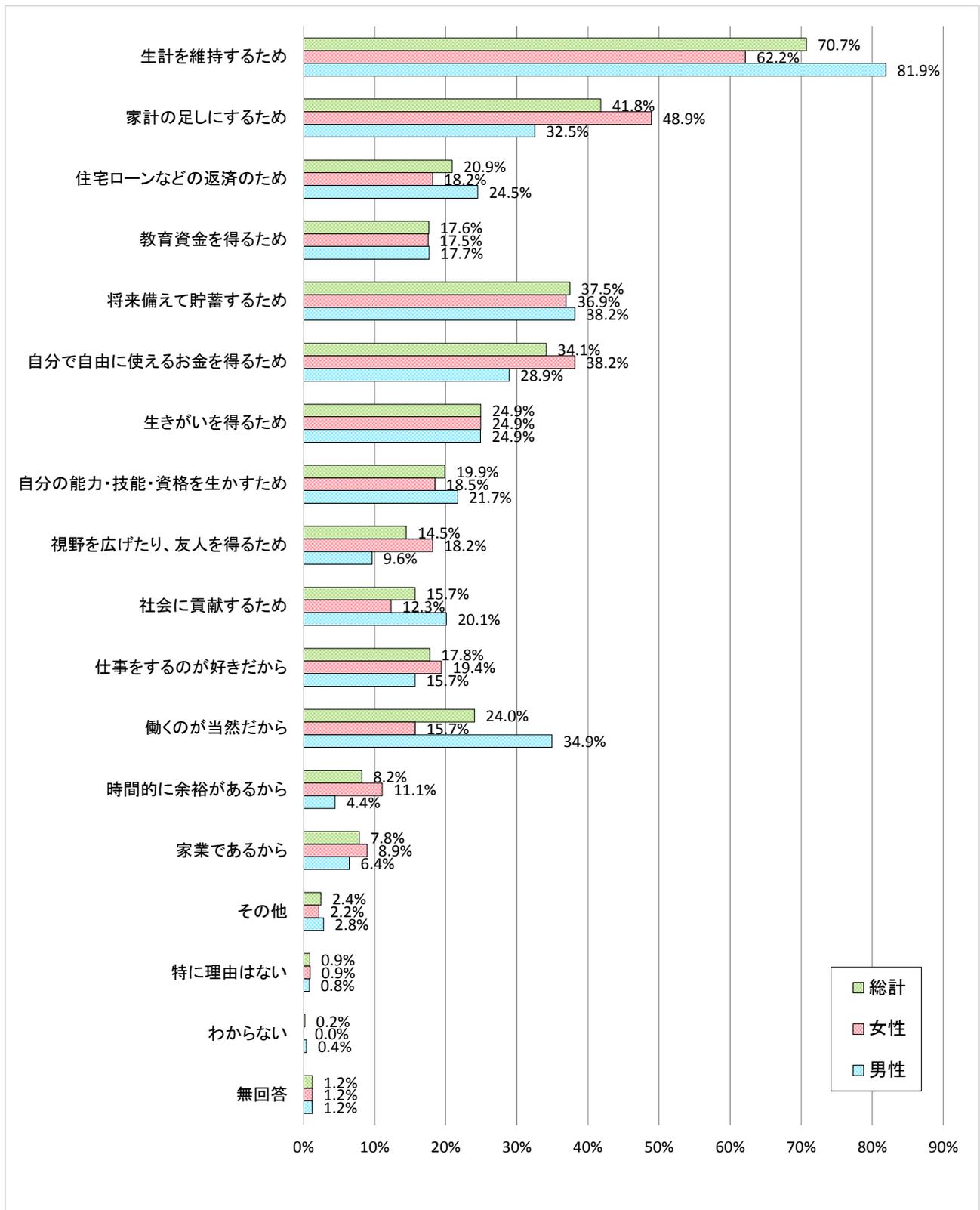
前回調査と比較すると、「生計を維持するため」との回答が前回と変わらず第1位であるが、前回第3位であった「家計の足しにするため」との回答が今回第2位となり、逆に、前回第2位であった「将来に備えて貯蓄するため」との回答が今回第3位となった。

また、5ポイント以上の増減があったものは、「家計の足しにするため」が7.7ポイントの増加となっている。

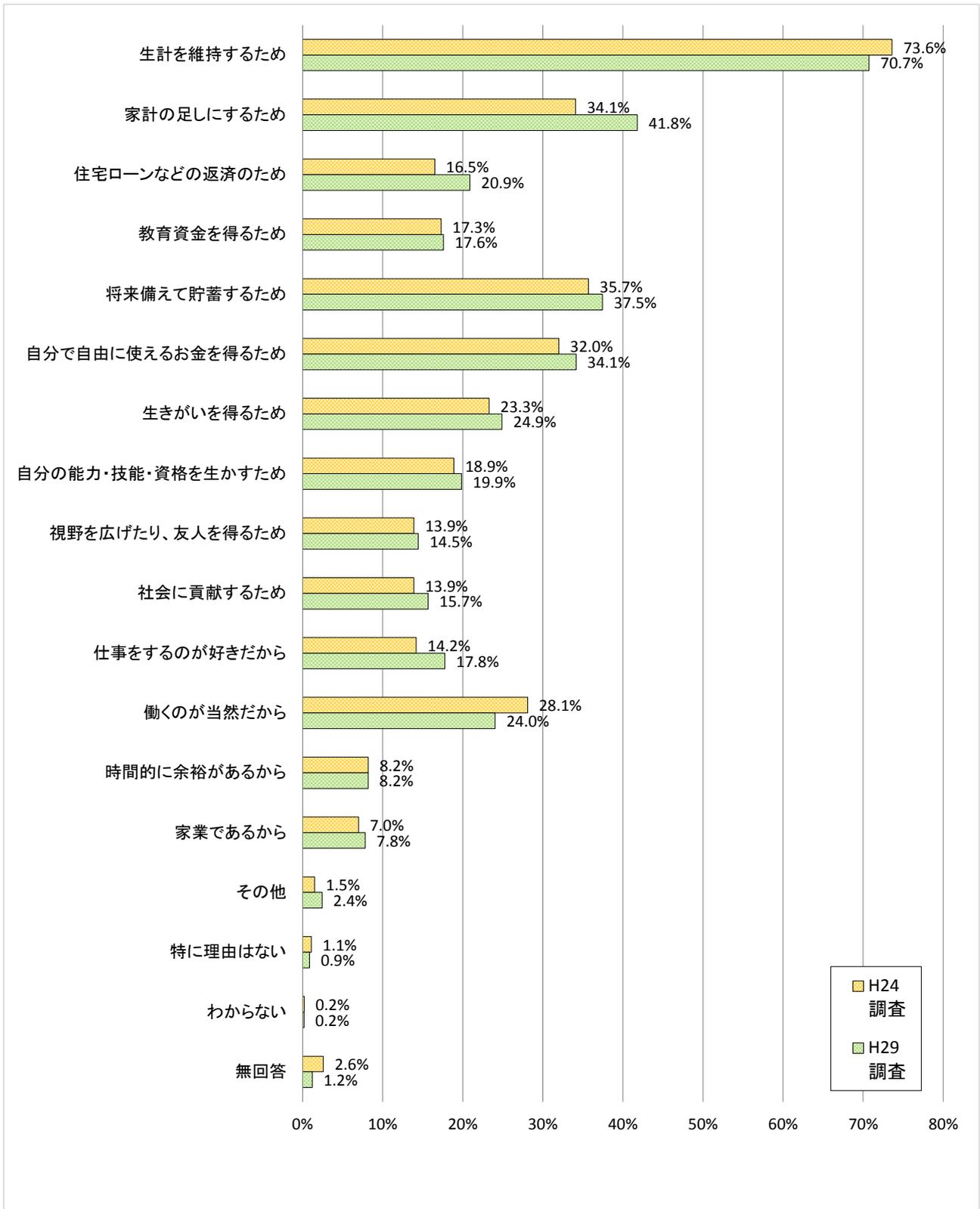
### 「その他」の自由回答

- 子どもに働くことの大切さ（苦勞・充実感など）を知ってもらいたいから。（40代女性）
- 自分の時間を作るため、子どもと離れる時間が必要だから。（30代女性）
- 天職だから。（40代男性）
- 農地を守るため。（60代男性）
- 母の医療費のため。（30代男性）
- 病院代。（60代男性）
- 孫たちのため。（60代女性）
- 孫達におこづかいをあげたいから。（60代女性）
- リズムができて生活しやすいから。（30代女性）
- 老後の病院代のため。（70歳以上男性）

図表 9-1 就業している理由【全体及び性別】



図表 9-2 就業している理由【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 9-3 就業している理由【性別・年代別】

上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)		回答者数	め生計を維持するた	た家計の足しにする	返住宅ローンなどのため	め教育資金を得るた	る将来備えて貯蓄すため	る自分で自由に使えるため	め生きがいを得るた	た能自分の能力・技を生かす	友視野を広げたり、友人を得るため
総計		574	406 70.7%	240 41.8%	120 20.9%	101 17.6%	215 37.5%	196 34.1%	143 24.9%	114 19.9%	83 14.5%
性・年代別	女性	325	202 62.2%	159 48.9%	59 18.2%	57 17.5%	120 36.9%	124 38.2%	81 24.9%	60 18.5%	59 18.2%
	20代	20	10 50.0%	9 45.0%	2 10.0%	4 20.0%	11 55.0%	15 75.0%	2 10.0%	3 15.0%	5 25.0%
	30代	38	28 73.7%	23 60.5%	11 28.9%	14 36.8%	17 44.7%	12 31.6%	6 15.8%	5 13.2%	5 13.2%
	40代	72	48 66.7%	44 61.1%	18 25.0%	28 38.9%	31 43.1%	23 31.9%	11 15.3%	18 25.0%	11 15.3%
	50代	85	55 64.7%	42 49.4%	20 23.5%	9 10.6%	38 44.7%	41 48.2%	29 34.1%	21 24.7%	22 25.9%
	60代	82	52 63.4%	32 39.0%	8 9.8%	2 2.4%	19 23.2%	29 35.4%	23 28.0%	7 8.5%	12 14.6%
	70歳以上	28	9 32.1%	9 32.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 14.3%	4 14.3%	10 35.7%	6 21.4%	4 14.3%
	男性	249	204 81.9%	81 32.5%	61 24.5%	44 17.7%	95 38.2%	72 28.9%	62 24.9%	54 21.7%	24 9.6%
	20代	17	12 70.6%	3 17.6%	0 0.0%	2 11.8%	9 52.9%	10 58.8%	2 11.8%	1 5.9%	3 17.6%
	30代	24	24 100.0%	11 45.8%	8 33.3%	8 33.3%	11 45.8%	10 41.7%	6 25.0%	8 33.3%	2 8.3%
	40代	49	47 95.9%	16 32.7%	19 38.8%	20 40.8%	21 42.9%	13 26.5%	7 14.3%	9 18.4%	2 4.1%
	50代	63	59 93.7%	11 17.5%	21 33.3%	13 20.6%	26 41.3%	16 25.4%	10 15.9%	16 25.4%	7 11.1%
	60代	76	57 75.0%	32 42.1%	12 15.8%	1 1.3%	25 32.9%	16 21.1%	30 39.5%	18 23.7%	6 7.9%
	70歳以上	20	5 25.0%	8 40.0%	1 5.0%	0 0.0%	3 15.0%	7 35.0%	7 35.0%	2 10.0%	4 20.0%

上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)		め社会に貢献するた	き仕事をするのが好	ら働くのが当然だか	る時間的に余裕があ	家業であるから	その他	特に理由はない	わからない	無回答
総計		90 15.7%	102 17.8%	138 24.0%	47 8.2%	45 7.8%	14 2.4%	5 0.9%	1 0.2%	7 1.2%
性・年代別	女性	40 12.3%	63 19.4%	51 15.7%	36 11.1%	29 8.9%	7 2.2%	3 0.9%	0 0.0%	4 1.2%
	20代	3 15.0%	2 10.0%	3 15.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	6 15.8%	7 18.4%	9 23.7%	3 7.9%	3 7.9%	3 7.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.6%
	40代	14 19.4%	10 13.9%	14 19.4%	8 11.1%	1 1.4%	1 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.4%
	50代	12 14.1%	11 12.9%	12 14.1%	9 10.6%	3 3.5%	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%
	60代	4 4.9%	23 28.0%	8 9.8%	14 17.1%	15 18.3%	2 2.4%	2 2.4%	0 0.0%	0 0.0%
	70歳以上	1 3.6%	10 35.7%	5 17.9%	2 7.1%	7 25.0%	0 0.0%	1 3.6%	0 0.0%	1 3.6%
	男性	50 20.1%	39 15.7%	87 34.9%	11 4.4%	16 6.4%	7 2.8%	2 0.8%	1 0.4%	3 1.2%
	20代	1 5.9%	2 11.8%	6 35.3%	2 11.8%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	4 16.7%	2 8.3%	12 50.0%	0 0.0%	3 12.5%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	14 28.6%	6 12.2%	24 49.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%
	50代	16 25.4%	6 9.5%	24 38.1%	0 0.0%	3 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.2%
	60代	13 17.1%	17 22.4%	16 21.1%	7 9.2%	8 10.5%	3 3.9%	1 1.3%	0 0.0%	0 0.0%
	70歳以上	2 10.0%	6 30.0%	5 25.0%	2 10.0%	2 10.0%	1 5.0%	1 5.0%	1 5.0%	0 0.0%

【問 10】あなたの今の職場では、仕事の内容などで性別によって待遇に差があると思いますか。  
(SA)

【全体】

全体でみると、「そのようなことはないと思う」が 55.6%と最も多く、次いで「差があると思う」(21.4%)、「わからない」(16.9%)の順となっている。

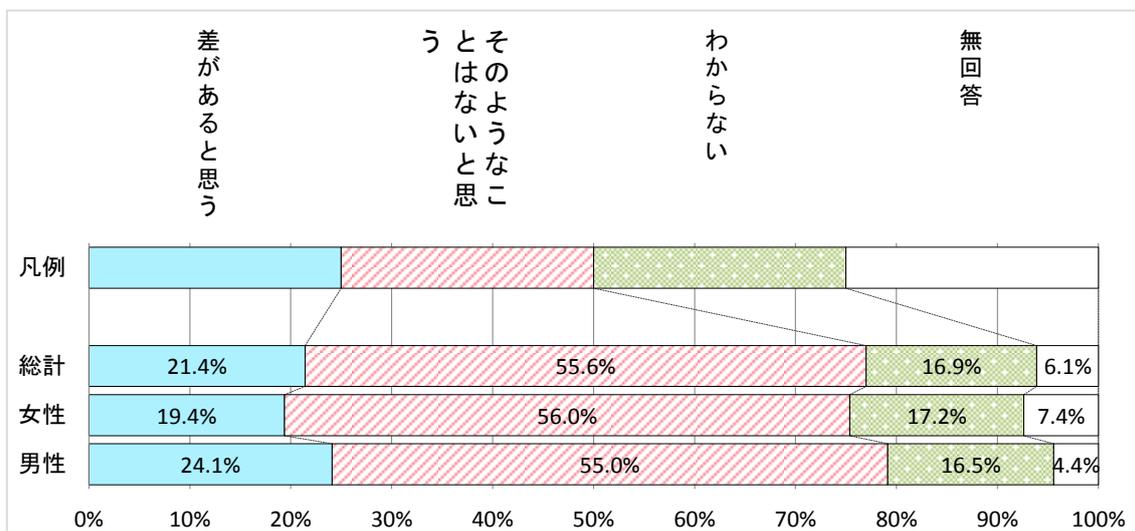
【性別・年代別】

性別でみると、男女とも全体での回答と同様の傾向を示している。  
また、年代別でも、概ね、全体での回答と同様の傾向を示している。

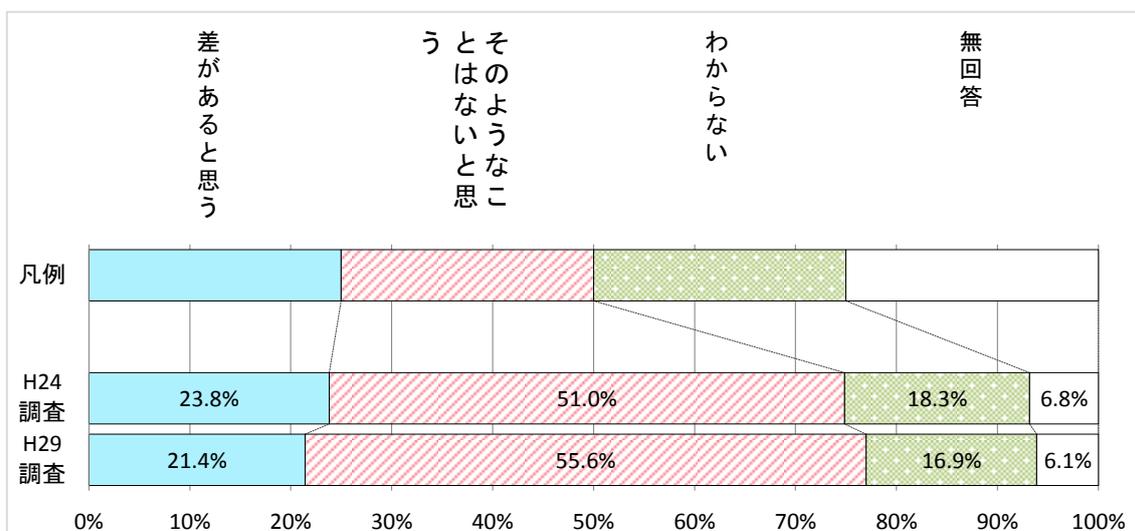
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、性別による待遇の差について、「差があると思う」との回答が 2.4 ポイント減少し、「そのようなことはないと思う」との回答が 4.6 ポイント増加している。

図表 10-1 職場で性別によって処遇に差があるか【全体及び性別】



図表 10-1 職場で性別によって処遇に差があるか【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 10-1 職場で性別によって処遇に差があるか【性別・年代別】

		回答者数	差があると思う	いそのようなことはな	わからない	無回答
		上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)				
総計		574 100.0%	123 21.4%	319 55.6%	97 16.9%	35 6.1%
性・年代別	女性	325 100.0%	63 19.4%	182 56.0%	56 17.2%	24 7.4%
	20代	20 100.0%	4 20.0%	9 45.0%	7 35.0%	0 0.0%
	30代	38 100.0%	6 15.8%	24 63.2%	6 15.8%	2 5.3%
	40代	72 100.0%	12 16.7%	46 63.9%	10 13.9%	4 5.6%
	50代	85 100.0%	21 24.7%	49 57.6%	11 12.9%	4 4.7%
	60代	82 100.0%	18 22.0%	43 52.4%	16 19.5%	5 6.1%
	70歳以上	28 100.0%	2 7.1%	11 39.3%	6 21.4%	9 32.1%
	男性	249 100.0%	60 24.1%	137 55.0%	41 16.5%	11 4.4%
	20代	17 100.0%	5 29.4%	10 58.8%	1 5.9%	1 5.9%
	30代	24 100.0%	8 33.3%	11 45.8%	5 20.8%	0 0.0%
	40代	49 100.0%	11 22.4%	26 53.1%	11 22.4%	1 2.0%
	50代	63 100.0%	15 23.8%	41 65.1%	5 7.9%	2 3.2%
	60代	76 100.0%	17 22.4%	39 51.3%	14 18.4%	6 7.9%
	70歳以上	20 100.0%	4 20.0%	10 50.0%	5 25.0%	1 5.0%

※【問 10】で「1 差があると思う」を選択された方のみ回答  
【問 11】それは具体的にどのようなことですか。 (MA)

【全体】

全体でみると、「賃金に差がある」が57.7%と最も多く、次いで「昇進、昇格に差がある(30.1%)」、「能力を正当に評価しない(28.5%)」の順となっている。

【性別・年代別】

性別でみると、男性については、全体での回答と同様の傾向を示しているが、女性については、「賃金に差がある(65.1%)」、「能力を正当に評価しない(31.7%)」、「昇進、昇格に差がある(25.4%)」の順となっている。

年代別でみると、特に大きな差異はみられない。

【前回調査との比較】

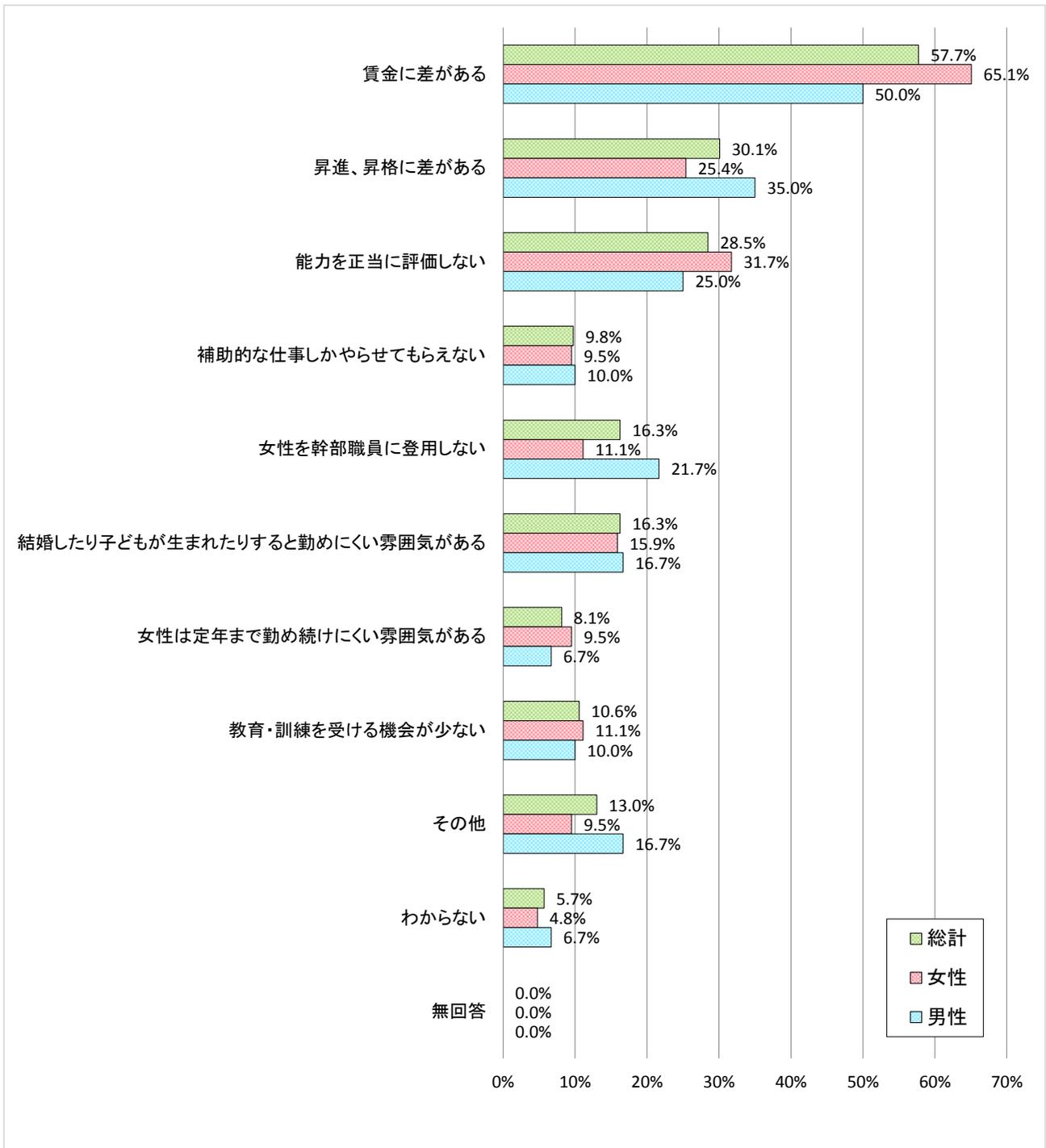
前回調査と比較すると、上位3位までについては、特に変化はなかった。

5ポイント以上の増減があったものは、「昇進、昇格に差がある」が7.9ポイントの減少、「賃金に差がある」が6.3ポイントの減少となっている。

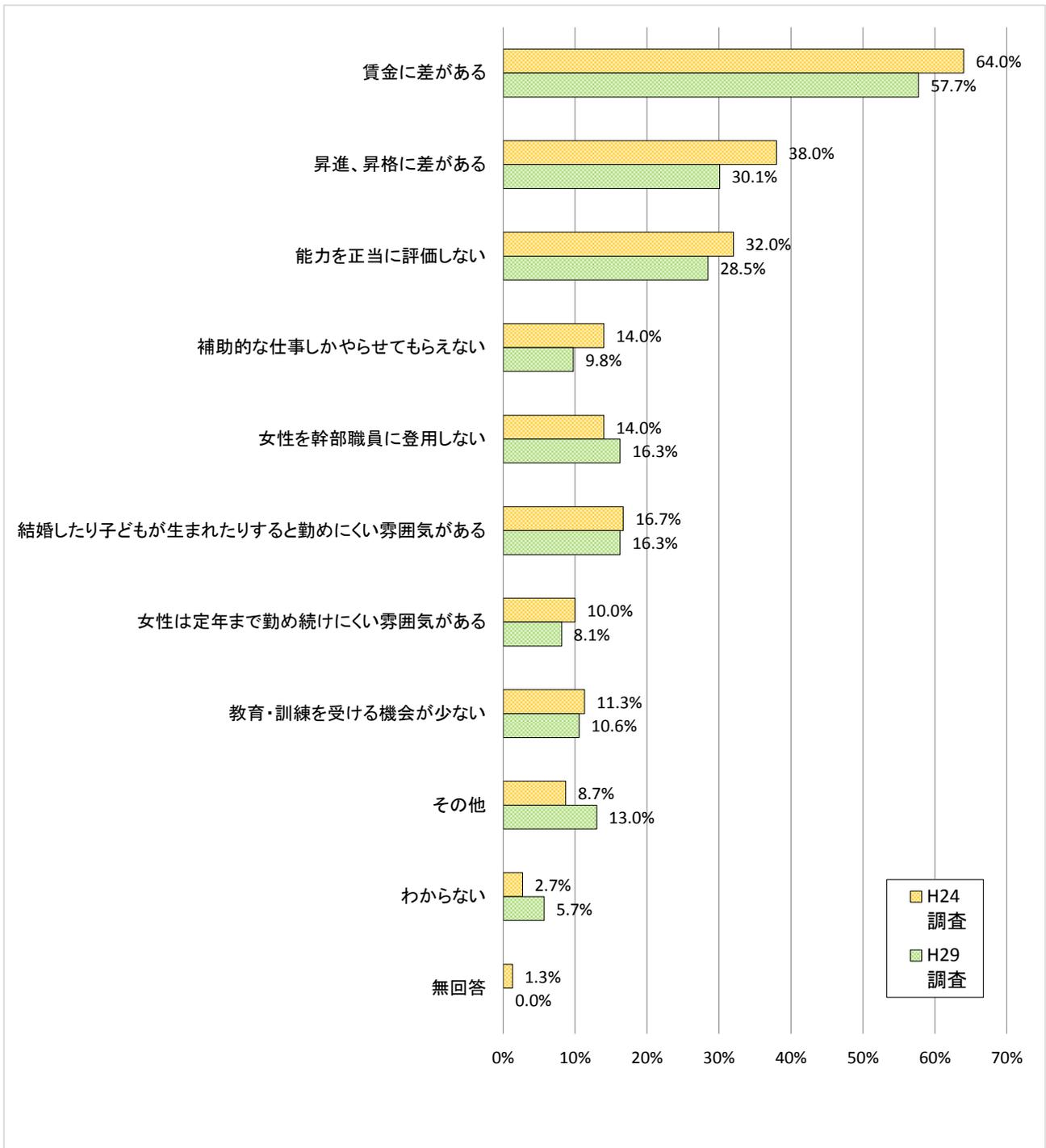
「その他」の自由回答

- お茶出し、電話を受けるのは女性が主になっている。(40代女性)
- 同じ職場の共働きを嫌う。(50代男性)
- 子育てを理由に、大きな仕事を任されていない。その分は男性への負担となっている。(40代男性)
- 仕事次第で賃金に差があっていると思う。(60代女性)
- 理解がなかったり、相談してもわかってもらえない。(50代女性)
- 上司の機嫌によって差がでる。(30代男性)
- そもそも女性がいない。(30代男性)
- 体力的な差が大きい(職種による差はある)。(50代男性)
- 男性の方が勤務時間が長く、重労働である。(40代女性)
- 力仕事なので、女性には向いていない。(50代男性)
- 特殊な薬品を使っているので仕方ない。(50代男性)

図表 11-1 処遇の差の具体的内容【全体及び性別】



図表 11-2 処遇の差の具体的内容【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 11-3 処遇の差の具体的内容【性別・年代別】

上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)		回答者数	賃金に差がある	昇進、昇格に差がある	能力を正當に評価しない	いや補助的な仕事もやらせてもらえない	女性を幹部職員に登用しない	結婚したり子どもが生まれたりする気があるのに、昇進がめげにくく、昇進が女性に定年まで続かない	教育・訓練を受けにくい		
総計		123	71	37	35	12	20	20	10	13	
		-	57.7%	30.1%	28.5%	9.8%	16.3%	16.3%	8.1%	10.6%	
性別・年代別	女性	63	41	16	20	6	7	10	6	7	
			-	65.1%	25.4%	31.7%	9.5%	11.1%	15.9%	9.5%	11.1%
	20代	4	1	0	0	0	0	2	1	0	
			-	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	0.0%
	30代	6	5	3	4	2	1	2	1	0	
			-	83.3%	50.0%	66.7%	33.3%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%
	40代	12	7	5	4	0	2	1	1	3	
			-	58.3%	41.7%	33.3%	0.0%	16.7%	8.3%	8.3%	25.0%
	50代	21	13	6	5	4	3	5	2	4	
			-	61.9%	28.6%	23.8%	19.0%	14.3%	23.8%	9.5%	19.0%
	60代	18	13	2	7	0	1	0	1	0	
			-	72.2%	11.1%	38.9%	0.0%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%
	70歳以上	2	2	0	0	0	0	0	0	0	
			-	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	60	30	21	15	6	13	10	4	6		
		-	50.0%	35.0%	25.0%	10.0%	21.7%	16.7%	6.7%	10.0%	
20代	5	1	1	2	0	1	1	0	2		
		-	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	40.0%	
30代	8	4	1	3	0	1	0	0	0		
		-	50.0%	12.5%	37.5%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
40代	11	4	4	4	1	3	0	0	0		
		-	36.4%	36.4%	36.4%	9.1%	27.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
50代	15	9	8	3	2	4	3	2	3		
		-	60.0%	53.3%	20.0%	13.3%	26.7%	20.0%	13.3%	20.0%	
60代	17	9	7	2	3	4	6	2	1		
		-	52.9%	41.2%	11.8%	17.6%	23.5%	35.3%	11.8%	5.9%	
70歳以上	4	3	0	1	0	0	0	0	0		
		-	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)		その他	わからない	無回答	
総計		16	7	0	
		13.0%	5.7%	0.0%	
性別・年代別	女性	6	3	0	
			9.5%	4.8%	0.0%
	20代	0	1	0	
			0.0%	25.0%	0.0%
	30代	0	0	0	
			0.0%	0.0%	0.0%
	40代	2	1	0	
			16.7%	8.3%	0.0%
	50代	2	0	0	
			9.5%	0.0%	0.0%
	60代	2	1	0	
			11.1%	5.6%	0.0%
	70歳以上	0	0	0	
			0.0%	0.0%	0.0%
男性	10	4	0		
		16.7%	6.7%	0.0%	
20代	1	0	0		
		20.0%	0.0%	0.0%	
30代	2	1	0		
		25.0%	12.5%	0.0%	
40代	1	1	0		
		9.1%	9.1%	0.0%	
50代	4	0	0		
		26.7%	0.0%	0.0%	
60代	1	2	0		
		5.9%	11.8%	0.0%	
70歳以上	1	0	0		
		25.0%	0.0%	0.0%	

※収入になる仕事をしていない方のみ回答

【問 12】あなたが現在、仕事をしていないのは、どのような理由からですか。（MA）

【全体】

全体でみると、「高齢だから」が 48.1%と最も多く、次いで「健康や体力に自信がないから(27.5%)」、「親や病気の家族の世話をするため(11.4%)」の順となっている。

【性別・年代別】

性別でみると、男女とも全体での回答と同様の傾向を示している。

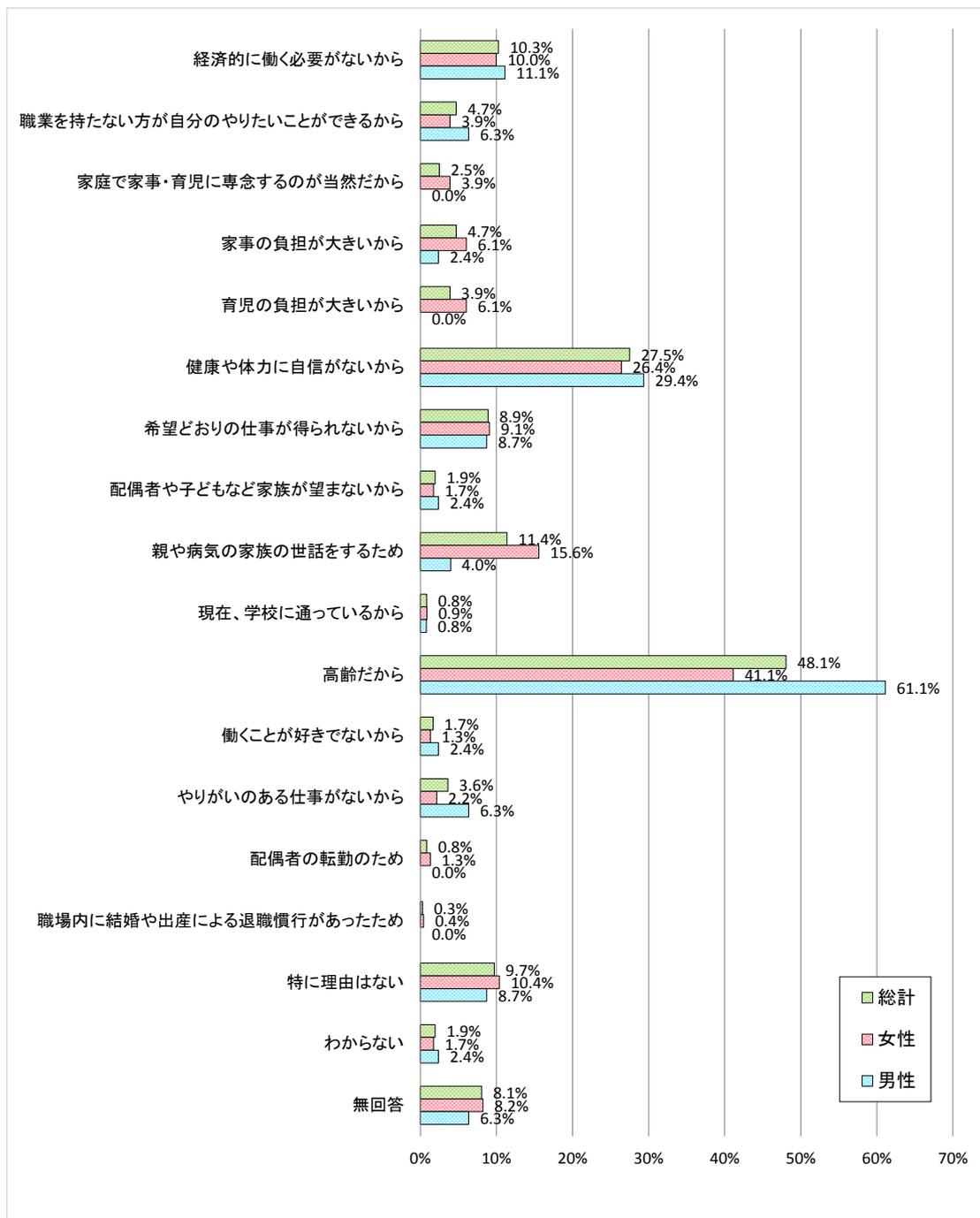
しかし、年代別も踏まえてみると、女性の 30 代で「育児の負担が大きいから」との回答が最も多い。

【前回調査との比較】

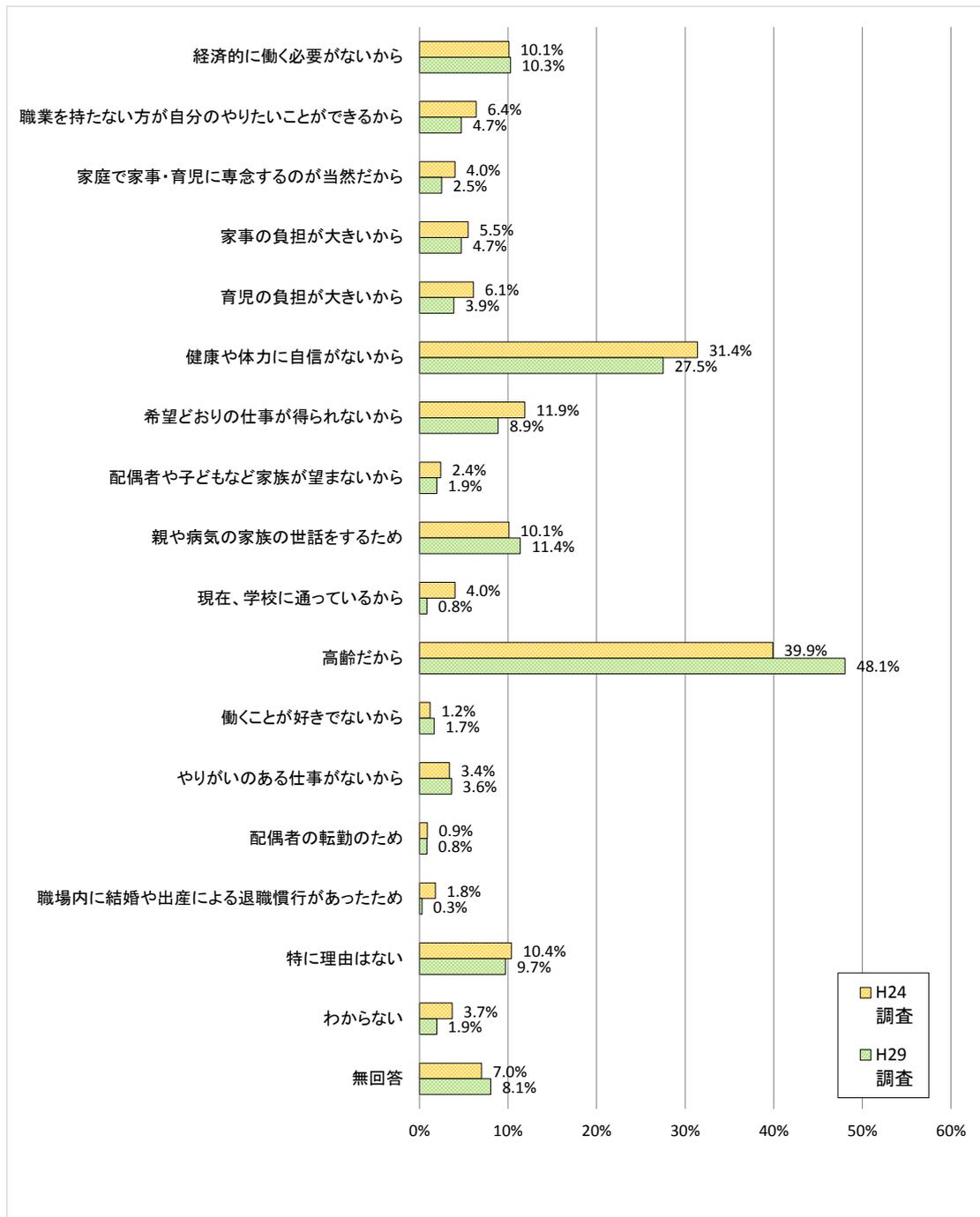
前回調査と比較すると、上位 2 位までは変わらず、前回第 3 位であった「希望どおりの仕事を得られないから」との回答が後退し、今回第 3 位は「親や病気の家族の世話をするため」が上昇した。

また、「高齢だから」との回答は前回調査と比較して、8.2 ポイント増加している。

図表 12-1 収入になる仕事をしていない理由【全体及び性別】



図表 12-2 収入になる仕事をしていない理由【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 12-3 収入になる仕事をしていない理由【性別・年代別】

	回答者数	が経済的に働く必要	が自分のやりたいことができるから	家庭で専念するのが当然	家事の負担が大きい	育児の負担が大きい	健康や体力に自信がないから	希望どおりの仕事を得られないから	配偶者や子どもなど家族が望まない	世親や病気の家族のため	
		上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)									
総計	360	37 10.3%	17 4.7%	9 2.5%	17 4.7%	14 3.9%	99 27.5%	32 8.9%	7 1.9%	41 11.4%	
性・年代別	女性	231	23 10.0%	9 3.9%	9 3.9%	14 6.1%	14 6.1%	61 26.4%	21 9.1%	4 1.7%	36 15.6%
	20代	10	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	2 20.0%	3 30.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	19	1 5.3%	1 5.3%	3 15.8%	4 21.1%	8 42.1%	1 5.3%	3 15.8%	0 0.0%	1 5.3%
	40代	14	3 21.4%	0 0.0%	2 14.3%	3 21.4%	3 21.4%	3 21.4%	3 21.4%	1 7.1%	2 14.3%
	50代	22	3 13.6%	0 0.0%	0 0.0%	3 13.6%	0 0.0%	11 50.0%	4 18.2%	0 0.0%	10 45.5%
	60代	66	10 15.2%	5 7.6%	3 4.5%	4 6.1%	1 1.5%	20 30.3%	9 13.6%	3 4.5%	17 25.8%
	70歳以上	100	6 6.0%	3 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	23 23.0%	1 1.0%	0 0.0%	6 6.0%
	男性	126	14 11.1%	8 6.3%	0 0.0%	3 2.4%	0 0.0%	37 29.4%	11 8.7%	3 2.4%	5 4.0%
	20代	3	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	4	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%
	50代	4	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	60代	49	8 16.3%	6 12.2%	0 0.0%	2 4.1%	0 0.0%	11 22.4%	4 8.2%	1 2.0%	4 8.2%
	70歳以上	66	6 9.1%	1 1.5%	0 0.0%	1 1.5%	0 0.0%	21 31.8%	4 6.1%	2 3.0%	0 0.0%

	回答者数	て現 在、 学 校 に 通 つ	高 齢 だ か ら	な 働 い く こ と が 好 き で	事 や り が い い の あ る 仕	め 配 偶 者 の 転 勤 の た	が 産 職 場 内 に 結 婚 や 出	特 に 理 由 は な い	わ か ら な い	無 回 答	
		上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)									
総計	3	173 8.8%	6 48.1%	13 1.7%	3 3.6%	3 0.8%	1 0.3%	35 9.7%	7 1.9%	29 8.1%	
性・年代別	女性	2	95 0.9%	3 41.1%	5 1.3%	3 1.3%	1 0.4%	24 10.4%	4 1.7%	19 8.2%	
	20代	2	0 20.0%	0 0.0%	1 10.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	
	30代	0	0 0.0%	0 0.0%	1 5.3%	0 0.0%	1 5.3%	1 5.3%	0 0.0%	2 10.5%	
	40代	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	
	50代	0	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	3 13.6%	0 0.0%	4 18.2%	
	60代	0	25 0.0%	1 37.9%	2 1.5%	1 3.0%	1 1.5%	0 7.6%	2 3.0%	1 1.5%	
	70歳以上	0	70 0.0%	1 70.0%	1 1.0%	1 1.0%	0 0.0%	14 14.0%	2 2.0%	10 10.0%	
	男性	1	77 0.8%	3 61.1%	8 2.4%	3 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	11 8.7%	3 2.4%	8 6.3%
	20代	1	0 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%
	30代	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	40代	0	1 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	50代	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	1 25.0%	
	60代	0	26 0.0%	2 53.1%	5 4.1%	5 10.2%	0 0.0%	7 14.3%	1 2.0%	1 2.0%	
	70歳以上	0	50 0.0%	0 75.8%	2 3.0%	2 3.0%	0 0.0%	4 6.1%	1 1.5%	5 7.6%	

【問 13】一般的に、女性が仕事をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。（SA）

【全体】

全体でみると、「子どもができて、育児制度等を利用しながら、ずっと仕事を続ける方がよい」との回答が 26.4%と最も多く、次いで「子どもができれば仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をもつ方がよい(20.5%)」、「結婚後や子どもができてからはパートやアルバイトの方がよい(9.5%)」の順となっている。

【性別・年代別】

性別でみると、女性については、全体での回答と同様の傾向を示しているが、男性については、「子どもができて、育児制度等を利用しながら、ずっと仕事を続ける方がよい(26.0%)」、「子どもができれば仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をもつ方がよい(21.1%)」、「女性は仕事をもつことは当然である(9.3%)」の順となっている。

年代別も踏まえてみると、男女とも 40 代及び 50 代で「女性が仕事をもつことは当然である」との回答が第 2 位や第 3 位となっている。

【前回調査との比較】

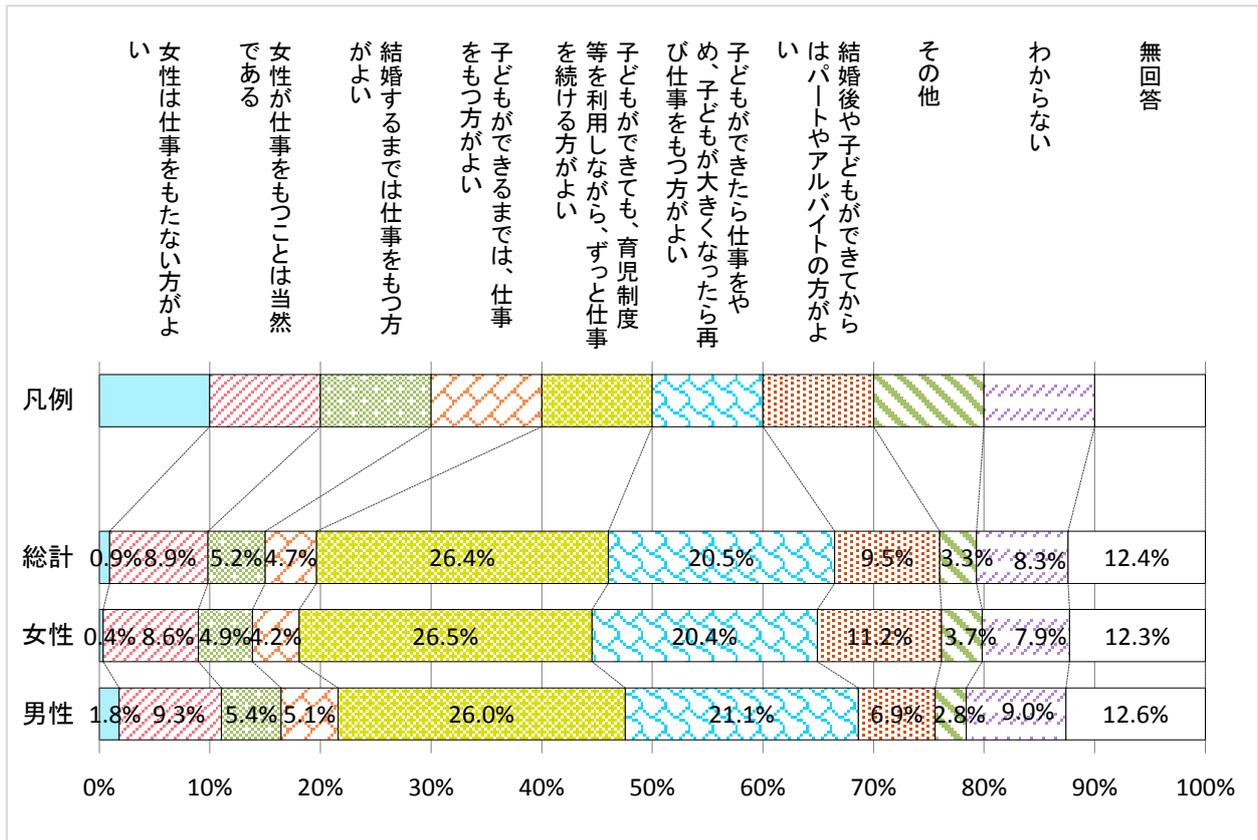
前回調査と比較すると、前回第 2 位であった「子どもができて、育児制度等を利用しながら、ずっと仕事を続ける方がよい」との回答が今回第 1 位となり、逆に、前回第 1 位であった「子どもができれば仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をもつ方がよい」との回答が今回第 2 位となった。

また、「子どもができて、育児制度等を利用しながら、ずっと仕事を続ける方がよい」との回答は前回調査と比較して、7.6 ポイント増加している。

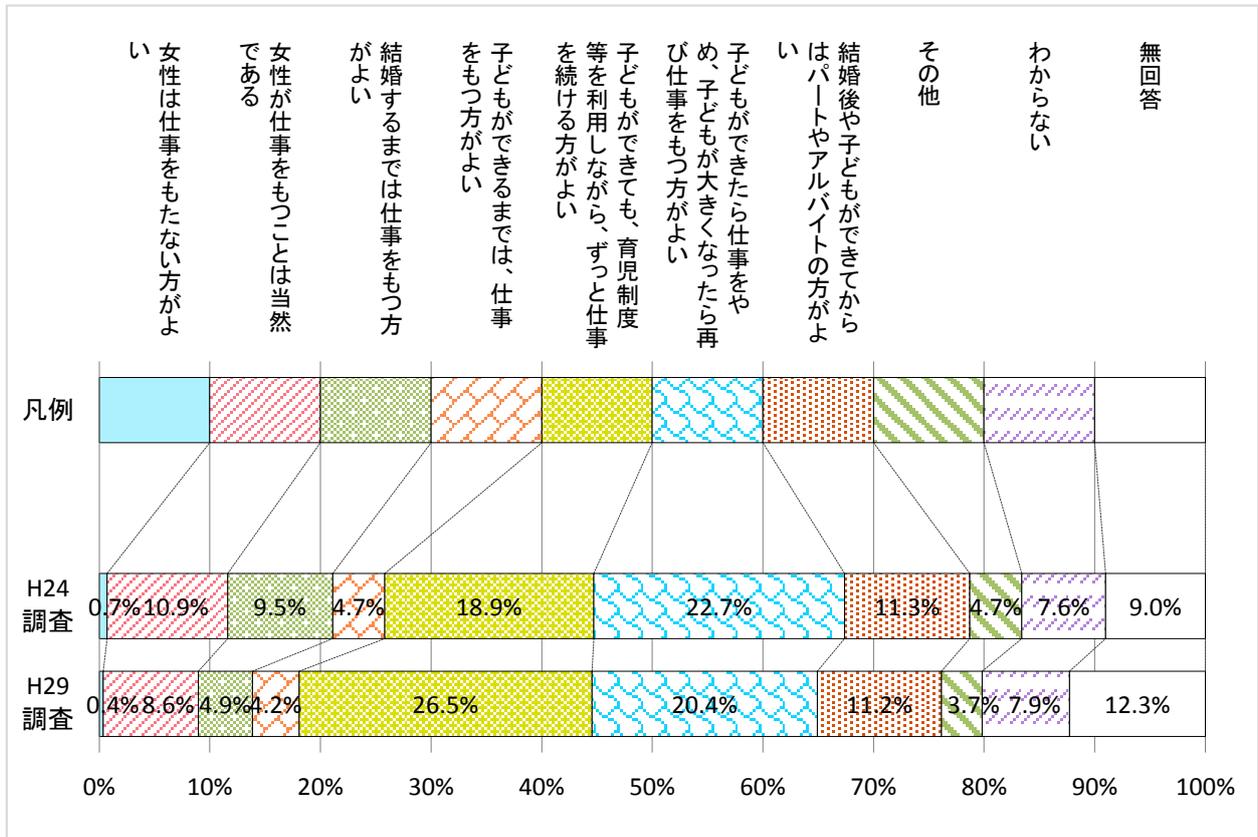
「その他」の自由回答

- いろいろなことを考えても、結局は女性一人ひとりの自由である。(30 代女性)
- 家庭の事情による。ただ仕事をするなら、子どもの学校行事に参加できるような職場や休暇が取りやすい環境があればよいと思う。(40 代女性)
- 経済的に余裕があれば、仕事はもたなくていいと思う。(40 代女性)
- 個人によって価値観が違うから、その人の考えでよいと思う。(40 代女性)
- 個人の好きにしたらいい。(30 代女性)
- 子どもが出来た後は、できるだけ子どもと一緒にいてほしいが、家族で話し合って決めればよいと思う。それぞれだと思う。(60 代女性)
- 仕事する、しないは、自由だと思う。(60 代男性)
- 仕事といっても、いろいろな職種があり、考え方、環境も十人十色。それぞれの考えでよいと思う。(30 代女性)
- 仕事は持つべきだと思うが、仕事と家事と子育てに追われて、思うようにできないのが現状だと思う。(50 代女性)
- 仕事をしたい人はすればいいし、辞めたい人は辞めればよい。男女問わず、仕事より子育て、育児を優先したい人の方が多いと思う。(20 代男性)
- 十人十色でそれぞれの家庭にあったものを選んだ方がよい。(40 代女性)
- 当然であるとは思わないけど、仕事もちたいとは思っている。(30 代女性)
- 夫婦でうまくやっていけるならどのようなやり方でもいい。(20 代男性)
- 夫婦でとことん話し合って決める。(50 代女性)
- 老後、年金がきちんともらえるかわからないので仕事をした方がよい。(30 代女性)

図表 13-1 女性の就労に対する考え方【全体及び性別】



図表 13-2 女性の就労に対する考え方【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 13-3 女性の就労に対する考え方【性別・年代別】

	回答者数	よい女性 は仕事をも たない方が	然女性 がある仕事 をもつことは 当	方結婚 するまでは 仕事をもち	事子ども がつかえる までは、仕	と仕事 を続ける方 がよい、育 児制	子ども ができた ら仕事をや めたい	子ども ができた ら仕事をや めたい	方はパート やアルバイト がよいのか	結婚後 子どもが できたのか	その他	わからない	無回答
上段:回答数(人) 下段:構成比(%)													
総計	967 100.0%	9 0.9%	86 8.9%	50 5.2%	45 4.7%	255 26.4%	198 20.5%	92 9.5%	32 3.3%	80 8.3%	120 12.4%		
性・年代別	女性	570 100.0%	2 0.4%	49 8.6%	28 4.9%	24 4.2%	151 26.5%	116 20.4%	64 11.2%	21 3.7%	45 7.9%	70 12.3%	
	20代	31 100.0%	0 0.0%	3 9.7%	1 3.2%	1 3.2%	13 41.9%	4 12.9%	5 16.1%	0 0.0%	2 6.5%	2 6.5%	
	30代	60 100.0%	0 0.0%	4 6.7%	3 5.0%	3 5.0%	16 26.7%	10 16.7%	5 8.3%	7 11.7%	7 11.7%	5 8.3%	
	40代	90 100.0%	0 0.0%	13 14.4%	7 7.8%	2 2.2%	23 25.6%	13 14.4%	11 12.2%	5 5.6%	11 12.2%	5 5.6%	
	50代	108 100.0%	1 0.9%	12 11.1%	2 1.9%	5 4.6%	28 25.9%	23 21.3%	9 8.3%	5 4.6%	6 5.6%	17 15.7%	
	60代	151 100.0%	0 0.0%	9 6.0%	7 4.6%	6 4.0%	41 27.2%	39 25.8%	20 13.2%	3 2.0%	8 5.3%	18 11.9%	
	70歳以上	130 100.0%	1 0.8%	8 6.2%	8 6.2%	7 5.4%	30 23.1%	27 20.8%	14 10.8%	1 0.8%	11 8.5%	23 17.7%	
	男性	389 100.0%	7 1.8%	36 9.3%	21 5.4%	20 5.1%	101 26.0%	82 21.1%	27 6.9%	11 2.8%	35 9.0%	49 12.6%	
	20代	20 100.0%	0 0.0%	3 15.0%	1 5.0%	0 0.0%	4 20.0%	4 20.0%	0 0.0%	3 15.0%	3 15.0%	2 10.0%	
	30代	25 100.0%	0 0.0%	1 4.0%	2 8.0%	0 0.0%	10 40.0%	6 24.0%	1 4.0%	1 4.0%	2 8.0%	2 8.0%	
	40代	56 100.0%	1 1.8%	8 14.3%	1 1.8%	2 3.6%	15 26.8%	6 10.7%	5 8.9%	2 3.6%	9 16.1%	7 12.5%	
	50代	68 100.0%	0 0.0%	11 16.2%	3 4.4%	4 5.9%	19 27.9%	11 16.2%	5 7.4%	3 4.4%	8 11.8%	4 5.9%	
	60代	131 100.0%	4 3.1%	9 6.9%	7 5.3%	7 5.3%	32 24.4%	35 26.7%	11 8.4%	2 1.5%	8 6.1%	16 12.2%	
	70歳以上	89 100.0%	2 2.2%	4 4.5%	7 7.9%	7 7.9%	21 23.6%	20 22.5%	5 5.6%	0 0.0%	5 5.6%	18 20.2%	

【問 14】あなたは、女性が仕事をしやすい環境を整えるためには、どのようなことが必要だとお考えですか。（MA）

【全体】

全体で見ると、「家族や夫の理解・協力」が37.4%と最も多く、次いで「保育所・放課後児童クラブ（学童保育）など子育て環境の整備充実（37.1%）」、「育児・介護休業制度の普及（33.2%）」の順となっている。

【性別・年代別】

性別で見ると、女性については、全体での回答と同様の傾向を示しているが、男性については、「保育所・放課後児童クラブ（学童保育）など子育て環境の整備充実（38.8%）」、「育児・介護休業制度の普及（35.5%）」「家族や夫の理解・協力（30.3%）」の順となっている。特に「家族や夫の理解・協力」との回答については、女性が42.8%であることから、男女間の差は12.5ポイントと、意識の差が大きいことがうかがえる。

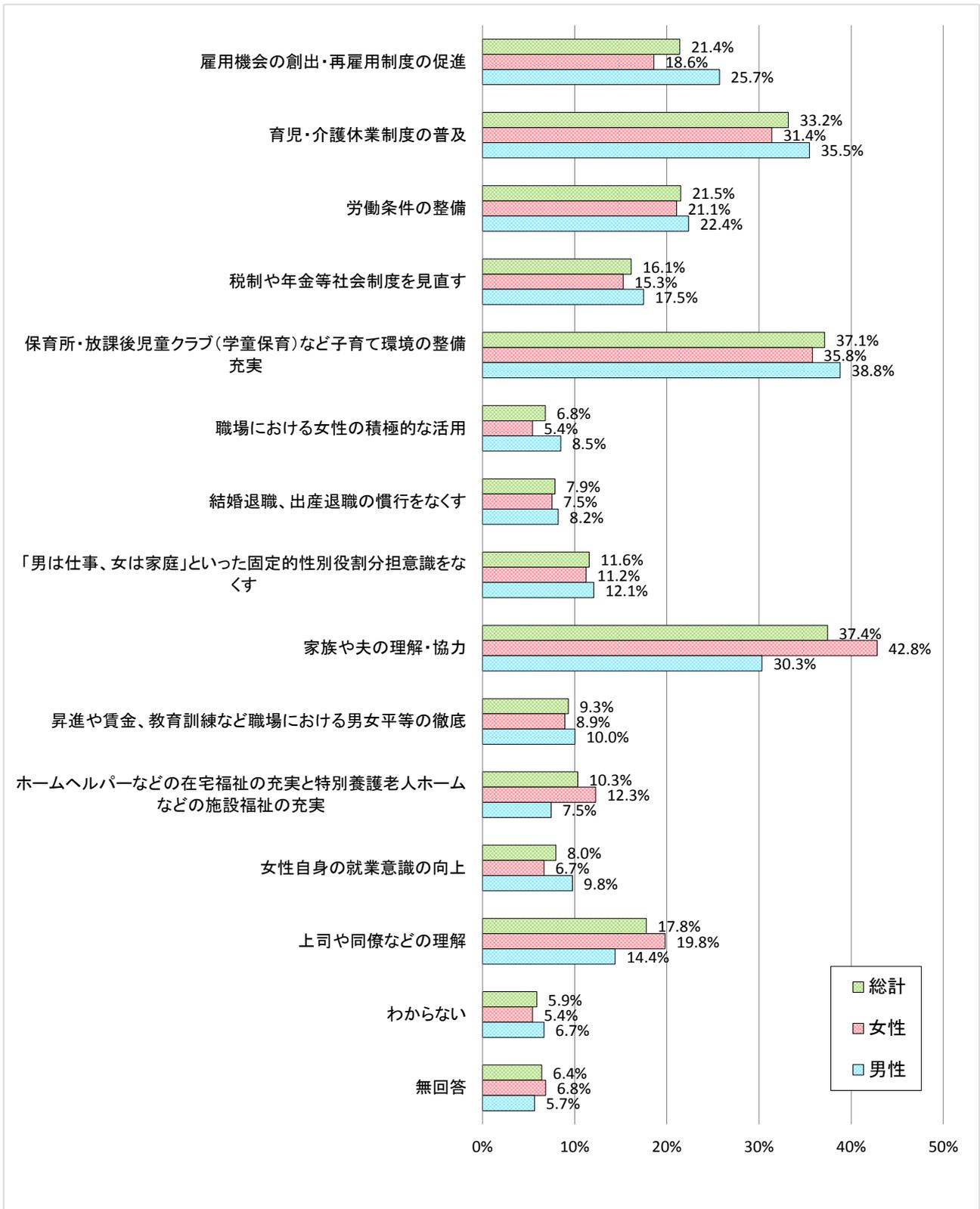
年代別も踏まえてみると、女性の20代及び30代で「保育所・放課後児童クラブ（学童保育）など子育て環境の整備充実」との回答が最も多い。

【前回調査との比較】

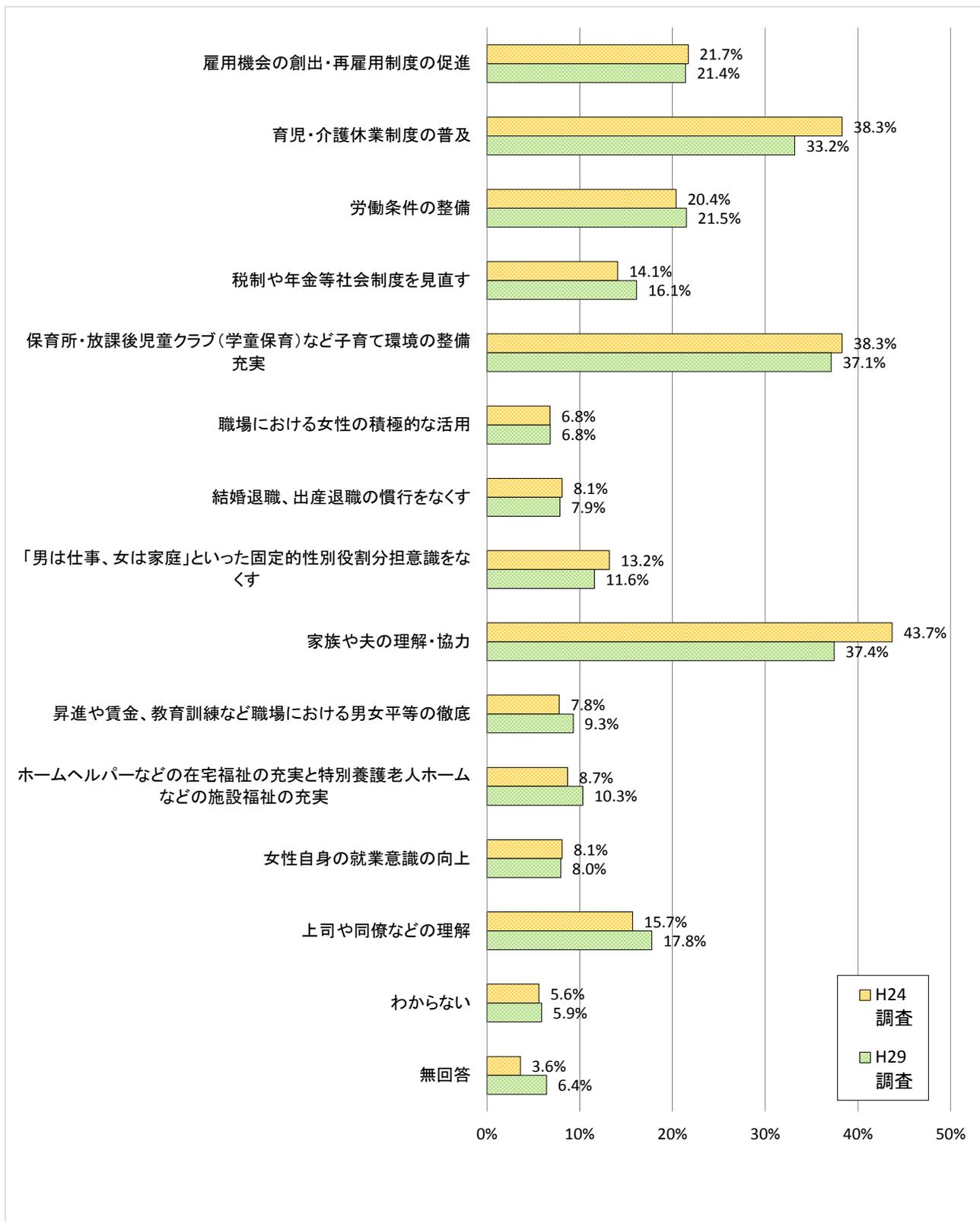
前回調査と比較すると、上位3位までについては、特に変化はなかった。

5ポイント以上の増減があったものは、「家族や夫の理解・協力」が6.3ポイントの減少、「育児・介護休業制度の普及」が5.1ポイントの減少となっている。

図表 14-1 女性が仕事をしやすい環境を整えるために必要なこと【全体及び性別】



図表 14-2 女性が仕事をしやすい環境を整えるために必要なこと【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 14-3 女性が仕事をしやすい環境を整えるために必要なこと【性別・年代別】

上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)		再雇用 制度の創 出・進	育児・ 介護休 業制 の普及	労働 条件の 整備	税制 や年金 等社会 制度を 見直す	児童保 育所・ 放課後 児童保 育など の充実	職場に おける 活用の 女性	結婚 慣行を なくす	家庭 内での 役割分 担は	
総計	967 -	207 21.4%	321 33.2%	208 21.5%	156 16.1%	359 37.1%	66 6.8%	76 7.9%	112 11.6%	
性別・ 年代別	女性	570 -	106 18.6%	179 31.4%	120 21.1%	87 15.3%	204 35.8%	31 5.4%	43 7.5%	64 11.2%
	20代	31 -	4 12.9%	13 41.9%	14 45.2%	3 9.7%	14 45.2%	1 3.2%	0 0.0%	3 9.7%
	30代	60 -	6 10.0%	20 33.3%	15 25.0%	5 8.3%	27 45.0%	1 1.7%	6 10.0%	10 16.7%
	40代	90 -	19 21.1%	25 27.8%	29 32.2%	18 20.0%	32 35.6%	6 6.7%	5 5.6%	5 5.6%
	50代	108 -	15 13.9%	40 37.0%	25 23.1%	17 15.7%	40 37.0%	7 6.5%	7 6.5%	17 15.7%
	60代	151 -	37 24.5%	49 32.5%	27 17.9%	27 17.9%	58 38.4%	5 3.3%	14 9.3%	18 11.9%
	70歳以上	130 -	25 19.2%	32 24.6%	10 7.7%	17 13.1%	33 25.4%	11 8.5%	11 8.5%	11 8.5%
	男性	389 -	100 25.7%	138 35.5%	87 22.4%	68 17.5%	151 38.8%	33 8.5%	32 8.2%	47 12.1%
	20代	20 -	6 30.0%	7 35.0%	7 35.0%	1 5.0%	8 40.0%	2 10.0%	2 10.0%	3 15.0%
	30代	25 -	5 20.0%	11 44.0%	10 40.0%	6 24.0%	8 32.0%	1 4.0%	1 4.0%	3 12.0%
	40代	56 -	9 16.1%	17 30.4%	16 28.6%	4 7.1%	24 42.9%	3 5.4%	3 5.4%	11 19.6%
	50代	68 -	18 26.5%	28 41.2%	15 22.1%	14 20.6%	27 39.7%	6 8.8%	7 10.3%	4 5.9%
	60代	131 -	36 27.5%	37 28.2%	28 21.4%	25 19.1%	48 36.6%	17 13.0%	10 7.6%	16 12.2%
	70歳以上	89 -	26 29.2%	38 42.7%	11 12.4%	18 20.2%	36 40.4%	4 4.5%	9 10.1%	10 11.2%

上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)		家族 や夫の 理解・ 協力	昇進 や賃金 などの 平等な 機会	特別 養老 施設 の充 実	ホーム ヘル パー など の充 実	女性 自身 の就 業意 識の 向上	上司 や同 僚な どの 理解	わか らな い	無回 答
総計	362 -	90 37.4%	100 9.3%	77 10.3%	77 8.0%	172 17.8%	57 5.9%	62 6.4%	
性別・ 年代別	女性	244 -	51 42.8%	70 8.9%	38 12.3%	113 19.8%	31 5.4%	39 6.8%	
	20代	10 -	5 32.3%	1 16.1%	2 3.2%	5 6.5%	3 9.7%	0 0.0%	
	30代	26 -	4 43.3%	1 6.7%	3 1.7%	13 21.7%	4 6.7%	5 8.3%	
	40代	41 -	14 45.6%	8 15.6%	3 8.9%	23 25.6%	2 2.2%	5 5.6%	
	50代	56 -	9 51.9%	20 8.3%	6 18.5%	28 25.9%	1 0.9%	4 3.7%	
	60代	64 -	13 42.4%	20 8.6%	15 13.2%	24 15.9%	9 6.0%	7 4.6%	
	70歳以上	47 -	6 36.2%	20 4.6%	9 15.4%	20 6.9%	12 15.4%	18 13.8%	
	男性	118 -	39 30.3%	29 10.0%	38 7.5%	56 9.8%	26 14.4%	22 6.7%	22 5.7%
	20代	6 -	4 30.0%	1 20.0%	3 5.0%	1 15.0%	1 5.0%	1 5.0%	
	30代	4 -	2 16.0%	0 8.0%	3 0.0%	4 12.0%	2 16.0%	1 8.0%	
	40代	15 -	3 26.8%	1 5.4%	4 1.8%	11 7.1%	6 19.6%	3 10.7%	
	50代	26 -	5 38.2%	8 7.4%	10 11.8%	12 14.7%	3 17.6%	2 2.9%	
	60代	40 -	19 30.5%	7 14.5%	11 5.3%	17 8.4%	7 13.0%	8 6.1%	
	70歳以上	27 -	6 30.3%	12 6.7%	7 13.5%	11 7.9%	7 12.4%	7 7.9%	

## 6. 学校教育について

【問 15】男女共同参画を実現するために、学校教育の場でどのようなことが大切だと思いますか。  
(MA)

### 【全体】

全体でみると、「互いのよさを理解し、異性を思いやる心を育てる教育を充実する」が56.9%と最も多く、次いで「性別に関わらず、生徒個人の希望や能力にもとづいて進路指導や職業教育を行う（53.2%）」、「心身の発育について正しく理解し、生命や性を尊重する教育を充実する（48.1%）」の順となっている。

### 【性別・年代別】

性別でみると、男女とも全体での回答と同様の傾向を示している。

年代別でみると、男女とも「性別に関係なく役割分担を行うことを推進する」との回答が第3位となっている。

### 【前回調査との比較】

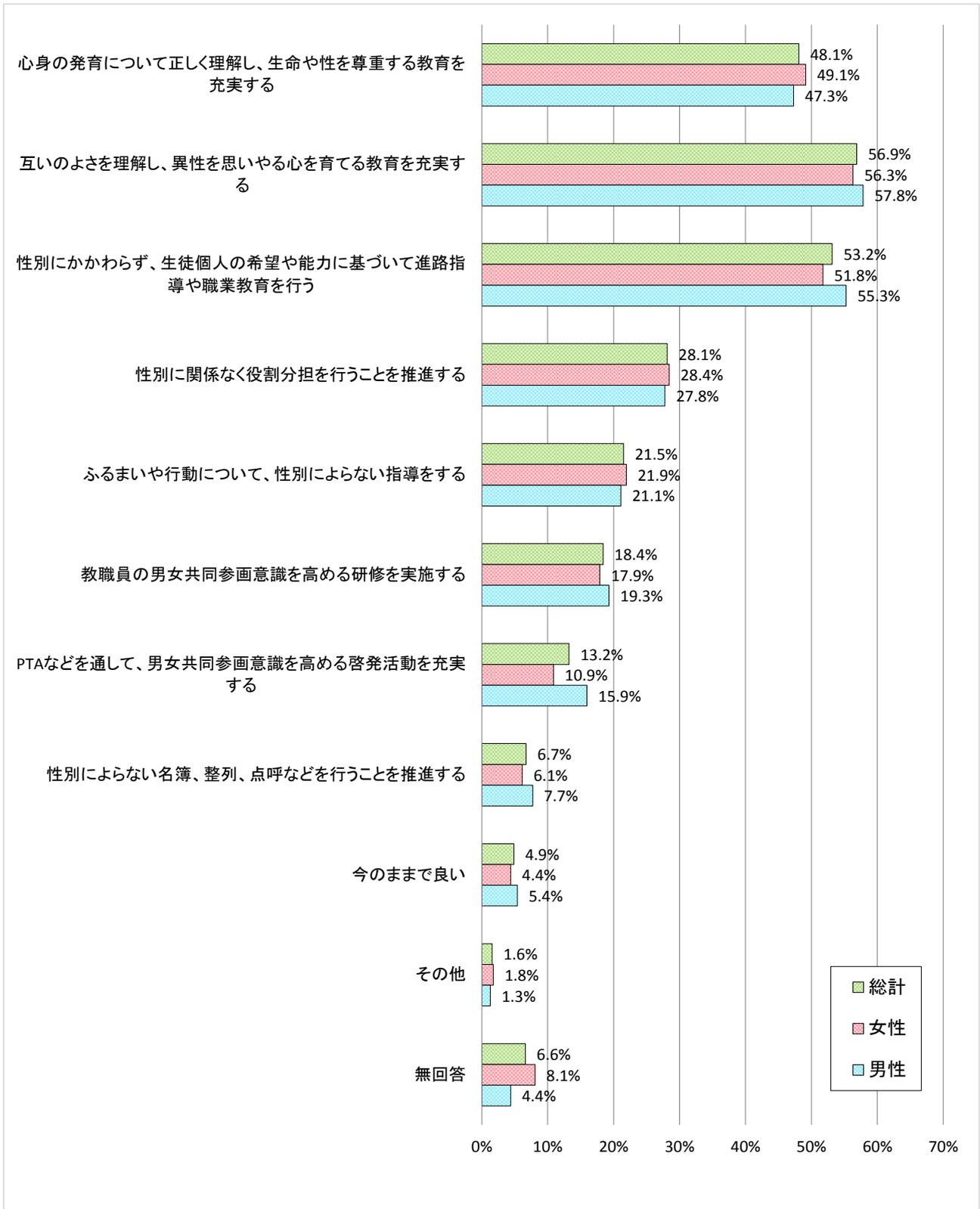
前回調査と比較すると、上位3位までについては、特に変化はなかった。

5ポイント以上の増減があったものは、「ふるまいや行動について、性別によらない指導をする」が6.6ポイントの増加となっている。

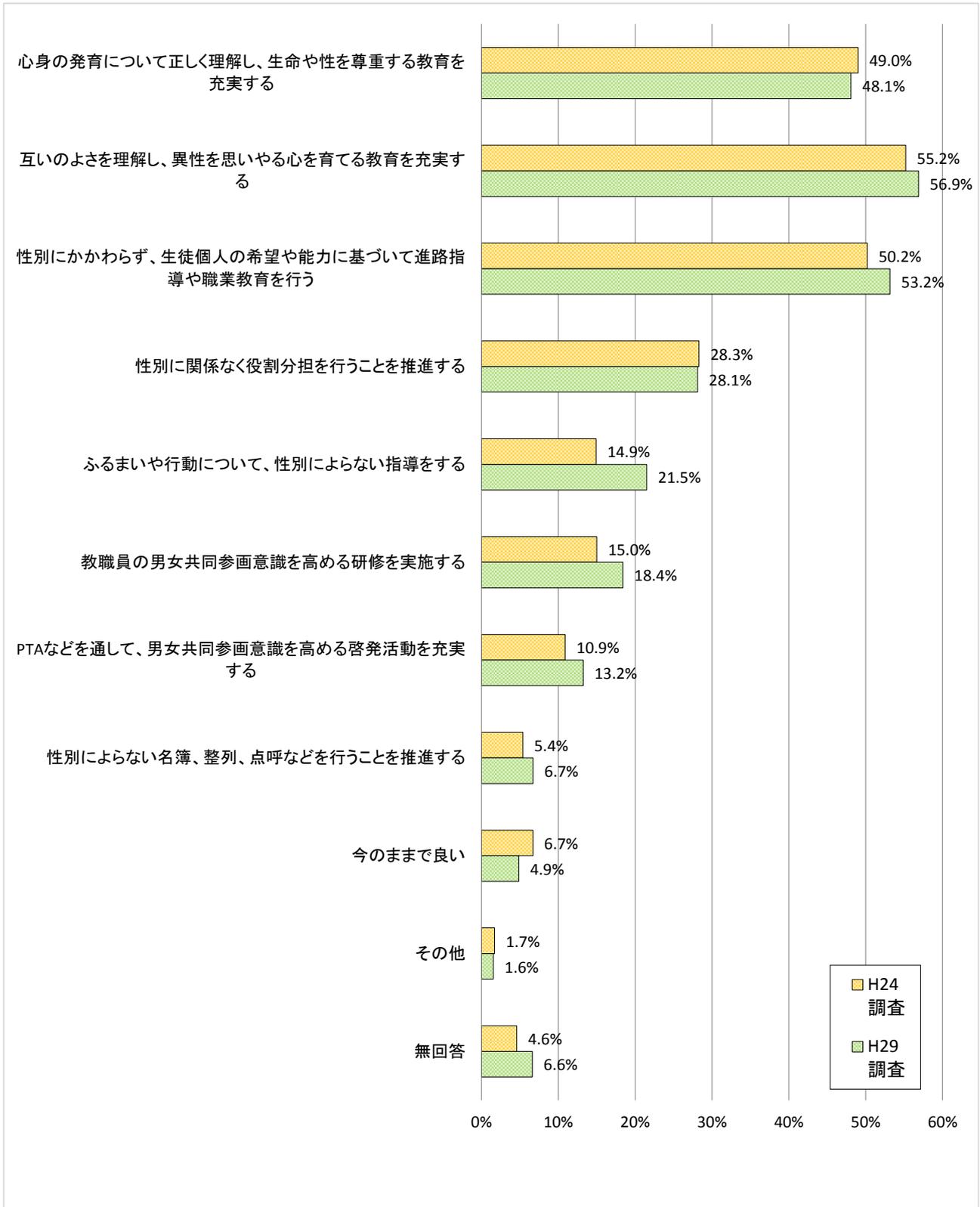
### 「その他」の自由回答

- 性差はあっていいし、隠すのではなく、性について身近になるべきだと思う。(30代女性)
- 男女分ける必要はないし、人としての得意・不得意の補い合いを教えないと、男女問題以外でも生きづらい人が出てくと思う。(30代女性)
- 何事も完全なものはありません。自然体でいい。(60代男性)

図表 15-1 学校教育における男女平等のあり方【全体及び性別】



図表 15-2 学校教育における男女平等のあり方【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 15-3 学校教育における男女平等のあり方【性別・年代別】

上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)		回答者数	る生て心 教命正の身 育やしく発 充実を性育 す尊重し す重し	る心育を 育を育を すを育を すを育を	互いのよ いのよ さを理 解や解	導力生性 や徒個人 職業づにか 教育づいて を進望や 行路や能	を割性別 推分に関 進担係な すを行く うと役	らつふる ないてま 指、い 導、性 を別 すに動	研参教 修画職 を意員 実識の 施を す高 る女 め共 る同	活意てP 動識を、T を高男女 充実め共 する啓画 通	進ど簿性 すを行、別 るう、よ こと、ら をを、点 推を、呼 ない名
総計	967	465	550	514	272	208	178	128	65		
	-	48.1%	56.9%	53.2%	28.1%	21.5%	18.4%	13.2%	6.7%		
性・年代別	女性	570	280	321	295	162	125	102	35		
		-	49.1%	56.3%	51.8%	28.4%	21.9%	17.9%	10.9%	6.1%	
	20代	31	11	17	17	15	6	3	3	8	
		-	35.5%	54.8%	54.8%	48.4%	19.4%	9.7%	9.7%	25.8%	
	30代	60	26	35	29	12	13	6	2	3	
		-	43.3%	58.3%	48.3%	20.0%	21.7%	10.0%	3.3%	5.0%	
	40代	90	53	62	51	27	19	19	8	8	
		-	58.9%	68.9%	56.7%	30.0%	21.1%	21.1%	8.9%	8.9%	
	50代	108	66	74	60	36	33	19	8	6	
		-	61.1%	68.5%	55.6%	33.3%	30.6%	17.6%	7.4%	5.6%	
	60代	151	82	81	83	48	36	31	27	5	
		-	54.3%	53.6%	55.0%	31.8%	23.8%	20.5%	17.9%	3.3%	
	70歳以上	130	42	52	55	24	18	24	14	5	
		-	32.3%	40.0%	42.3%	18.5%	13.8%	18.5%	10.8%	3.8%	
男性	389	184	225	215	108	82	75	62	30		
	-	47.3%	57.8%	55.3%	27.8%	21.1%	19.3%	15.9%	7.7%		
20代	20	6	11	11	7	5	3	0	2		
	-	30.0%	55.0%	55.0%	35.0%	25.0%	15.0%	0.0%	10.0%		
30代	25	15	17	13	9	5	1	1	2		
	-	60.0%	68.0%	52.0%	36.0%	20.0%	4.0%	4.0%	8.0%		
40代	56	29	32	32	11	11	6	4	5		
	-	51.8%	57.1%	57.1%	19.6%	19.6%	10.7%	7.1%	8.9%		
50代	68	37	45	37	21	14	13	9	5		
	-	54.4%	66.2%	54.4%	30.9%	20.6%	19.1%	13.2%	7.4%		
60代	131	62	73	73	39	27	27	24	11		
	-	47.3%	55.7%	55.7%	29.8%	20.6%	20.6%	18.3%	8.4%		
70歳以上	89	35	47	49	21	20	25	24	5		
	-	39.3%	52.8%	55.1%	23.6%	22.5%	28.1%	27.0%	5.6%		

上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)		今のままで良い	その他	無回答	
総計	47	15	64		
	-	4.9%	1.6%	6.6%	
性・年代別	女性	25	10	46	
		-	4.4%	1.8%	8.1%
	20代	2	0	1	
		-	6.5%	0.0%	3.2%
	30代	6	2	3	
		-	10.0%	3.3%	5.0%
	40代	4	0	3	
		-	4.4%	0.0%	3.3%
	50代	2	2	4	
		-	1.9%	1.9%	3.7%
	60代	3	0	10	
		-	2.0%	0.0%	6.6%
	70歳以上	8	6	25	
		-	6.2%	4.6%	19.2%
男性	21	5	17		
	-	5.4%	1.3%	4.4%	
20代	2	0	0		
	-	10.0%	0.0%	0.0%	
30代	2	1	0		
	-	8.0%	4.0%	0.0%	
40代	5	0	1		
	-	8.9%	0.0%	1.8%	
50代	6	1	2		
	-	8.8%	1.5%	2.9%	
60代	4	3	7		
	-	3.1%	2.3%	5.3%	
70歳以上	2	0	7		
	-	2.2%	0.0%	7.9%	

## 7. 人権について

【問 16】あなたは、次のことが親しい男女（夫・妻、事実婚のパートナー、恋人、元配偶者、元パートナー）の間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。（SA）

### 【全体】

全体でみると、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答は、9項目中、「身体を傷つける可能性のあるものでなぐる」が90.4%と最も多く、約9割を占めており、次いで「なぐるふりをしたり、刃物などを突きつけておどす（82.2%）」、「嫌がっているのに性的な行為を強要する（80.6%）」の順となっている。

### 【性別】

性別でみると、男女とも全体での回答と同様の傾向を示している。

「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答で、男女間の意識の差が最も大きい項目は、「『誰のおかげで生活できるんだ』とか、『かいしょうなし』と言う」では、女性が69.1%、男性が58.9%と、10.3ポイントの差が出ている。次いで、「交友関係や電話を細かく監視する」では、女性が53.5%、男性が47.0%と、6.5ポイントの差が出ている。

### 【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答については、「なぐるふりをしたり、刃物などを突きつけておどす」以外のすべての項目で、回答の割合が増加している。

特に「見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる」が10.2ポイントの増加となっており、次いで「『誰のおかげで生活できるんだ』とか、『かいしょうなし』とか言う」が7.3ポイントの増加、「交友関係や電話を細かく監視する」が7.2ポイントの増加などとなっている。

### 【A 平手で打ったり、足でけったりする】

全体及び男女とも、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が最も多く、それぞれ約8割を占めている。

性別・年代別でみると、男女とも、年代による大きな差異はみられないが、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が、男性の50代で85.3%と他の性別・年代と比較して最も多い。

### 【B 身体を傷つける可能性のあるものでなぐる】

全体及び男女とも、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が最も多く、それぞれ約9割を占めている。

性別・年代別でみると、男女とも、年代による大きな差異はみられないが、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が、女性の20代で96.8%と他の性別・年代と比較して最も多い。

### 【C なぐるふりをしたり、刃物などを突きつけておどす】

全体及び男女とも、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が最も多く、それぞれ約8割を占めている。

性別・年代別でみると、男女とも、年代による大きな差異はみられないが、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が、女性の30代で95.0%と他の性別・年代と比較して最も多い。

### 【D 嫌がっているのに性的な行為を強要する】

全体及び男女とも、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が最も多く、それぞれ約8割を占めている。

性別・年代別でみると、男女とも、年代による大きな差異はみられないが、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が、男性の30代で100.0%と他の性別・年代と比較して最も多い。

**【E 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる】**

全体及び男女とも、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が最も多く、それぞれ約 7 割を占めている。

性別・年代別でみると、男女とも、年代による大きな差異はみられないが、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が、男性の 30 代で 96.0%と他の性別・年代と比較して最も多い。

**【F 何を言っても長期間、無視し続ける】**

全体及び男女とも、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が最も多い。

性別・年代別でみると、男女とも 20 代で「暴力にあたる場合と、そうでない場合もあると思う」との回答が約半数を占めている。

また、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が、男性の 30 代で 80.0%と他の性別・年代と比較して最も多い。

**【G 交友関係や電話を細かく監視する】**

全体及び男女とも、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が最も多い。

性別・年代別でみると、男性に比べ女性で「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が若干多くなっており、「暴力にあたる場合と、そうでない場合もあると思う」との回答については、女性の 20 代及び男性の 40 代で、約半数を占めている。

また、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が、女性の 40 代で 68.9%と他の性別・年代と比較して最も多い。

**【H 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「かいしょうなし」と言う】**

全体及び男女とも、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が最も多く、女性では約 7 割を占めている。

性別でみると、男性に比べ女性で「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が若干多くなっている。

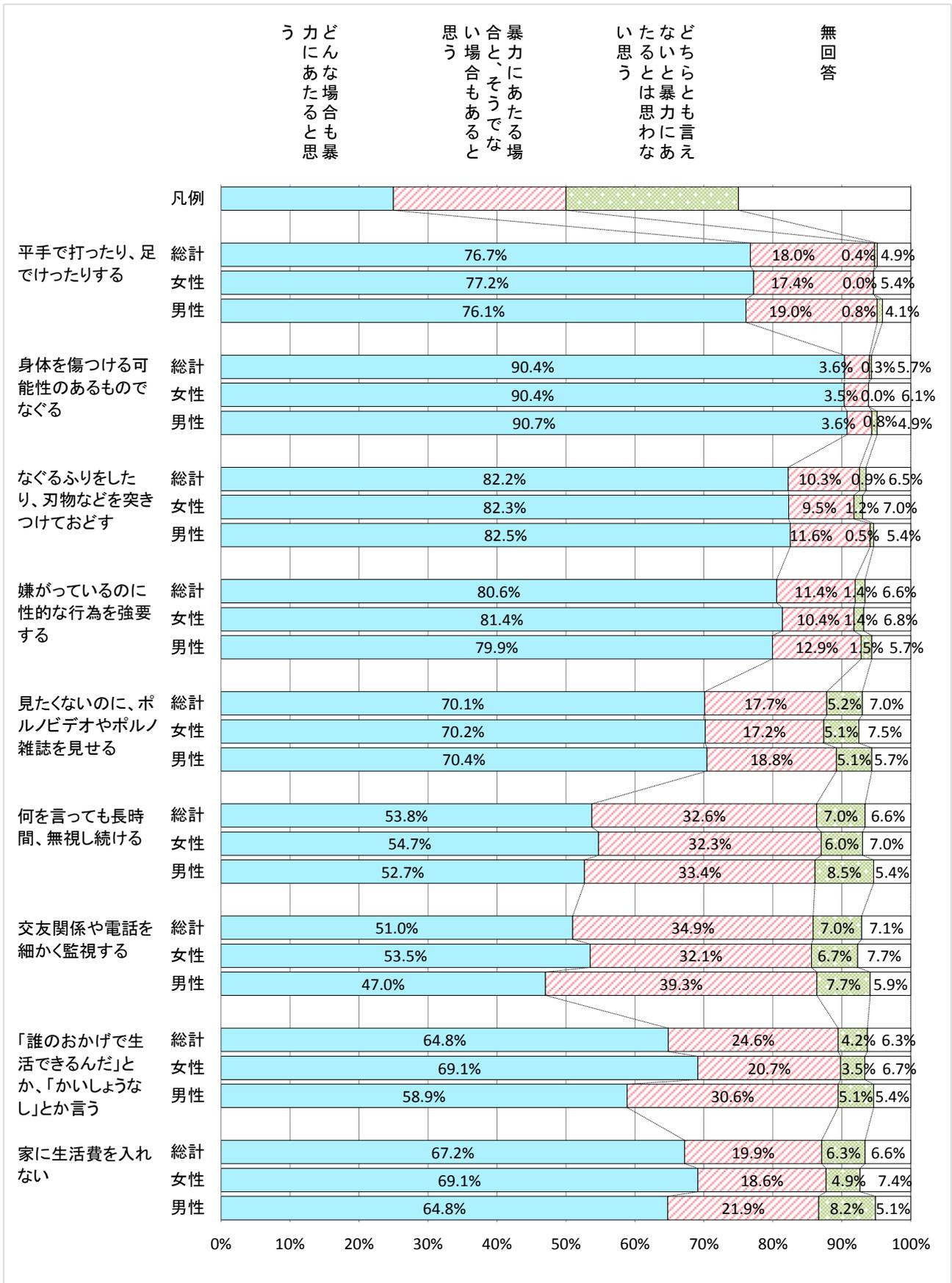
また、年代別による大きな差異はみられないが、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が、女性の 40 代で 77.8%と他の性別・年代と比較して最も多い。

**【I 家に生活費を入れない】**

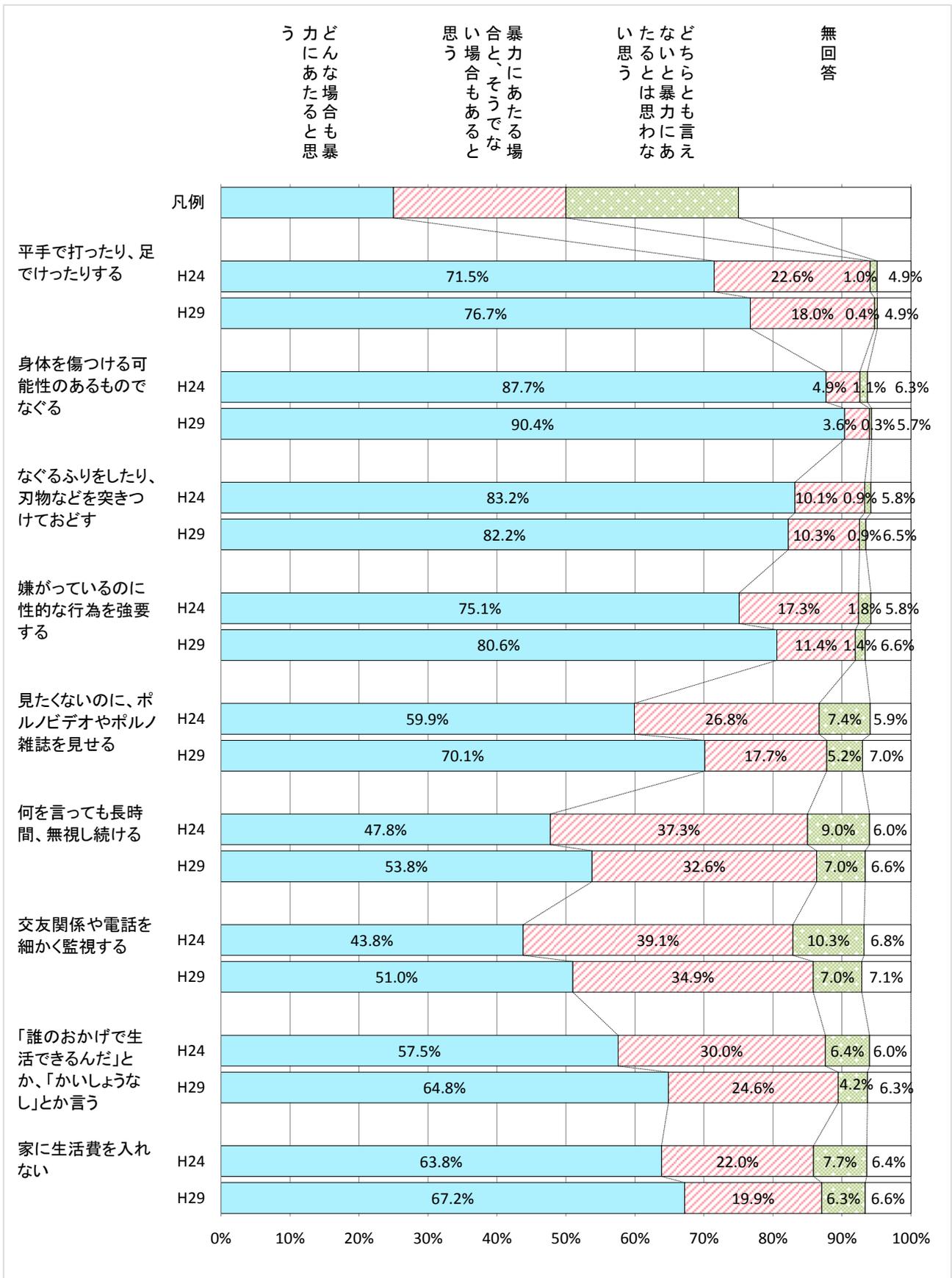
全体及び男女とも、「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が最も多く、全体及び女性では約 7 割を占めている。

性別・年代別でみると、男女とも 20 代で「どんな場合も暴力にあたると思う」との回答が約半数に留まっており、また、女性の 30 代で 81.7%と他の性別・年代と比較して最も多い。

図表 16-1 親しい男女間の暴力【全体及び性別】



図表 16-2 親しい男女間の暴力【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 16-3 親しい男女間の暴力【平手で打ったり、足でけったりする】

		回答者数	あど たんな るな 場合 も思 う暴 力に	も と暴 力に あ た る 場 合 も 思 う	わ な い 暴 力 に あ た る と は 思 わ ない	無 回 答
上段:回答数(人) 下段:構成比(%)						
総計		967 100.0%	742 76.7%	174 18.0%	4 0.4%	47 4.9%
性・年代別	女性	570 100.0%	440 77.2%	99 17.4%	0 0.0%	31 5.4%
	20代	31 100.0%	22 71.0%	7 22.6%	0 0.0%	2 6.5%
	30代	60 100.0%	43 71.7%	17 28.3%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	90 100.0%	74 82.2%	15 16.7%	0 0.0%	1 1.1%
	50代	108 100.0%	88 81.5%	18 16.7%	0 0.0%	2 1.9%
	60代	151 100.0%	126 83.4%	22 14.6%	0 0.0%	3 2.0%
	70歳以上	130 100.0%	87 66.9%	20 15.4%	0 0.0%	23 17.7%
	男性	389 100.0%	296 76.1%	74 19.0%	3 0.8%	16 4.1%
	20代	20 100.0%	14 70.0%	6 30.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	25 100.0%	21 84.0%	4 16.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	56 100.0%	42 75.0%	14 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
	50代	68 100.0%	58 85.3%	6 8.8%	1 1.5%	3 4.4%
	60代	131 100.0%	93 71.0%	30 22.9%	0 0.0%	8 6.1%
	70歳以上	89 100.0%	68 76.4%	14 15.7%	2 2.2%	5 5.6%

図表 16-4 親しい男女間の暴力【身体を傷つける可能性のあるものでなくる】

		回答者数	あど たんな るな 場合 も思 う暴 力に	も と暴 力に あ た る 場 合 も 思 う	わ な い 暴 力 に あ た る と は 思 わ ない	無 回 答
上段:回答数(人) 下段:構成比(%)						
総計		967 100.0%	874 90.4%	35 3.6%	3 0.3%	55 5.7%
性・年代別	女性	570 100.0%	515 90.4%	20 3.5%	0 0.0%	35 6.1%
	20代	31 100.0%	30 96.8%	1 3.2%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	60 100.0%	57 95.0%	3 5.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	90 100.0%	87 96.7%	2 2.2%	0 0.0%	1 1.1%
	50代	108 100.0%	103 95.4%	3 2.8%	0 0.0%	2 1.9%
	60代	151 100.0%	143 94.7%	3 2.0%	0 0.0%	5 3.3%
	70歳以上	130 100.0%	95 73.1%	8 6.2%	0 0.0%	27 20.8%
	男性	389 100.0%	353 90.7%	14 3.6%	3 0.8%	19 4.9%
	20代	20 100.0%	19 95.0%	1 5.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	25 100.0%	23 92.0%	2 8.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	56 100.0%	54 96.4%	1 1.8%	1 1.8%	0 0.0%
	50代	68 100.0%	64 94.1%	1 1.5%	0 0.0%	3 4.4%
	60代	131 100.0%	117 89.3%	6 4.6%	0 0.0%	8 6.1%
	70歳以上	89 100.0%	76 85.4%	3 3.4%	2 2.2%	8 9.0%

図表 16-5 親しい男女間の暴力【なぐるふりをしたり、刃物などを突きつけておどす】

		回答者数	あど たんな るな 場合 も思 う暴 力に	も とあ るそ うで ない 場合 合	わ ない 暴 力に あた ると は思	無 回 答
上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)						
総計		967 100.0%	795 82.2%	100 10.3%	9 0.9%	63 6.5%
性・年代別	女性	570 100.0%	469 82.3%	54 9.5%	7 1.2%	40 7.0%
	20代	31 100.0%	25 80.6%	5 16.1%	0 0.0%	1 3.2%
	30代	60 100.0%	57 95.0%	2 3.3%	0 0.0%	1 1.7%
	40代	90 100.0%	78 86.7%	10 11.1%	1 1.1%	1 1.1%
	50代	108 100.0%	97 89.8%	9 8.3%	0 0.0%	2 1.9%
	60代	151 100.0%	130 86.1%	15 9.9%	1 0.7%	5 3.3%
	70歳以上	130 100.0%	82 63.1%	13 10.0%	5 3.8%	30 23.1%
	男性	389 100.0%	321 82.5%	45 11.6%	2 0.5%	21 5.4%
	20代	20 100.0%	16 80.0%	4 20.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	25 100.0%	23 92.0%	2 8.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	56 100.0%	48 85.7%	8 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
	50代	68 100.0%	60 88.2%	5 7.4%	0 0.0%	3 4.4%
	60代	131 100.0%	110 84.0%	11 8.4%	1 0.8%	9 6.9%
	70歳以上	89 100.0%	64 71.9%	15 16.9%	1 1.1%	9 10.1%

図表 16-6 親しい男女間の暴力【嫌がっているのに性的な行為を強要する】

		回答者数	あど たんな るな 場合 も思 う暴 力に	も とあ るそ うで ない 場合 合	わ ない 暴 力に あた ると は思	無 回 答
上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)						
総計		967 100.0%	779 80.6%	110 11.4%	14 1.4%	64 6.6%
性・年代別	女性	570 100.0%	464 81.4%	59 10.4%	8 1.4%	39 6.8%
	20代	31 100.0%	28 90.3%	3 9.7%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	60 100.0%	55 91.7%	5 8.3%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	90 100.0%	77 85.6%	11 12.2%	0 0.0%	2 2.2%
	50代	108 100.0%	97 89.8%	9 8.3%	0 0.0%	2 1.9%
	60代	151 100.0%	127 84.1%	16 10.6%	2 1.3%	6 4.0%
	70歳以上	130 100.0%	80 61.5%	15 11.5%	6 4.6%	29 22.3%
	男性	389 100.0%	311 79.9%	50 12.9%	6 1.5%	22 5.7%
	20代	20 100.0%	17 85.0%	3 15.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	25 100.0%	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	56 100.0%	52 92.9%	3 5.4%	1 1.8%	0 0.0%
	50代	68 100.0%	58 85.3%	4 5.9%	2 2.9%	4 5.9%
	60代	131 100.0%	103 78.6%	17 13.0%	2 1.5%	9 6.9%
	70歳以上	89 100.0%	56 62.9%	23 25.8%	1 1.1%	9 10.1%

図表 16-7 親しい男女間の暴力【見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる】

		回答者数	あど ん な と 思 う も 暴 力 に	も と あ る と 思 う	暴 力 に あ た る 場 合	わ な い に あ た る と は 思	無 回 答
		上段:回答数(人) 下段:構成比(%)					
総計		967 100.0%	678 70.1%	171 17.7%	50 5.2%	68 7.0%	
性・年代別	女性	570 100.0%	400 70.2%	98 17.2%	29 5.1%	43 7.5%	
	20代	31 100.0%	22 71.0%	8 25.8%	1 3.2%	0 0.0%	
	30代	60 100.0%	51 85.0%	9 15.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	40代	90 100.0%	69 76.7%	16 17.8%	4 4.4%	1 1.1%	
	50代	108 100.0%	83 76.9%	20 18.5%	3 2.8%	2 1.9%	
	60代	151 100.0%	105 69.5%	25 16.6%	12 7.9%	9 6.0%	
	70歳以上	130 100.0%	70 53.8%	20 15.4%	9 6.9%	31 23.8%	
	男性	389 100.0%	274 70.4%	73 18.8%	20 5.1%	22 5.7%	
	20代	20 100.0%	14 70.0%	6 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	30代	25 100.0%	24 96.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%	
	40代	56 100.0%	44 78.6%	11 19.6%	1 1.8%	0 0.0%	
	50代	68 100.0%	53 77.9%	10 14.7%	2 2.9%	3 4.4%	
	60代	131 100.0%	90 68.7%	24 18.3%	7 5.3%	10 7.6%	
	70歳以上	89 100.0%	49 55.1%	22 24.7%	9 10.1%	9 10.1%	

図表 16-8 親しい男女間の暴力【何を言っても長期間、無視し続ける】

		回答者数	あど ん な と 思 う も 暴 力 に	も と あ る と 思 う	暴 力 に あ た る 場 合	わ な い に あ た る と は 思	無 回 答
		上段:回答数(人) 下段:構成比(%)					
総計		967 100.0%	520 53.8%	315 32.6%	68 7.0%	64 6.6%	
性・年代別	女性	570 100.0%	312 54.7%	184 32.3%	34 6.0%	40 7.0%	
	20代	31 100.0%	12 38.7%	16 51.6%	3 9.7%	0 0.0%	
	30代	60 100.0%	42 70.0%	16 26.7%	2 3.3%	0 0.0%	
	40代	90 100.0%	60 66.7%	27 30.0%	2 2.2%	1 1.1%	
	50代	108 100.0%	66 61.1%	34 31.5%	7 6.5%	1 0.9%	
	60代	151 100.0%	82 54.3%	53 35.1%	10 6.6%	6 4.0%	
	70歳以上	130 100.0%	50 38.5%	38 29.2%	10 7.7%	32 24.6%	
	男性	389 100.0%	205 52.7%	130 33.4%	33 8.5%	21 5.4%	
	20代	20 100.0%	9 45.0%	9 45.0%	2 10.0%	0 0.0%	
	30代	25 100.0%	20 80.0%	4 16.0%	1 4.0%	0 0.0%	
	40代	56 100.0%	34 60.7%	20 35.7%	2 3.6%	0 0.0%	
	50代	68 100.0%	37 54.4%	25 36.8%	3 4.4%	3 4.4%	
	60代	131 100.0%	72 55.0%	40 30.5%	12 9.2%	7 5.3%	
	70歳以上	89 100.0%	33 37.1%	32 36.0%	13 14.6%	11 12.4%	

図表 16-9 親しい男女間の暴力【交友関係や電話を細かく監視する】

		回答者数	あど たんな るな 場合 も思 う暴 力に	も とあ るそ うで ない 場合 合	わ 暴 力に あた ると は思	無 回 答
上段:回答数(人) 下段:構成比(%)						
総計		967 100.0%	493 51.0%	337 34.9%	68 7.0%	69 7.1%
性・年代別	女性	570 100.0%	305 53.5%	183 32.1%	38 6.7%	44 7.7%
	20代	31 100.0%	14 45.2%	15 48.4%	2 6.5%	0 0.0%
	30代	60 100.0%	34 56.7%	24 40.0%	2 3.3%	0 0.0%
	40代	90 100.0%	62 68.9%	23 25.6%	4 4.4%	1 1.1%
	50代	108 100.0%	62 57.4%	36 33.3%	7 6.5%	3 2.8%
	60代	151 100.0%	80 53.0%	51 33.8%	12 7.9%	8 5.3%
	70歳以上	130 100.0%	53 40.8%	34 26.2%	11 8.5%	32 24.6%
	男性	389 100.0%	183 47.0%	153 39.3%	30 7.7%	23 5.9%
	20代	20 100.0%	11 55.0%	8 40.0%	1 5.0%	0 0.0%
	30代	25 100.0%	14 56.0%	10 40.0%	1 4.0%	0 0.0%
	40代	56 100.0%	26 46.4%	27 48.2%	3 5.4%	0 0.0%
	50代	68 100.0%	36 52.9%	26 38.2%	3 4.4%	3 4.4%
	60代	131 100.0%	65 49.6%	44 33.6%	13 9.9%	9 6.9%
	70歳以上	89 100.0%	31 34.8%	38 42.7%	9 10.1%	11 12.4%

図表 16-10 親しい男女間の暴力【「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「かいしようなし」とか言う】

		回答者数	あど たんな るな 場合 も思 う暴 力に	も とあ るそ うで ない 場合 合	わ 暴 力に あた ると は思	無 回 答
上段:回答数(人) 下段:構成比(%)						
総計		967 100.0%	627 64.8%	238 24.6%	41 4.2%	61 6.3%
性・年代別	女性	570 100.0%	394 69.1%	118 20.7%	20 3.5%	38 6.7%
	20代	31 100.0%	23 74.2%	8 25.8%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	60 100.0%	43 71.7%	15 25.0%	2 3.3%	0 0.0%
	40代	90 100.0%	70 77.8%	18 20.0%	1 1.1%	1 1.1%
	50代	108 100.0%	74 68.5%	28 25.9%	4 3.7%	2 1.9%
	60代	151 100.0%	107 70.9%	33 21.9%	7 4.6%	4 2.6%
	70歳以上	130 100.0%	77 59.2%	16 12.3%	6 4.6%	31 23.8%
	男性	389 100.0%	229 58.9%	119 30.6%	20 5.1%	21 5.4%
	20代	20 100.0%	12 60.0%	8 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	25 100.0%	17 68.0%	7 28.0%	1 4.0%	0 0.0%
	40代	56 100.0%	32 57.1%	23 41.1%	1 1.8%	0 0.0%
	50代	68 100.0%	44 64.7%	19 27.9%	3 4.4%	2 2.9%
	60代	131 100.0%	74 56.5%	39 29.8%	9 6.9%	9 6.9%
	70歳以上	89 100.0%	50 56.2%	23 25.8%	6 6.7%	10 11.2%

図表 16-11 親しい男女間の暴力【家に生活費を入れない】

		回答者数	あど ん な 場 合 も 暴 力 に	も あ る と 思 う	暴 力 に あ た る 場 合	わ な い に あ た る と は 思	無 回 答
上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)							
総計		967 100.0%	650 67.2%	192 19.9%	61 6.3%	64 6.6%	
性・年代別	女性	570 100.0%	394 69.1%	106 18.6%	28 4.9%	42 7.4%	
	20代	31 100.0%	17 54.8%	13 41.9%	1 3.2%	0 0.0%	
	30代	60 100.0%	49 81.7%	10 16.7%	1 1.7%	0 0.0%	
	40代	90 100.0%	69 76.7%	14 15.6%	5 5.6%	2 2.2%	
	50代	108 100.0%	80 74.1%	20 18.5%	6 5.6%	2 1.9%	
	60代	151 100.0%	109 72.2%	24 15.9%	10 6.6%	8 5.3%	
	70歳以上	130 100.0%	70 53.8%	25 19.2%	5 3.8%	30 23.1%	
	男性	389 100.0%	252 64.8%	85 21.9%	32 8.2%	20 5.1%	
	20代	20 100.0%	10 50.0%	7 35.0%	3 15.0%	0 0.0%	
	30代	25 100.0%	19 76.0%	4 16.0%	2 8.0%	0 0.0%	
	40代	56 100.0%	36 64.3%	16 28.6%	4 7.1%	0 0.0%	
	50代	68 100.0%	44 64.7%	16 23.5%	5 7.4%	3 4.4%	
	60代	131 100.0%	88 67.2%	27 20.6%	7 5.3%	9 6.9%	
	70歳以上	89 100.0%	55 61.8%	15 16.9%	11 12.4%	8 9.0%	

【問 17】あなたはこれまでに、あなたの配偶者や恋人など親密な関係にある人から次のようなことをされたことがありますか。（ここでの「配偶者」には、婚姻届けを出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含まれます）（SA）

【全体】

全体でみると、3項目中すべての項目で、「まったくない」との回答がそれぞれ約8割を占めているが、“ドメスティック・バイオレンスの経験があった（「1、2度あった」＋「何度もあった」）”との回答をみると、「なぐったり、けったり、物を投げつけられたり、突きとばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた」で17.6%、「人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた」で13.8%、「いやがっているのに性的な行為を強要された」で10.0%となっている。

【性別・年代別】

性別でみると、男性に比べ女性で“ドメスティック・バイオレンスの経験があった”との回答が多く、特に「嫌がっているのに性的な行為を強要された」では、圧倒的に女性の方で回答が多くなっている。

【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、“ドメスティック・バイオレンスの経験があった”との回答については、3項目中すべての項目で、回答の割合が減少している。

【A なぐったり、けったり、物を投げつけられたり、突きとばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた】

“ドメスティック・バイオレンスの経験があった”との回答については、女性で20.5%、男性で13.4%となっている。

また、性別・年代別でみると、女性の60代で26.5%と他の性別・年代と比較して最も多い。

【B 格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた】

“ドメスティック・バイオレンスの経験があった”との回答については、女性で16.8%、男性で9.3%となっている。

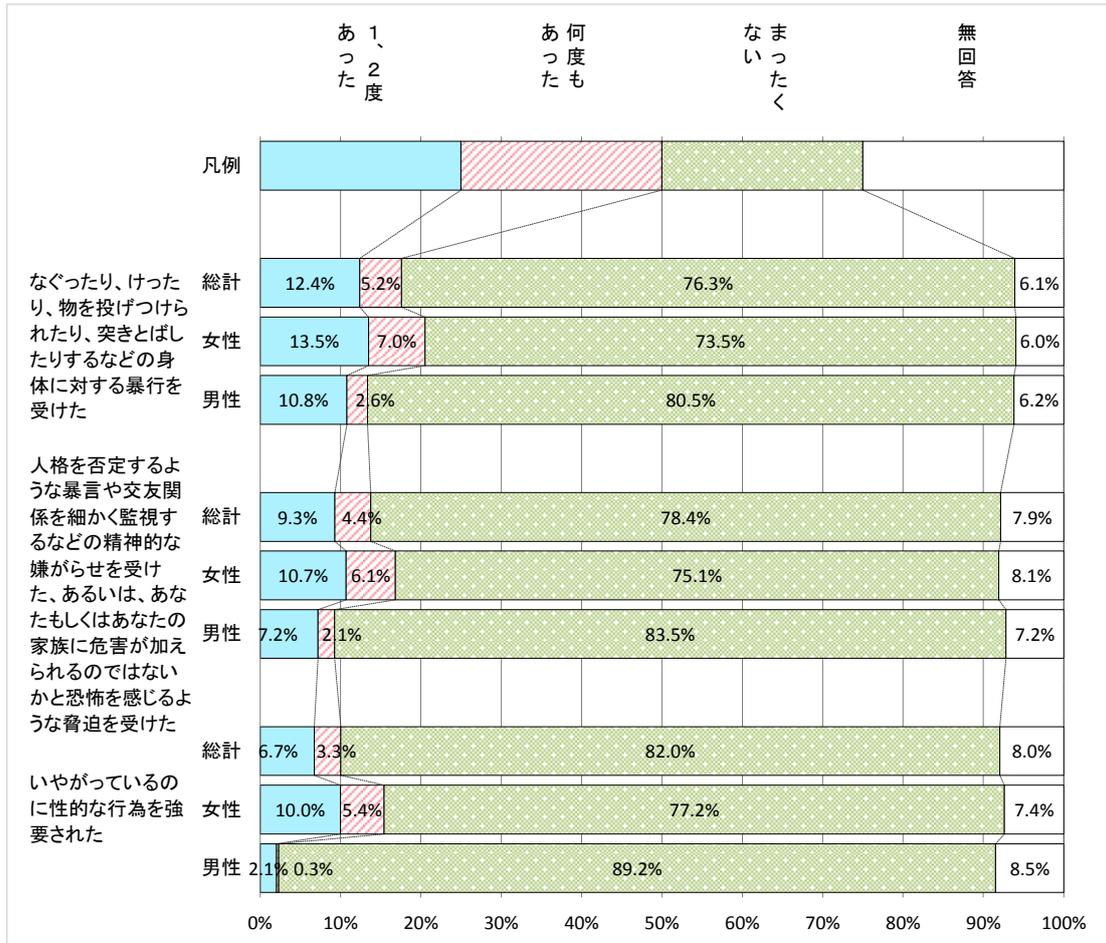
また、性別・年代別でみると、女性の40代で25.6%と他の性別・年代と比較して最も多い。

【C いやがっているのに性的な行為を強要された】

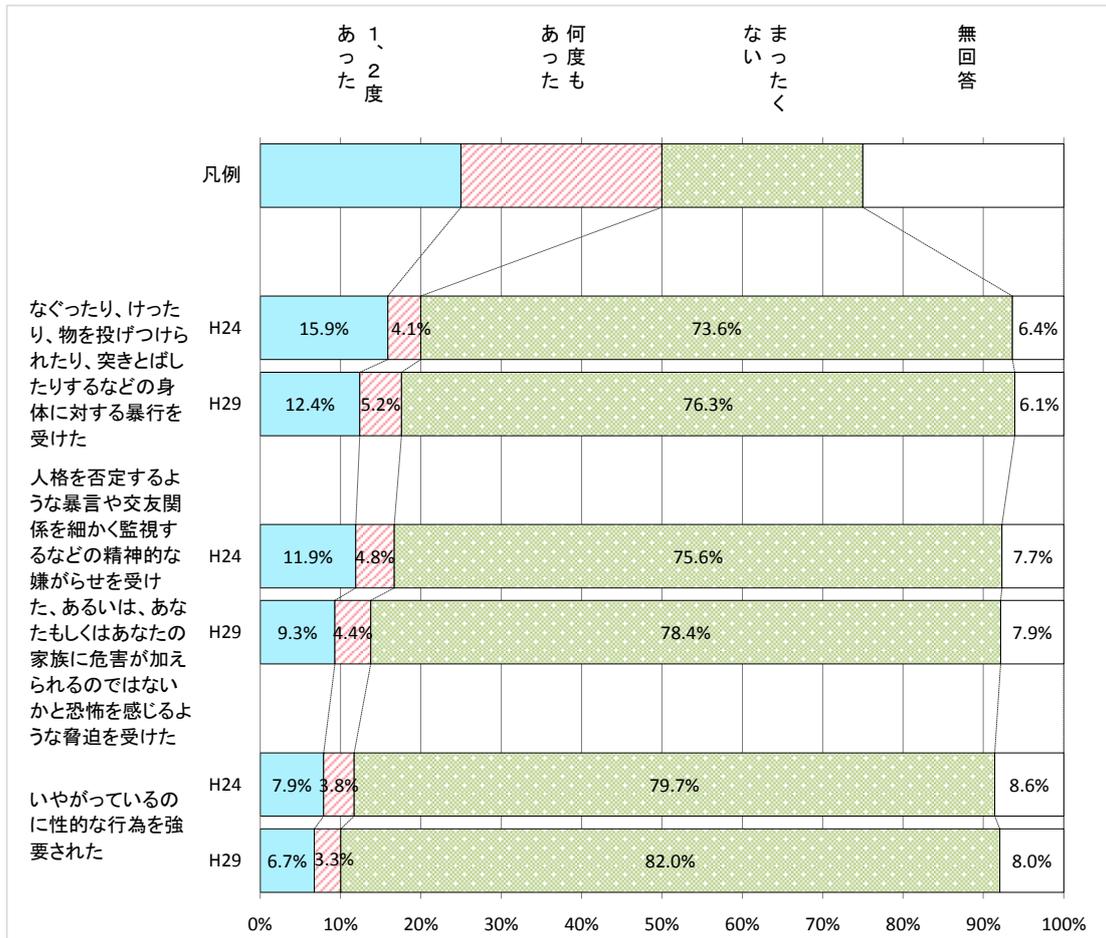
“ドメスティック・バイオレンスの経験があった”との回答については、女性で15.4%、男性で2.3%となっている。

また、性別・年代別でみると、女性の50代で20.4%と他の性別・年代と比較して最も多い。

図表 17-1 ドメスティック・バイオレンスの経験【全体及び性別】



図表 17-2 ドメスティック・バイオレンスの経験【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 17-3 ドメスティック・バイオレンスの経験【なぐったり、けったり、物を投げつけられたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴力を受けた】

		回答者数	1、2度あった	何度もあった	まったくくない	無回答
上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)						
総計		967 100.0%	120 12.4%	50 5.2%	738 76.3%	59 6.1%
性・年代別	女性	570 100.0%	77 13.5%	40 7.0%	419 73.5%	34 6.0%
	20代	31 100.0%	2 6.5%	1 3.2%	26 83.9%	2 6.5%
	30代	60 100.0%	8 13.3%	2 3.3%	50 83.3%	0 0.0%
	40代	90 100.0%	12 13.3%	9 10.0%	67 74.4%	2 2.2%
	50代	108 100.0%	17 15.7%	6 5.6%	82 75.9%	3 2.8%
	60代	151 100.0%	27 17.9%	13 8.6%	106 70.2%	5 3.3%
	70歳以上	130 100.0%	11 8.5%	9 6.9%	88 67.7%	22 16.9%
	男性	389 100.0%	42 10.8%	10 2.6%	313 80.5%	24 6.2%
	20代	20 100.0%	2 10.0%	2 10.0%	16 80.0%	0 0.0%
	30代	25 100.0%	1 4.0%	1 4.0%	23 92.0%	0 0.0%
	40代	56 100.0%	5 8.9%	2 3.6%	49 87.5%	0 0.0%
	50代	68 100.0%	8 11.8%	1 1.5%	55 80.9%	4 5.9%
	60代	131 100.0%	18 13.7%	3 2.3%	102 77.9%	8 6.1%
	70歳以上	89 100.0%	8 9.0%	1 1.1%	68 76.4%	12 13.5%

図表 17-4 ドメスティック・バイオレンスの経験【人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた】

		回答者数	1、2度あった	何度もあった	まったくくない	無回答
上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)						
総計		967 100.0%	90 9.3%	43 4.4%	758 78.4%	76 7.9%
性・年代別	女性	570 100.0%	61 10.7%	35 6.1%	428 75.1%	46 8.1%
	20代	31 100.0%	2 6.5%	1 3.2%	26 83.9%	2 6.5%
	30代	60 100.0%	3 5.0%	4 6.7%	53 88.3%	0 0.0%
	40代	90 100.0%	13 14.4%	10 11.1%	64 71.1%	3 3.3%
	50代	108 100.0%	16 14.8%	6 5.6%	81 75.0%	5 4.6%
	60代	151 100.0%	17 11.3%	9 6.0%	119 78.8%	6 4.0%
	70歳以上	130 100.0%	10 7.7%	5 3.8%	85 65.4%	30 23.1%
	男性	389 100.0%	28 7.2%	8 2.1%	325 83.5%	28 7.2%
	20代	20 100.0%	2 10.0%	1 5.0%	17 85.0%	0 0.0%
	30代	25 100.0%	3 12.0%	0 0.0%	22 88.0%	0 0.0%
	40代	56 100.0%	2 3.6%	4 7.1%	50 89.3%	0 0.0%
	50代	68 100.0%	3 4.4%	0 0.0%	59 86.8%	6 8.8%
	60代	131 100.0%	10 7.6%	3 2.3%	108 82.4%	10 7.6%
	70歳以上	89 100.0%	8 9.0%	0 0.0%	69 77.5%	12 13.5%

図表 17-5 ドメスティック・バイオレンスの経験【いやがっているのに性的な行為を強要された】

		回答者数	1、2度あった	何度もあった	まったくくない	無回答
上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)						
総計		967 100.0%	65 6.7%	32 3.3%	793 82.0%	77 8.0%
性・年代別	女性	570 100.0%	57 10.0%	31 5.4%	440 77.2%	42 7.4%
	20代	31 100.0%	2 6.5%	0 0.0%	27 87.1%	2 6.5%
	30代	60 100.0%	4 6.7%	3 5.0%	53 88.3%	0 0.0%
	40代	90 100.0%	10 11.1%	6 6.7%	72 80.0%	2 2.2%
	50代	108 100.0%	14 13.0%	8 7.4%	82 75.9%	4 3.7%
	60代	151 100.0%	20 13.2%	7 4.6%	120 79.5%	4 2.6%
	70歳以上	130 100.0%	7 5.4%	7 5.4%	86 66.2%	30 23.1%
	男性	389 100.0%	8 2.1%	1 0.3%	347 89.2%	33 8.5%
	20代	20 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	20 100.0%	0 0.0%
	30代	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	25 100.0%	0 0.0%
	40代	56 100.0%	1 1.8%	0 0.0%	55 98.2%	0 0.0%
	50代	68 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	62 91.2%	6 8.8%
	60代	131 100.0%	4 3.1%	1 0.8%	114 87.0%	12 9.2%
	70歳以上	89 100.0%	3 3.4%	0 0.0%	71 79.8%	15 16.9%

※【問 17】で1つでも「1 1、2度あった」、「2 何度もあった」を選択された方のみ回答  
【問 18】あなたは、その行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。 (MA)

【全体】

全体でみると、「どこ（だれ）にも相談しなかった」が54.8%と最も多く、次いで「友人・知人に相談した（22.8%）」、「家族や親戚に相談した（20.7%）」の順となっている。

【性別・年代別】

性別でみると、男女とも全体での回答と同様の傾向を示しているが、「どこ（だれ）にも相談しなかった」との回答については、女性が48.3%であったのに対し、男性は73.1%となっており、女性に比べ男性で、相談しなかった割合が高いことがわかる。

また、「家族や親戚に相談した」や「友人・知人に相談した」以外の相談先がほぼすべて5%未満であることから、自分の身内や友人・知人以外の相談がなかったこともうかがえる。

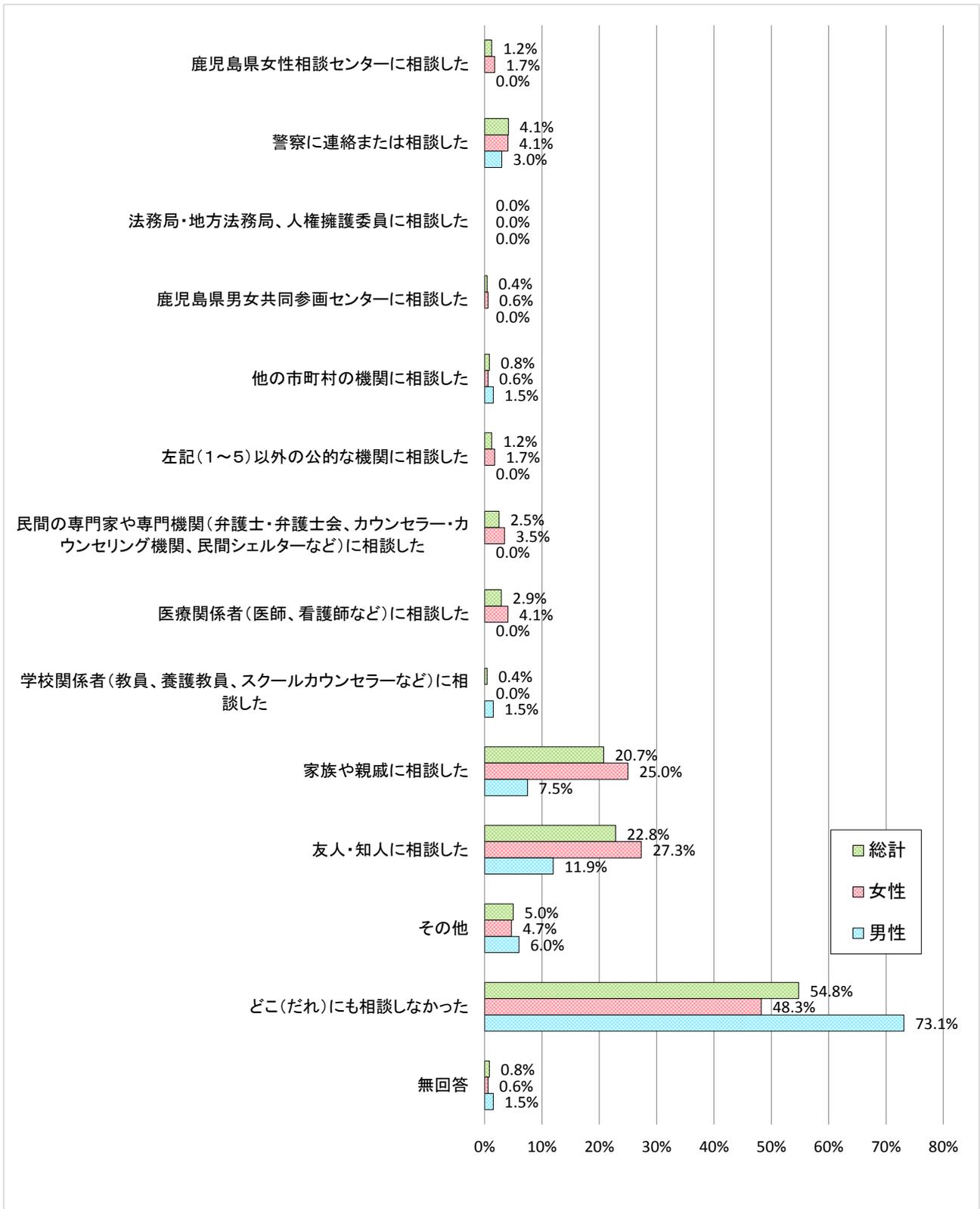
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、5ポイント以上の増減がないが、「どこ（だれ）にも相談しなかった」との回答が、4.1ポイント増加している。

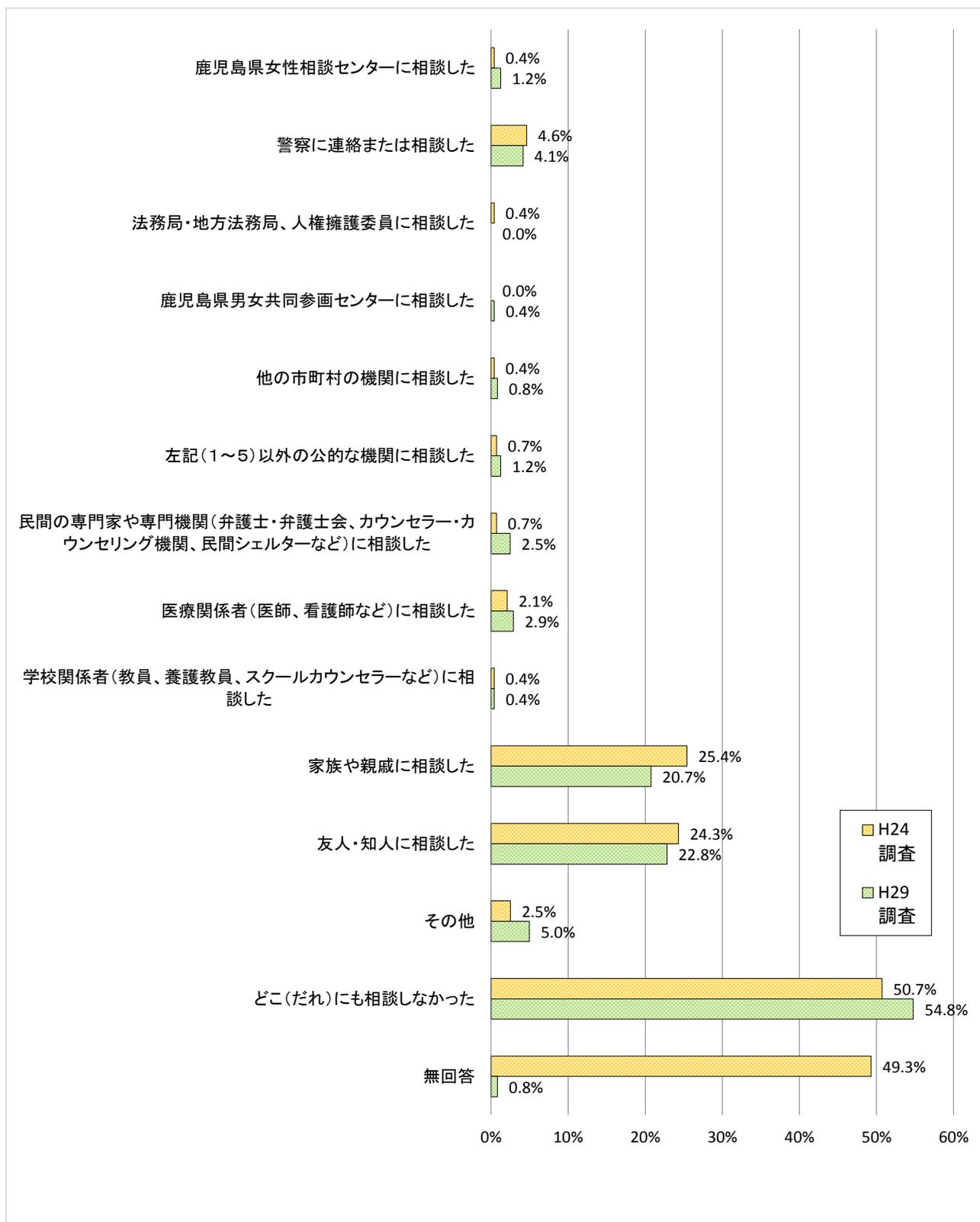
「その他」の自由回答

- 夫の母に相談したが、特に何もしてくれなかった。(50代女性)
- 相談というほどではないが、そのような事があったということは自分の家族に話した。(70歳以上女性)
- 隣の方は気付いているだろうが、怖くて公的には相談できなかった(60代女性)
- 話し合いをし、解決した。(30代女性)
- やり返した。家出した。(50代女性)

図表 18-1 ドメスティック・バイオレンスを受けた際の対処法【全体及び性別】



図表 18-2 ドメスティック・バイオレンスを受けた際の対処法【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 18-3 ドメスティック・バイオレンスを受けた際の対処法【性別・年代別】

	回答者数	鹿児島県女性相談センターに相談した	警察に連絡または相談した	法務局・地方方法務局、人権擁護委員に相談した	鹿児島県男女共同参画センターに相談した	他の市町村の機関に相談した	左記（1～5）以外の公的な機関に相談した	民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリナーなど）に相談した	医療関係者（医師、看護師など）に相談した	
										上段：回答数(人)
総計	241	3 1.2%	10 4.1%	0 0.0%	1 0.4%	2 0.8%	3 1.2%	6 2.5%	7 2.9%	
性別・年代別	女性	172	3 1.7%	7 4.1%	0 0.0%	1 0.6%	1 0.6%	3 1.7%	6 3.5%	7 4.1%
	20代	7	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%
	30代	14	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	32	2 6.3%	3 9.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 9.4%	4 12.5%	2 6.3%
	50代	34	0 0.0%	1 2.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	60代	54	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%
	70歳以上	31	0 0.0%	2 6.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.2%	0 0.0%	1 3.2%	4 12.9%
	男性	67	0 0.0%	2 3.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20代	4	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	4	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	8	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	50代	9	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	60代	27	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	70歳以上	15	0 0.0%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
		学校関係者（教員、養育士など）に相談した	家族や親戚に相談した	友人・知人に相談した	その他	しどろ（だれ）にも相談しなかった	無回答			
総計	1 0.4%	50 20.7%	55 22.8%	12 5.0%	132 54.8%	2 0.8%				
性別・年代別	女性	0 0.0%	43 25.0%	47 27.3%	8 4.7%	83 48.3%	1 0.6%			
	20代	0 0.0%	1 14.3%	4 57.1%	0 0.0%	3 42.9%	0 0.0%			
	30代	0 0.0%	7 50.0%	3 21.4%	1 7.1%	6 42.9%	0 0.0%			
	40代	0 0.0%	9 28.1%	17 53.1%	0 0.0%	11 34.4%	0 0.0%			
	50代	0 0.0%	8 23.5%	11 32.4%	2 5.9%	17 50.0%	0 0.0%			
	60代	0 0.0%	11 20.4%	10 18.5%	2 3.7%	30 55.6%	0 0.0%			
	70歳以上	0 0.0%	7 22.6%	2 6.5%	3 9.7%	16 51.6%	1 3.2%			
	男性	1 1.5%	5 7.5%	8 11.9%	4 6.0%	49 73.1%	1 1.5%			
	20代	1 25.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%			
	30代	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%			
	40代	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 87.5%	1 12.5%			
	50代	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	6 66.7%	0 0.0%			
	60代	0 0.0%	3 11.1%	4 14.8%	2 7.4%	19 70.4%	0 0.0%			
	70歳以上	0 0.0%	1 6.7%	2 13.3%	1 6.7%	11 73.3%	0 0.0%			

※【問 18】で「13 どこ(だれ)にも相談しなかった」を選択された方のみ回答  
【問 19】それは、どのような理由からですか。(MA)

【全体】

全体でみると、「相談するほどのことではないと思ったから」が51.5%と最も多く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから(34.8%)」、「相談しても無駄だと思ったから(30.3%)」の順となっている。また、第4位は「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから」との回答となっており、27.3%と約3割を占めている。

【性別・年代別】

性別でみると、男性については、全体での回答と同様の傾向を示しているが、女性については、「相談するほどのことではないと思ったから(50.6%)」、「相談しても無駄だと思ったから(33.7%)」、「自分にも悪いところがあると思ったから(27.7%)」、「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから(27.7%)」の順となっている。

【前回調査との比較】

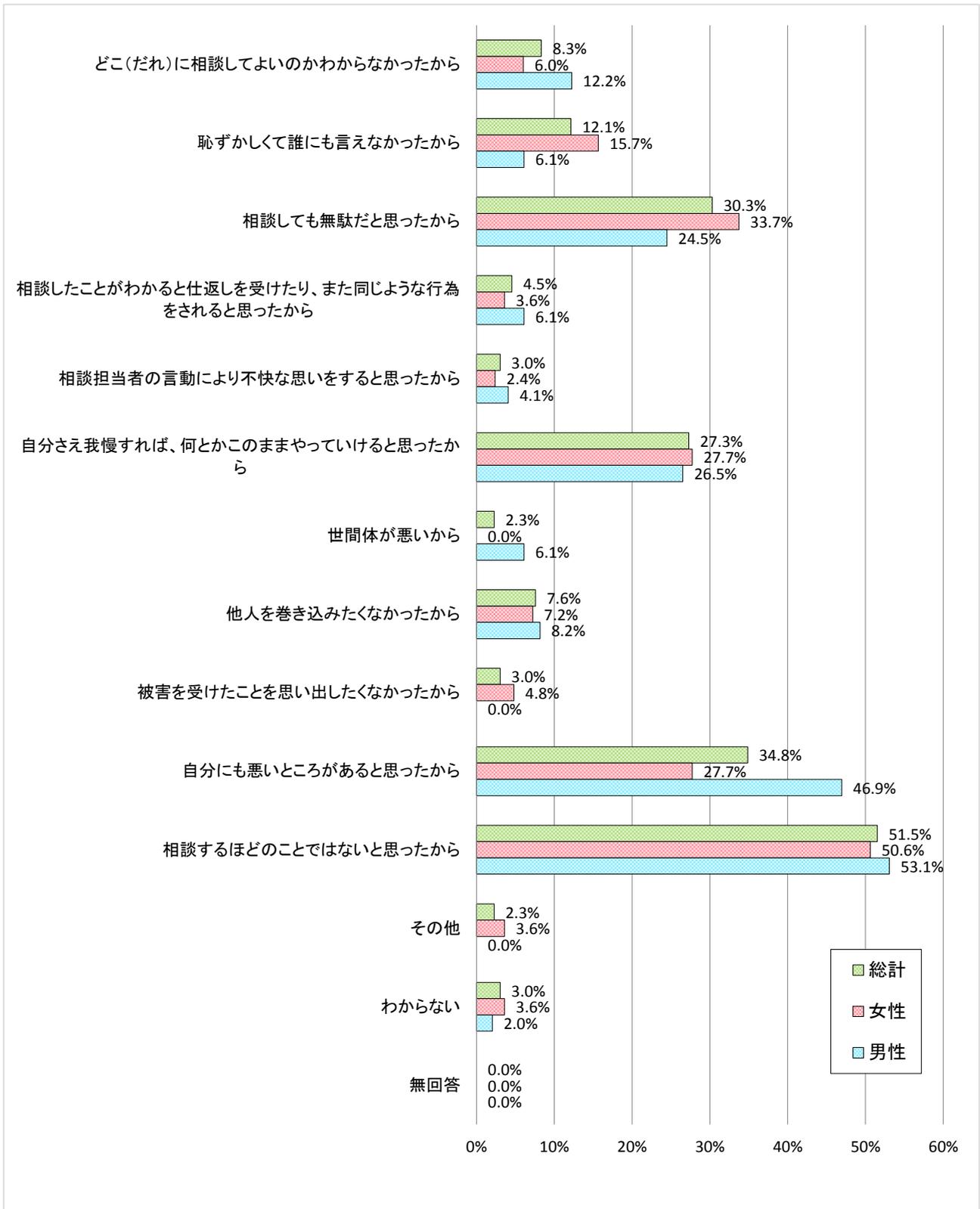
前回調査と比較すると、上位2位までは変わらず、前回第3位であった「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから」との回答が後退し、今回第3位は「相談しても無駄だと思ったから」が上昇した。

5ポイント以上の増減があったものは、「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」が8.7ポイントの減少、「相談しても無駄だと思ったから」が6.7ポイントの増加となっている。

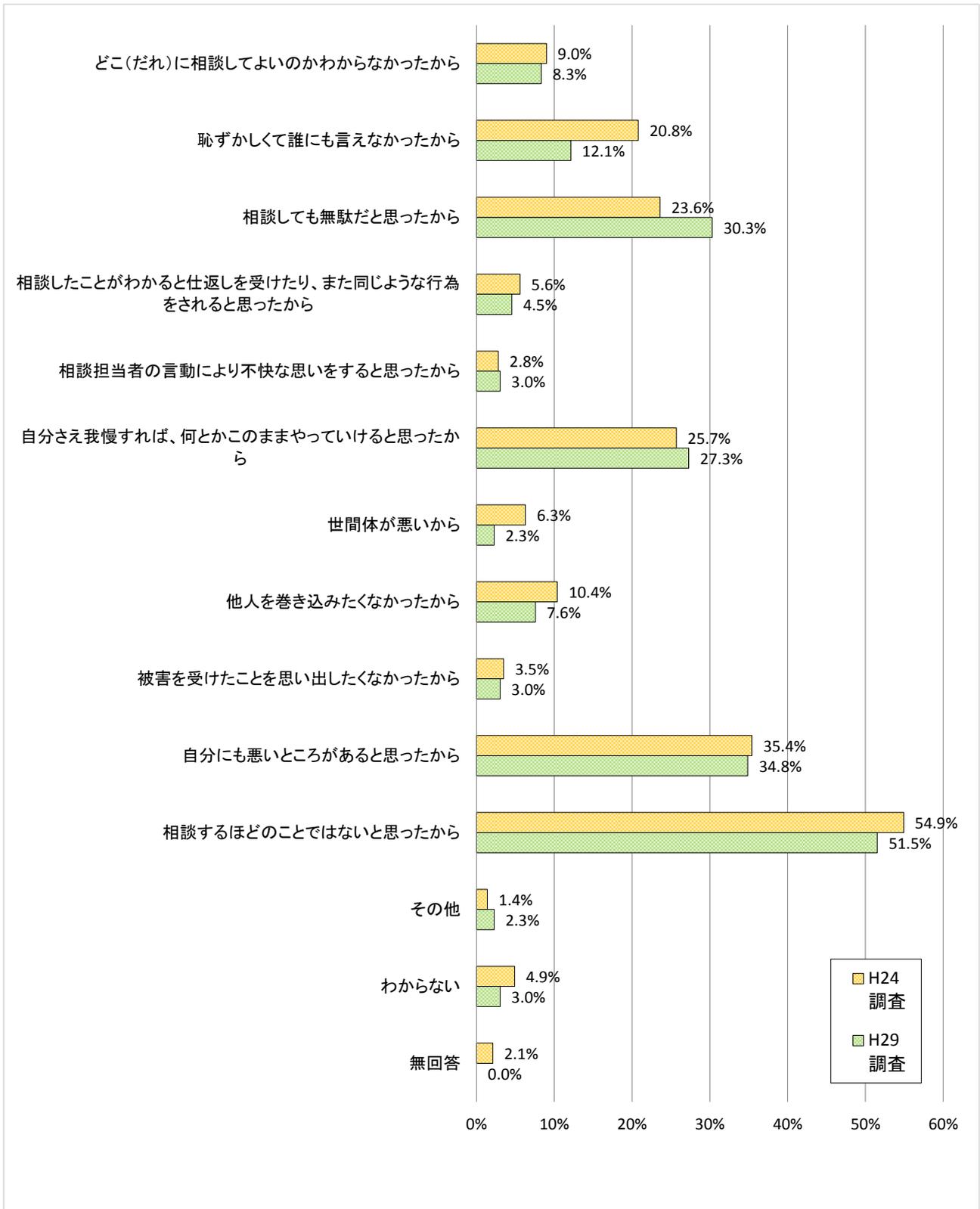
「その他」の自由回答

- 「相談する」そのものを、その時は思い付かなかった。(50代女性)
- 人の心はわからないから信用できない。(50代女性)

図表 19-1 暴力を受けてどこ（だれ）にも相談しなかった理由【全体及び性別】



図表 19-2 暴力を受けてどこ（だれ）にも相談しなかった理由【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】





## 8. 地域社会づくりについて

【問 20】あなたは現在、仕事以外に何か地域活動等に参加していますか。（地域活動とは町内会、公民館、地域女性団体、PTA、ボランティア活動など地域に貢献する活動）（MA）

### 【全体】

全体で見ると、「特に何もしていない」が47.8%と最も多く、次いで「公民館、地域女性団体、高齢者クラブ、青年団などの地域団体活動(37.3%)」、「PTA や子ども会などの青少年育成活動(10.0%)」の順となっている。

### 【性別・年代別】

性別で見ると、男女とも全体での回答と同様の傾向を示している。

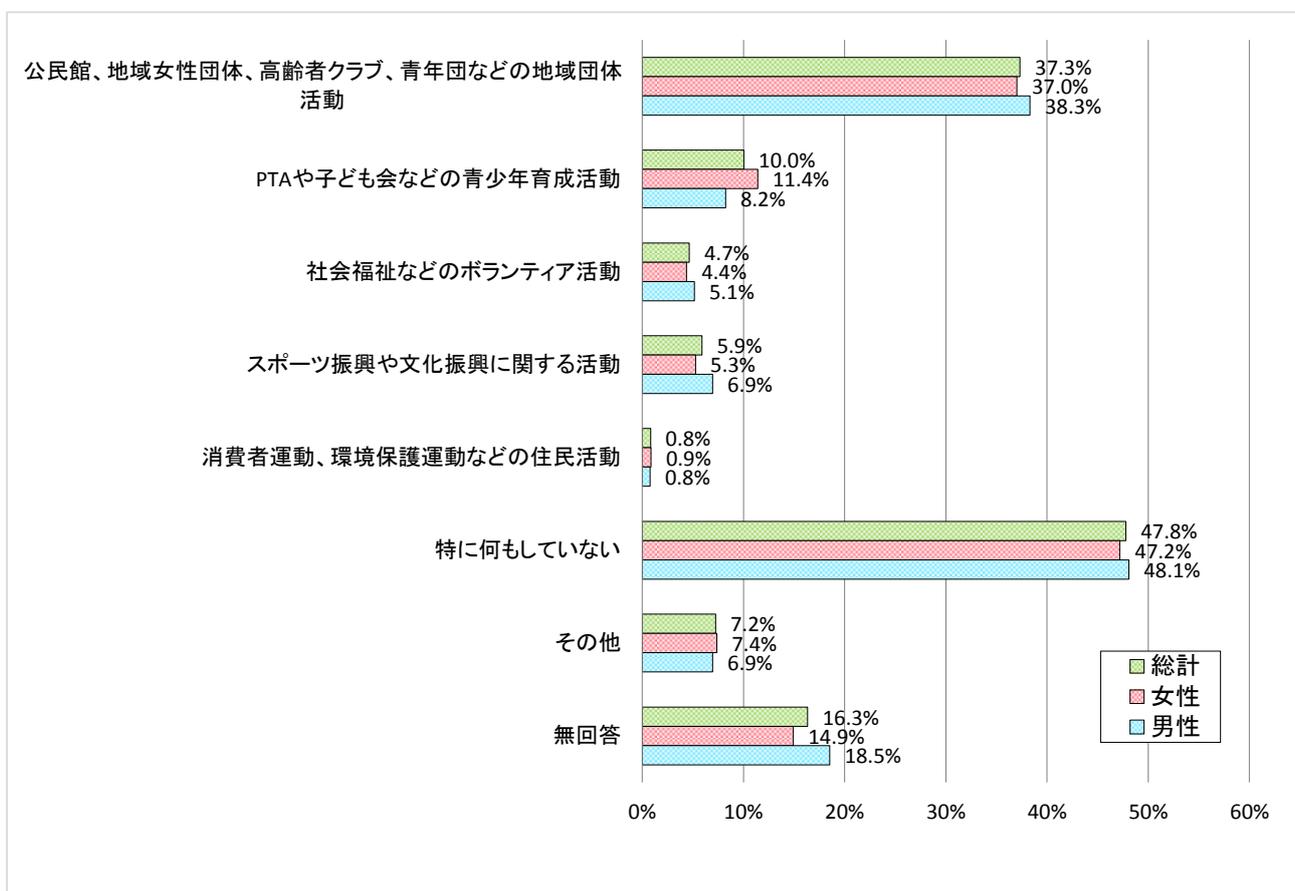
しかし、年代別も踏まえてみると、男女とも20代で「特に何もしていない」との回答が他の年代と比べて多くなっており、一方で、「公民館、地域女性団体、高齢者クラブ、青年団などの地域団体活動」との回答が少なくなっている。

### 【前回調査との比較】

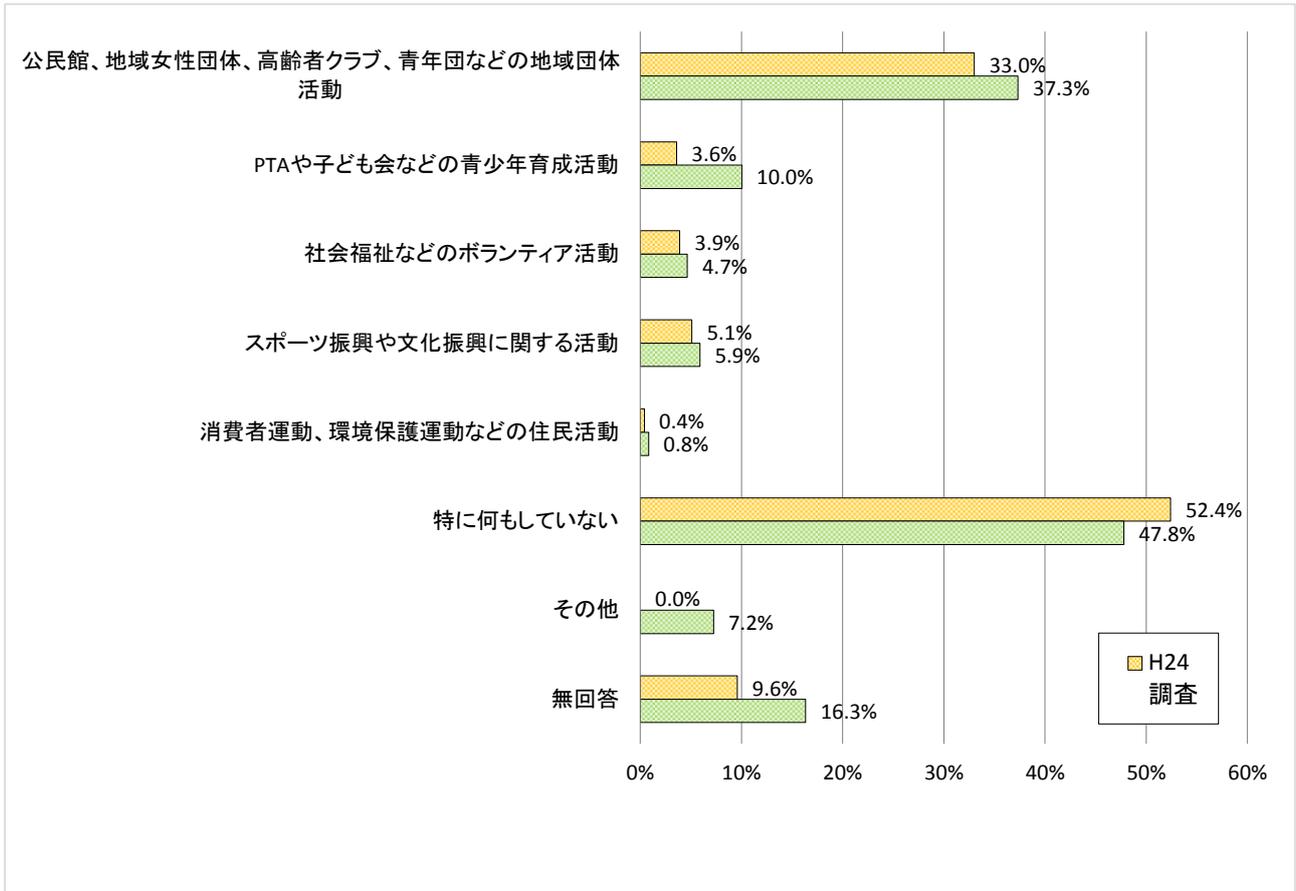
前回調査と比較すると、上位2位までは変わらず、前回第3位であった「スポーツ振興や文化振興に関する活動」との回答が後退し、今回第3位は「PTA や子ども会などの青少年育成活動」が上昇した。

5ポイント以上の増減があったものは、「PTA や子ども会などの青少年育成活動」が6.47ポイントの増加となっている。

図表 20-1 地域活動状況【全体及び性別】



図表 20-2 地域活動状況【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 20-3 地域活動状況【性別・年代別】

	回答者数	公民館、高齢者クラブ、青年団などの地域団体、青少年育成活動	PTAや子ども会などの青少年育成活動	社会福祉などのボランティア活動	スポーツ振興や文化振興に関する活動	消費者運動、環境保護などの住民活動	特になし	その他	無回答	
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	
総計	967	361	97	45	57	8	462	70	158	
		37.3%	10.0%	4.7%	5.9%	0.8%	47.8%	7.2%	16.3%	
性別・年代別	女性	570	211	65	25	30	5	269	42	85
			37.0%	11.4%	4.4%	5.3%	0.9%	47.2%	7.4%	14.9%
	20代	31	5	1	1	2	1	25	0	14
			16.1%	3.2%	3.2%	6.5%	3.2%	80.6%	0.0%	45.2%
	30代	60	16	22	1	1	0	31	1	13
			26.7%	36.7%	1.7%	1.7%	0.0%	51.7%	1.7%	21.7%
	40代	90	33	31	4	4	0	35	5	16
			36.7%	34.4%	4.4%	4.4%	0.0%	38.9%	5.6%	17.8%
	50代	108	44	7	3	5	0	50	7	18
			40.7%	6.5%	2.8%	4.6%	0.0%	46.3%	6.5%	16.7%
	60代	151	66	3	9	11	3	69	8	20
			43.7%	2.0%	6.0%	7.3%	2.0%	45.7%	5.3%	13.2%
	70歳以上	130	47	1	7	7	1	59	21	4
			36.2%	0.8%	5.4%	5.4%	0.8%	45.4%	16.2%	3.1%
男性	389	149	32	20	27	3	187	27	72	
		38.3%	8.2%	5.1%	6.9%	0.8%	48.1%	6.9%	18.5%	
20代	20	3	0	2	2	0	13	0	8	
		15.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	65.0%	0.0%	40.0%	
30代	25	8	2	1	3	0	14	0	7	
		32.0%	8.0%	4.0%	12.0%	0.0%	56.0%	0.0%	28.0%	
40代	56	21	10	3	5	0	29	3	22	
		37.5%	17.9%	5.4%	8.9%	0.0%	51.8%	5.4%	39.3%	
50代	68	31	15	3	8	0	31	1	18	
		45.6%	22.1%	4.4%	11.8%	0.0%	45.6%	1.5%	26.5%	
60代	131	54	3	5	5	3	57	13	15	
		41.2%	2.3%	3.8%	3.8%	2.3%	43.5%	9.9%	11.5%	
70歳以上	89	32	2	6	4	0	43	10	2	
		36.0%	2.2%	6.7%	4.5%	0.0%	48.3%	11.2%	2.2%	

※【問 20】で「6 特に何もしていない」を選択された方のみ回答  
【問 21】それは、どのような理由からですか。（MA）

【全体】

全体でみると、「仕事や学業で時間がない」が 34.2%と最も多く、次いで「特に理由はない(28.8%)」、「健康に自信がない（18.6%）」の順となっている。

【性別・年代別】

性別でみると、男女とも全体での回答と同様の傾向を示している。

しかし、年代別も踏まえてみると、男女とも 20 代から 50 代で「仕事や学業で時間がない」との回答が最も多く、60 代及び 70 歳以上で「特に理由がない」との回答が最も多い。

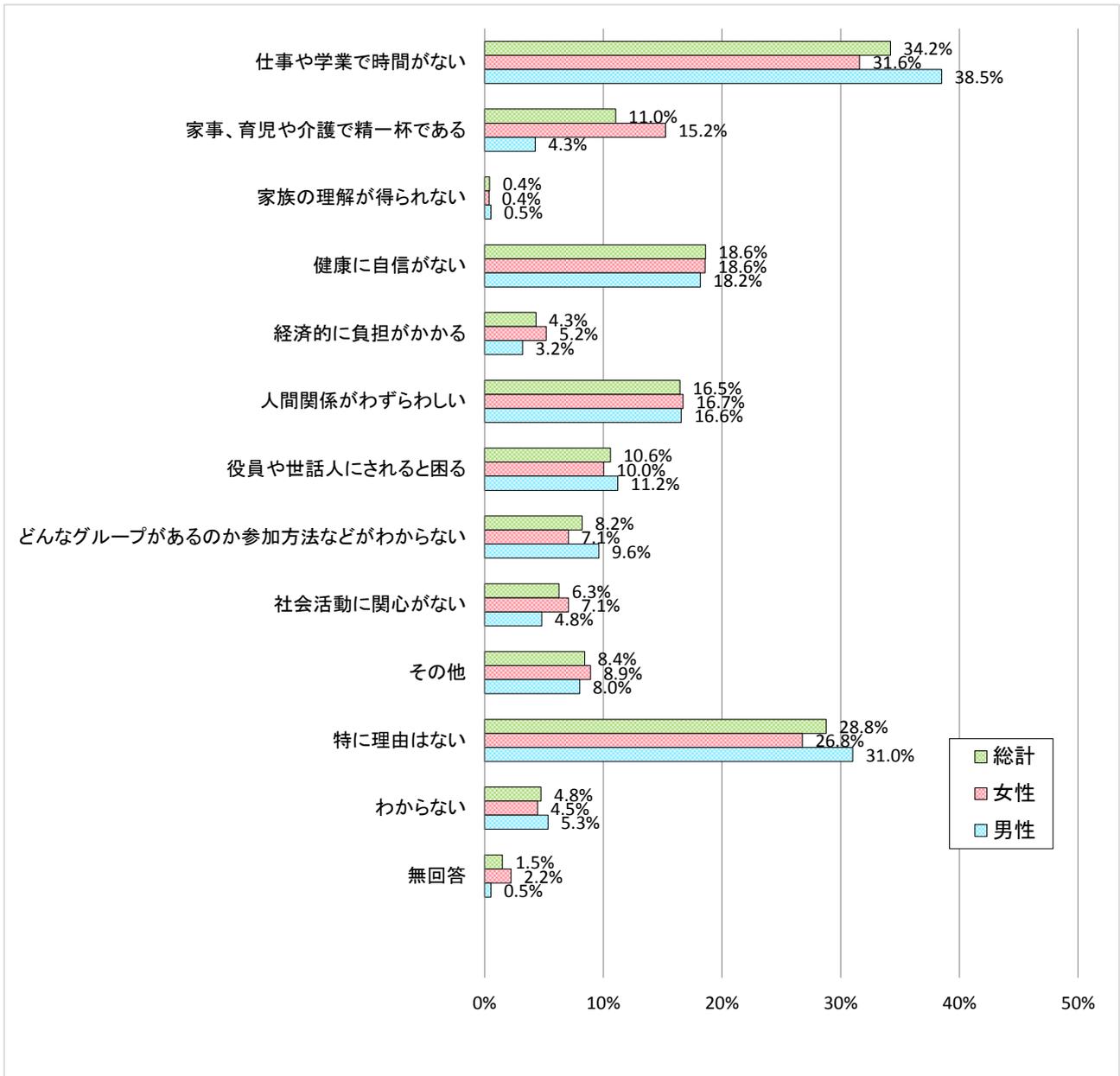
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、上位 2 位までは変わらず、前回第 3 位であった「人間関係がわずらわしい」との回答が後退し、今回第 3 位は「健康に自信がない」が上昇した。

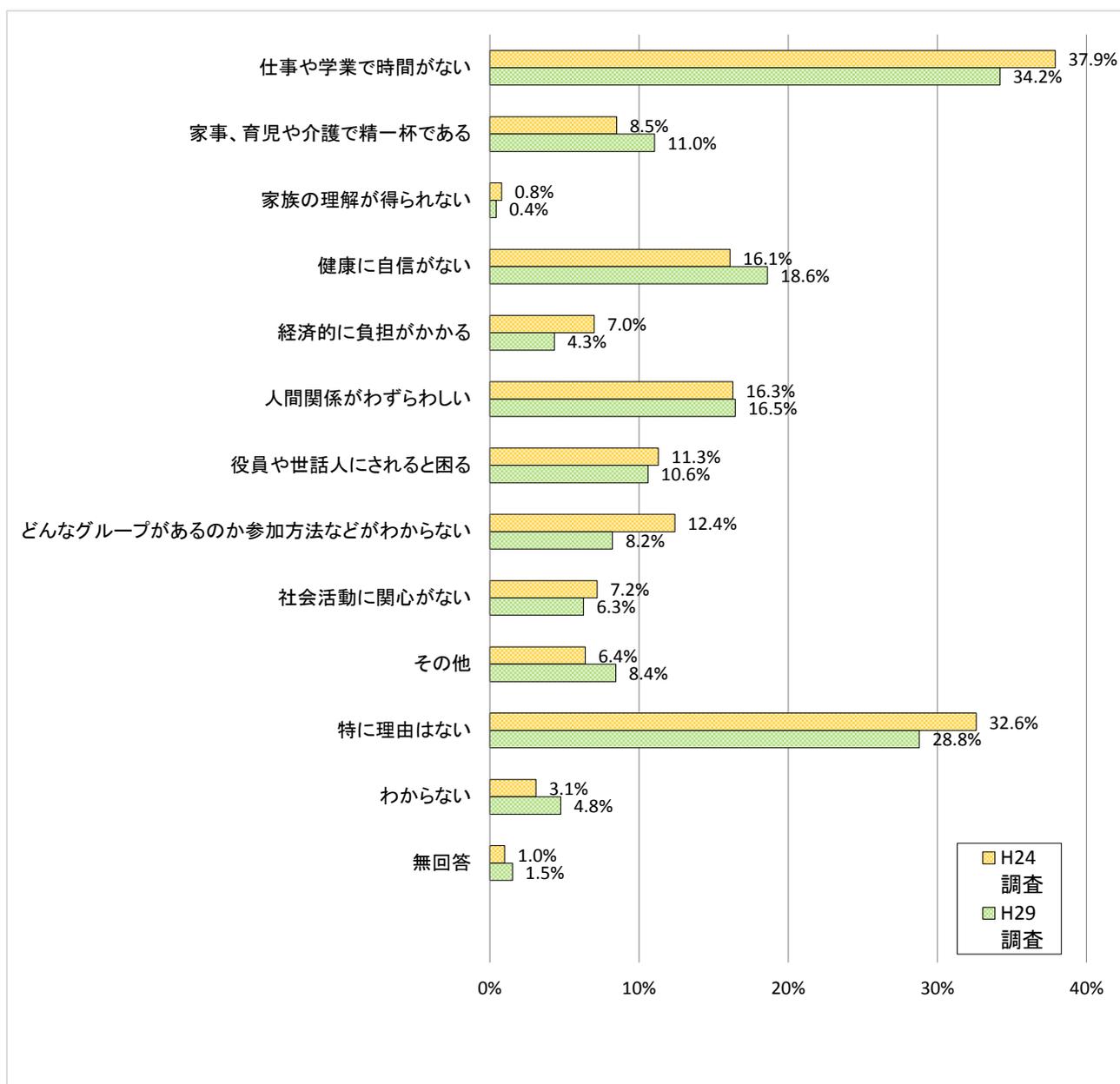
「その他」の自由回答

- 6 年間スクールガードをやっていたが、3 年前に脳梗塞になり、それ以来、医者に止められたため。(70 歳以上男性)
- PTA 役員、公民館役員、その他今までいろいろしてきたが、今は体力作り中。また必要とされる時が来たら、ボランティアを再開したいと思っている。(50 代女性)
- 今はないけど、時期がきたら参加する。(50 代女性)
- 夫が参加しているから。(60 代女性)
- 家族が公民館や地域の活動に参加しているため。(60 代男性)
- きっかけがない。(70 歳以上女性)
- 高齢のため(若い時はいろいろ活動をやっていた)。(70 歳以上女性)
- 個人的に近所の年配の方の買い物などの付添をしているため、あまり時間がない。(30 代女性)
- 実家の管理をしているため。(40 代男性)
- 実家を出ているため。(20 代女性)
- 消防団員ではある。(60 代男性)
- 必要なタイミングで判断して活動するから。(30 代男性)
- 孫の世話などで時間がない。(60 代女性)
- 休みの日はゆっくりしたい。(40 代男性)

図表 21-1 特に何もしていない理由【全体及び性別】



図表 21-2 特に何もしていない理由【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 21-3 特に何もしていない理由【性別・年代別】

	回答者数	い仕事や学業で時間がな	一杯家事、育児や介護で精	い家族の理解が得られな	健康に自信がない	経済的に負担がかかる	い人間関係がわずらわし	と役員や世話人にされる	からのどんなグループがある方法などがわ	
										上段: 回答数(人)
総計	462	158 34.2%	51 11.0%	2 0.4%	86 18.6%	20 4.3%	76 16.5%	49 10.6%	38 8.2%	
性・年代別	女性	269	85 31.6%	41 15.2%	1 0.4%	50 18.6%	14 5.2%	45 16.7%	27 10.0%	19 7.1%
	20代	25	14 56.0%	8 32.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%	2 8.0%	1 4.0%	4 16.0%
	30代	31	13 41.9%	10 32.3%	1 3.2%	1 3.2%	3 9.7%	5 16.1%	5 16.1%	4 12.9%
	40代	35	16 45.7%	6 17.1%	0 0.0%	3 8.6%	0 0.0%	7 20.0%	7 20.0%	1 2.9%
	50代	50	18 36.0%	9 18.0%	0 0.0%	15 30.0%	1 2.0%	12 24.0%	4 8.0%	4 8.0%
	60代	69	20 29.0%	6 8.7%	0 0.0%	15 21.7%	6 8.7%	12 17.4%	5 7.2%	4 5.8%
	70歳以上	59	4 6.8%	2 3.4%	0 0.0%	16 27.1%	3 5.1%	7 11.9%	5 8.5%	2 3.4%
	男性	187	72 38.5%	8 4.3%	1 0.5%	34 18.2%	6 3.2%	31 16.6%	21 11.2%	18 9.6%
	20代	13	8 61.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	3 23.1%
	30代	14	7 50.0%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%	2 14.3%	5 35.7%	2 14.3%	1 7.1%
	40代	29	22 75.9%	3 10.3%	0 0.0%	3 10.3%	3 10.3%	6 20.7%	6 20.7%	2 6.9%
	50代	31	18 58.1%	0 0.0%	0 0.0%	6 19.4%	1 3.2%	3 9.7%	2 6.5%	1 3.2%
	60代	57	15 26.3%	3 5.3%	0 0.0%	8 14.0%	0 0.0%	12 21.1%	7 12.3%	8 14.0%
	70歳以上	43	2 4.7%	0 0.0%	0 0.0%	17 39.5%	0 0.0%	4 9.3%	4 9.3%	3 7.0%

	社会活動に関心がない	その他	特に理由はない	わからない	無回答	
						上段: 回答数(人)
総計	29 6.3%	39 8.4%	133 28.8%	22 4.8%	7 1.5%	
性・年代別	女性	19 7.1%	24 8.9%	72 26.8%	12 4.5%	6 2.2%
	20代	3 12.0%	2 8.0%	3 12.0%	1 4.0%	1 4.0%
	30代	2 6.5%	2 6.5%	6 19.4%	3 9.7%	0 0.0%
	40代	5 14.3%	1 2.9%	6 17.1%	1 2.9%	1 2.9%
	50代	3 6.0%	5 10.0%	11 22.0%	2 4.0%	0 0.0%
	60代	3 4.3%	6 8.7%	24 34.8%	1 1.4%	2 2.9%
	70歳以上	3 5.1%	8 13.6%	22 37.3%	4 6.8%	2 3.4%
	男性	9 4.8%	15 8.0%	58 31.0%	10 5.3%	1 0.5%
	20代	0 0.0%	0 0.0%	3 23.1%	1 7.7%	0 0.0%
	30代	2 14.3%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	4 13.8%	2 6.9%	1 3.4%	2 6.9%	0 0.0%
	50代	1 3.2%	2 6.5%	7 22.6%	3 9.7%	1 3.2%
	60代	1 1.8%	4 7.0%	23 40.4%	2 3.5%	0 0.0%
	70歳以上	1 2.3%	6 14.0%	22 51.2%	2 4.7%	0 0.0%

## 9. 男女共同参画社会について

【問 22】 いちき串木野市を含め、一般的に政策決定の場や自治組織等の方針決定の場への女性の参画が少ないようですが、それはなぜだと思いますか。（MA）

### 【全体】

全体でみると、「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない」が 35.8%と最も多く、次いで「女性側の関心や積極性が十分でない（31.5%）」、「男性になるほうがいい（なるものだ）」と思っている人が多い（31.0%）」の順となっている。

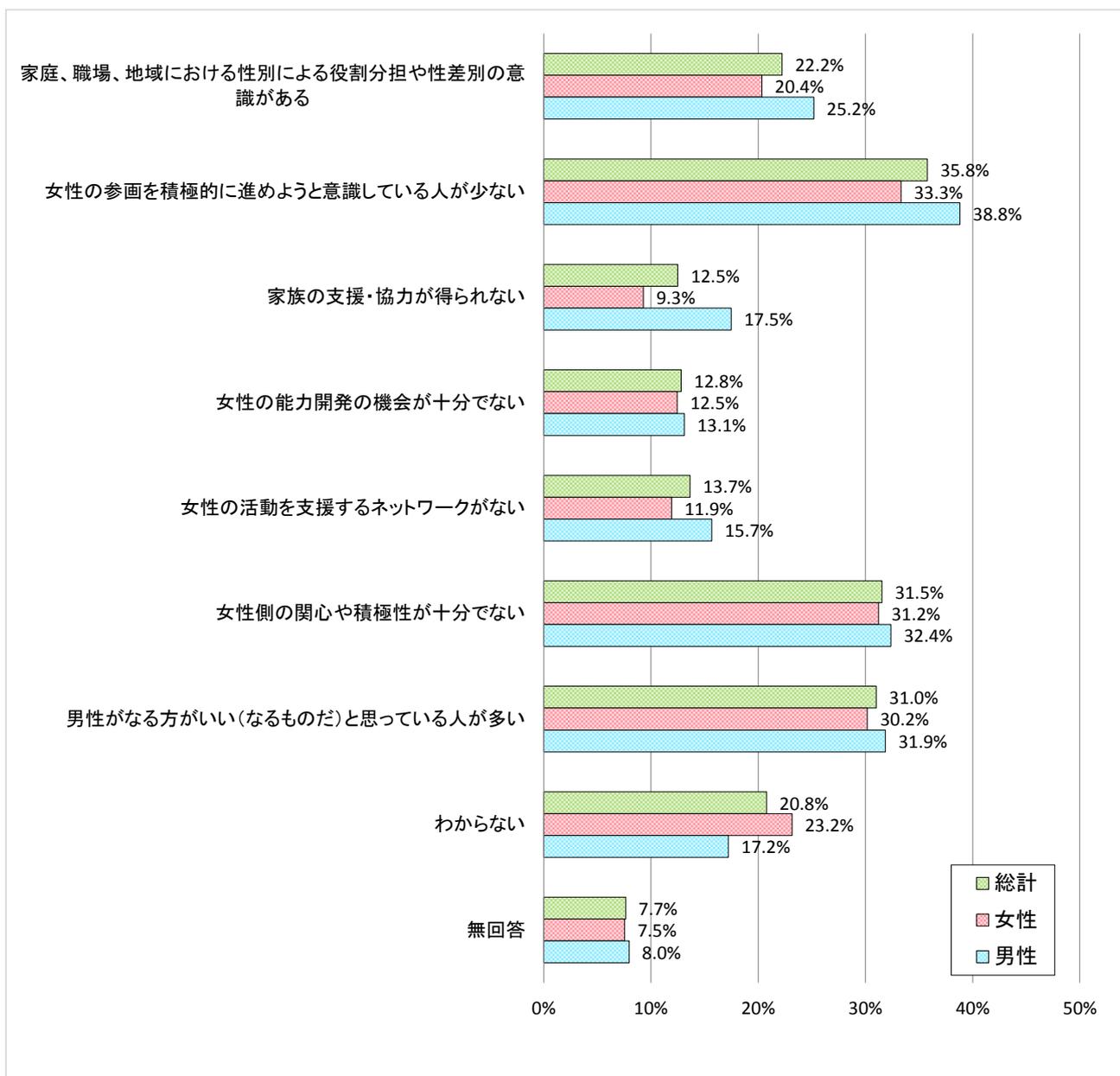
### 【性別・年代別】

性別でみると、男女とも全体での回答と同様の傾向を示している。  
また、年代別でも、概ね、全体での回答と同様の傾向を示している。

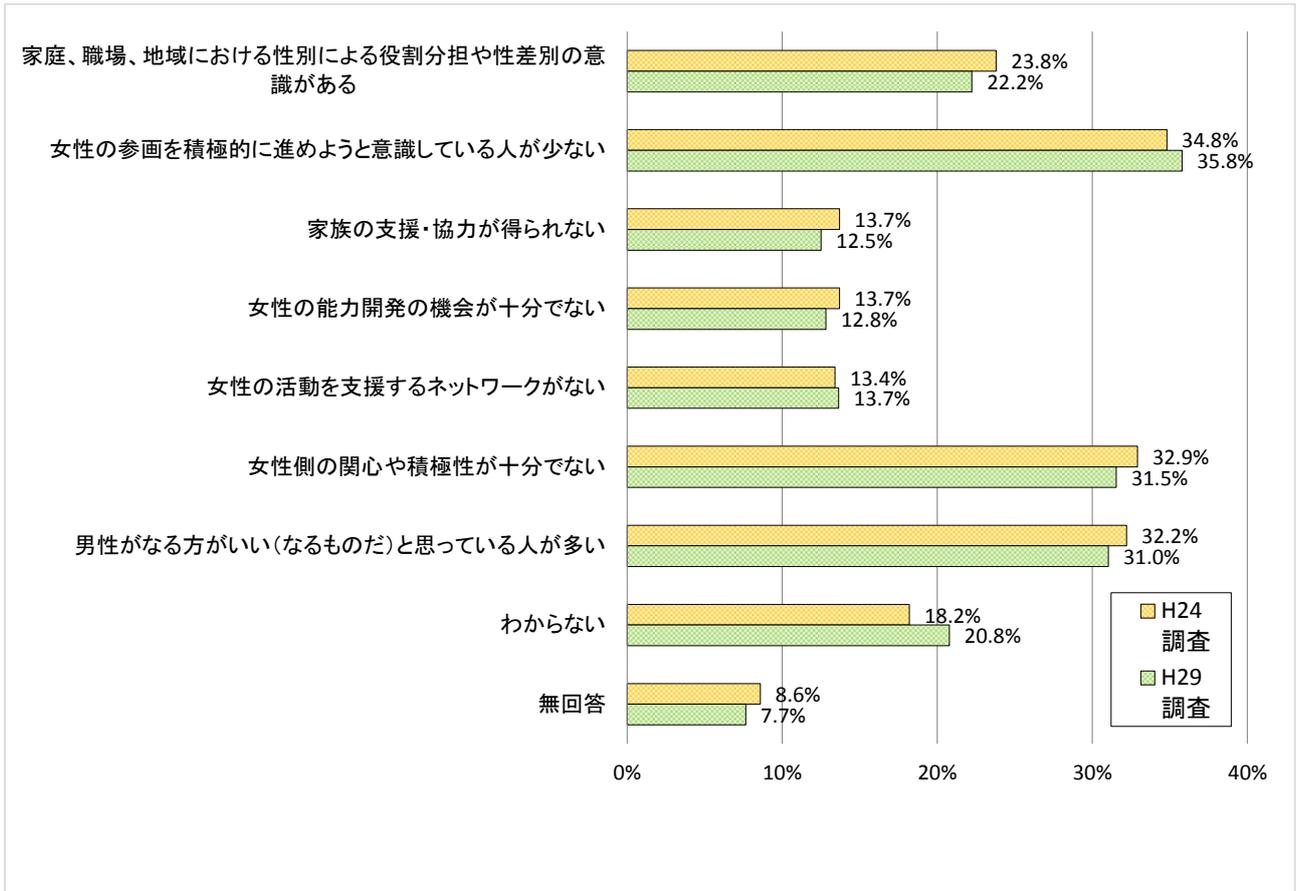
### 【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、上位 3 位までについては、特に変化はなかった。

図表 22-1 政策・方針決定過程に女性の参画が少ない理由【全体及び性別】



図表 22-2 政策・方針決定過程に女性の参画が少ない理由【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 22-3 政策・方針決定過程に女性の参画が少ない理由【性別・年代別】

	回答者数	理由									
		家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識がある	女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない	家族の支援・協力が得られない	女性の能力開発の機会が十分でない	女性の活動を支援するネットワークがない	女性側の関心や積極性が十分でない	男性になる方がいい(なるものだ)と思っている人が多い	わからない	無回答	
総計	967	215	346	121	124	132	305	300	201	74	
	-	22.2%	35.8%	12.5%	12.8%	13.7%	31.5%	31.0%	20.8%	7.7%	
性別・年代別	女性	570	116	190	53	71	68	178	172	132	43
		-	20.4%	33.3%	9.3%	12.5%	11.9%	31.2%	30.2%	23.2%	7.5%
	20代	31	11	9	4	5	6	14	12	3	0
		-	35.5%	29.0%	12.9%	16.1%	19.4%	45.2%	38.7%	9.7%	0.0%
	30代	60	13	24	8	5	8	18	22	17	0
		-	21.7%	40.0%	13.3%	8.3%	13.3%	30.0%	36.7%	28.3%	0.0%
	40代	90	21	31	12	8	8	21	33	26	3
		-	23.3%	34.4%	13.3%	8.9%	8.9%	23.3%	36.7%	28.9%	3.3%
	50代	108	26	35	8	17	12	35	35	20	4
		-	24.1%	32.4%	7.4%	15.7%	11.1%	32.4%	32.4%	18.5%	3.7%
	60代	151	30	57	17	26	21	58	36	27	15
		-	19.9%	37.7%	11.3%	17.2%	13.9%	38.4%	23.8%	17.9%	9.9%
	70歳以上	130	15	34	4	10	13	32	34	39	21
		-	11.5%	26.2%	3.1%	7.7%	10.0%	24.6%	26.2%	30.0%	16.2%
男性	389	98	151	68	51	61	126	124	67	31	
	-	25.2%	38.8%	17.5%	13.1%	15.7%	32.4%	31.9%	17.2%	8.0%	
20代	20	5	5	3	2	4	3	7	6	1	
	-	25.0%	25.0%	15.0%	10.0%	20.0%	15.0%	35.0%	30.0%	5.0%	
30代	25	5	8	8	3	3	8	7	4	0	
	-	20.0%	32.0%	32.0%	12.0%	12.0%	32.0%	28.0%	16.0%	0.0%	
40代	56	14	27	10	5	6	20	14	11	2	
	-	25.0%	48.2%	17.9%	8.9%	10.7%	35.7%	25.0%	19.6%	3.6%	
50代	68	21	33	16	11	8	21	25	9	4	
	-	30.9%	48.5%	23.5%	16.2%	11.8%	30.9%	36.8%	13.2%	5.9%	
60代	131	38	46	15	17	26	45	45	20	14	
	-	29.0%	35.1%	11.5%	13.0%	19.8%	34.4%	34.4%	15.3%	10.7%	
70歳以上	89	15	32	16	13	14	29	26	17	10	
	-	16.9%	36.0%	18.0%	14.6%	15.7%	32.6%	29.2%	19.1%	11.2%	

【問 23】あなたは今後、男女が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（MA）

【全体】

全体で見ると、「夫婦間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと」が 32.0%と最も多く、次いで「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること（30.9%）」、「労働時間を短縮したり、休暇制度を普及させたりすること（25.7%）」の順となっている。

【性別・年代別】

性別で見ると、女性については、全体での回答と同様の傾向を示しているが、男性については、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること（34.7%）」、「夫婦間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと（30.1%）」、「労働時間を短縮したり、休暇制度を普及させたりすること（26.2%）」の順となっている。

また、年代別も踏まえてみると、男女とも 20 代から 40 代で「労働時間を短縮したり、休暇制度を普及させたりすること」との回答が最も多くなっている。

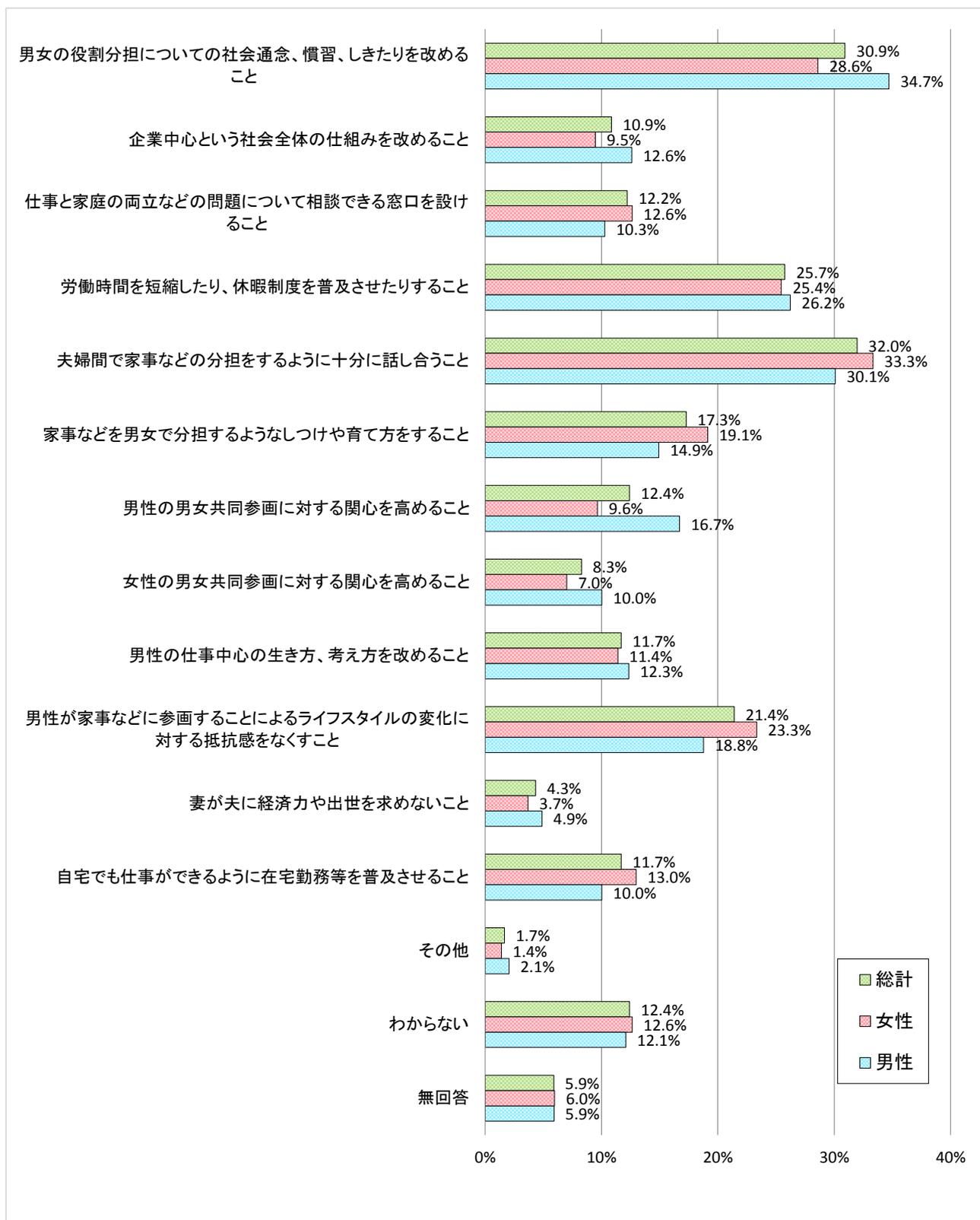
【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、上位 3 位までについては、特に変化はなかった。

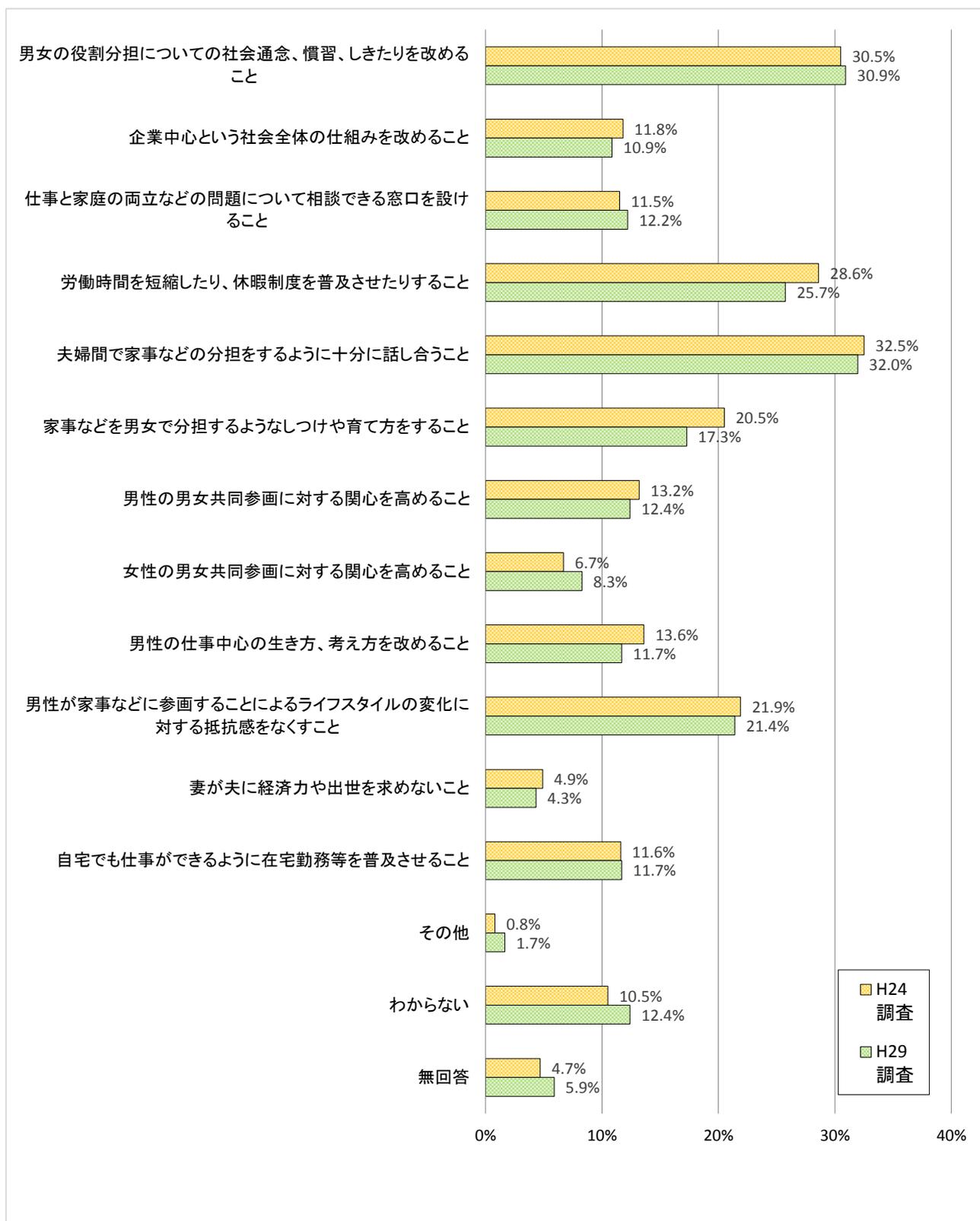
「その他」の自由回答

- 男だ、女だと言いきると思う。できる人がやるしかない。(50 代男性)
- 家事や役割もだけど、家族の一員として何ができる事はないかという考えにすること。(30 代女性)
- 給料が上がって労働時間が減らない事には何も解決しないと思う。(40 代女性)
- 固定概念に縛られず、人として思いやりを持つこと。(40 代男性)
- 参加する、しないは、個人の考え方。(50 代男性)
- 女性が社会または自宅（在宅）で仕事ができる援助・支援を受けられることを希望。(50 代女性)

図表 23-1 今後、男女が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参画するために必要なこと【全体及び性別】



図表 23-2 今後、男女が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参画するために必要なこと  
【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 23-3 今後、男女が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参画するために必要なこと【性別・年代別】

性別・年代別	回答者数	念、つ男	改会企	を設な仕	と普た	にの夫	るつ分	高画男	高画女	
		り念、つ男 を改め慣の役 る慣習の割分 ことしき通担に	め全中 る体心 こと仕と 組い み社	を設な仕 を相談の問 けるで可題 る窓のにつ 口い	と普た 及せ休 させ暇 たり制 する度 をを	にの夫 に十分間 に話を家事 しするな 合うよど	るつ分 ことや育 て方女 をを女	高画男 にの男 対する女 関共同 心を参	高画女 にの男 対する女 関共同 心を参	
総計	967	299	105	118	249	309	167	120	80	
	-	30.9%	10.9%	12.2%	25.7%	32.0%	17.3%	12.4%	8.3%	
女性	570	163	54	72	145	190	109	55	40	
	-	28.6%	9.5%	12.6%	25.4%	33.3%	19.1%	9.6%	7.0%	
	20代	31	8	3	4	13	8	5	3	2
	-	25.8%	9.7%	12.9%	41.9%	25.8%	16.1%	9.7%	6.5%	
	30代	60	10	6	8	24	20	8	5	3
	-	16.7%	10.0%	13.3%	40.0%	33.3%	13.3%	8.3%	5.0%	
	40代	90	26	7	14	28	28	23	10	8
	-	28.9%	7.8%	15.6%	31.1%	31.1%	25.6%	11.1%	8.9%	
	50代	108	41	15	13	26	39	28	11	8
	-	38.0%	13.9%	12.0%	24.1%	36.1%	25.9%	10.2%	7.4%	
	60代	151	61	14	19	37	55	25	17	10
	-	40.4%	9.3%	12.6%	24.5%	36.4%	16.6%	11.3%	6.6%	
	70歳以上	130	17	9	14	17	40	20	9	9
	-	13.1%	6.9%	10.8%	13.1%	30.8%	15.4%	6.9%	6.9%	
男性	389	135	49	40	102	117	58	65	39	
	-	34.7%	12.6%	10.3%	26.2%	30.1%	14.9%	16.7%	10.0%	
	20代	20	6	2	3	10	6	2	0	
	-	30.0%	10.0%	15.0%	50.0%	30.0%	30.0%	10.0%	0.0%	
	30代	25	6	4	2	9	8	2	1	
	-	24.0%	16.0%	8.0%	36.0%	32.0%	8.0%	8.0%	4.0%	
	40代	56	13	5	7	19	16	11	10	4
	-	23.2%	8.9%	12.5%	33.9%	28.6%	19.6%	17.9%	7.1%	
50代	68	27	11	6	19	16	12	12	8	
-	39.7%	16.2%	8.8%	27.9%	23.5%	17.6%	17.6%	11.8%		
60代	131	49	21	11	28	41	13	24	18	
-	37.4%	16.0%	8.4%	21.4%	31.3%	9.9%	18.3%	13.7%		
70歳以上	89	34	6	11	17	30	14	15	8	
-	38.2%	6.7%	12.4%	19.1%	33.7%	15.7%	16.9%	9.0%		

性別・年代別	改め生男	くす	イフ	画男	と	妻	と	き	自	そ	わ	無
		改め生男 る方、考 え方を 中心の	くす すこと に 対する 抵抗 感を な	イフ する こと によ るラ	画男 性が 家事 など に参	と 出 世を 求め ない こ	妻 が夫 に経 済力 や	と 務 等を 普及 させ る	き るよ うに 在宅 勤	自 宅で も仕 事が で	そ 他	わ から ない
総計	113	207	42	113	16	120	57					
	11.7%	21.4%	4.3%	11.7%	1.7%	12.4%	5.9%					
女性	65	133	21	74	8	72	34					
	11.4%	23.3%	3.7%	13.0%	1.4%	12.6%	6.0%					
	20代	3	3	2	10	0	3	0				
	9.7%	9.7%	6.5%	32.3%	0.0%	9.7%	0.0%					
	30代	8	12	3	8	2	8	1				
	13.3%	20.0%	5.0%	13.3%	3.3%	13.3%	1.7%					
	40代	10	21	0	6	2	12	4				
	11.1%	23.3%	0.0%	6.7%	2.2%	13.3%	4.4%					
	50代	9	31	3	13	2	7	3				
	8.3%	28.7%	2.8%	12.0%	1.9%	6.5%	2.8%					
	60代	27	37	6	16	0	15	7				
	17.9%	24.5%	4.0%	10.6%	0.0%	9.9%	4.6%					
	70歳以上	8	29	7	21	2	27	19				
	6.2%	22.3%	5.4%	16.2%	1.5%	20.8%	14.6%					
男性	48	73	19	39	8	47	23					
	12.3%	18.8%	4.9%	10.0%	2.1%	12.1%	5.9%					
	20代	0	8	2	3	0	2	1				
	0.0%	40.0%	10.0%	15.0%	0.0%	10.0%	5.0%					
	30代	3	5	2	5	1	4	0				
	12.0%	20.0%	8.0%	20.0%	4.0%	16.0%	0.0%					
	40代	14	6	3	6	1	6	3				
	25.0%	10.7%	5.4%	10.7%	1.8%	10.7%	5.4%					
50代	2	19	2	4	3	7	2					
2.9%	27.9%	2.9%	5.9%	4.4%	10.3%	2.9%						
60代	16	19	6	14	3	16	9					
12.2%	14.5%	4.6%	10.7%	2.3%	12.2%	6.9%						
70歳以上	13	16	4	7	0	12	8					
14.6%	18.0%	4.5%	7.9%	0.0%	13.5%	9.0%						

【問 24】あなたはこの調査以前に、次の言葉についてご存知でしたか。 (SA)

【全体】

全体でみると、「言葉も内容もよく知っている」との回答は、12 項目中、「セクシュアル・ハラスメント」が 58.9%と最も多く、次いで「ドメスティック・バイオレンス (DV) (57.7%)」、「育児・介護休業法 (27.7%)」の順となっている。

一方で、「言葉も内容も知らない」との回答は、12 項目中、「リプロダクション・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康/権利)」が 76.5%と最も多く、約 8 割を占めており、次いで「鹿児島県男女共同参画週間 (7/25~31) (54.6%)」、「ジェンダー (51.1%)」の順となっている。

【性別】

性別でみると、男女とも全体での回答と概ね同様の傾向を示している。

【前回調査との比較】

前回調査と比較すると、特に大きな差異はみられないが、「ジェンダー」、「ドメスティック・バイオレンス (DV)」、「育児・介護休業法」、「鹿児島県男女共同参画週間 (7/25~31)」、「ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)」の項目が、わずかながら増加している。

【A ジェンダー】

全体及び男女とも、「言葉も内容も知らない」との回答が最も多い。

性別・年代別でみると、男女とも 20 代で「言葉は知っており、内容は少し知っている」との回答が最も多くなっている。

【B ドメスティック・バイオレンス (DV)】

全体及び男女とも、「言葉も内容もよく知っている」との回答が最も多く、性別・年代別に関わらず、広く認知されていることがうかがえる。

【C セクシュアル・ハラスメント】

全体及び男女とも、「言葉も内容もよく知っている」との回答が最も多く、性別・年代別に関わらず、広く認知されていることがうかがえる。

【D プロダクション・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康/権利)】

全体及び男女とも、「言葉も内容も知らない」との回答が最も多く、性別・年代別に関わらず、認知度が低いことがうかがえる。

【E ポジティブ・アクション (積極的改善措置)】

全体及び男女とも、「言葉も内容も知らない」との回答が最も多く、性別・年代別に関わらず、認知度が低いことがうかがえる。

【F 男女共同参画社会基本法】

全体及び男女とも、「言葉だけは知っている」との回答が最も多い。

性別・年代別でみると、男女とも 20 代で「言葉は知っており、内容は少し知っている」との回答が最も多くなっている。

【G 男女雇用機会均等法】

全体及び男女とも、「言葉は知っており、内容は少し知っている」との回答が最も多い。

性別・年代別でみると、男性の 50 代で「言葉も内容もよく知っている」との回答が最も多くなっている。

【H 育児・介護休業法】

全体及び男女とも、「言葉は知っており、内容は少し知っている」との回答が最も多い。

性別・年代別で見ると、男性の50代で「言葉も内容もよく知っている」との回答が最も多くなっている。

【I 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）】

全体及び男女とも、「言葉は知っており、内容は少し知っている」との回答が最も多い。

【J 鹿児島県男女共同参画推進条例】

全体及び男女とも、「言葉も内容も知らない」との回答が最も多く、性別・年代別に関わらず、認知度が低いことがうかがえる。

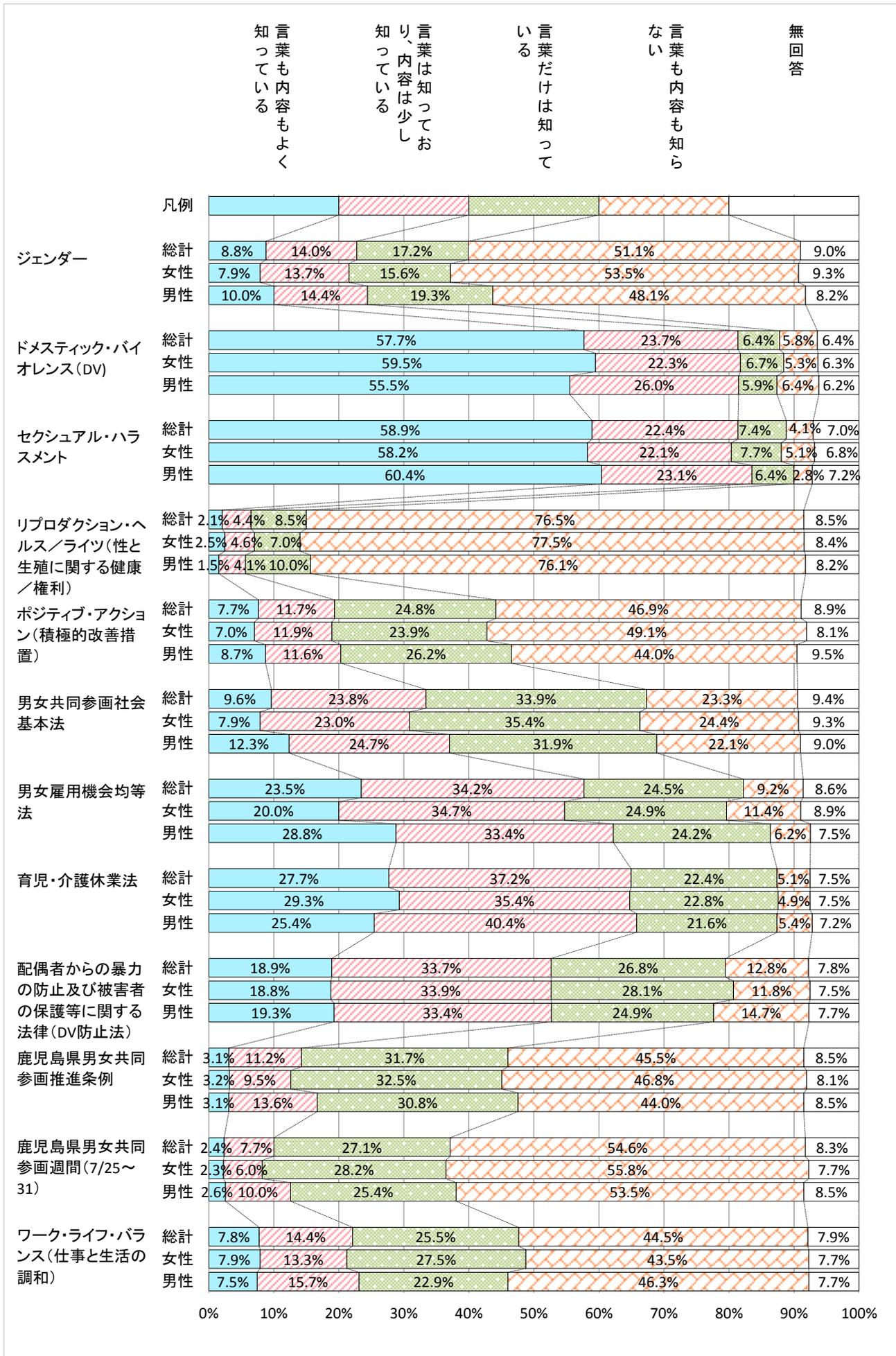
【K 鹿児島県男女共同参画週間（7/25～31）】

全体及び男女とも、「言葉も内容も知らない」との回答が最も多く、性別・年代別に関わらず、認知度が低いことがうかがえる。

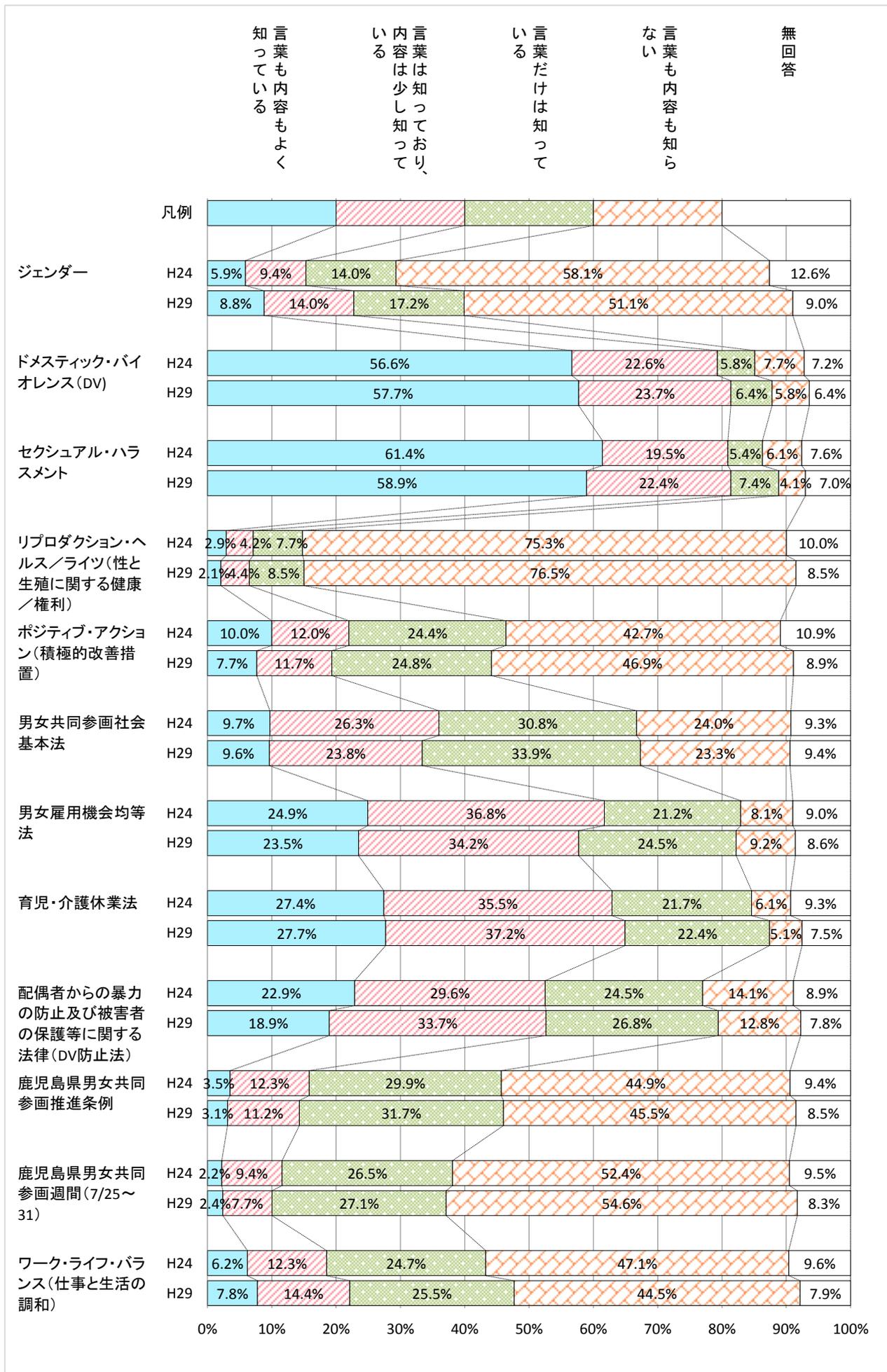
【L ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）】

全体及び男女とも、「言葉も内容も知らない」との回答が最も多く、性別・年代別に関わらず、認知度が低いことがうかがえる。

図表 24-1 男女共同参画に関する用語の認知度【全体及び性別】



図表 24-2 男女共同参画に関する用語の認知度【今回調査(H29)と前回調査(H24)との比較】



図表 24-3 男女共同参画に関する用語の認知度【ジェンダー】

		回答者数	言葉も内容もよく知っている	言葉は少し知っており、内容は知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
		上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)					
総計		967 100.0%	85 8.8%	135 14.0%	166 17.2%	494 51.1%	87 9.0%
性・年代別	女性	570 100.0%	45 7.9%	78 13.7%	89 15.6%	305 53.5%	53 9.3%
	20代	31 100.0%	7 22.6%	10 32.3%	7 22.6%	7 22.6%	0 0.0%
	30代	60 100.0%	6 10.0%	12 20.0%	13 21.7%	29 48.3%	0 0.0%
	40代	90 100.0%	11 12.2%	18 20.0%	15 16.7%	45 50.0%	1 1.1%
	50代	108 100.0%	12 11.1%	17 15.7%	18 16.7%	54 50.0%	7 6.5%
	60代	151 100.0%	7 4.6%	15 9.9%	23 15.2%	94 62.3%	12 7.9%
	70歳以上	130 100.0%	2 1.5%	6 4.6%	13 10.0%	76 58.5%	33 25.4%
	男性	389 100.0%	39 10.0%	56 14.4%	75 19.3%	187 48.1%	32 8.2%
	20代	20 100.0%	2 10.0%	6 30.0%	5 25.0%	6 30.0%	1 5.0%
	30代	25 100.0%	3 12.0%	4 16.0%	6 24.0%	11 44.0%	1 4.0%
	40代	56 100.0%	8 14.3%	14 25.0%	14 25.0%	17 30.4%	3 5.4%
	50代	68 100.0%	9 13.2%	11 16.2%	18 26.5%	25 36.8%	5 7.4%
	60代	131 100.0%	13 9.9%	14 10.7%	23 17.6%	71 54.2%	10 7.6%
	70歳以上	89 100.0%	4 4.5%	7 7.9%	9 10.1%	57 64.0%	12 13.5%

図表 24-4 男女共同参画に関する用語の認知度【ドメスティック・バイオレンス (DV)】

		回答者数	言葉も内容もよく知っている	言葉は少し知っており、内容は知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
		上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)					
総計		967 100.0%	558 57.7%	229 23.7%	62 6.4%	56 5.8%	62 6.4%
性・年代別	女性	570 100.0%	339 59.5%	127 22.3%	38 6.7%	30 5.3%	36 6.3%
	20代	31 100.0%	23 74.2%	8 25.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	60 100.0%	46 76.7%	13 21.7%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	90 100.0%	64 71.1%	25 27.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%
	50代	108 100.0%	72 66.7%	25 23.1%	7 6.5%	1 0.9%	3 2.8%
	60代	151 100.0%	92 60.9%	30 19.9%	17 11.3%	6 4.0%	6 4.0%
	70歳以上	130 100.0%	42 32.3%	26 20.0%	13 10.0%	23 17.7%	26 20.0%
	男性	389 100.0%	216 55.5%	101 26.0%	23 5.9%	25 6.4%	24 6.2%
	20代	20 100.0%	16 80.0%	2 10.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	25 100.0%	20 80.0%	4 16.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%
	40代	56 100.0%	35 62.5%	16 28.6%	2 3.6%	1 1.8%	2 3.6%
	50代	68 100.0%	45 66.2%	14 20.6%	2 2.9%	3 4.4%	4 5.9%
	60代	131 100.0%	64 48.9%	43 32.8%	8 6.1%	9 6.9%	7 5.3%
	70歳以上	89 100.0%	36 40.4%	22 24.7%	9 10.1%	12 13.5%	10 11.2%

図表 24-5 男女共同参画に関する用語の認知度【セクシュアル・ハラスメント】

		回答者数	言葉も内容もよく知っている	内容は少し知っており、言葉は知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
		上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)					
総計		967 100.0%	570 58.9%	217 22.4%	72 7.4%	40 4.1%	68 7.0%
性・年代別	女性	570 100.0%	332 58.2%	126 22.1%	44 7.7%	29 5.1%	39 6.8%
	20代	31 100.0%	23 74.2%	8 25.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	60 100.0%	43 71.7%	16 26.7%	1 1.7%	0 0.0%	0 0.0%
	40代	90 100.0%	65 72.2%	21 23.3%	1 1.1%	1 1.1%	2 2.2%
	50代	108 100.0%	67 62.0%	28 25.9%	9 8.3%	0 0.0%	4 3.7%
	60代	151 100.0%	87 57.6%	33 21.9%	20 13.2%	6 4.0%	5 3.3%
	70歳以上	130 100.0%	47 36.2%	20 15.4%	13 10.0%	22 16.9%	28 21.5%
	男性	389 100.0%	235 60.4%	90 23.1%	25 6.4%	11 2.8%	28 7.2%
	20代	20 100.0%	14 70.0%	4 20.0%	1 5.0%	1 5.0%	0 0.0%
	30代	25 100.0%	19 76.0%	5 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.0%
	40代	56 100.0%	37 66.1%	15 26.8%	2 3.6%	0 0.0%	2 3.6%
	50代	68 100.0%	49 72.1%	12 17.6%	3 4.4%	1 1.5%	3 4.4%
	60代	131 100.0%	77 58.8%	33 25.2%	8 6.1%	4 3.1%	9 6.9%
	70歳以上	89 100.0%	39 43.8%	21 23.6%	11 12.4%	5 5.6%	13 14.6%

図表 24-6 男女共同参画に関する用語の認知度【リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康/権利）】

		回答者数	言葉も内容もよく知っている	内容は少し知っており、言葉は知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
		上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)					
総計		967 100.0%	20 2.1%	43 4.4%	82 8.5%	740 76.5%	82 8.5%
性・年代別	女性	570 100.0%	14 2.5%	26 4.6%	40 7.0%	442 77.5%	48 8.4%
	20代	31 100.0%	2 6.5%	5 16.1%	1 3.2%	23 74.2%	0 0.0%
	30代	60 100.0%	2 3.3%	1 1.7%	5 8.3%	52 86.7%	0 0.0%
	40代	90 100.0%	5 5.6%	5 5.6%	4 4.4%	75 83.3%	1 1.1%
	50代	108 100.0%	2 1.9%	2 1.9%	13 12.0%	85 78.7%	6 5.6%
	60代	151 100.0%	2 1.3%	6 4.0%	10 6.6%	124 82.1%	9 6.0%
	70歳以上	130 100.0%	1 0.8%	7 5.4%	7 5.4%	83 63.8%	32 24.6%
	男性	389 100.0%	6 1.5%	16 4.1%	39 10.0%	296 76.1%	32 8.2%
	20代	20 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 10.0%	18 90.0%	0 0.0%
	30代	25 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 12.0%	21 84.0%	1 4.0%
	40代	56 100.0%	1 1.8%	0 0.0%	5 8.9%	48 85.7%	2 3.6%
	50代	68 100.0%	0 0.0%	3 4.4%	6 8.8%	55 80.9%	4 5.9%
	60代	131 100.0%	4 3.1%	5 3.8%	10 7.6%	100 76.3%	12 9.2%
	70歳以上	89 100.0%	1 1.1%	8 9.0%	13 14.6%	54 60.7%	13 14.6%

図表 24-7 男女共同参画に関する用語の認知度【ポジティブ・アクション（積極的改善措置）】

		回答者数	言葉も内容もよく知っている	内容は少し知っており、言葉は知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
		上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)					
総計		967 100.0%	74 7.7%	113 11.7%	240 24.8%	454 46.9%	86 8.9%
性・年代別	女性	570 100.0%	40 7.0%	68 11.9%	136 23.9%	280 49.1%	46 8.1%
	20代	31 100.0%	2 6.5%	4 12.9%	5 16.1%	20 64.5%	0 0.0%
	30代	60 100.0%	3 5.0%	4 6.7%	10 16.7%	43 71.7%	0 0.0%
	40代	90 100.0%	8 8.9%	12 13.3%	24 26.7%	45 50.0%	1 1.1%
	50代	108 100.0%	10 9.3%	16 14.8%	30 27.8%	47 43.5%	5 4.6%
	60代	151 100.0%	13 8.6%	21 13.9%	49 32.5%	62 41.1%	6 4.0%
	70歳以上	130 100.0%	4 3.1%	11 8.5%	18 13.8%	63 48.5%	34 26.2%
	男性	389 100.0%	34 8.7%	45 11.6%	102 26.2%	171 44.0%	37 9.5%
	20代	20 100.0%	1 5.0%	1 5.0%	6 30.0%	11 55.0%	1 5.0%
	30代	25 100.0%	1 4.0%	3 12.0%	6 24.0%	14 56.0%	1 4.0%
	40代	56 100.0%	3 5.4%	9 16.1%	11 19.6%	29 51.8%	4 7.1%
	50代	68 100.0%	9 13.2%	10 14.7%	17 25.0%	28 41.2%	4 5.9%
	60代	131 100.0%	14 10.7%	11 8.4%	46 35.1%	49 37.4%	11 8.4%
	70歳以上	89 100.0%	6 6.7%	11 12.4%	16 18.0%	40 44.9%	16 18.0%

図表 24-8 男女共同参画に関する用語の認知度【男女共同参画社会基本法】

		回答者数	言葉も内容もよく知っている	内容は少し知っており、言葉は知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
		上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)					
総計		967 100.0%	93 9.6%	230 23.8%	328 33.9%	225 23.3%	91 9.4%
性・年代別	女性	570 100.0%	45 7.9%	131 23.0%	202 35.4%	139 24.4%	53 9.3%
	20代	31 100.0%	8 25.8%	11 35.5%	7 22.6%	5 16.1%	0 0.0%
	30代	60 100.0%	2 3.3%	5 8.3%	21 35.0%	32 53.3%	0 0.0%
	40代	90 100.0%	5 5.6%	23 25.6%	34 37.8%	26 28.9%	2 2.2%
	50代	108 100.0%	2 1.9%	22 20.4%	51 47.2%	27 25.0%	6 5.6%
	60代	151 100.0%	13 8.6%	38 25.2%	60 39.7%	28 18.5%	12 7.9%
	70歳以上	130 100.0%	15 11.5%	32 24.6%	29 22.3%	21 16.2%	33 25.4%
	男性	389 100.0%	48 12.3%	96 24.7%	124 31.9%	86 22.1%	35 9.0%
	20代	20 100.0%	3 15.0%	8 40.0%	5 25.0%	3 15.0%	1 5.0%
	30代	25 100.0%	4 16.0%	6 24.0%	6 24.0%	7 28.0%	2 8.0%
	40代	56 100.0%	4 7.1%	16 28.6%	15 26.8%	19 33.9%	2 3.6%
	50代	68 100.0%	11 16.2%	13 19.1%	25 36.8%	14 20.6%	5 7.4%
	60代	131 100.0%	16 12.2%	27 20.6%	50 38.2%	28 21.4%	10 7.6%
	70歳以上	89 100.0%	10 11.2%	26 29.2%	23 25.8%	15 16.9%	15 16.9%

図表 24-9 男女共同参画に関する用語の認知度【男女雇用機会均等法】

		回答者数	言葉も内容もよく知っている	言葉は少し知っている、内容は少しい	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
		上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)					
総計		967 100.0%	227 23.5%	331 34.2%	237 24.5%	89 9.2%	83 8.6%
性・年代別	女性	570 100.0%	114 20.0%	198 34.7%	142 24.9%	65 11.4%	51 8.9%
	20代	31 100.0%	9 29.0%	12 38.7%	4 12.9%	6 19.4%	0 0.0%
	30代	60 100.0%	13 21.7%	26 43.3%	16 26.7%	5 8.3%	0 0.0%
	40代	90 100.0%	18 20.0%	37 41.1%	24 26.7%	10 11.1%	1 1.1%
	50代	108 100.0%	17 15.7%	39 36.1%	34 31.5%	13 12.0%	5 4.6%
	60代	151 100.0%	36 23.8%	50 33.1%	40 26.5%	13 8.6%	12 7.9%
	70歳以上	130 100.0%	21 16.2%	34 26.2%	24 18.5%	18 13.8%	33 25.4%
	男性	389 100.0%	112 28.8%	130 33.4%	94 24.2%	24 6.2%	29 7.5%
	20代	20 100.0%	7 35.0%	8 40.0%	4 20.0%	1 5.0%	0 0.0%
	30代	25 100.0%	5 20.0%	13 52.0%	2 8.0%	4 16.0%	1 4.0%
	40代	56 100.0%	14 25.0%	23 41.1%	14 25.0%	3 5.4%	2 3.6%
	50代	68 100.0%	27 39.7%	18 26.5%	16 23.5%	3 4.4%	4 5.9%
	60代	131 100.0%	37 28.2%	41 31.3%	35 26.7%	9 6.9%	9 6.9%
	70歳以上	89 100.0%	22 24.7%	27 30.3%	23 25.8%	4 4.5%	13 14.6%

図表 24-10 男女共同参画に関する用語の認知度【育児・介護休業法】

		回答者数	言葉も内容もよく知っている	言葉は少し知っている、内容は少しい	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
		上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)					
総計		967 100.0%	268 27.7%	360 37.2%	217 22.4%	49 5.1%	73 7.5%
性・年代別	女性	570 100.0%	167 29.3%	202 35.4%	130 22.8%	28 4.9%	43 7.5%
	20代	31 100.0%	9 29.0%	13 41.9%	9 29.0%	0 0.0%	0 0.0%
	30代	60 100.0%	15 25.0%	23 38.3%	18 30.0%	2 3.3%	2 3.3%
	40代	90 100.0%	25 27.8%	39 43.3%	20 22.2%	5 5.6%	1 1.1%
	50代	108 100.0%	30 27.8%	39 36.1%	28 25.9%	6 5.6%	5 4.6%
	60代	151 100.0%	56 37.1%	52 34.4%	32 21.2%	6 4.0%	5 3.3%
	70歳以上	130 100.0%	32 24.6%	36 27.7%	23 17.7%	9 6.9%	30 23.1%
	男性	389 100.0%	99 25.4%	157 40.4%	84 21.6%	21 5.4%	28 7.2%
	20代	20 100.0%	2 10.0%	12 60.0%	5 25.0%	1 5.0%	0 0.0%
	30代	25 100.0%	5 20.0%	9 36.0%	6 24.0%	3 12.0%	2 8.0%
	40代	56 100.0%	10 17.9%	26 46.4%	14 25.0%	4 7.1%	2 3.6%
	50代	68 100.0%	28 41.2%	24 35.3%	12 17.6%	1 1.5%	3 4.4%
	60代	131 100.0%	33 25.2%	52 39.7%	31 23.7%	7 5.3%	8 6.1%
	70歳以上	89 100.0%	21 23.6%	34 38.2%	16 18.0%	5 5.6%	13 14.6%

図表 24-11 男女共同参画に関する用語の認知度【配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）】

	回答者数	言葉も内容もよく知っている	内容は少し知っており、言葉は知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答	
							上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)
総計	967	183	326	259	124	75	
	100.0%	18.9%	33.7%	26.8%	12.8%	7.8%	
性・年代別	女性	570	107	193	160	67	43
		100.0%	18.8%	33.9%	28.1%	11.8%	7.5%
	20代	31	5	8	11	7	0
		100.0%	16.1%	25.8%	35.5%	22.6%	0.0%
	30代	60	7	23	23	6	1
		100.0%	11.7%	38.3%	38.3%	10.0%	1.7%
	40代	90	13	42	26	8	1
		100.0%	14.4%	46.7%	28.9%	8.9%	1.1%
	50代	108	23	39	29	12	5
		100.0%	21.3%	36.1%	26.9%	11.1%	4.6%
	60代	151	35	52	42	15	7
		100.0%	23.2%	34.4%	27.8%	9.9%	4.6%
	70歳以上	130	24	29	29	19	29
		100.0%	18.5%	22.3%	22.3%	14.6%	22.3%
男性	389	75	130	97	57	30	
	100.0%	19.3%	33.4%	24.9%	14.7%	7.7%	
20代	20	2	7	6	5	0	
	100.0%	10.0%	35.0%	30.0%	25.0%	0.0%	
30代	25	6	5	7	6	1	
	100.0%	24.0%	20.0%	28.0%	24.0%	4.0%	
40代	56	9	21	12	12	2	
	100.0%	16.1%	37.5%	21.4%	21.4%	3.6%	
50代	68	15	22	16	10	5	
	100.0%	22.1%	32.4%	23.5%	14.7%	7.4%	
60代	131	26	44	41	11	9	
	100.0%	19.8%	33.6%	31.3%	8.4%	6.9%	
70歳以上	89	17	31	15	13	13	
	100.0%	19.1%	34.8%	16.9%	14.6%	14.6%	

図表 24-12 男女共同参画に関する用語の認知度【鹿児島県男女共同参画推進条例】

	回答者数	言葉も内容もよく知っている	内容は少し知っており、言葉は知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答	
							上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)
総計	967	30	108	307	440	82	
	100.0%	3.1%	11.2%	31.7%	45.5%	8.5%	
性・年代別	女性	570	18	54	185	267	46
		100.0%	3.2%	9.5%	32.5%	46.8%	8.1%
	20代	31	1	5	6	19	0
		100.0%	3.2%	16.1%	19.4%	61.3%	0.0%
	30代	60	1	1	19	38	1
		100.0%	1.7%	1.7%	31.7%	63.3%	1.7%
	40代	90	3	8	31	46	2
		100.0%	3.3%	8.9%	34.4%	51.1%	2.2%
	50代	108	1	10	44	49	4
		100.0%	0.9%	9.3%	40.7%	45.4%	3.7%
	60代	151	6	18	57	64	6
		100.0%	4.0%	11.9%	37.7%	42.4%	4.0%
	70歳以上	130	6	12	28	51	33
		100.0%	4.6%	9.2%	21.5%	39.2%	25.4%
男性	389	12	53	120	171	33	
	100.0%	3.1%	13.6%	30.8%	44.0%	8.5%	
20代	20	1	0	9	10	0	
	100.0%	5.0%	0.0%	45.0%	50.0%	0.0%	
30代	25	1	1	8	14	1	
	100.0%	4.0%	4.0%	32.0%	56.0%	4.0%	
40代	56	0	9	13	32	2	
	100.0%	0.0%	16.1%	23.2%	57.1%	3.6%	
50代	68	2	12	21	29	4	
	100.0%	2.9%	17.6%	30.9%	42.6%	5.9%	
60代	131	5	15	43	55	13	
	100.0%	3.8%	11.5%	32.8%	42.0%	9.9%	
70歳以上	89	3	16	26	31	13	
	100.0%	3.4%	18.0%	29.2%	34.8%	14.6%	

図表 24-13 男女共同参画に関する用語の認知度感【鹿児島県男女共同参画週間（7/25～31）】

		回答者数	言葉も内容もよく知っている	言葉は少し知っており、内容は知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
		上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)					
総計		967 100.0%	23 2.4%	74 7.7%	262 27.1%	528 54.6%	80 8.3%
性・年代別	女性	570 100.0%	13 2.3%	34 6.0%	161 28.2%	318 55.8%	44 7.7%
	20代	31 100.0%	0 0.0%	4 12.9%	6 19.4%	21 67.7%	0 0.0%
	30代	60 100.0%	1 1.7%	0 0.0%	12 20.0%	47 78.3%	0 0.0%
	40代	90 100.0%	3 3.3%	6 6.7%	28 31.1%	52 57.8%	1 1.1%
	50代	108 100.0%	1 0.9%	5 4.6%	34 31.5%	64 59.3%	4 3.7%
	60代	151 100.0%	2 1.3%	13 8.6%	50 33.1%	79 52.3%	7 4.6%
	70歳以上	130 100.0%	6 4.6%	6 4.6%	31 23.8%	55 42.3%	32 24.6%
	男性	389 100.0%	10 2.6%	39 10.0%	99 25.4%	208 53.5%	33 8.5%
	20代	20 100.0%	1 5.0%	1 5.0%	6 30.0%	12 60.0%	0 0.0%
	30代	25 100.0%	1 4.0%	1 4.0%	6 24.0%	16 64.0%	1 4.0%
	40代	56 100.0%	0 0.0%	7 12.5%	10 17.9%	37 66.1%	2 3.6%
	50代	68 100.0%	1 1.5%	9 13.2%	16 23.5%	37 54.4%	5 7.4%
	60代	131 100.0%	5 3.8%	10 7.6%	37 28.2%	69 52.7%	10 7.6%
	70歳以上	89 100.0%	2 2.2%	11 12.4%	24 27.0%	37 41.6%	15 16.9%

図表 24-14 男女共同参画に関する用語の認知度感【ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）】

		回答者数	言葉も内容もよく知っている	言葉は少し知っており、内容は知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	無回答
		上段: 回答数(人) 下段: 構成比(%)					
総計		967 100.0%	75 7.8%	139 14.4%	247 25.5%	430 44.5%	76 7.9%
性・年代別	女性	570 100.0%	45 7.9%	76 13.3%	157 27.5%	248 43.5%	44 7.7%
	20代	31 100.0%	7 22.6%	6 19.4%	6 19.4%	12 38.7%	0 0.0%
	30代	60 100.0%	2 3.3%	7 11.7%	13 21.7%	38 63.3%	0 0.0%
	40代	90 100.0%	11 12.2%	8 8.9%	29 32.2%	41 45.6%	1 1.1%
	50代	108 100.0%	9 8.3%	18 16.7%	30 27.8%	46 42.6%	5 4.6%
	60代	151 100.0%	8 5.3%	22 14.6%	48 31.8%	65 43.0%	8 5.3%
	70歳以上	130 100.0%	8 6.2%	15 11.5%	31 23.8%	46 35.4%	30 23.1%
	男性	389 100.0%	29 7.5%	61 15.7%	89 22.9%	180 46.3%	30 7.7%
	20代	20 100.0%	2 10.0%	4 20.0%	5 25.0%	9 45.0%	0 0.0%
	30代	25 100.0%	3 12.0%	3 12.0%	7 28.0%	11 44.0%	1 4.0%
	40代	56 100.0%	5 8.9%	10 17.9%	14 25.0%	25 44.6%	2 3.6%
	50代	68 100.0%	6 8.8%	10 14.7%	14 20.6%	34 50.0%	4 5.9%
	60代	131 100.0%	7 5.3%	20 15.3%	36 27.5%	60 45.8%	8 6.1%
	70歳以上	89 100.0%	6 6.7%	14 15.7%	13 14.6%	41 46.1%	15 16.9%

男女共同参画社会づくりに関することについて、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

#### 「その他」の自由回答

- 安心して子育てや介護をしながら働ける社会になってほしい。婦人会の活動は有意義なものだが、毎年公民館で役員決めが大変だと聞く。仕事に子育てにと忙しい中本当に大変だと思う。(40代女性)
- 今の現状では、子どもが一番に関わるのは母親で、男性には難しい部分かと思う。「男女共同参画社会づくり」はよいことだと思うが、年代にもより参加・不参加と別れるのは仕方ないかなと思う。いちき串木野市のこれからの発展を楽しみにしている。(30代女性)
- アンケート調査は無作為に選ばれているが、高齢者の意見より、年齢的に働き盛りの方が正確な意見が得るのではないか。(70歳以上女性)
- いろいろな考え方があっての世の中で、という言い方はおかしいかもしれないが、いじめに関してもいじめられる方が悪い、とか、親同士の悪口を真に受けて子どもたちが同じようないじめをする……。相談所という名のところに相談しても怒られる。秘密が漏れている。この繰り返しでは、辛いことの連続である。まず、家庭での教育が大事とも言われるが、どこか助けを求めたい時もあるはず。相談に乗る方も、自分だけの意見ではなく、周りももっと見て頂きたいが、アドバイザーらしい名の方からの言動に傷付くことも多々ある。(50代女性)
- 鹿児島県男女共同参画週間で、どんな取り組みが行われているのか詳しく知りたい。(40代女性)
- 鹿児島県は特に男尊女卑の考え方が強いと思う。そして、都市部から離れたいわゆる「いなか」へ行けば行くほど増大していると感じる。現在の国の状態を見ても、言葉・理想ばかりの政策・対策・条例。男女共同参画社会と言っている自体が、既に性差別なのでは、と思う。日本という島国の中では、とても難しい事だと思う。しかしながら、今より少しでも住みやすく、生きやすい、いちき串木野市になっていくよう願う。(40代女性)
- 鹿児島県は昔から男尊女卑という傾向がみられる。もう少し和らいでくれたらよくなるかもしれない。(70歳以上男性)
- 鹿児島はどこ行っても男尊女卑が目立つ。県の歴史を守るのは大切だが、内向的な県のやり方ではずっと変わらないと思う。九州の中でも独特なことに気づいていない。(30代女性)
- 過去、社会で男女に関係なく仕事で頑張ってきたため、その差は本人の意識が大きいと思っている。本人の意欲が環境を支配できるまでの努力。その一つにパートナーの理解・協力が得られるよう話し合いが必要。メリットがないと続かない。社会云々より本人の意識が大切。(60代女性)
- 健康あつての活動であるので、街ぐるみで医者いらずの生活ができる場所などあったら積極的に参加する人も増えるのではないかと。使われなくなった建物など活動場所をもっと増やして欲しい。(60代女性)
- 高齢のため、思うような返事もできない。少しでも若い方へお願いしたい。(70歳以上女性)
- 雇用を生み出す・人口を増やす。それらの後についてくるのだと思う。(40代男性)
- これ以上、年金も下がり続けると生活が厳しくなるので大変だなと思う。働くにも体がついていけないし頭もついていけないため心配である。物価も高いし、払いも多い。(60代女性)

- これから先、子どもたちに「幸」な社会であり、生まれてよかったと思える一生になってほしい。(70歳以上女性)
- 在宅での育児・介護は世間的に軽く思われるように感じる。外で仕事をしてる方は公民館やPTA活動も仕事を理由に逃げられるが、在宅で育児・介護してる方にはそのような配慮はない。しっかりした子育てや気持ちに余裕のもてる介護ができるように社会的にも理解が必要だと思う。(50代女性)
- 市、公民館の行事にペアの催しを入れる。副市長を女性にする。(70歳以上男性)
- 時給が最低賃金の割に家賃が高すぎる。その面でも若い人に少しでもいちき串木野に住んでもらえるよう、雇用をしっかりと、住みやすい町に。(60代女性)
- 仕事と生活の調和は必要だが、今将来の事(日本経済)を考えたら、仕事を重んじる事も大事。(60代男性)
- 自治体だけの取組ではなく、社会全体の取組が必要であると思う。本腰を入れた取組ができるかにかかっていると思う。(60代女性)
- 自分で考え自分で判断・決定するという基本的な部分が抜けていると思う。個の確立が大前提ではないかと考える。(70歳以上男性)
- 社会がお金を必要とするため、豊かな生活をするには、多くのものを欲しいと思ってしまい貧しくなっているように感じる。お金が少なくても豊かな生活ができるような社会に。(40代男性)
- 少子化は格差社会の今日、政府の政策が成功している証と思う。現在の経済政策を変えない以上、日本の歴史の危機に陥る状態が続くと思う。国を挙げて、少子化にストップを。私はそう願っている。(70歳以上男性)
- 将来の明るいビジョンを明確に打ち出して、生きる上での積極性を向上させることが大切だと考える。そのため、個々人が真剣に生きる姿勢を培うような真の道徳観を持つような環境づくりがあるとよいと思う。快樂志向の世の中なので努力が求められる。(70歳以上男性)
- 女性があらゆる場に進出することや意見を述べ活動することは良いことだが、基本である女性らしさは失いたくないものである。最近の国会議員の秘書に対する発言も、孫まで大きな声で言うようになってしまった。(70歳以上女性)
- 女性が定年まで働けるように、中小企業にも大企業の制度が浸透するように徹底してもらいたい。(60代女性)
- 女性が入っていきづらい男性社会はいまだ多くある。女性の一人の先導者がいるだけでだいぶ違うかと思う。その先導者をつくる社会・意識づくりが大切であると感じる。(20代女性)
- 女性の社会進出が進めば進むほど、離婚、未婚、少子化等悪化する側面もあると思う。(60代男性)
- 人口減少と高齢化がますますこれから先進む中で男女共同参画社会は全ての面で必要になっていくと思う。(60代男性)
- 成人してからの意識改革は難しいため、子どもの頃から男女平等の意識を充分身に付けさせる環境づくりが必要だと思う。家庭・学校・地域そしてマスコミなど社会風潮はまだまだ男尊女卑である。(60代女性)
- 積極的に研修に参加して、知識を高めていこうと思う。(40代女性)

- そもそも、鹿児島、特に地方の中年以上の男性の男尊女卑の考えは今の時点では変わりようがなく、女性の頑張りようがない。せめてこれからは、学校等で男女平等の教育で女性の立場の向上を図ってほしい。(60代女性)
- それぞれの人権が守れる社会になって欲しい。(50代男性)
- 男女共同参画社会という言葉が日本人には聞きなれていないため、ストレートに男女平等社会と書く方がよいと思う。日本が本当に男女平等を求めるなら、もっと北欧の社会制度や支援、教育方法を学ぶべきだと思う。(20代女性)
- 男女共同参画社会は無理やり押し進めるものではなく、自然に自由を基本に社会づくりを進めていってほしい。各個人の考え方も尊重して自由に楽しくをモットーに皆で協力しあう社会になっていってほしい。(60代男性)
- 男女共同参画社会をもっと分かりやすい親しみやすい言葉にできないか、難しい言葉でわかりにくい。(60代男性)
- 男女共同参画づくりと、現在の少子化への流れは深く関わっていると思う。いまだに、「女性にお茶を入れてもらうと和む」という男性と、そのような行動で評価されることが女性として自分が評価されていると感じる女性といった意識が根強い、いちき串木野で、男性も女性も「仕事をする」のが主となってきた現代社会で安心して子育てしてもらうためにも、根気強く意識改革を進めて頂きたい。学校教育だけでなく、PTAの在り方、学校内の教職員の意識改革もすべきである。セクハラ・DVについての啓蒙ビデオを公民館長会や、PTAで繰り返し見せるべき。(50代女性)
- 男女共同参画について、どのようなことにポイントが置かれているか分かりやすく並べられていて勉強になった。子どもや子育て世代への前向きなアプローチはとても嬉しく心強いが、年配の方々の固定概念の強さやこだわりの強制が改善されればうまくまわっていくと思う。公共施設のマナー違反など、子どもに説明するのに難しさを感じるのは若者のふるまいより年配の方が多い。(30代女性)
- 男女共同参画の社会づくりの推進は非常に良いことではあるが、実際に実行推進することは非常に難しく市民の意識がそこまで浸透していないような気がする。(60代男性)
- 男女の肉体的・精神的な個性差を熟知しておらず、全体的過保護的な傾向がある現代において、この冊子も根本的な間違いをしているような傾向にあると思う。同じ、平等、自由すべては、欠点を生み出す要因。熟知して男女をつかうべき。(60代男性)
- 男女の問題を詳細に区別できるようなことではない。思いやりがあればよい。信頼できるかできないか、当人の考え方で行政がどうこう言う事ではない。一般的な市民まで、このような内容について意見を求めることはすべきではない。特殊性のある難しい問題であり専門的に研究すべき。(60代男性)
- 男女平等であるべきと思いつつ、女の子のひどい言葉遣いや、男性の化粧など見かけると「うーん…」と思うことがあり、自分の中にも本当の男女平等というのは無いのかも思うところがある。職場や地域社会でも、女性の方が向いている事、男性でないと体力的に無理そうなこと、たくさんあると思う。しかし、結局は、個人個人の考え、やる気の問題だと思える。男性の家事・介護も女性の管理職も……。少しでも「それもありがた・自分にもやれるかも」と思える社会ができればと思う。(50代女性)
- 男女平等といいつつ男尊女卑・女尊男卑(東大女性の家賃補助、受験での女性というだけで加点)を訴えることのないように願う。男は仕事、女は家事で夫婦が分担しているのなら男女平等だと思う。(20代男性)

- 男女平等は無理がある。男性は子どもを産めないし、おっぱいもあげられない。ただ、男性でも女性でもできる仕事なら、平等に選べばよいと思う。一般的に男性の方が力があり、適材適所で働くにこしたことはない。本当の性教育をしてほしい。布ナプキン「うふふわ」のホームページ、セルフプレジャーの勧めを見てみて欲しい。(30代女性)
- 年を重ねるごとに新しい発見がありいろいろな事に参加し趣味を持ち信頼できる友を得た。(70歳以上女性)
- 長い間二トだと、専門的な話を聞く機関が鹿児島市内に集中しており、車や自転車に乗れない私にとって行くだけで交通費をかなりの負担があり行くのを躊躇してしまう。子どもたちのフリースクールのような学校の事を忘れられるような建物もないので、笑顔で社会参加ができるような建物・専門医を作ってほしい。祖父の介護をしているときも医者に認知症があるからと入院を断られたり、老健から特養に行くときは、市内に2か所しかなくて隣町まで手続きに行った。特養の数も増やして欲しい。また、原発が爆発した訓練も一定の地区ばかりなので、市全体で行ってほしい。老後が安心できるような病院・施設・制度作りを行ってほしい。(30代女性)
- 日々の生活の中で、今までの流れの中で過ごしてしまいがち。夫婦で、家族で、地域で、機会を作っていくことが必要だと思う。時間がかかることだと思うが、これから大事なことだと思う。(50代男性)
- 婦人会や公民館活動の見直し必要。今仕事をしている人達には大きな負担。(20代男性)
- 暴力とモラルハラスメントが一緒になりわかりにくい。(50代女性)
- 周りに助けられて物事を始めても長続きしない。本人にやる気があればどうい生活環境にあらうがやりたいことをやればよい。従って社会として特に体制を変える必要はない。(50代男性)
- 家賃や物価も高くなり、男性の給料は高くないので夫婦で働かないと生活が大変な中、子どもを産んで育てるとなると保育料、教育費もかさみ、子供も少なく産んで・・・となると思う。介護も年金だけでは足りないため、仕事を辞めるわけにいかない、となっても施設では長期預かってくれず、トイレも狭く、家での介護は難しい。病気になっても長く病院にいられない。いろいろ不安である。(60代女性)
- 離婚している人をうらやましいと思い、勇気があると思う。自殺も子どものためを思うとできず、夫や養母に色々言われても我慢するしかない。(60代女性)
- 私自身は高齢で社会奉仕等できないが、いろいろな立場で活躍している女性は、かなり増えている気がする。まず、そのような人を採用してみても。(70歳以上女性)
- 私たちの時とは違い、仕事をもつ女性が増えており、働く環境も整っていると思う。その反面、家事育児に費やされる時間が少なくなってしまう状況かなと感じる。少子化問題も当然と言えると思う。(60代女性)
- 私は、80歳になる老人であるが、男女の差を無くして、平等な力関係の社会を望んではいらぬ。しかし、時々社会の中に出た時思う事がある。女性の言葉の乱れ、行儀の悪さ、やはり女性はやさしさを伴うべき場があると思う。それを単に性差別だと思ふのは、批判しすぎと思ふ時があるのは私の古い考えなのだろうか。(70歳以上女性)
- 私は、昭和54年から25年間、子育てしながら働いてきた。当時は、「なぜ保育園に預けてまで働くのか？」と社宅の奥様方に言われていた。しかし、私は高校も男女一緒に勉強し、平等の立場で主人とは別に厚生年金と健康保険を受給できる。仕事には男も女もないと思って働いてきた。主人の理解もなかなか得られず日々戦いの毎日。「男女共同参画社会」は夢の様である。若かったら、もう一度こんな時代に働いてみたいと思う。女性も働いてほしい。(70歳以上女性)

## 参考資料（調査票）





# いちき串木野市男女共同参画に 関する市民意識調査

～調査の趣旨とご協力のお願い～

皆様には、日頃から市政の推進につきまして、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本市では、男女が社会のあらゆる分野で対等な構成員として、お互いに人権を尊重しながら、性別に関わりなく、それぞれの個性や能力を十分に発揮できる「男女共同参画社会」の実現に向けて、平成19年度に「男女共同参画基本計画」を策定し、様々な取り組みを進めています。

今回、基本計画の見直しにあたり、市民の皆様のお考えや生活の実情などを今後の施策に生かすため、市民意識調査を実施することといたしました。

この調査は、市内にお住まいの20歳以上の市民の皆様の中から、無作為に選ばせていただいた2,000名の方々にご協力をお願いしております。

回答は無記名で、すべて統計的に処理し、記入された内容については、目的以外に使ったり、他にもらしたりすることはありませんので、ありのままを記入してください。

これからの男女共同参画社会づくりの推進のための大切な調査です。趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成29年7月

いちき串木野市長 田畑 誠一

## ご記入にあたって

- 1 この調査のご記入にあたっては、封筒のあて名の方がご記入ください。
- 2 回答は、調査票のあてはまる項目の番号を○で囲んでください。
- 3 質問によっては、ある条件に該当する方だけにご回答いただくものがありますので、説明にしたがって最後までお進みください。
- 4 すべてのご記入が終わりましたら、お手数ですが記入もれがないかお確かめのうえ

同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**8月18日（金）までにご投函ください。**

【お問合せ先】 いちき串木野市役所 政策課 男女共同参画係  
〒896-8601 いちき串木野市昭和通 133-1  
TEL 33-5672（直通）

【調査協力】 有限会社リサーチ&コンサルティング鹿児島（担当：立石）  
TEL 099-226-5676

※本調査は、民間の社会調査機関「(有)リサーチ&コンサルティング鹿児島」に委託して実施しております。

F1 あなたの性別を教えてください。 [1つに○]

- |      |      |
|------|------|
| 1 女性 | 2 男性 |
|------|------|

F2 あなたの年齢を教えてください。 [1つに○]

- |        |        |         |
|--------|--------|---------|
| 1 20歳代 | 2 30歳代 | 3 40歳代  |
| 4 50歳代 | 5 60歳代 | 6 70歳以上 |

F3 あなたは、普段（1年間に30日以上）何か収入になる仕事をしていますか。 [1つに○]

- |                 |       |
|-----------------|-------|
| 1 収入になる仕事をしている  | → F4へ |
| 2 収入になる仕事をしていない | → F6へ |

F4 **【 F3で「1」を選んだ方におたずねします。 】**

あなたの職業を教えてください。 [1つに○]

- |                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| 1 常勤の勤め（正社員、職員、会社、会社役員、従業員、公務員等） | → F5へ |
| 2 非常勤の勤め（臨時職員、パート、アルバイト、嘱託等）     | → F7へ |
| 3 農業、林業、漁業等の自営業                  | → F5へ |
| 4 商業、工業、サービス業、その他自由業等の自営業        | → F5へ |
| 5 その他                            | → F5へ |

F5 **【 F4で「1」、「3」、「4」、「5」を選んだ方におたずねします。 】**

あなたの職業上の区分を教えてください。 [1つに○]

- |   |
|---|
| 1 管理職（官公庁、企業、工場、各種法人、組合等の経営者、役員、課長級以上の管理職等） |
| 2 被用者（管理職以外の正社員、職員、従業員、公務員等）                |
| 3 自営業主                                      |
| 4 家族従業者（自家営業の手伝い等）                          |
| 5 その他                                       |

↓  
F7へ

F6 **【 F3で「2」を選んだ方におたずねします。 】**

あなたは、どれに該当しますか。 [1つに○]

- |         |      |       |
|---------|------|-------|
| 1 主婦・主夫 | 2 学生 | 3 その他 |
|---------|------|-------|

F7 あなたは、現在結婚していますか。[1つに○]

- 1 結婚している（届出はしていないが一緒に暮らしている事実婚を含む） → F8へ
- 2 結婚していたが、離婚した → F9へ
- 3 結婚していたが、死別した → F9へ
- 4 結婚していない → F9へ

F8 【F7で「1」を選んだ方におたずねします。】

ご夫婦のお仕事の状況について教えてください。[1つに○]

- 1 どちらも仕事をしている（パート・内職を含む）
- 2 自分のみ仕事をしている
- 3 配偶者のみ仕事をしている
- 4 どちらも仕事をしていない

F9 あなたのご家族の構成は次のどれにあてはまりますか。[1つに○]

- 1 単身世帯（一人暮らし）
- 2 1世代世帯（夫婦のみ）
- 3 2世代世帯（親と子、夫婦と子など）
- 4 3世代世帯（親と子と孫など）
- 5 その他

F10 あなたのお子さんは何人ですか。[1つに○]

- 1 いない → 問1へ（4ページ）
- 2 1人 → F11へ
- 3 2人 → F11へ
- 4 3人 → F11へ
- 5 4人以上 → F11へ

F11 【F10で「2」、「3」、「4」、「5」を選んだ方におたずねします。】

あなたが一番下のお子さん（一人の場合は当人）は次のどれにあてはまりますか。[1つに○]

- 1 乳児（1歳未満）
- 2 幼児（1歳以上）
- 3 小学生
- 4 中学生
- 5 高校、専門学校、高専、短大、大学、大学院生
- 6 学校は卒業した（中退も含む）

**【男女平等について】**

(問1) あなたは、次にあげる項目で男女の地位は平等になっていると思いますか。  
次にあげるA～Fのそれぞれの項目について、右欄の1～5のうち、あてはまる番号を1つお選びください。

	非常に平等 になっている	かなり平等 になっている	少し平等に なっている	あまり平等に なっていない	全く平等に なっていない
A 家庭生活で	1	2	3	4	5
B 職場で	1	2	3	4	5
C 集落、公民館などの地域 社会で	1	2	3	4	5
D 学校(学校教育の中で)	1	2	3	4	5
E 法律や制度の上で	1	2	3	4	5
F 社会通念、慣習・しきたり などで	1	2	3	4	5

(問2) 次のA～Jのそれぞれの項目について、右欄の1～5のうち、あてはまる番号を1つお選びください。

	そう 思う	どちらか と言えば そう思う	どちらとも 言えない と思う	どちらか と言えばそう 思わない	そう 思わない
A 「男性は仕事、女性は家事・育児」と役割を分担する方がよい	1	2	3	4	5
B 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てる方がよい	1	2	3	4	5
C 妻や子どもを養うのは、男性の責任である	1	2	3	4	5
D 結婚したら、妻が夫の姓を名乗るのは当然だと思う	1	2	3	4	5
E 職場で、来客にお茶を出すのは女性がした方がよい	1	2	3	4	5
F 男性は少しぐらい強引に女性をリードする方がよい	1	2	3	4	5
G 夫の親を妻が介護・看護するのは当然だと思う	1	2	3	4	5
H 男性の方が女性より、管理者としての資質がある	1	2	3	4	5
I 育児・介護休業は、男性より女性がとった方がよい	1	2	3	4	5
J 子どもが3歳くらいまでは母親のもとで育てる方がよい	1	2	3	4	5

**【家庭生活について】**

(問3) **【現在、結婚をされている方(事実婚を含む)におたずねします。】**

**【それ以外の方は(問4)へ】**

あなたのご家族では、次にあげる家庭内の事からを主に誰が行っていますか。

次にあげるA～Fのそれぞれの項目について、右欄の1～6のうちあてはまる番号を1つお選びください。(※育児、介護等については現在、該当しなくても過去に経験があればそれをもとにお答えください。該当がない場合は、6をお選びください。)

	夫	妻	夫婦	家族 全員	家族以外 の人	該当 しない
A 家事(掃除、洗濯、炊事など)	1	2	3	4	5	6
B 育児(乳幼児の世話、子どもの教育など)	1	2	3	4	5	6
C 介護	1	2	3	4	5	6
D PTA や子ども会	1	2	3	4	5	6
E 集落や公民館などの地域活動への参加	1	2	3	4	5	6
F 高額な商品や土地・家屋の購入を決める	1	2	3	4	5	6

(問4) 結婚、家庭、離婚についてのあなたの考えをおたずねします。次にあげるA～Eのそれぞれの項目について、右欄の1～5のうちあてはまる番号を1つお選びください。

	賛成	どちらかと言え ば賛成	どちらかと言え ば反対	反対	わからない
A 結婚は個人の自由であるから、結婚する、しないは個人の意思に任せればよい	1	2	3	4	5
B 女性は結婚したら自分自身のことより、家族を中心に考えるべきである	1	2	3	4	5
C 結婚しても、必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4	5
D 女性は仕事をもつのはよいが、家事、育児もきちんとするべきである	1	2	3	4	5
E 結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	1	2	3	4	5

(問5) 近年、男女とも晩婚化や非婚化が進んでいると言われていますが、その理由についてあなたはどのようにお考えですか。あなたのお考えに近い番号をいくつでもお選びください。

- 1 独身生活のほうが自由である
- 2 結婚しないことに対する世間のこだわりが少なくなった
- 3 夫婦別姓の婚姻が認められていないから
- 4 仕事のためには、独身のほうが都合が良い
- 5 経済的に安定していない
- 6 仕事をもつ女性が増えて、女性の経済力が向上した
- 7 家事、育児に対する負担感、拘束感が大きい
- 8 相手に高望みしている
- 9 社会慣行としての見合いが減少した
- 10 男女の出会いの場が少ない
- 11 適当な相手と出会えない
- 12 親離れできていない
- 13 子供の数が少なくなり、跡継ぎ問題が結婚相手の範囲を狭めている
- 14 その他 ( )
- 15 わからない

#### 【少子化について】

(問6) あなたは、子育てにおいて、地域社会における住民同士の助け合いとして、どのような活動があればいいと思いますか。あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 子育てに関する悩みを気軽に相談できるような活動
- 2 子育てをする親同士で話ができる仲間づくりの活動
- 3 不意の外出の時などに子どもを預かる活動
- 4 子育てに関連した情報を簡単に入手しあえるような活動
- 5 子育て家庭の家事を支援する活動
- 6 子どもにスポーツや勉強を教える活動
- 7 子どもと遊んでくれる活動
- 8 その他 ( )
- 9 特にない
- 10 わからない

(問7) あなたは、子育て支援に関し、どのような考えをお持ちですか。  
あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 子育てに対する不安や悩みを気軽に相談できる支援体制の整備を進めるべきである   |
| 2 | 保育所など地域における子育て支援サービスを充実するべきである          |
| 3 | 男性がもっと育児に参加できるよう長時間労働等の働き方の見直しを進めるべきである |
| 4 | 職場における仕事と子育ての両立のための取り組みを充実すべきである        |
| 5 | 安定した家庭を築くことができるよう就労の支援を進めるべきである         |
| 6 | 子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取り組みを充実すべきである      |
| 7 | その他 ( )                                 |
| 8 | 支援は行わなくてよい                              |

### 【老後の生活について】

(問8) もし、あなたに介護が必要になったら、主に誰に介護をしてもらいたいですか。  
あてはまる番号を1つお選びください。

- |   |                           |   |     |
|---|---------------------------|---|-----|
| 1 | 配偶者                       | 2 | 娘   |
| 3 | 息子                        | 4 | 娘の夫 |
| 5 | 息子の妻                      |   |     |
| 6 | ホームヘルパー派遣など公的な在宅介護制度を利用する |   |     |
| 7 | 病院や老人ホームなどの施設に入所する        |   |     |
| 8 | その他 ( )                   |   |     |
| 9 | わからない                     |   |     |

### 【就業について】

(問9) **【ふだん収入になる仕事（1年間に30日以上）をしている方におたずねします。】**

【ふだん収入になる仕事をしていない方は（問12）へ】

あなたが現在、仕事をしているのは、どのような理由からですか。

あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- |    |                 |    |                   |
|----|-----------------|----|-------------------|
| 1  | 生計を維持するため       | 2  | 家計の足しにするため        |
| 3  | 住宅ローンなどの返済のため   | 4  | 教育資金を得るため         |
| 5  | 将来に備えて貯蓄するため    | 6  | 自分で自由に使えるお金を得るため  |
| 7  | 生きがいを得るため       | 8  | 自分の能力・技能・資格を生かすため |
| 9  | 視野を広げたり、友人を得るため | 10 | 社会に貢献するため         |
| 11 | 仕事をするのが好きだから    | 12 | 働くのが当然だから         |
| 13 | 時間的に余裕があるから     | 14 | 家業であるから           |
| 15 | その他 ( )         |    |                   |
| 16 | 特に理由はない         | 17 | わからない             |

(問 10) あなたの今の職場では、仕事の内容などで性別によって待遇に差があると思いますか。  
あてはまる番号を1つお選びください。

- 1 差があると思う → (問 11) へ
- 2 そのようなことはないと思う → (問 13) へ
- 3 わからない → (問 13) へ

(問 11) 【(問 10)で「1」を選んだ方におたずねします。】

それは具体的にどのようなことですか。あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 賃金に差がある
- 2 昇進、昇格に差がある
- 3 能力を正当に評価しない
- 4 補助的な仕事しかやらせてもらえない
- 5 女性を幹部職員に登用しない
- 6 結婚したり子どもが生まれたりすると勤めにくい雰囲気がある
- 7 女性は定年まで勤め続けにくい雰囲気がある
- 8 教育・訓練を受ける機会が少ない
- 9 その他 ( )
- 10 わからない

(問 12) 【ふだん収入になる仕事をしていない方におたずねします。】

あなたが現在、仕事をしていないのは、どのような理由からですか。  
あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 経済的に働く必要がないから
- 2 職業を持たない方が自分のやりたいことができるから
- 3 家庭で家事・育児に専念するのが当然だから
- 4 家事の負担が大きいから
- 5 育児の負担が大きいから
- 6 健康や体力に自信がないから
- 7 希望どおりの仕事を得られないから
- 8 配偶者や子どもなど家族が望まないから
- 9 親や病気の家族の世話をするため
- 10 現在、学校に通っているから
- 11 高齢だから
- 12 働くことが好きでないから
- 13 やりがいのある仕事がないから
- 14 配偶者の転勤のため
- 15 職場内に結婚や出産による退職慣行があったため
- 16 特に理由はない
- 17 わからない

(問 13) 一般的に、女性が仕事をもつことについて、あなたはどうかお考えですか。  
あてはまる番号を1つお選びください。

- 1 女性は仕事をもたない方がよい
- 2 女性が仕事をもつことは当然である
- 3 結婚するまでは仕事をもつ方がよい
- 4 子どもができるまでは、仕事をもつ方がよい
- 5 子どもができて、育児制度等を利用しながら、ずっと仕事を続ける方がよい
- 6 子どもができたら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をもつ方がよい
- 7 結婚後や子どもができてからはパートやアルバイトの方がよい
- 8 その他 ( )
- 9 わからない

(問 14) あなたは、女性が仕事をしやすい環境を整えるためには、どのようなことが必要だとお考えですか。特に必要と思われる番号を3つ以内でお選びください。

- 1 雇用機会の創出・再雇用制度の促進
- 2 育児・介護休業制度の普及
- 3 労働条件の整備[労働時間短縮、フレックスタイム制(注1)の普及]
- 4 税制や年金等社会制度を見直す
- 5 保育所・放課後児童クラブ(学童保育)など子育て環境の整備充実
- 6 職場における女性の積極的な活用
- 7 結婚退職、出産退職の慣行をなくす
- 8 「男は仕事、女は家庭」といった固定的性別役割分担意識をなくす
- 9 家族や夫の理解・協力
- 10 昇進や賃金、教育訓練など職場における男女平等の徹底
- 11 ホームヘルパーなどの在宅福祉の充実と特別養護老人ホームなどの施設福祉の充実
- 12 女性自身の就業意識の向上
- 13 上司や同僚などの理解
- 14 わからない

(注1)：労働者が1日の始業・終業時刻を自分で決めることのできる制度。

ただし、総労働時間が1か月以内の一定の期間の総労働時間に達することが条件となる。

### 【学校教育について】

(問 15) 男女共同参画社会を実現するために、学校教育の場でどのようなことが大切だと思いますか。あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 心身の発育について正しく理解し、生命や性を尊重する教育を充実する
- 2 互いのよさを理解し、異性を思いやる心を育てる教育を充実する
- 3 性別に関わらず、生徒個人の希望や能力にもとづいて進路指導や職業教育を行う
- 4 性別に関係なく役割分担を行うことを推進する
- 5 ふるまいや行動について、性別によらない指導をする
- 6 教職員の男女共同参画意識を高める研修を充実する
- 7 PTAなどを通して、男女共同参画意識を高める啓発活動を充実する
- 8 性別によらない名簿、整列、点呼などを行うことを推進する
- 9 今のままで良い
- 10 その他 ( )

### 【人権について】

(問 16) あなたは、次のことが親しい男女(夫・妻、事実婚のパートナー、恋人、元配偶者、元パートナー)の間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。次にあげるA～Iのそれぞれの項目について、右欄の1～3のうちあてはまる番号を1つお選びください。

	どんな場合も暴力にあたると思う	暴力にあたる場合と、そうでない場合もあると思う	暴力にあたるとは思わない
A 平手で打ったり、足でけったりする	1	2	3
B 身体を傷つける可能性のあるものでなく	1	2	3
C ながるふりをしたり、刃物などを突きつけておどす	1	2	3
D 嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
E 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	3
F 何を言っても長期間、無視し続ける	1	2	3
G 交友関係や電話を細かく監視する	1	2	3
H 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「かいしょうなし」とか言う	1	2	3
I 家に生活費を入れない	1	2	3

(問 17) あなたはこれまでに、あなたの配偶者や恋人など親密な関係にある人から次のようなことをされたことがありますか。(ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含みます)次にあげるA～Cのそれぞれの項目について、右欄の1～3のうちあてはまる番号を1つお選びください。

	1、2度あった	何度もあった	まったくない
A なぐったり、けったり、物を投げつけられたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3
B 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
C いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3

(問 18) 【(問 17) で1つでも「1」、「2」を選んだ方におたずねします。】

あなたは、その行為について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。  
あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- |   |
|---|
| 1 鹿児島県女性相談センターに相談した                                     |
| 2 警察に連絡または相談した  |
| 3 法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談した                                 |
| 4 鹿児島県男女共同参画センターに相談した                                   |
| 5 他の市町村の機関に相談した   |
| 6 上記(1～5)以外の公的な機関に相談した                                  |
| 7 民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど)に相談した |
| 8 医療関係者(医師、看護師など)に相談した                                  |
| 9 学校関係者(教員、養護教員、スクールカウンセラーなど)に相談した                      |
| 10 家族や親戚に相談した   |
| 11 友人・知人に相談した   |
| 12 その他 ( )  |
| 13 どこ(だれ)にも相談しなかった → (問 19)へ                            |

(問 19) 【(問 18)で「13」を選んだ方におたずねします。】

それは、どのような理由からですか。あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 どこ(だれ)に相談してよいのかわからなかったから
- 2 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
- 3 相談しても無駄だと思ったから
- 4 相談したことがわかると仕返しを受けたり、また同じような行為をされると思ったから
- 5 相談担当者の言動により不快な思いをと思ったから
- 6 自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから
- 7 世間体が悪いから
- 8 他人を巻き込みたくなかったから
- 9 被害を受けたことを思い出したくなかったから
- 10 自分にも悪いところがあると思ったから
- 11 相談するほどのことではないと思ったから
- 12 その他 ( )
- 13 わからない

#### 【地域社会づくりについて】

(問 20) あなたは現在、仕事以外に何か地域活動等に参加していますか。(地域活動とは町内会、公民館、地域女性団体、PTA、ボランティア活動など地域に貢献する活動)  
あてはまる番号をいくつでもお選びください。

- 1 公民館、地域女性団体、高齢者クラブ、青年団などの地域団体活動 → (問 22) へ
- 2 PTA や子ども会などの青少年育成活動 → (問 22) へ
- 3 社会福祉などのボランティア活動 → (問 22) へ
- 4 スポーツ振興や文化振興に関する活動 → (問 22) へ
- 5 消費者運動、環境保護運動などの住民活動 → (問 22) へ
- 6 特に何もしていない → (問 21) へ

(問 21) 【(問 20)で「6」を選んだ方におたずねします。】

それは、どのような理由からですか。あてはまる番号を3つ以内でお選びください。

- 1 仕事や学業で時間がない
- 2 家事、育児や介護で精一杯である
- 3 家族の理解が得られない
- 4 健康に自信がない
- 5 経済的に負担がかかる
- 6 人間関係がわずらわしい
- 7 役員や世話人にされると困る
- 8 どんなグループがあるのか参加方法などがわからない
- 9 社会活動に関心がない
- 10 その他 ( )
- 11 特に理由はない
- 12 わからない

### 【男女共同参画社会について】

(問 22) いちき串木野市を含め、一般的に政策決定の場や自治組織等の方針決定の場への女性の参画が少ないようですが、それはなぜだと思いますか。

あてはまる番号を3つ以内でお選びください。

- 1 家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識がある
- 2 女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない
- 3 家族の支援・協力が得られない
- 4 女性の能力開発の機会が十分でない
- 5 女性の活動を支援するネットワークがない
- 6 女性側の関心や積極性が十分でない
- 7 男性がなるほうがいい(なるものだ)と思っている人が多い
- 8 わからない

(問 23) あなたは今後、男女が家事、育児、介護、地域活動に積極的に参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。

特に必要と思われる番号を3つ以内でお選びください。

- 1 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
- 2 企業中心という社会全体の仕組みを改めること
- 3 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること
- 4 労働時間を短縮したり、休暇制度を普及させたりすること
- 5 夫婦間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと
- 6 家事などを男女で分担するようなしつけや育て方をすること
- 7 男性の男女共同参画に対する関心を高めること
- 8 女性の男女共同参画に対する関心を高めること
- 9 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること
- 10 男性が家事などに参画することによるライフスタイルの変化に対する抵抗感をなくすること
- 11 妻が夫に経済力や出世を求めないこと
- 12 自宅でも仕事ができるように在宅勤務等を普及させること
- 13 その他 ( )
- 14 わからない

(問 24) あなたはこの調査以前に、次の言葉についてご存知でしたか。次にあげるA～Kのそれぞれの項目について、右欄の1～4のうちあてはまる番号を1つお選びください。

※用語解説を15ページに掲載しています。	言葉も内容もよく知っている			
	言葉は知っており、内容は少し知っている	言葉だけは知っている	言葉も内容も知らない	
A ジェンダー	1	2	3	4
B ドメスティック・バイオレンス (DV)	1	2	3	4
C セクシュアル・ハラスメント	1	2	3	4
D リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康/権利)	1	2	3	4
E ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	1	2	3	4
F 男女共同参画社会基本法	1	2	3	4
G 男女雇用機会均等法	1	2	3	4
H 育児・介護休業法	1	2	3	4
I 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律 (DV 防止法)	1	2	3	4
J 鹿児島県男女共同参画推進条例	1	2	3	4
K 鹿児島県男女共同参画週間 (7/25～31)	1	2	3	4
L ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	1	2	3	4

以上で質問は終わりですが、男女共同参画社会づくりに関することについて、ご意見・ご要望がございましたら、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力誠にありがとうございました。  
記入もれなどが無いが、もう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒 (切手不要) に入れ、**8月18日 (金) まで**にご投函ください。

## 付録 用語解説

用語	解説
ジェンダー	社会通念や慣習の中で社会によって作り上げられた「男性像」、「女性像」があり、このような男性、女性の別を「社会的・文化的に形成された性別（ジェンダー）」といいます。それ自体に「良い」、「悪い」の価値を含むものではなく、国際的にも使われています。
ドメスティック・バイオレンス（DV）	配偶者や恋人（パートナー）から受ける暴力行為のこと。殴る、蹴るなどの肉体的暴力のみならず、威嚇する、無視する、行動を制限するなど心理的に苦痛を与えることも含まれます。
セクシュアル・ハラスメント	いわゆる「セクハラ」、性的嫌がらせをいいます。相手の意に反した性的な発言や行動、例えば身体への不必要な接触、性的関係の強要、性的な噂の流布、性的な冗談やからかいなど、様々なものが含まれます。
リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康/権利）	「性と生殖に関する健康と権利」と訳され、性や生殖に関わるあらゆる事柄において、身体的にも精神的にも社会的にも、良好な状態が保障されるとともに、女性自らの意志で妊娠や出産を決定することができる権利が明記されています。
ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	政治、経済、社会、家庭等のあらゆる分野で、男女間の格差を改善するため、企業・個人・団体等がそれぞれの状況に応じて、格差の解消を目指して、積極的かつ自主的に取り組むこと。
男女共同参画社会基本法 （平成 11 年 6 月施行）	将来に向かって男女共同参画社会の形成に関する取組を総合的に推進するために制定された法律です。男女共同参画社会の形成についての基本理念を規定しています。
男女雇用機会均等法 （昭和 61 年 4 月施行）	雇用における男女の均等な機会と待遇の確保を図るとともに、女性労働者の就業に関して妊娠中及び出産後の健康の確保を図るための措置を推進するために制定された法律です。労働者の採用や配置、福利厚生、退職等における男女間の差別の禁止等について規定しています。
育児・介護休業法 （平成 7 年 6 月施行）	労働者の仕事と育児や介護を両立できるように支援するために制定された法律です。育児や介護の申請があった場合は、雇用関係を継続したまま、一定期間の休暇を与えることを認めるよう義務づけられています。
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法） （平成 13 年 10 月施行）	配偶者からの暴力に係る通報、相談、保護、自立支援等の体制を整備し、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護を図ることを目的とする法律です。配偶者暴力相談支援センターの設置、保護命令制度等が規定されています。
鹿児島県男女共同参画推進条例 （平成 14 年 1 月施行）	鹿児島県では、男女共同参画社会の形成を総合的かつ計画的に推進するため、男女共同参画社会の形成に関し、基本理念を定め、男女共同参画の推進に関する施策の基本的事項を定めています。
鹿児島県男女共同参画週間	鹿児島県では、毎年 7 月 25 日から 31 日までの 1 週間を男女共同参画週間としています。これは、男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画社会への理解を深めるために設けられたものです。
ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	誰もが、仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発など、様々な活動を、人生の段階に応じて自分の希望するバランスで実現できる状態のことをいいます。